
芝山町
子ども・子育て支援事業計画基礎調査

— 報告書 —

令和7年3月
芝 山 町

目 次

〔1〕 調査概要.....	1
1. 調査目的.....	1
2. 調査方法.....	1
3. 調査期間.....	1
4. 調査対象者と回収結果.....	1
〔2〕 調査結果のまとめ.....	2
1. 居住地区（就学前児童・小学生共通）.....	2
2. 子どもと家族の状況（就学前児童・小学生共通）.....	2
3. 子どもの育ちをめぐる環境（就学前児童・小学生共通）.....	2
4. 保護者の就労状況（就学前児童・小学生共通）.....	3
5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況（就学前児童）.....	4
6. 地域の子育て支援事業の利用状況（就学前児童）.....	4
7. 土曜休日等の定期的な教育・保育事業の利用希望（就学前児童）.....	5
8. 子どもの病気の際の対応（就学前児童・小学生共通）.....	6
9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用（就学前児童）.....	7
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方（就学前児童）.....	7
11. 放課後の過ごし方（小学生）.....	8
12. 職場の両立支援制度（就学前児童・小学生共通）.....	8
13. 日頃の子育てなどについて（就学前児童・小学生共通）.....	10
〔3〕 就学前児童世帯調査結果.....	13
1. 居住地区.....	13
2. 子どもと家族の状況.....	13
3. 子どもの育ちをめぐる環境.....	15
4. 保護者の就労状況.....	22
5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況.....	28
6. 地域の子育て支援事業の利用状況.....	42
7. 土曜休日等の定期的な教育・保育事業の利用希望.....	46
8. 子どもの病気の際の対応（平日の教育・保育事業利用者のみ）.....	50
9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用.....	58
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方（5歳以上の子どものみ）.....	65
11. 職場の両立支援制度.....	71
12. 日頃の子育てなどについて.....	82

〔４〕小学生世帯調査結果.....	104
1. 居住地区.....	104
2. 子どもと家族の状況.....	104
3. 子どもの育ちをめぐる環境.....	106
4. 保護者の就労状況.....	112
5. 子どもが病気の際の対応.....	117
6. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用.....	125
7. 放課後の過ごし方.....	128
8. 職場の両立支援制度.....	135
9. 日頃の子育てなどについて.....	143

〔１〕 調査概要

１．調査目的

本調査は、「第３期芝山町子ども・子育て支援事業計画」の策定にあたり、住民の皆様にお子さんの教育・保育事業の利用状況や子育てに関する生活実態についてご要望・ご意見などを把握するため、就学前児童世帯調査、小学生世帯調査の２種により実施しました。

２．調査方法

調査票の配布は、郵送または、保育所・小学校の各施設にて直接配布。

回収は、郵送により実施しました。

３．調査期間

令和６年３月８日（金）から３月２９日（金）

４．調査対象者と回収結果

調査種別	対 象	配布数	回収数	回収率
就学前児童世帯調査	令和６年２月１日の住民基本台帳から、平成２９年４月２日以降生まれのお子さんを抽出し、その保護者の方	１９８票	９６票	４８.５%
小学生世帯調査	令和６年２月１日の住民基本台帳から、平成２５年４月２日～平成２９年４月１日生まれのお子さんを抽出し、その保護者の方	１６４票	８４票	５１.２%

（注）本文中のパーセント表記については、整数処理を行い、小数点以下を四捨五入して表記しています。

〔2〕 調査結果のまとめ

1. 居住地区（就学前児童・小学生共通）

- ◆居住地区:就学前児童では、「D 地区」が6割近くと多く、次いで「E 地区」が1割台、「C 地区」が1割となっている。小学生では、「D 地区」が5割台と多く、次いで「A 地区」「E 地区」がともに1割台となっている。

2. 子どもと家族の状況（就学前児童・小学生共通）

- ◆小学校就学前の子どもの人数:就学前児童では、「1人」が6割近くと多く、次いで「2人」が2割近く、「3人」が1割近くとなっている。
- ◆小学1～4年生の子どもの人数:小学生では、「1人」が6割台と多く、次いで「3人」が1割、「2人」が1割近くとなっている。
- ◆宛名の子ども:就学前児童では、「就学前の1番上の子」が8割程度と多く、次いで「就学前の上から2番目の子」が1割台となっている。
- ◆宛名の子ども:小学生では、「小学1～4年生の1番上の子」が8割と多く、次いで「小学1～4年生の上から2番目の子」が1割台となっている。
- ◆就学前の子の年齢(合計):就学前児童では、「5歳」が2割台と多く、次いで「0歳」「2歳」がともに2割程度となっている。
- ◆小学1～4年生の子の学年(合計):小学生では、「3年生」が3割程度と多く、次いで「2年生」が2割台、「1年生」「4年生」がともに2割となっている。
- ◆回答者:就学前児童では、「母親」が8割と多く、次いで「父親」が2割近くとなっている。小学生では、「母親」が8割台と多く、次いで「父親」が1割となっている。
- ◆回答者の配偶関係:就学前児童では、「配偶者がいる」が9割程度と多く、次いで「配偶者はいない」が1割近くとなっている。小学生では、「配偶者がいる」が8割台と多く、「配偶者はいない」が1割程度となっている。
- ◆主な育児者:就学前児童では、「父母ともに」が6割程度と多く、次いで「主に母親」が3割台となっている。小学生では、「父母ともに」が6割程度と多く、次いで「主に母親」が3割近くとなっている。

3. 子どもの育ちをめぐる環境（就学前児童・小学生共通）

- ◆主に子どもの世話をしている方:就学前児童では、「父母ともに」が8割と多く、次いで「保育所」が6割近く、「祖父母」が4割台となっている。小学生では、「父母ともに」が6割台と多く、次いで「小学校」が5割台、「祖父母」が4割近くとなっている。
- ◆子育てに最も影響する環境:就学前児童では、「家庭」が10割近くと多く、次いで「保育所」が8割、「地域」が4割台となっている。小学生では、「小学校」が9割台と多く、次いで「家庭」が9割程度、「学童クラブ」が3割台となっている。
- ◆子どもを預かってくれる人の状況:就学前児童では、「緊急時などは祖父母等親族にみてもらえる」が6割台と多く、次いで「日常的に祖父母等親族にみてもらえる」が4割、「緊急時などにみてもらえる友人・知人がいる」が1割となっている。小学生では、「緊急時などは祖父母等親族にみてもらえる」が5割台と

多く、次いで「日常的に祖父母等親族にみてもらえる」が4割程度となっている。

- ◆祖父母の預かりについての考え:就学前児童では、「祖父母が孫を預かるのは特に問題はない」が6割近くと多く、次いで「祖父母等の精神的負担等が大きく心配」「祖父母等の身体的負担が大きく心配」がともに2割台となっている。小学生では、「祖父母が孫を預かるのは特に問題はない」が4割台と多く、次いで「祖父母の精神的負担等が大きく心配」が2割台、「親の立場として負担をかけるのは心苦しい」が2割程度となっている。
- ◆友人等の預かりについての考え:就学前児童では、「友人等に預けるのは特に問題はない」が6割と多く、次いで「親の立場として負担をかけるのは心苦しい」が5割となっている。
- ◆相談できる人・場所:就学前児童では、「いる／ある」が9割台と多くなっている。小学生では、「いる／ある」が9割近くと多くなっている。
- ◆気軽にできる相談先:就学前児童では、「祖父母等の親族」が9割近くと多く、次いで「友人や知人」が8割近く、「保育士・幼稚園教諭」が5割台となっている。小学生では、「祖父母等の親族」が7割台と多く、次いで「友人や知人」が7割程度、「保育士・幼稚園教諭」「かかりつけの医師」がともに1割となっている。

4. 保護者の就労状況（就学前児童・小学生共通）

- ◆母親の就労状況:就学前児童では、「パートタイム・アルバイト等」が3割台と多く、次いで「フルタイム就労」が3割程度、「以前就労していたが、現在働いていない」が1割台となっている。小学生では、「パートタイム・アルバイト等」が4割程度と多く、次いで「フルタイム就労」が4割、「以前就労していたが、現在働いていない」が1割程度となっている。
- ◆母親の就労日数:就学前児童では、「週5日」が5割台と多く、次いで「週3～4日」が2割近くとなっている。小学生では、「週5日」が4割程度と多く、次いで「週3～4日」が2割台、「週6日」が1割となっている。
- ◆母親の就労時間:就学前児童では、「8時間」が3割と多く、次いで「6時間」が1割台、「7時間」が1割近くとなっている。小学生では、「8時間」が3割台と多く、次いで「6時間」が1割台、「5時間」が1割程度となっている。
- ◆母親の家を出る時間:就学前児童では、「8時台」が4割近くと多く、次いで「7時台」が2割台、「9時台」が1割台となっている。小学生では、「8時台」が5割近くと多く、次いで「7時台」が2割近くとなっている。
- ◆母親の帰宅時間:就学前児童では、「18 時台」「17 時台」がともに2割程度と多く、次いで「16 時台」が1割台となっている。小学生では、「17 時台」「18 時台」がともに2割近くと多く、次いで「16 時より前」が1割台となっている。
- ◆パート・アルバイト等の母親のフルタイムへの転換希望:就学前児童では、「パート・アルバイト等を希望」が7割近くと多く、次いで「フルタイム希望だが実現見込みなし」が2割程度となっている。小学生では、「パート・アルバイト等を希望」が6割程度と多く、次いで「フルタイム希望だが実現見込みなし」が2割台となっている。
- ◆就労していない母親の就労への考え:就学前児童では、「1年後以降、末子が成長したら就労したい」が5割台と多く、次いで「今すぐ又は1年以内に就労したい」が3割台となっている。小学生では、「今すぐ又は1年以内に就労したい」が7割台と多く、次いで「育児や家事に専念したい」が2割台となっている。
- ◆父親の就労状況:就学前児童では、「フルタイム就労」が9割台と多くなっている。小学生では、「フルタイム就労」が9割台と多くなっている。

- ◆父親の就労日数:就学前児童では、「週5日」が6割台と多く、次いで「週6日」が3割台となっている。小学生では、「週5日」が7割程度と多く、次いで「週6日」が2割程度となっている。
- ◆父親の就労時間:就学前児童では、「8時間」が5割程度と多く、次いで「9時間」が2割近く、「10時間以上」が1割台となっている。小学生では、「8時間」が5割台と多く、次いで「10時間以上」「9時間」がともに2割程度となっている。
- ◆父親の家を出る時間:就学前児童では、「7時台」が4割程度と多く、次いで「8時台」が2割台、「6時より前」が1割程度となっている。小学生では、「7時台」が4割台と多く、次いで「8時台」が2割程度、「6時台」が1割台となっている。
- ◆父親の帰宅時間:就学前児童では、「18時台」が2割台と多く、次いで「19時台」が2割、「17時台」が2割近くとなっている。小学生では、「18時台」が2割程度と多く、次いで「19時台」が2割近く、「21時台」が1割台となっている。

5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況（就学前児童）

- ◆教育・保育事業の利用状況:「利用している」が7割近くと多く、次いで「利用希望はあるが利用していない」が2割となっている。
- ◆利用中の教育・保育事業:「保育所」が9割近くと多くなっている。
- ◆利用日数(現在):「週5日」が8割程度と多くなっている。
- ◆利用開始時間(現在):「8時台」が6割程度と多く、次いで「9時台」が2割となっている。
- ◆利用終了時間(現在):「15時台」が4割台と多く、次いで「16時台」が2割台、「17時台」が1割近くとなっている。
- ◆今後希望の教育・保育事業:「保育所」が7割台と多く、次いで「幼稚園」が1割程度、「認定こども園」「事業所内保育施設」がともに1割近くとなっている。
- ◆利用日数(希望):「週5日」が7割台と多くなっている。
- ◆利用開始時間(希望):「8時台」が5割台と多く、次いで「7時台」が2割程度となっている。
- ◆利用終了時間(希望):「16時台」が4割程度と多く、次いで「17時台」が2割近く、「18時台」が1割台となっている。
- ◆教育・保育事業の利用場所:「芝山町内」が9割台と多くなっている。
- ◆教育・保育事業を利用している理由:「現在就労している」が8割台と多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が6割となっている。
- ◆教育・保育事業を利用していない理由:「子どもがまだ小さいため」が4割台と多く、次いで「必要がない」が2割となっている。
- ◆定期的に利用したい事業:「保育所」が8割台と多く、次いで「認定こども園」が2割台、「幼稚園」が2割近くとなっている。
- ◆教育・保育事業の利用したい場所:「芝山町内」が8割台と多くなっている。
- ◆幼稚園の利用希望:「いいえ」が5割と多く、「はい」が3割台となっている。

6. 地域の子育て支援事業の利用状況（就学前児童）

- ◆地域子育て支援拠点事業の利用状況:「利用していない」が5割台と多く、「利用している」が4割台とな

っている。

- ◆地域子育て支援拠点事業の利用回数:「週1回未満」が8割程度と多く、次いで「週2回以上3回未満」が1割となっている。
- ◆利用している子ども:「就学前の1番上の子」が7割程度と多く、次いで「就学前の上から2番目の子」が5割、「就学前の上から3番目の子」が1割程度となっている。
- ◆利用していない理由:「時間がない」が4割台と多く、次いで「特に理由はない」が3割台、「地域のサービスの利便性が悪い」が1割台となっている。
- ◆地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向:「利用したい」が6割台と多く、「特に希望はない」が3割台となっている。
- ◆地域子育て支援拠点事業の希望回数:「週1回未満」が6割台と多く、次いで「週1回以上2回未満」が1割台となっている。
- ◆利用させたい子ども:「就学前の1番上の子」が8割台と多く、次いで「就学前の上から2番目の子」が4割程度、「就学前の上から3番目の子」が1割程度となっている。
- ◆事業の認知度:「保健センターの情報・相談事業」が8割台と多く、次いで「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が7割台、「母親(父親)学級、両親学級、育児学級」が7割となっている。
- ◆事業の利用状況:「保健センターの情報・相談事業」が5割程度と多く、次いで「母親(父親)学級、両親学級、育児学級」が4割台、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が2割台と多くなっている。
- ◆事業の利用意向:「保健センターの情報・相談事業」「教育相談センター・教育相談室」がともに6割近くと多く、次いで「子育ての総合相談窓口」が5割台となっている。

7. 土曜休日等の定期的な教育・保育事業の利用希望（就学前児童）

- ◆教育・保育事業の利用希望(土曜日):「利用する必要はない」が7割近くと多く、次いで「月に1～2回利用したい」が2割程度となっている。
- ◆教育・保育事業の利用希望の開始時間帯(土曜日):「8時台」が5割近くと多く、次いで「9時台」が4割近く、「7時台」が1割近くとなっている。
- ◆教育・保育事業の利用希望の終了時間帯(土曜日):「16 時より前」が3割と多く、次いで「18 時台」が2割台、「17 時台」が2割程度となっている。
- ◆教育・保育事業の利用希望(日祝日):「利用する必要はない」が7割台と多く、次いで「月に1～2回利用したい」が2割近くとなっている。
- ◆教育・保育事業の利用希望の開始時間帯(日祝日):「8時台」が4割台と多く、次いで「7時台」「9時台」が2割程度となっている。
- ◆教育・保育事業の利用希望の終了時間帯(日祝日):「16 時より前」「17 時台」がともに3割近くと多く、次いで「16 時台」「18 時台」が2割程度となっている。
- ◆教育・保育事業の利用希望(長期休暇期間中):「ほぼ毎週利用したい」が3割台と多く、次いで「利用する必要はない」「週に数日利用したい」がともに3割程度となっている。
- ◆教育・保育事業の利用希望の開始時間帯(長期休暇期間中):「8時台」が5割台と多く、次いで「9時台」が2割台、「7時台」が1割台となっている。
- ◆教育・保育事業の利用希望の終了時間帯(長期休暇期間中):「16 時台」が4割近くと多く、次いで「17

時台」「18 時台」がともに2割台となっている。

- ◆たまに利用したい理由:「月に数回仕事が入るため」が7割程度と多く、次いで「平日できない用事を済ませるため」が4割近く、「息抜きのため」が3割程度となっている。

8. 子どもの病気の際の対応（就学前児童・小学生共通）

- ◆病気等で教育・保育事業が利用できなかったこと:就学前児童では、「あった」が8割程度と多く、「なかった」が1割台となっている。小学生では、「あった」が6割と多く、「なかった」が3割台となっている。
- ◆病気等の場合の対処法:就学前児童では、「母親が休んだ」が8割台と多く、次いで「父親が休んだ」が3割台、「親族・知人に看てもらった」が2割台となっている。小学生では、「母親が休んだ」が7割と多く、次いで「親族・知人に看てもらった」が2割、「父親が休んだ」が2割近くとなっている。
- ◆父親が休んだ日数:就学前児童では、「1～4日」が3割台と多く、次いで「5～9日」が2割台、「10～14日」が2割程度となっている。
- ◆母親が休んだ日数:就学前児童では、「15 日以上」が4割と多く、次いで「5～9日」が2割台、「10～14日」が2割程度となっている。小学生では、「5～9日」が4割台と多く、次いで「10～14 日」「15 日以上」がともに1割台となっている。
- ◆親族・知人が看た日数:就学前児童では、「1～4日」が3割台と多く、次いで「5～9日」「15 日以上」がともに2割台となっている。小学生では、「1～4日」「5～9日」がともに2割と多く、次いで「10～14 日」「15 日以上」がともに1割となっている。
- ◆病児・病後児保育施設の利用意向:就学前児童では、「利用したいとは思わない」が6割と多く、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が4割となっている。小学生では、「利用したいとは思わない」が6割程度と多く、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が3割程度となっている。
- ◆保育施設等を利用したい日数:就学前児童では、「10～14 日」が3割程度と多く、次いで「15 日以上」が2割程度、「1～4日」が1割台となっている。小学生では、「1～4日」が4割台と多く、次いで「5～9日」が3割台となっている。
- ◆希望する事業形態:就学前児童では、「小児科に併設した施設」が7割台と多く、次いで「幼稚園等他の施設に併設した施設」が6割台となっている。小学生では、「小児科に併設した施設」が 10 割と多く、次いで「幼稚園等他の施設に併設した施設」が2割台となっている。
- ◆利用したいと思わない理由:就学前児童では、「親が仕事を休んで対応する」が7割近くと多く、次いで「他人に看てもらうのは不安」が6割台、「利用料がかかる・高い」が3割台となっている。小学生では、「他人に看てもらうのは不安」が6割台と多く、次いで「親が仕事を休んで対応する」が5割台、「利用料がかかる・高い」「利用料がわからない」がともに2割台となっている。
- ◆仕事を休んで子どもを看たいか:就学前児童では、「できれば仕事を休んで看たい」が4割近くと多く、「休んで看ることは非常に難しい」が2割台となっている。小学生では、「できれば仕事を休んで看たい」が7割台と多く、「休んで看ることは非常に難しい」が1割台となっている。
- ◆かかりつけ医の場所:就学前児童では、「成田市」「多古町」がともに4割近くと多く、次いで「富里市」が3割近くとなっている。小学生では、「多古町」が5割台と多く、次いで「成田市」が4割程度、「富里市」が2割台となっている。
- ◆病児・病後児保育施設の利用場所(第一希望):就学前児童では、「町内」が8割近くと多くなっている。

小学生では、「町内」が7割台と多く、次いで「多古町(多古中央病院)」が1割近くとなっている。

- ◆病児・病後児保育施設の利用場所(第二希望):就学前児童では、「多古町(多古中央病院)」が4割と多く、次いで「富里市」が1割台、「成田市」が1割近くとなっている。小学生では、「多古町(多古中央病院)」が4割程度と多く、次いで「富里市」が1割程度、「成田市」が1割近くとなっている。

9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用(就学前児童)

- ◆不定期に利用している事業:「利用していない」が9割近くと多く、次いで「一時預かり」が1割となっている。
- ◆一時預かりの日数:「5～9日」「15日以上」がともに3割と多く、次いで「10～14日」が2割となっている。
- ◆利用していない理由:「必要がない」が9割近くと多く、次いで「利用方法がわからない」が1割、「事業が地域にない」「地域の事業の利便性があわない」がともに1割近くとなっている。
- ◆事業の利用希望の有無:「利用する必要はない」が6割近くと多く、「利用したい」が3割台となっている。
- ◆事業の利用希望の理由:「私用、リフレッシュ目的」が7割台と多く、次いで「冠婚葬祭、家族の通院等」が7割近く、「不定期の就労」が2割台となっている。
- ◆事業の利用の日数(合計):「15日以上」が4割程度と多く、次いで「10～14日」が4割近くとなっている。
- ◆事業の利用の日数(私用・リフレッシュ):「10～14日」が4割台と多く、次いで「5～9日」が3割程度、「15日以上」が1割程度となっている。
- ◆事業の利用の日数(冠婚葬祭等):「5～9日」が4割台と多く、次いで「10～14日」が3割、「1～4日」が2割程度となっている。
- ◆希望する事業形態:「小規模施設で子どもを保育する事業」が8割台と多く、次いで「大規模施設で子どもを保育する事業」が5割台、「ファミリー・サポート・センター等」が2割程度となっている。
- ◆短期入所生活援助事業(ショートステイ)等の利用希望:就学前児童では、「利用する必要はない」が9割程度と多くなっている。小学生では、「利用する必要はない」が9割近くとなっている。

10. 小学校就学後の放課後の過ごし方(就学前児童)

- ◆放課後の過ごし方(全学年):全学年で「自宅」が多く、次いで1～3年生では「学童クラブ」、4～6年生では「学童クラブ」「習い事」が多くなっている。
- ◆学童クラブの利用希望(土曜日):「利用する必要はない」が7割近くと多く、「利用したい」が2割台となっている。
- ◆学童クラブの利用希望(日祝日):「利用する必要はない」が7割台と多く、「利用したい」が1割台となっている。
- ◆長期休暇中の学童クラブの利用希望:「利用したい」が9割台と多くなっている。
- ◆長期休暇中の学童クラブの利用希望の開始時間:「8時台」が6割と多く、次いで「9時台」が3割近く、「7時台」が1割近くとなっている。
- ◆長期休暇中の学童クラブの利用希望の終了時間:「18時台」が4割と多く、次いで「17時台」が3割程度、「16時台」が2割となっている。
- ◆長期休暇中の学童クラブの利用希望の学年:「6年生」が7割程度と多く、次いで「3年生」が1割程度となっている。

11. 放課後の過ごし方（小学生）

- ◆放課後の過ごし方: 過ごしている場所・過ごさせたい場所ともに「自宅」が一番多く、次いで過ごしている場所では「学童クラブ」、過ごさせたい場所では「習い事」となっている。
- ◆学童クラブの利用希望(土曜日): 「利用する必要はない」が5割程度と多く、次いで「利用したい」が3割近くとなっている。
- ◆学童クラブの利用希望の開始時間(土曜日): 「9時台」が4割近くと多く、次いで「7時台」「8時台」がともに2割台となっている。
- ◆学童クラブの利用希望の終了時間(土曜日): 「17 時台」が4割近くと多く、次いで「18 時台」が2割台、「16 時より前」が1割台となっている。
- ◆学童クラブの利用希望の学年(土曜日): 「6年生」が6割程度と多く、次いで「3年生」が1割近くとなっている。
- ◆学童クラブの利用希望(日祝日): 「利用する必要はない」が6割程度と多く、「利用したい」が1割台となっている。
- ◆長期休暇中の学童クラブの利用希望: 「利用したい」が8割程度と多くなっている。
- ◆長期休暇中の学童クラブの利用希望開始時間帯: 「8時台」が6割と多く、次いで「9時台」が2割台、「7 時台」が1割台となっている。
- ◆長期休暇中の学童クラブの利用希望終了時間帯: 「18 時台」が4割台と多く、次いで「17 時台」が4割程度、「16 時台」が1割近くとなっている。
- ◆長期休暇中の学童クラブの利用希望学年: 「6年生」が5割台と多く、次いで「4年生」が1割程度、「3年生」が1割近くとなっている。
- ◆学童クラブを利用している理由: 「現在就労している」が8割程度と多くなっている。
- ◆学童クラブを利用していない理由: 「就労中だが子どもをみられる親族がいるから」が2割程度と多く、次いで「現在就労していないから」が2割近くとなっている。

12. 職場の両立支援制度（就学前児童・小学生共通）

- ◆育児休業の取得(母親): 就学前児童では、「取得した」が4割台と多く、次いで「働いていなかった」が3割程度、「取得していない」が2割台となっている。小学生では、「働いていなかった」が4割近くと多く、次いで「取得した」が3割程度、「取得していない」が2割台となっている。
- ◆取得していない理由(母親): 就学前児童では、「退職した」が2割程度と多く、次いで「職場に制度がなかった」が1割台となっている。小学生では、「退職した」が4割近くと多く、次いで「職場に制度がなかった」が2割台、「仕事に戻るのが難しそうだった」が1割台となっている。
- ◆育児休業の取得(父親): 就学前児童では、「取得していない」が7割程度と多く、次いで「取得した」が2割近くとなっている。小学生では、「取得していない」が7割台と多くなっている。
- ◆取得していない理由(父親): 就学前児童では、「仕事が忙しかった」「取りにくい雰囲気があった」がともに4割台と多く、次いで「経済的に苦しくなる」が3割程度となっている。小学生では、「取りにくい雰囲気があった」が4割台と多く、次いで「仕事が忙しかった」が3割台、「制度利用する必要がなかった」が3割となっている。
- ◆育児休業給付、保険料免除の知識: 就学前児童では、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らない

- かった」が6割近くと多く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が2割程度、「育児休業給付のみ知っていた」が1割台となっている。小学生では、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」がともに3割台と多く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」が2割となっている。
- ◆職場への復帰(母親):就学前児童では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が5割台と多く、次いで「現在も育児休業中である」が2割台、「育児休業中に離職した」が2割程度となっている。小学生では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が6割台と多く、次いで「育児休業中に離職した」が3割台となっている。
 - ◆職場への復帰(父親):就学前児童では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が8割程度と多く、次いで「現在も育児休業中である」が2割近くとなっている。
 - ◆職場復帰のタイミング(母親):就学前児童では、「それ以外だった」が5割と多く、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が4割台となっている。小学生では、「それ以外だった」が5割台と多く、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が4割台となっている。
 - ◆職場復帰のタイミング(父親):就学前児童では、「それ以外だった」が9割台と多くなっている。
 - ◆育児休業の実際の取得期間(母親):就学前児童では、「10～12 か月」が3割台と多く、次いで「4～6 か月」が2割台、「13～15 か月」が1割台となっている。小学生では、「10～12 か月」が4割近く、次いで「7～9 か月」「13～15 か月」「16～18 か月」がそれぞれ1割台となっております。
 - ◆希望取得期間(母親):就学前児童では、「10～12 か月」が5割台と多く、次いで「13～15 か月」「19～30 か月」がともに1割台となっている。小学生では、「10～12 か月」が4割近くと多く、次いで「19～30 か月」「31～36 か月」がともに2割程度となっている。
 - ◆育児休業の実際の取得期間(父親):就学前児童では、「1～3 か月」が4割台と多く、次いで「0 か月」が2割程度、「4～6 か月」「16～18 か月」がともに1割台となっている。
 - ◆希望取得期間(父親):就学前児童では、「1～3 か月」「10～12 か月」がともに2割程度と多く、次いで「16～18 か月」が1割台となっている。
 - ◆育児休業の希望取得期間(母親):就学前児童では、「31～36 か月」が3割程度と多く、次いで「10～12 か月」「19～30 か月」がともに2割台となっている。小学生では、「31～36 か月」が5割と多く、次いで「19～30 か月」が4割近く、「10～12 か月」が1割程度となっている。
 - ◆育児休業の希望取得期間(父親):就学前児童では、「10～12 か月」が3割台と多く、次いで「4～6 か月」「31～36 か月」がともに1割台となっている。
 - ◆希望保育サービスの利用:就学前児童では、「希望しなかった」が4割程度と多く、次いで「育児休業期間を調整せずにできた」が4割近く、「育児休業期間を調整したのでできた」が2割近くとなっている。小学生では、「育児休業期間を調整せずにできた」が5割と多く、次いで「育児休業期間を調整したのでできた」が2割台、「希望しなかった」が2割近くとなっている。
 - ◆希望より早い理由(母親):就学前児童では、「希望する保育所に入るため」が5割と多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が4割台、「子どもの教育や発達のため」「子育てによる身体の疲れやストレスがあったため」がともに2割程度となっている。小学生では、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が3割程度と多く、次いで「希望する保育所に入るため」「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」「職場に長期休暇をとりにくい雰囲気があるため」がそれぞれ1割台となっている。

- ◆短時間勤務制度の利用(母親):就学前児童では、「短時間勤務制度を利用しなかった」が6割近くと多く、「短時間勤務制度を利用した」が3割程度となっている。小学生では、「短時間勤務制度を利用しなかった」が5割と多く、「短時間勤務制度を利用した」が4割台となっている。
- ◆短時間勤務制度の利用(父親):就学前児童では、「短時間勤務制度を利用しなかった」が6割台と多くとなっている。
- ◆利用しなかった理由(母親):就学前児童では、「経済的に苦しくなる」が7割台と多く、次いで「仕事が忙しかった」が5割台、「知らなかった」が1割台となっている。

13. 日頃の子育てなどについて（就学前児童・小学生共通）

- ◆朝食の状況:就学前児童では、「母親又は父親どちらかと子どものみで食べている」が5割台と多く、次いで「ほぼ家族全員そろって朝食を食べている」が2割台、「親と子どもが、それぞれ別の時間に食べている」が1割台となっている。小学生では、「母親又は父親どちらかと子どものみで食べている」が4割程度と多く、次いで「親と子どもが、それぞれ別の時間に食べている」が3割、「ほぼ家族全員そろって朝食を食べている」が2割台となっている。
- ◆家族がそろった朝食・夕食の希望:就学前児童では、「食べたいと思う」が10割となっている。小学生では、「食べたいと思う」が9割程度と多くなっている。
- ◆父親の子どもへのかかわり:就学前児童では、「食事を作る」では、「時々する」が4割台と多く、次いで「まったくしない」「あまりしない」がともに2割台となっている。「洗濯をする」では、「時々する」が4割台と多く、次いで「まったくしない」が2割台、「あまりしない」が2割近くとなっている。「掃除をする」では、「時々する」が5割と多く、次いで「あまりしない」が2割近く、「まったくしない」が1割台となっている。「買物をする」では、「時々する」が7割と多く、次いで「まったくしない」が1割台、「あまりしない」が1割となっている。「子どもをお風呂に入れる」では、「時々する」が5割程度と多く、次いで「毎日する」が3割台、「あまりしない」が1割となっている。「子どもと遊ぶ」では、「毎日する」が5割近くと多く、次いで「時々する」が4割台となっている。
小学生では、「食事を作る」では、「時々する」が3割程度と多く、次いで「あまりしない」「まったくしない」が3割近くとなっている。「洗濯をする」では、「まったくしない」が3割台と多く、次いで「時々する」が3割近く、「あまりしない」が2割近くとなっている。「掃除をする」では、「時々する」が4割近くと多く、次いで「あまりしない」「まったくしない」がともに2割台となっている。「買物をする」では、「時々する」が5割台と多く、次いで「あまりしない」が2割台、「まったくしない」が1割台となっている。「子どもをお風呂に入れる」では、「時々する」が6割程度と多く、次いで「毎日する」が2割程度、「まったくしない」が1割程度となっている。「子どもと遊ぶ」では、「時々する」が5割台と多く、次いで「毎日する」が3割台となっている。
- ◆子育てに関する負担感:就学前児童では、「なんとなく負担を感じる」が4割近くと多く、次いで「あまり負担は感じない」が3割台、「全く感じない」が1割台となっている。小学生では、「あまり負担は感じない」が4割台と多く、次いで「なんとなく負担を感じる」が3割台、「全く感じない」「何ともいえない」が1割近くとなっている。
- ◆子育てで特に負担に思うこと:就学前児童では、「自分の自由な時間が持てない」が6割台と多く、次いで「子育てで出費がかさむ」が6割近く、「子育てによる身体の疲れが大きい」が5割台となっている。小学生では、「子育てで出費がかさむ」「自分の自由な時間が持てない」がともに6割近くと多く、次いで

「子育てによる身体の疲れが大きい」が5割台となっている。

- ◆子育ての悩み気になること:就学前児童では、「食事や栄養に関すること」「病気や発育・発達に関すること」がともに4割台と多く、次いで「仕事ややりたいことが十分できないこと」が3割台となっている。小学生では、「病気や発育・発達に関すること」が4割近くと多く、次いで「食事や栄養に関すること」が3割台、「子どもとの時間を十分とれないこと」が2割台となっている。
- ◆子育て情報の入手先:就学前児童では、「親族」が7割近くと多く、次いで「インターネット」が6割台、「保育所、幼稚園、学校」が6割近くとなっている。小学生では、「インターネット」が6割と多く、次いで「隣近所の人、知人、友人」「子育ての仲間」がともに5割台となっている。
- ◆子どもを虐待しているのではないかと思うこと:就学前児童では、「全くない」が4割台と多く、次いで「あまりない」が4割程度、「ときどきある」が1割台となっている。小学生では、「全くない」が5割近くと多く、次いで「あまりない」が3割台、「ときどきある」が1割台となっている。
- ◆虐待していると思う状況:就学前児童では、「感情的な言葉」が10割と多く、次いで「たたくなど」が3割程度となっている。小学生では、「感情的な言葉」が9割程度と多く、次いで「たたくなど」が2割台、「過剰なしつけ」が1割台となっている。
- ◆児童虐待通報先を知っている:就学前児童では、「はい」が5割近くと多く、「いいえ」が4割台となっている。小学生では、「はい」が5割程度と多く、「いいえ」が4割台となっている。
- ◆身近で児童虐待と思うようなことに出会ったこと:就学前児童では、「いいえ」が9割程度と多くなっている。小学生では、「いいえ」が9割台と多くなっている。
- ◆子どもとの外出の際、困ることや困ったこと:就学前児童では、「買い物等の気分転換に遊ばせる場所がない・少ない」「暗い通り等が多く、犯罪被害にあわないか心配」がともに5割台と多く、次いで「歩道や信号がない通りが多く安全性が心配」が4割台となっている。小学生では、「暗い通り等が多く、犯罪被害にあわないか心配」が5割台と多く、次いで「歩道や信号がない通りが多く安全性が心配」が5割程度、「買い物等の気分転換に遊ばせる場所がない・少ない」が4割近くとなっている。
- ◆近所の子どもの遊び場で感じていること:就学前児童では、「雨の日に遊べる場所がない・少ない」が7割程度と多く、次いで「近くに遊び場がない・少ない」が7割近く、「遊具の種類が充実していない」が4割程度となっている。小学生では、「近くに遊び場がない・少ない」が7割近くと多く、次いで「雨の日に遊べる場所がない・少ない」が5割台、「遊具の種類が充実していない」が4割近くとなっている。
- ◆子育て支援環境充実に望ましい支援策:就学前児童では、「身近で子連れでも出かけやすく楽しめる場の増加」が7割台と多く、次いで「屋内で子どもが安心して遊べる場所の充実」が7割程度、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制の整備」が5割台となっている。小学生では、「身近で子連れでも出かけやすく楽しめる場の増加」が6割程度と多く、次いで「屋内で子どもが安心して遊べる場所の充実」「安心して子どもが医療機関にかかれる体制の整備」がともに5割近くとなっている。
- ◆子育てについて芝山町の印象:就学前児童では、「どちらともいえない」が4割程度と多く、次いで「子育てしやすいまちだと思わない」が4割近く、「子育てしやすいまちだと思う」が2割程度となっている。小学生では、「子育てしやすいまちだと思わない」が4割程度と多く、次いで「どちらともいえない」が4割近く、「子育てしやすいまちだと思う」が2割近くとなっている。
- ◆子育てしやすいまちと思う理由:就学前児童では、「保育所、幼稚園などが利用しやすい」が8割台と多く、次いで「自然環境が良い」が6割台となっている。小学生では、「自然環境が良い」が9割近くと多く、

次いで「保育所、幼稚園などが利用しやすい」が4割台、「住環境が良い」「事故や犯罪が少ない」がともに3割程度となっている。

- ◆子育てしやすいまちと思わない理由：就学前児童では、「公園や児童センターなど子どもの遊び場が少ない」が8割近くと多く、次いで「交通機関が不便である」が7割台、「保育サービスが充実していない」が4割程度となっている。小学生では、「交通機関が不便である」が9割近くと多く、次いで「公園や児童センターなど子どもの遊び場が少ない」が7割程度、「住環境が良くない」が3割台となっている。

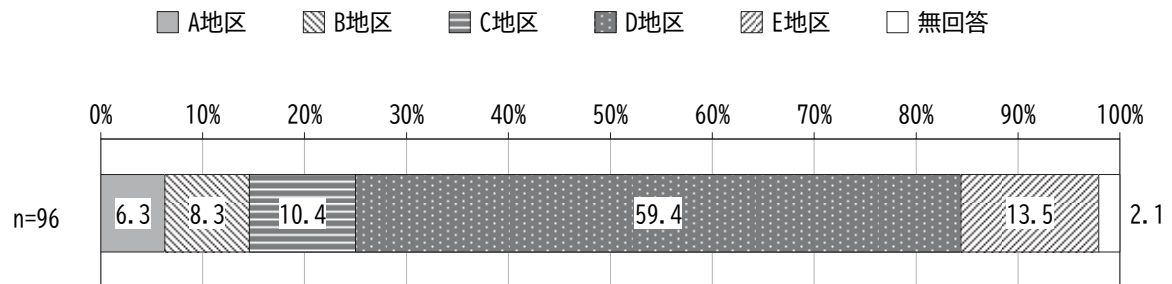
〔3〕就学前児童世帯調査結果

1. 居住地区

問1 居住地区

問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

「D地区」が59%と多く、次いで「E地区」が14%、「C地区」が10%となっている。



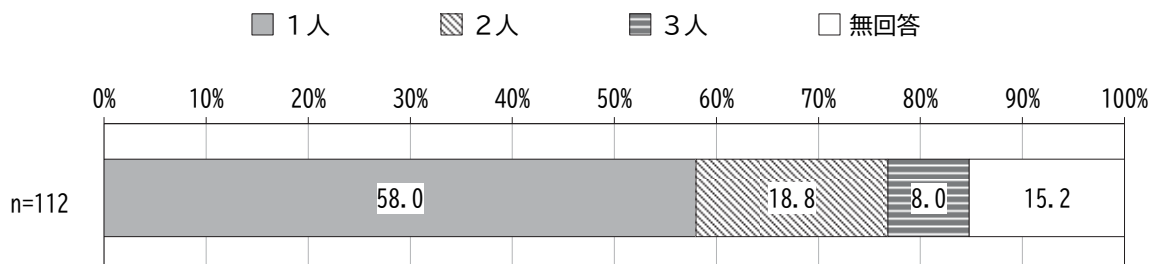
地区分け	該当居住地区
A地区	菱田東、中郷、辺田、菱田宿、中谷津、住母家、千代田、坂志岡、加茂
B地区	谷平野、白栴、浅川・稲葉、飯櫃、小原子、山田
C地区	牧野東、牧野西、宝馬、岩山、川津場、あけぼの、スカイビレッジ、三和、朝倉、一本松
D地区	小池3、小池4、小池5、小池6、小池8、バルールド、大台西、大台南、高田東、高田西、新井田、新井田新田、はにわ台東、はにわ台南、はにわ台北1、はにわ台北2、ハニワ台ニュータウン、芝山台
E地区	小池1、小池2、小池7、小池9、芝山、山中東、山中西、高谷、殿部田、境・宮崎、上吹入、下吹入、大台北、大台宿、

2. 子どもと家族の状況

問2 小学校就学前の子どもの人数

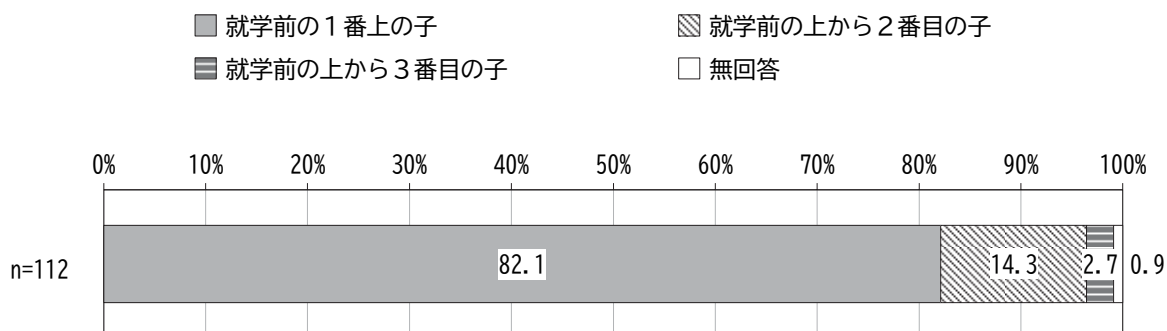
問2 あなたのご家庭には、小学校就学前（平成29年4月2日以降生まれ）のお子さんが、何人いますか。また、封筒の宛名のお子さんは、小学校就学前のお子さんの中で何番目にあたりますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。さらにそれぞれのお子さんの生まれ年月を合わせてお答えください。

「1人」が58%と多く、次いで「2人」が19%、「3人」が8%となっている。



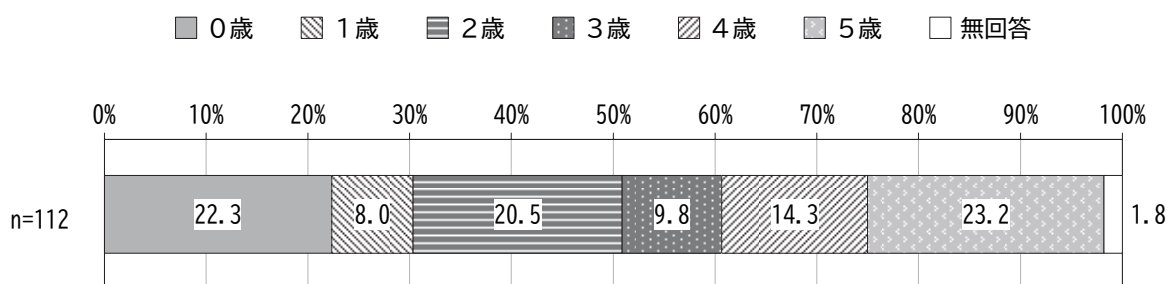
問2-1 宛名の子ども

「就学前の1番上の子」が82%と多く、次いで「就学前の上から2番目の子」が14%となっている。



問2-5 就学前の子の年齢（合計）

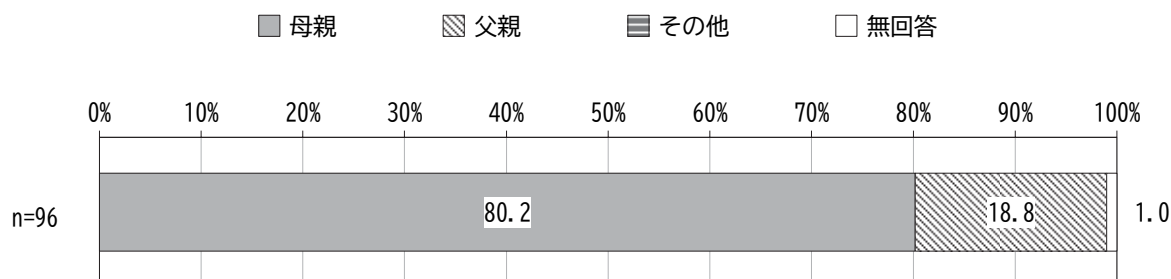
「5歳」が23%と多く、次いで「0歳」が22%、「2歳」が21%となっている。



問3 回答者

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

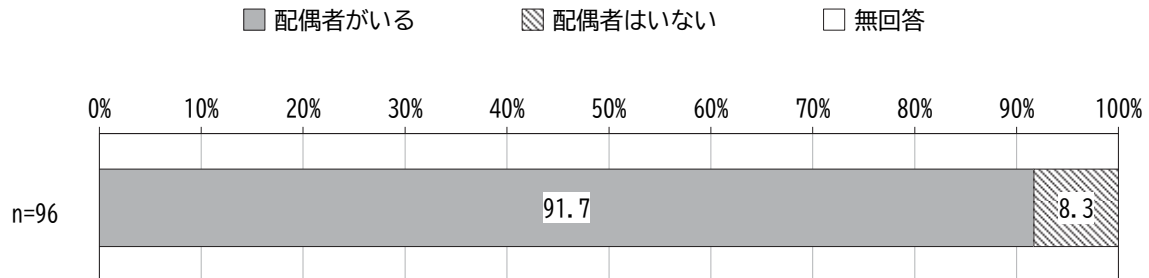
「母親」が80%と多く、次いで「父親」が19%となっている。



問4 回答者の配偶関係

問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

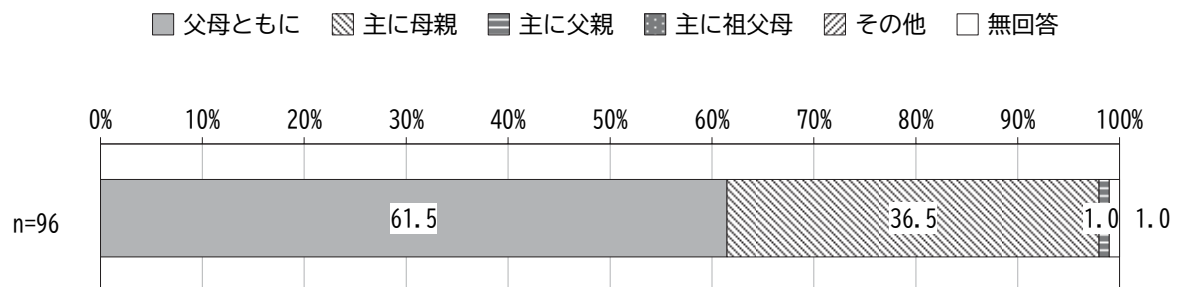
「配偶者がいる」が92%と多く、「配偶者はいない」が8%となっている。



問5 主な育児者

問5 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父母ともに」が62%と多く、次いで「主に母親」が37%となっている。

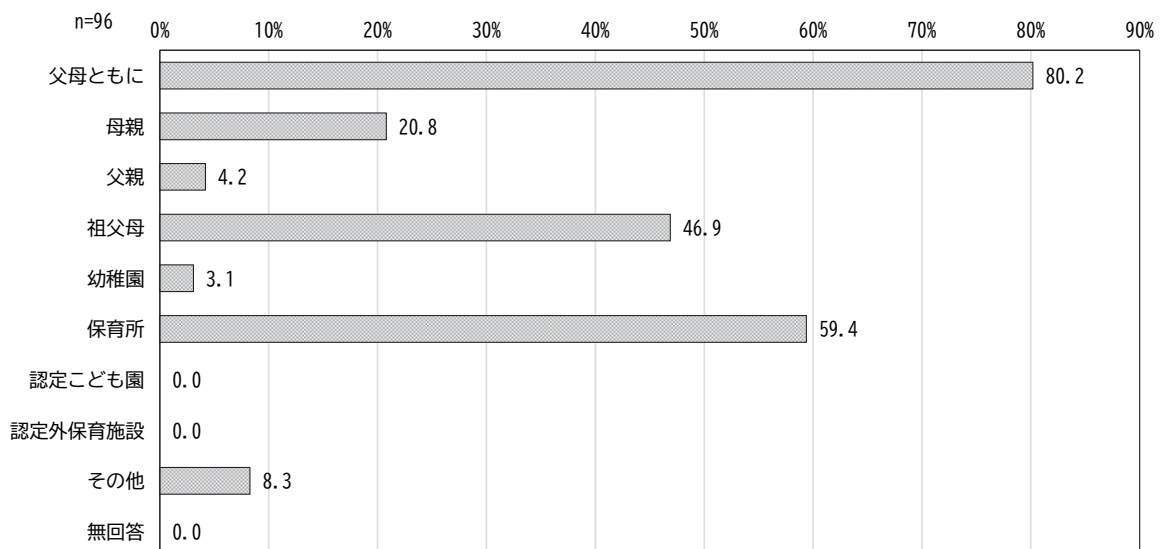


3. 子どもの育ちをめぐる環境

問6 主に子どもの世話をしている方

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、日常的にかかわっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

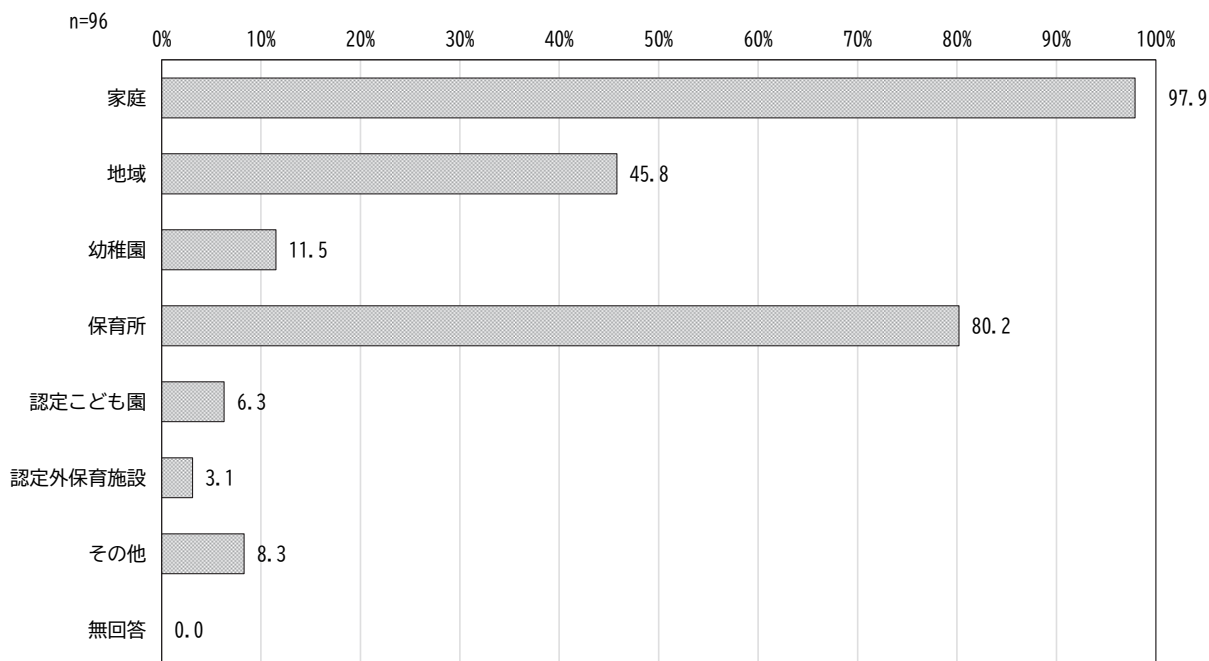
「父母ともに」が80%と多く、次いで「保育所」が59%、「祖父母」が47%となっている。



問7 子育てに最も影響する環境

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

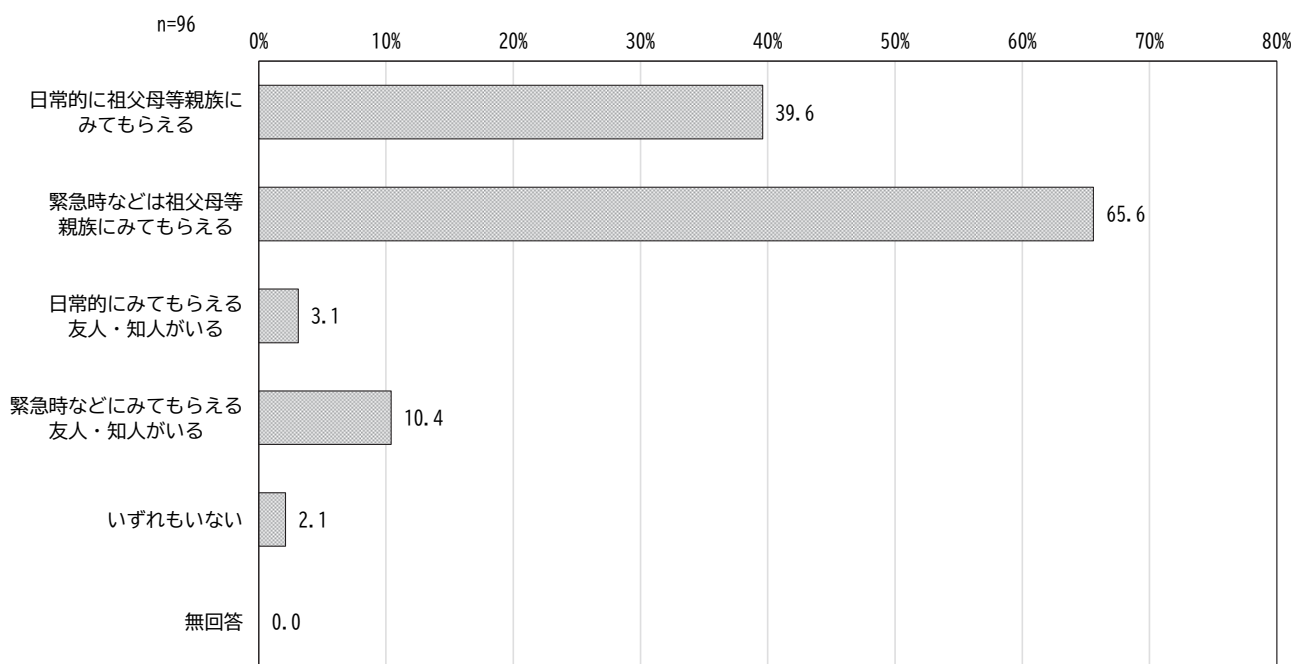
「家庭」が98%と多く、次いで「保育所」が80%、「地域」が46%となっている。



問8 子どもを預かってくれる人の状況

問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

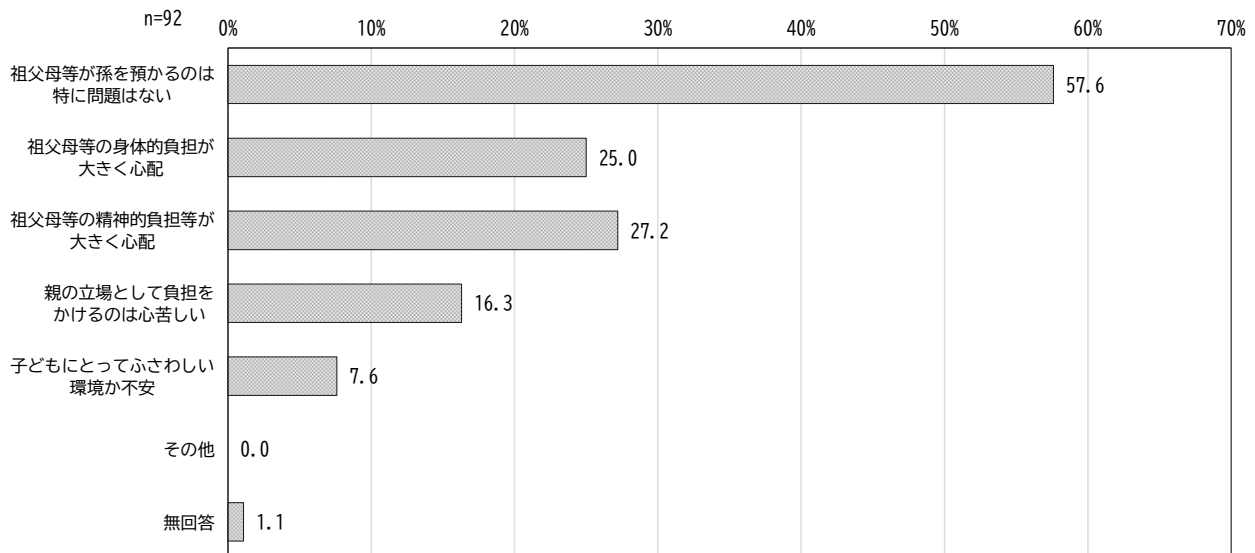
「緊急時などは祖父母等親族にみてもらえる」が66%と多く、次いで「日常的に祖父母等親族にみてもらえる」が40%、「緊急時などにみてもらえる友人・知人がいる」が10%となっている。



問8-1 祖父母等の預かりについての考え

問8-1 問8で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」又は「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

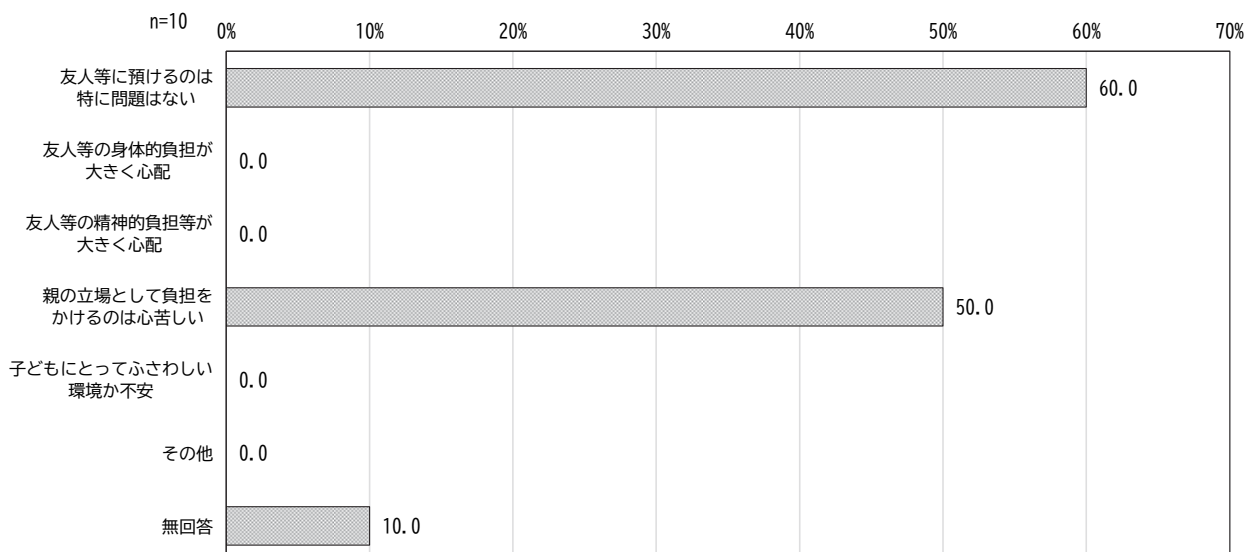
「祖父母等が孫を預かるのは特に問題はない」が 58%と多く、次いで「祖父母等の精神的負担等が大きく心配」が 27%、「祖父母等の身体的負担が大きく心配」が 25%となっている。



問8-2 友人等の預かりについての考え

問8-2 問8で「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」又は「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

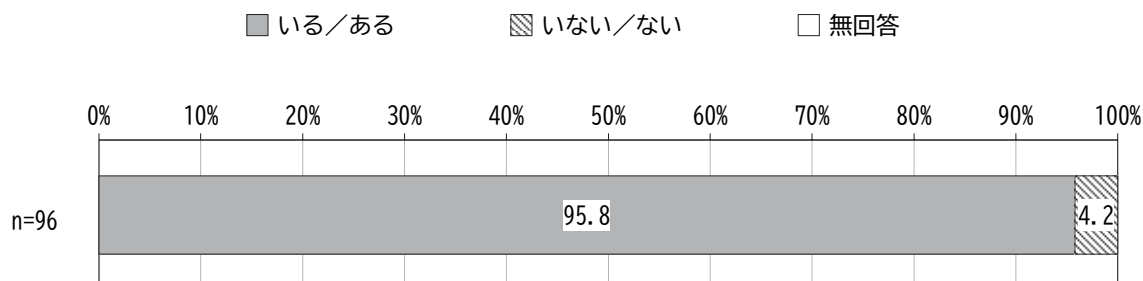
「友人等に預けるのは特に問題はない」が 60%と多く、次いで「親の立場として負担をかけるのは心苦しい」が 50%となっている。



問9-① 相談できる人・場所

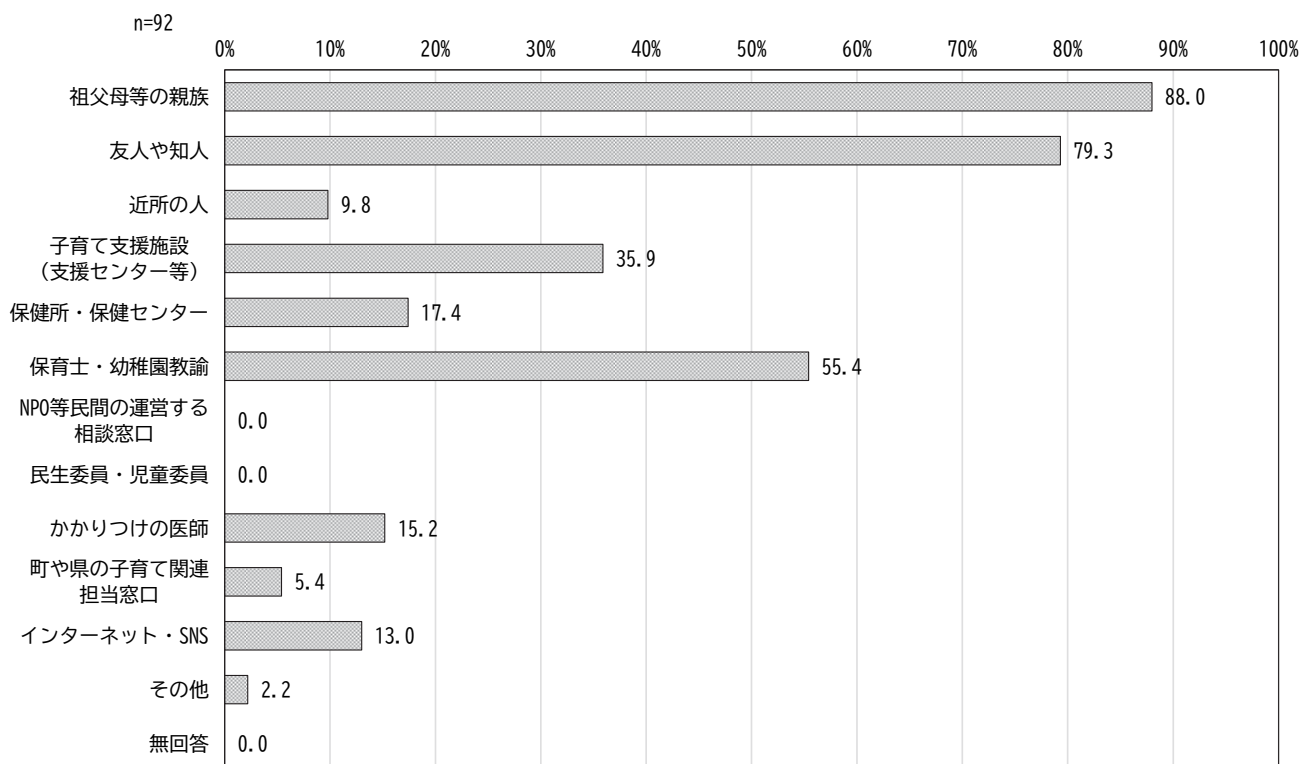
問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか。

「いる／ある」が96%と多くなっている。



問9-② 気軽にできる相談先

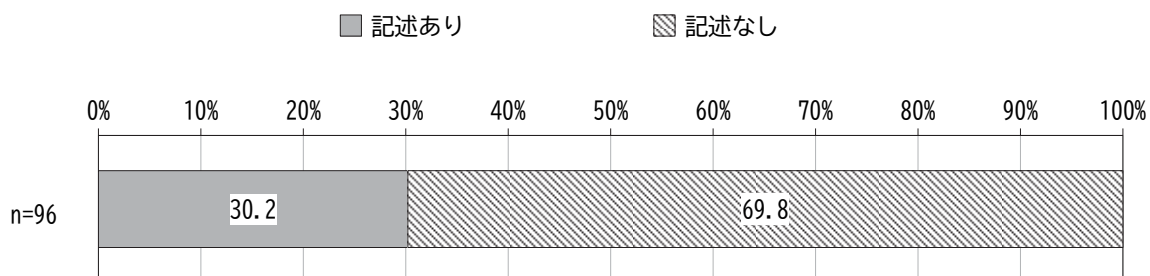
「祖父母等の親族」が88%と多く、次いで「友人や知人」が79%、「保育士・幼稚園教諭」が55%となっている。



問 10 希望する周囲からのサポート

問 10 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えですか。ご自由にお書きください。

「記述なし」が 70%と多く、「記述あり」が 30%となっている。



※再掲

地区分け	該当居住地区
A 地区	菱田東、中郷、辺田、菱田宿、中谷津、住母家、千代田、坂志岡、加茂
B 地区	谷平野、白樹、浅川・稲葉、飯櫃、小原子、山田
C 地区	牧野東、牧野西、宝馬、岩山、川津場、あけぼの、スカイビレッジ、三和、朝倉、一本松
D 地区	小池 3、小池 4、小池 5、小池 6、小池 8、バルールド、大台西、大台南、高田東、高田西、新井田、新井田新田、はにわ台東、はにわ台南、はにわ台北 1、はにわ台北 2、ハニワ台ニュータウン、芝山台
E 地区	小池 1、小池 2、小池 7、小池 9、芝山、山中東、山中西、高谷、殿部田、境・宮崎、上吹入、下吹入、大台北、大台宿、

居住地区	主な育児者	記述内容
D 地区	父母ともに	それぞれの家庭に合ったサポート。
D 地区	父母ともに	気軽に相談できるシステムを作る。
D 地区	父母ともに	・子どもが少ないので、見守りをして頂けると助かります。・行政の方には、それぞれの家庭に合ったサポートをして頂きたい。（家庭状況や仕事などで、できること等は変わってくるので）
D 地区	父母ともに	・親身になって話を聞いてくれる。・それぞれの家庭・家族に合ったサポート。
D 地区	父母ともに	・ファミサポ的な金銭で短時間子供をみてもらえるシステムがほしい（知人等をお願いする際、お礼等の準備が大変な為と気軽に利用したいため）・子供に色々な事に興味をもってほしい。体験イベントを開催してほしい。
B 地区	父母ともに	L I N E 等の SNS サービス。24 時間対応のかかりつけ医サービス等。

居住地区	主な育児者	記述内容
D地区	主に母親	子どもの遊び場（支援センター等）気軽に遊びに行ける場所を増やしてほしい。※土・日・祝日もやっているとなおありがたい。英語やリトミック等、学べる支援を行ってほしい。
D地区	主に母親	産後3ヵ月くらいまでは、ゆっくり眠ることが出来ず、リフレッシュしたくても疲れてでかける気にもなれなかった。祖父母に頼れない時もあった。そんな時に少しでも赤ちゃんをみてくれてママがしっかり休める時間を作るサポートがあればいいなと思いました。
D地区	父母ともに	・病児保育があるとたすかります。
D地区	父母ともに	一時保育、病児保育などあるといいです。一時保育は7ヵ月からとありますが5ヵ月からなどがあると助かる。
E地区	父母ともに	泣ける場所。弱音を吐ける場所。
D地区	主に母親	7ヶ月未満でも預けられるところが欲しい。
D地区	主に母親	生後7ヶ月未満でも預けられる保育の充実。
D地区	主に母親	経済的にきびしいので手当など充実。
E地区	主に父親	周辺の保育所の空き状況、雰囲気を教えて欲しい。
C地区	父母ともに	・土日の託児と保護者の体調不良時の送り迎えのサポート・子育て支援センターの土日開放。
D地区	主に母親	補助金などの制度があれば教えてほしい。
A地区	父母ともに	・相談する場所の情報発信をもっと行なってほしい。
E地区	主に母親	○子育てをしている人の肉体的・精神的負担を軽減するサポート（産後ケア、各種相談、一時保育、家事・育児の分担や代行など）○必要なタイミングで必要な情報を簡単に得られるサポート（入園や就学、予防接種、感染症の流行状況、各種手続き、子育てに関する情報など）○親だけではカバーできない時間的負担を代行するサポート（送迎、休日の保育、非常時に子どもをみるなど）
E地区	父母ともに	初めてのことで、子ども1人1人違うと分かっているけど、不安になり、分からなくても手さぐりでやっています。「今どんなことで悩んでいますか？」と聞いてくれたり、話をするだけで、心が救われたり、ヒントになると思います。LINEで町の保健センターの方に相談できたり、電話で話を聞いてくれたり、子育て相談会（年齢別）みたいに保護者が集まって話をできる場があると、情報交換できて良いかなと思います。
B地区	父母ともに	情報提供：子育てに関する情報やアドバイス、また、子育てに関連する費用のサポート。

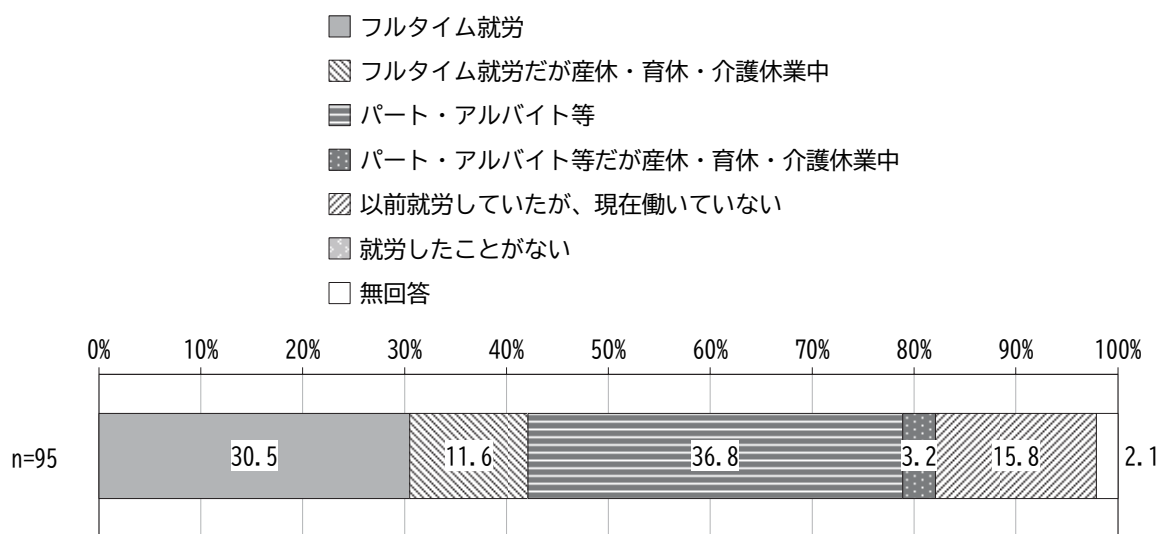
居住地区	主な育児者	記述内容
D地区	父母ともに	まず顔がわからない。見えない人に相談できない。現場に顔を出して、親に認識してもらってはじめてサポートするという考えを持ってもらいたい。どうしたらいいのかわからない時に顔が出てこないことには何が必要か理解もできないし、理解しようとしてくれている気持ちも何も見えずに、行政が何をしているのか見えない。
B地区	父母ともに	SNSやチャット等、気軽に専門家へ相談できると助かる。
D地区	父母ともに	3才児検診のような年齢別の個別相談があったらささいな心配事などを相談・解消できる機会になるかもしれない。希望者のみであれば負担も少ないのでは。
D地区	父母ともに	平日仕事をして、その間子供は保育所へ行っています。子育て支援センターには行ったことはありません。(赤ちゃんの時は、他市区町村にいたので芝山での話です) 土曜日も支援センターの開放をお願いします。
D地区	父母ともに	子供の急な体調不良があった際、どこに行けば受診できるのかいつも迷う。特に土日、休日の場合は、何軒もあたってようやく探せた。ということもあったのでそのような状況でもすぐに診てもらえる医院等のリストがあると嬉しいです。
E地区	主に母親	月1や月2などで現状のヒアリングを行なえば、子育てに力をいれていると思える。半年に1回でもよいです。

4. 保護者の就労状況

問 11 (1) - ① 母親の就労状況

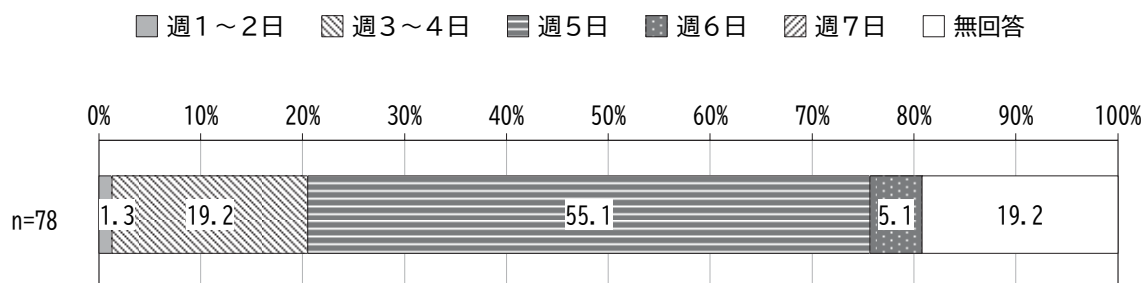
問 11 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。
 (1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号 1 つに○をつけてください。母親の「就労状況」と「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。また、産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況でお答えください。

「パートタイム・アルバイト等」が 37%と多く、次いで「フルタイム就労」が 31%、「以前就労していたが、現在働いていない」が 16%となっている。



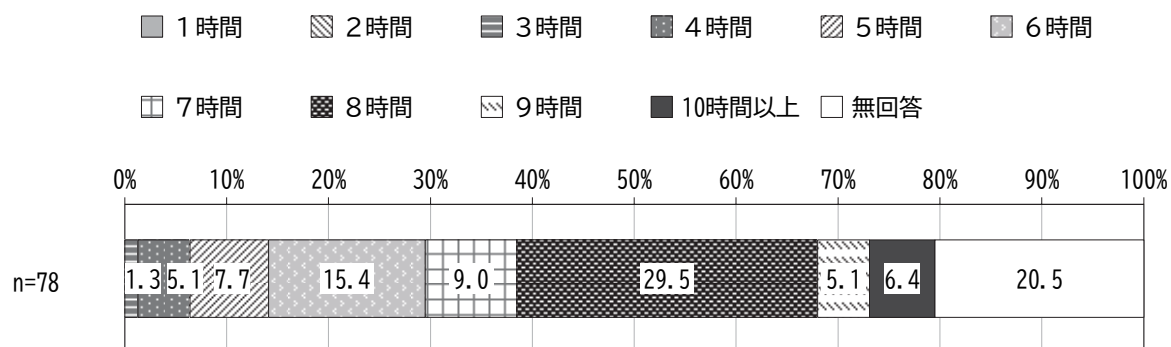
問 11 (1) - ② - 1 就労日数

「週5日」が 55%と多く、次いで「週3～4日」が 19%、「週6日」が5%となっている。



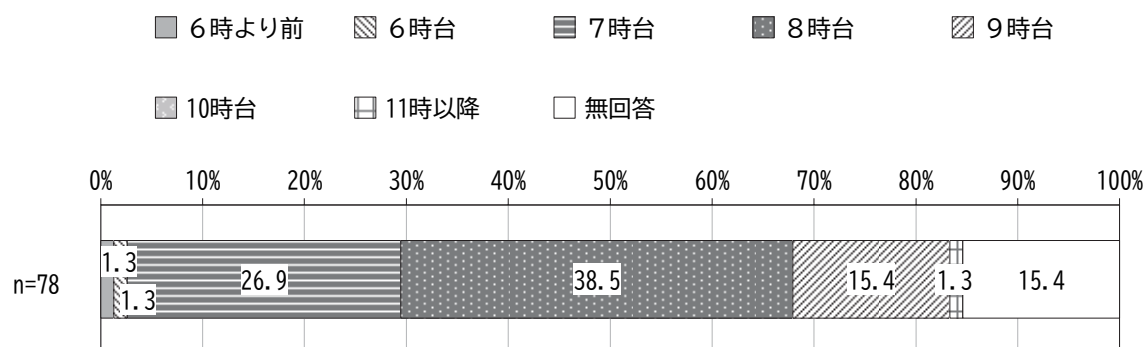
問 11（1）－②－2 就労時間

「8時間」が 30%と多く、次いで「6時間」が 15%、「7時間」が9%となっている。



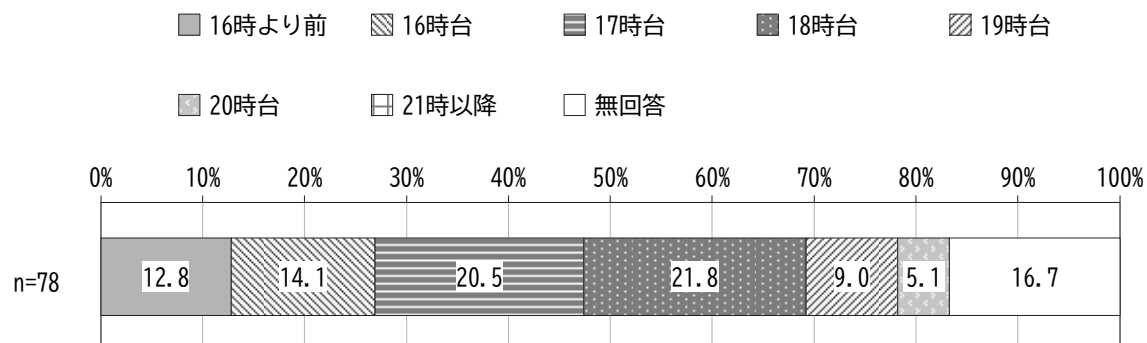
問 11（1）－②－3 家を出る時間

「8時台」が 39%と多く、次いで「7時台」が 27%、「9時台」が 15%となっている。



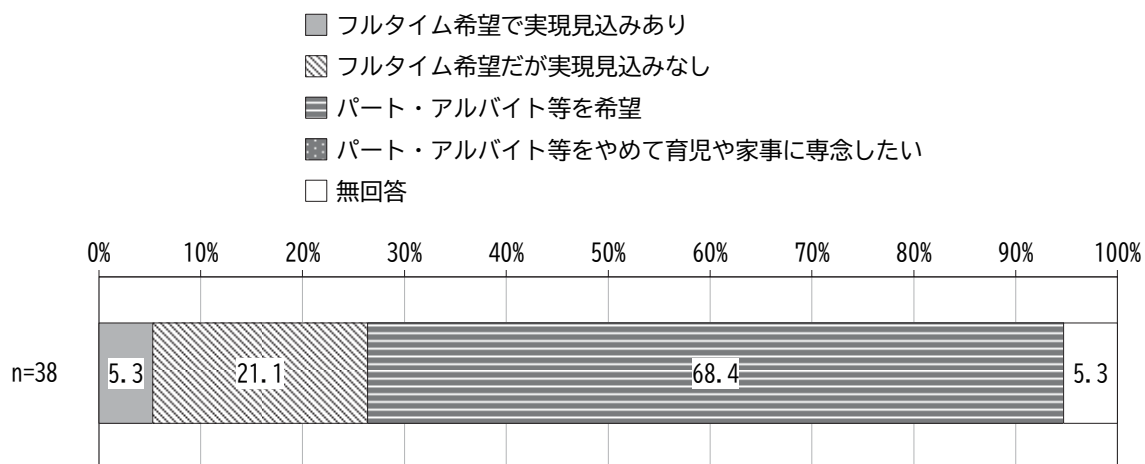
問 11（1）－②－4 帰宅時間

「18 時台」が 22%と多く、次いで「17 時台」が 21%、「16 時台」が 14%となっている。



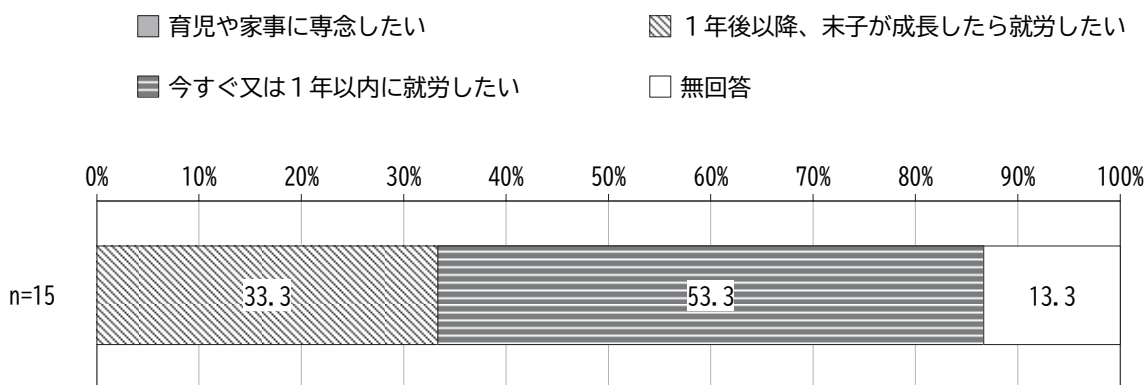
問 11（1）－③ パート・アルバイト等の方のフルタイムへの転換希望

「パート・アルバイト等を希望」が 68%と多く、次いで「フルタイム希望だが実現見込みなし」が 21%、「フルタイム希望で実現見込みあり」が5%となっている。



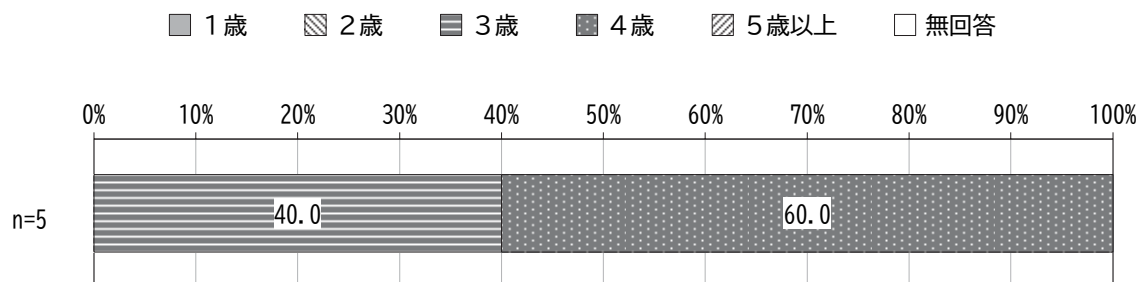
問 11（1）－④－1 就労していない方の就労への考え

「1年後以降、末子が成長したら就労したい」が 53%と多く、次いで「今すぐ又は1年以内に就労したい」が 33%となっている。



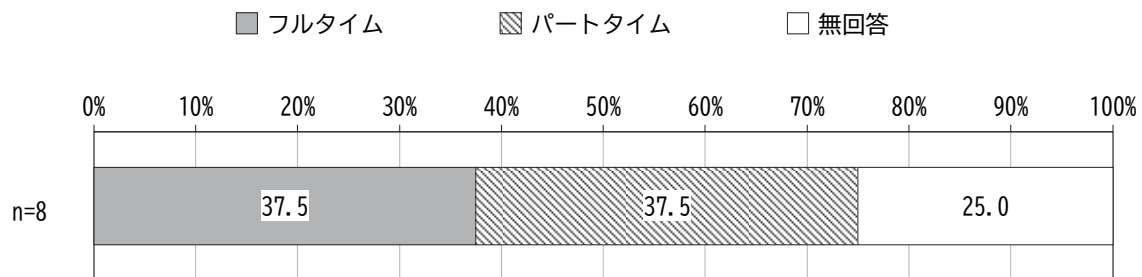
問 11（1）－④－2 就労希望の末子の年齢

件数は少ないが、「4歳」が 60%と多く、次いで「3歳」が 40%となっている。



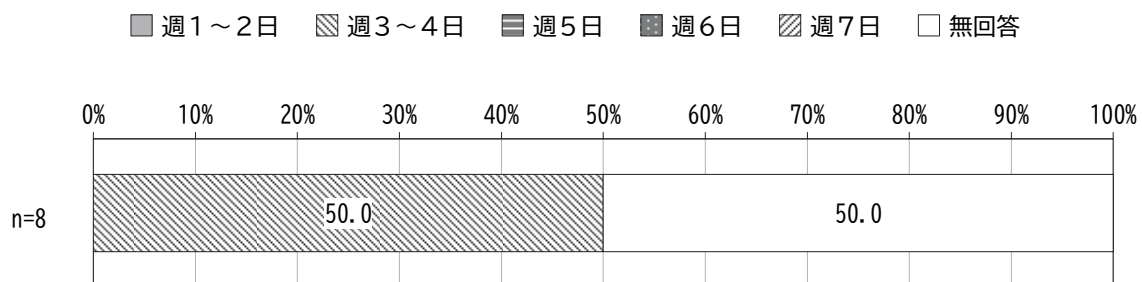
問 11（1）－④－3 希望就労形態

件数は少ないが、「フルタイム」「パートタイム」という回答がみられる。



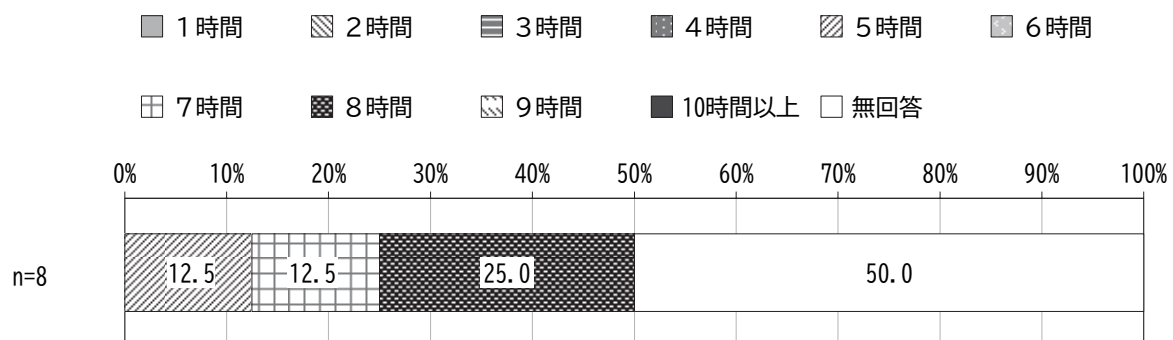
問 11（1）－④－3－1 希望就労日数

件数は少ないが、「週3～4日」という回答がみられる。



問 11（1）－④－3－2 希望就労時間

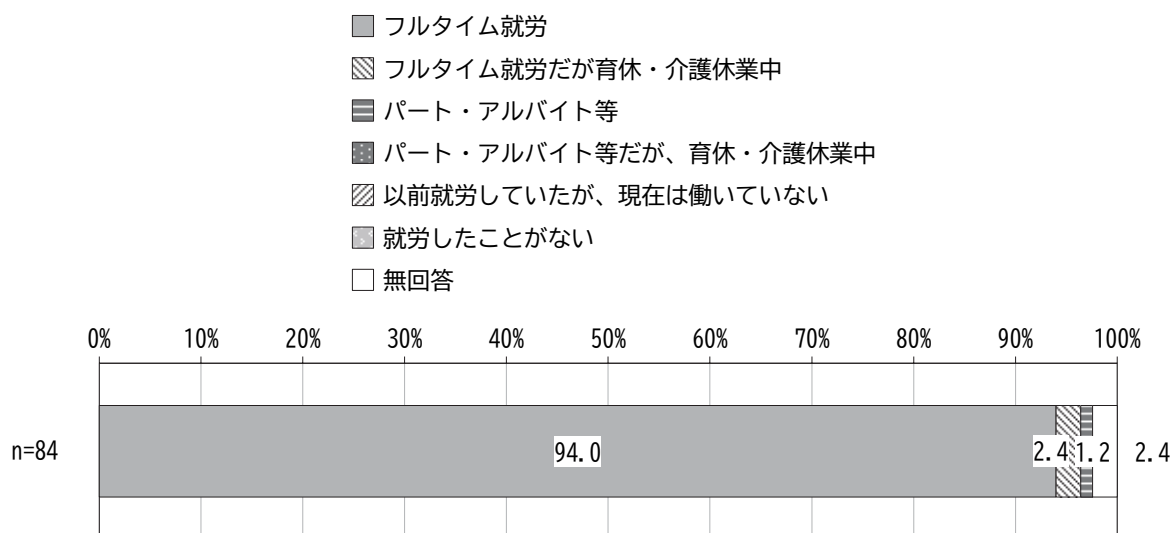
件数は少ないが、「8時間」という回答がやや多くみられる。



問 11（2）－① 父親の就労状況

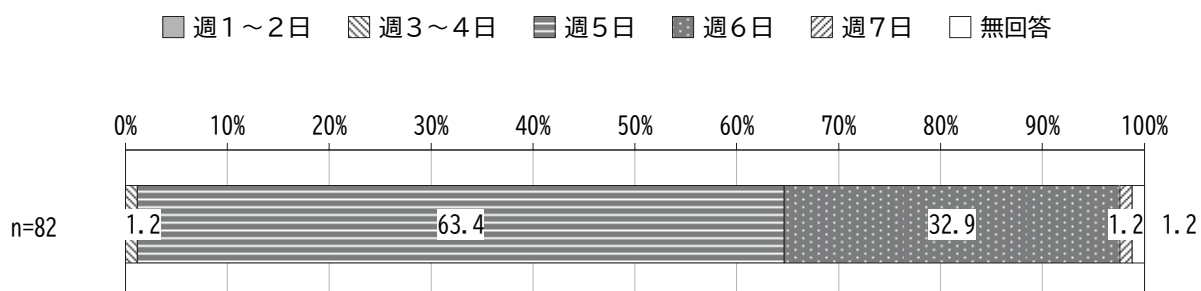
問 11 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。
 （2）父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号 1 つに○をつけてください。父親の「就労状況」と「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。また、育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況でお答えください。

「フルタイム就労」が 94%と多くなっている。



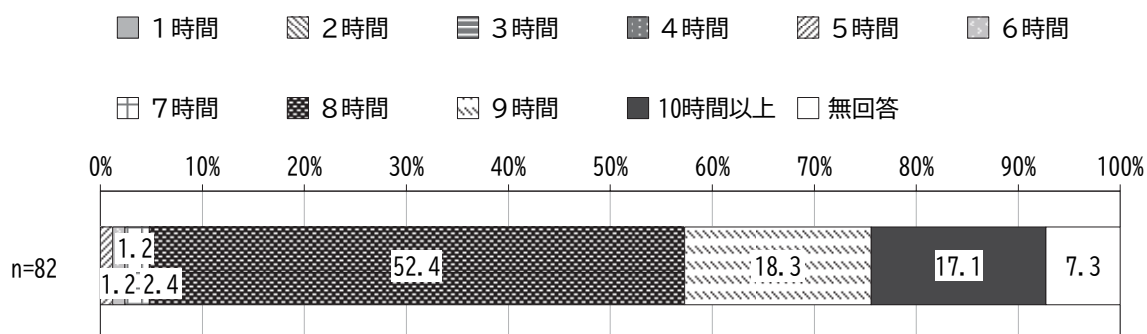
問 11（2）－②－1 就労日数

「週5日」が 63%と多く、次いで「週6日」が 33%となっている。



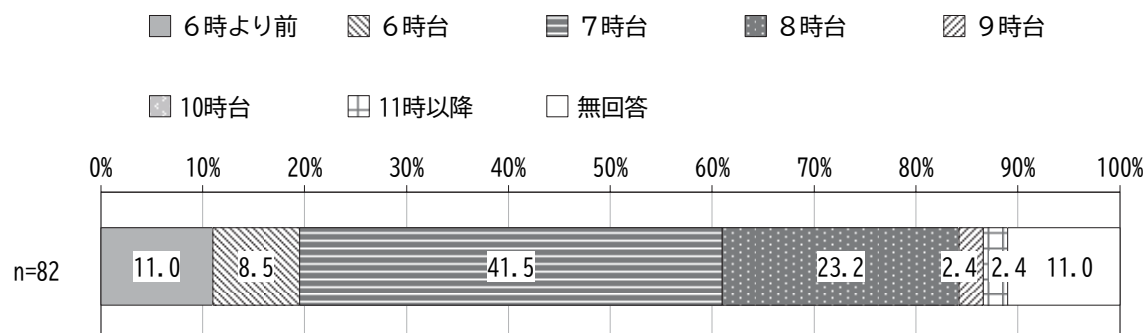
問 11（2）－②－2 就労時間

「8時間」が 52%と多く、次いで「9時間」が 18%、「10 時間以上」が 17%となっている。



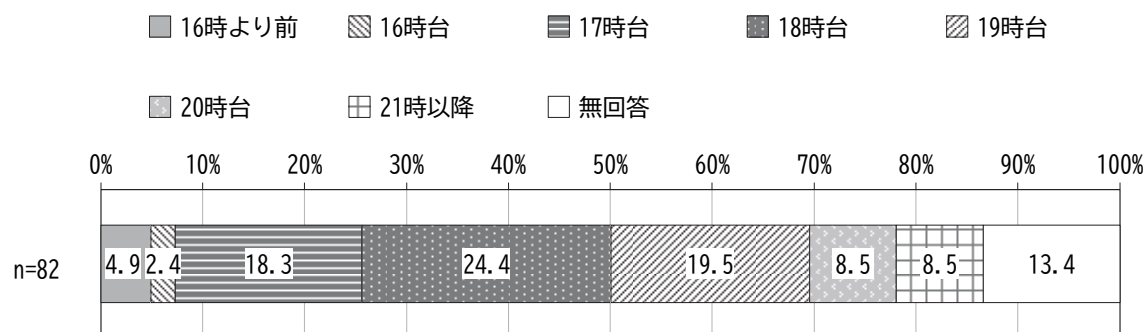
問 11（2）－②－3 家を出る時間

「7時台」が 42%と多く、次いで「8時台」が 23%、「6時より前」が 11%となっている。



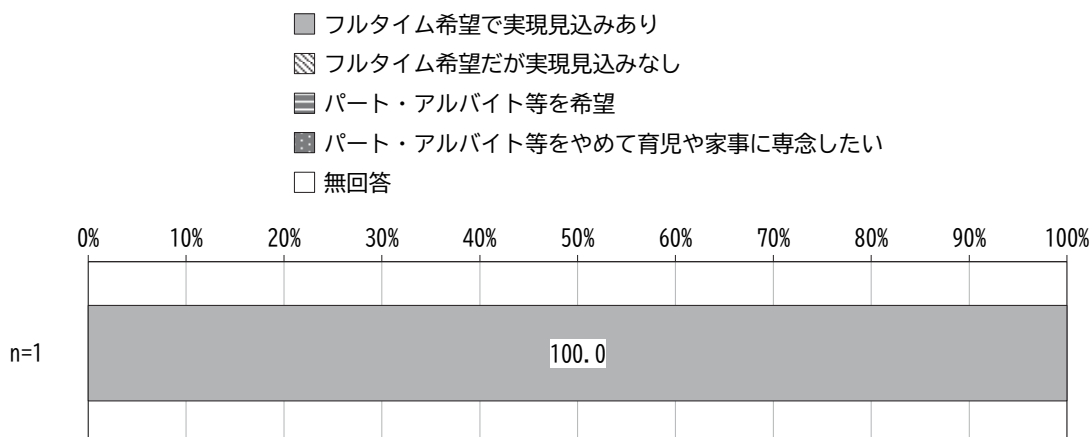
問 11（2）－②－4 帰宅時間

「18 時台」が 24%と多く、次いで「19 時台」が 20%、「17 時台」が 18%となっている。



問 11（２）－③ パート・アルバイト等の方のフルタイムへの転換希望

件数は少ないが、「フルタイム希望で実現見込みあり」という回答がみられる。

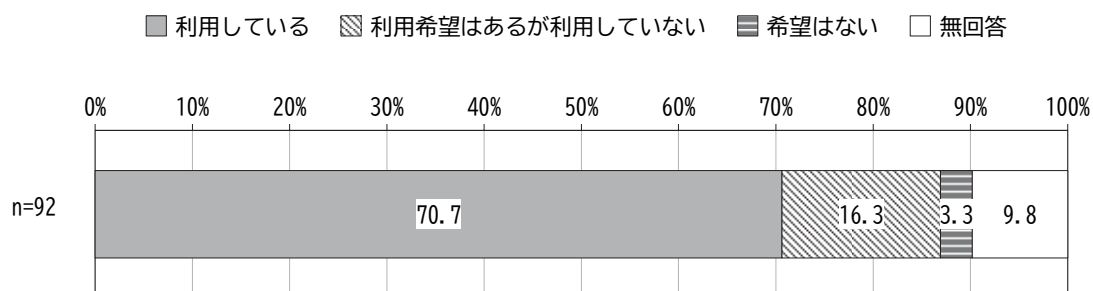


5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

問 12A－① 小学校就学前の１番上の子：教育・保育事業の利用状況

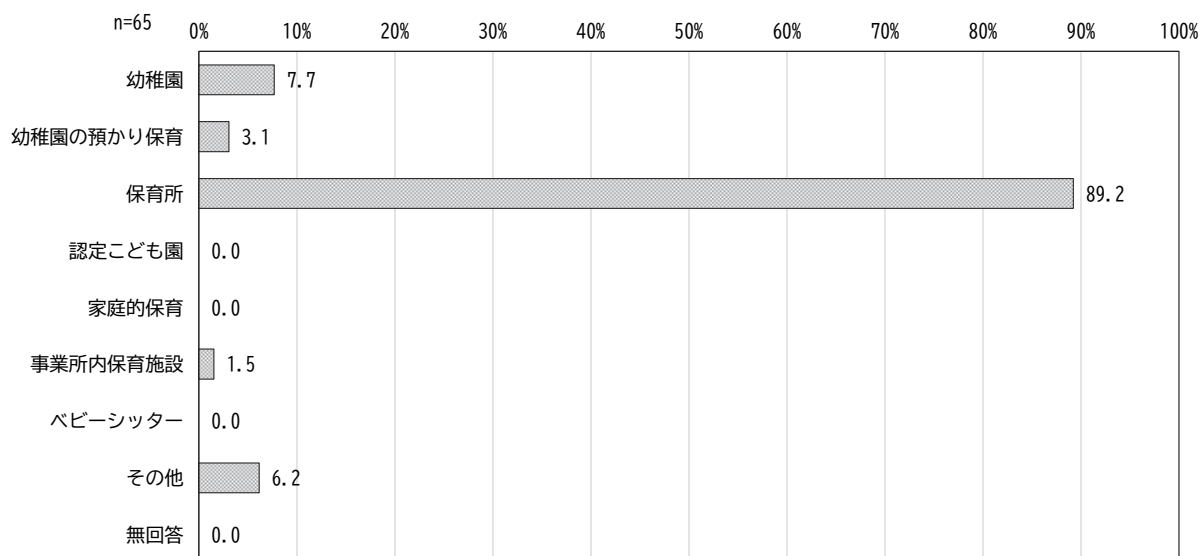
問 12 問 2 で答えた小学校就学前のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「利用している」が 71%と多く、次いで「利用希望はあるが利用していない」が 16%となっている。



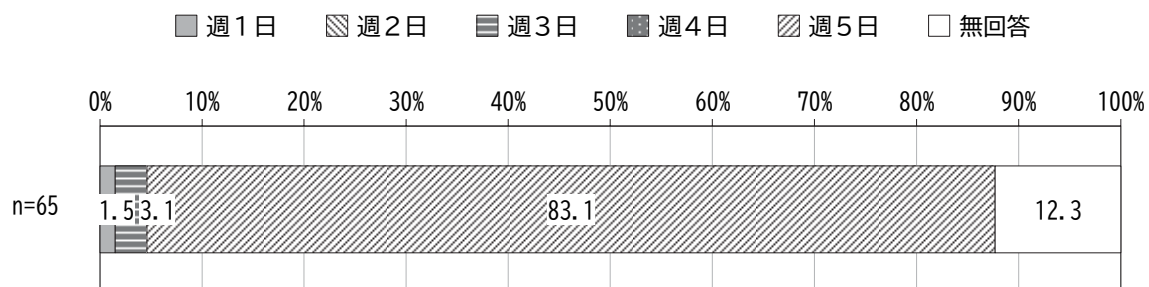
問 12A－② 小学校就学前の１番上の子：利用中の教育・保育事業

「保育所」が 89%と多く、次いで「幼稚園」が 8%となっている。



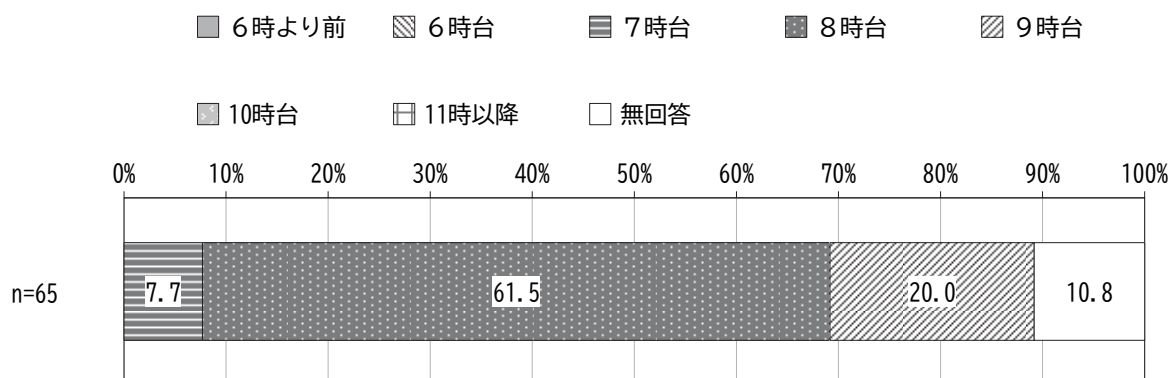
問 12A-②-1 小学校就学前の1番上の子：利用日数（現在）

「週5日」が83%と多くなっている。



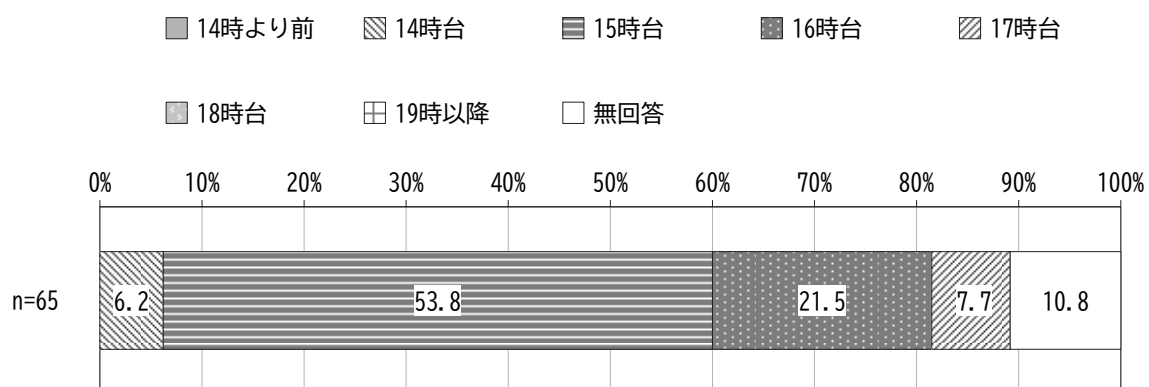
問 12A-②-1 小学校就学前の1番上の子：利用開始時間（現在）

「8時台」が62%と多く、次いで「9時台」が20%、「7時台」が8%となっている。



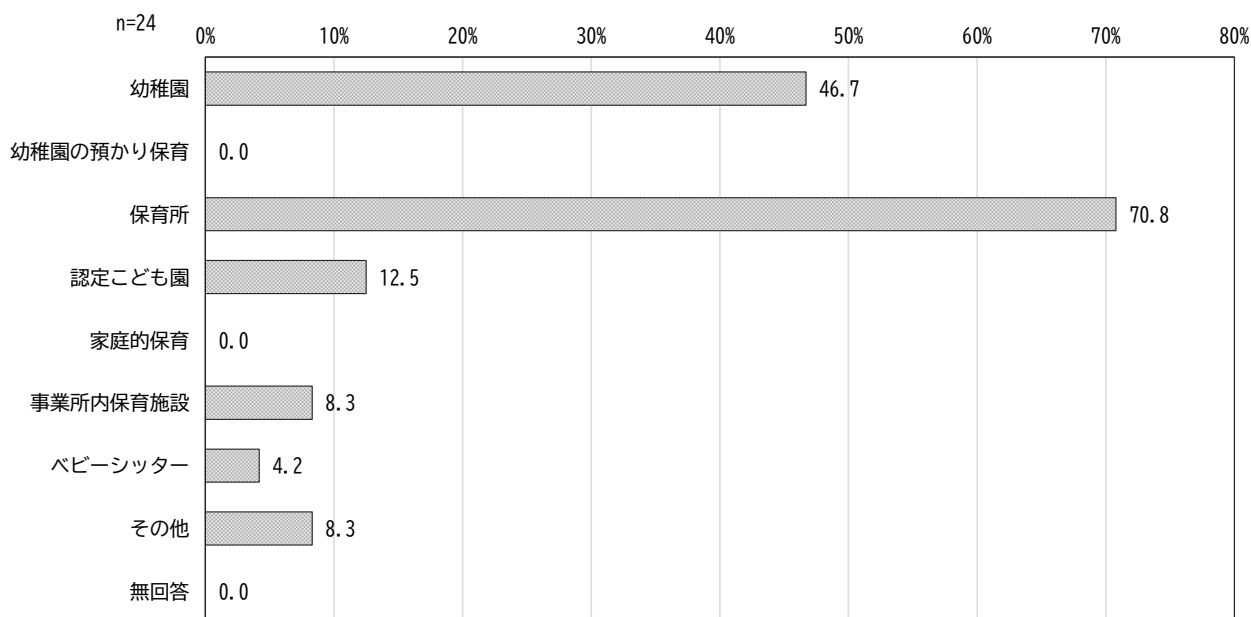
問 12A-②-1 小学校就学前の1番上の子：利用終了時間（現在）

「15 時台」が54%と多く、次いで「16 時台」が22%、「17 時台」が8%となっている。



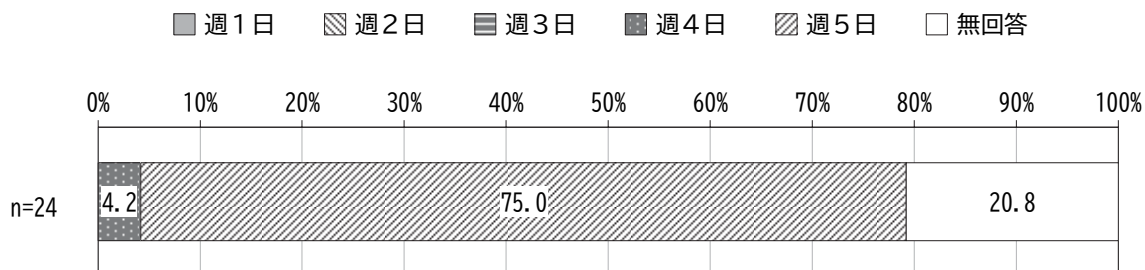
問 12A－③ 小学校就学前の1番上の子：今後希望の教育・保育事業

「保育所」が71%と多く、次いで「幼稚園」が47%、「認定こども園」が13%となっている。



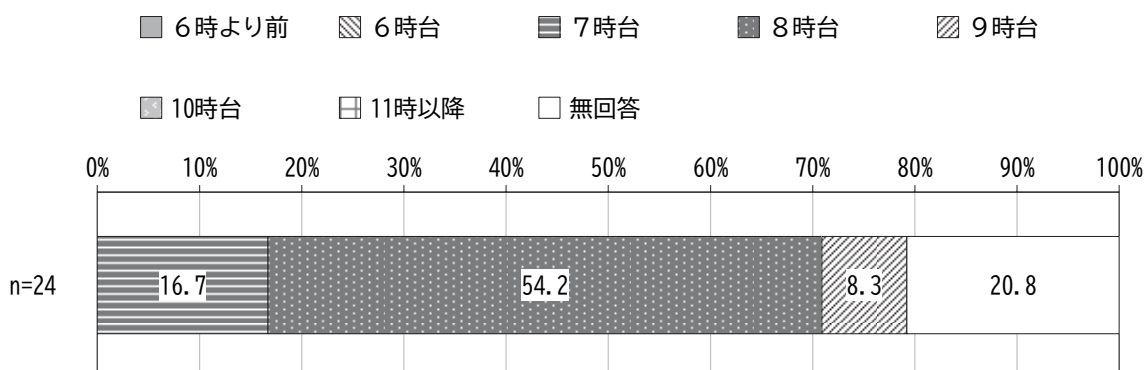
問 12A－③－1 小学校就学前の1番上の子：利用日数（希望）

「週5日」が75%と多くなっている。



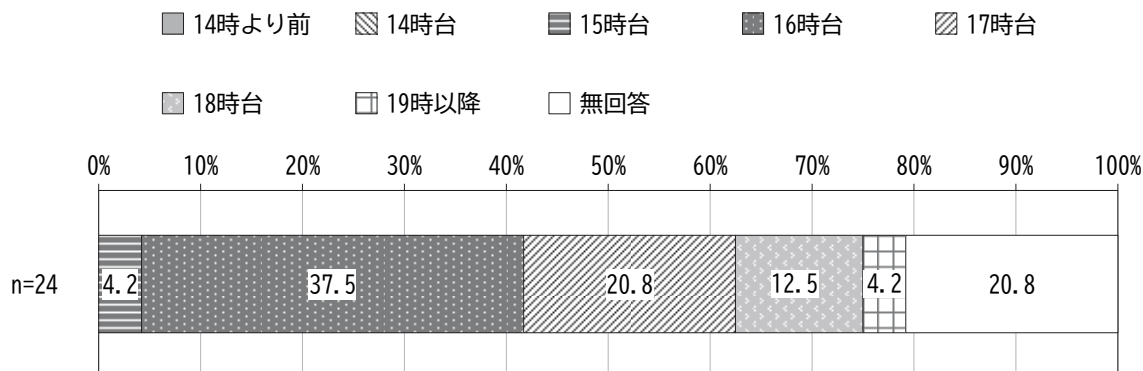
問 12A－③－1 小学校就学前の1番上の子：利用開始時間（希望）

「8時台」が54%と多く、次いで「7時台」が17%、「9時台」が8%となっている。



問 12A-③-1 小学校就学前の1番上の子：利用終了時間（希望）

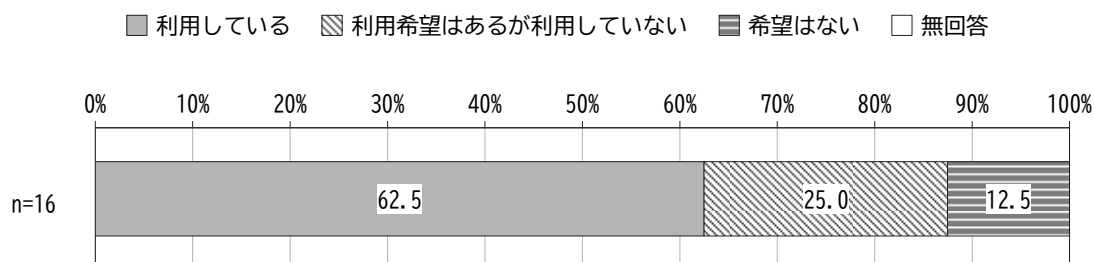
「16 時台」が 38%と多く、次いで「17 時台」が 21%、「18 時台」が 13%となっている。



問 12B-① 小学校就学前の上から2番目の子：教育・保育事業の利用状況

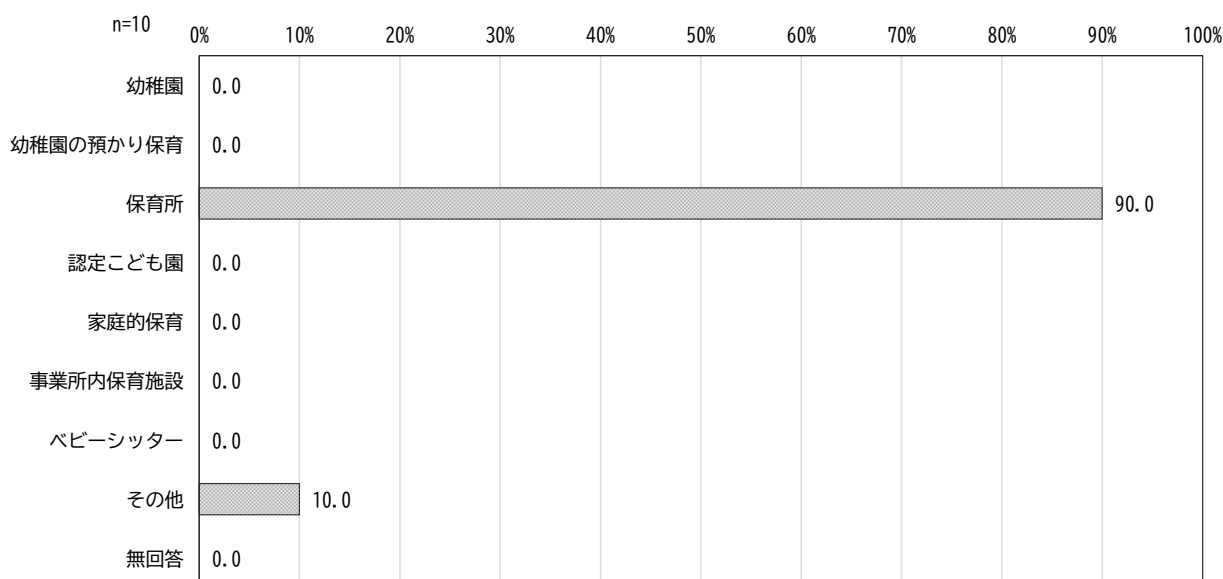
問 12 問2で答えた小学校就学前のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用している」が 63%と多く、次いで「利用希望はあるが利用していない」が 25%、「希望はない」が 13%となっている。



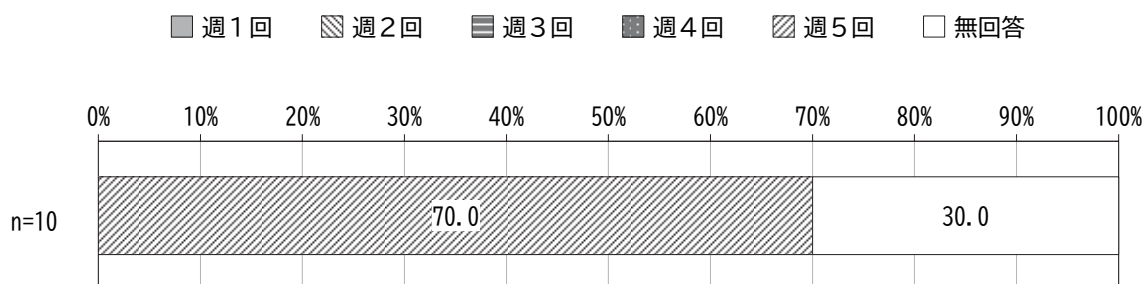
問 12B-② 小学校就学前の上から2番目の子：利用中の教育・保育事業

「保育所」が 90%と多くなっている。



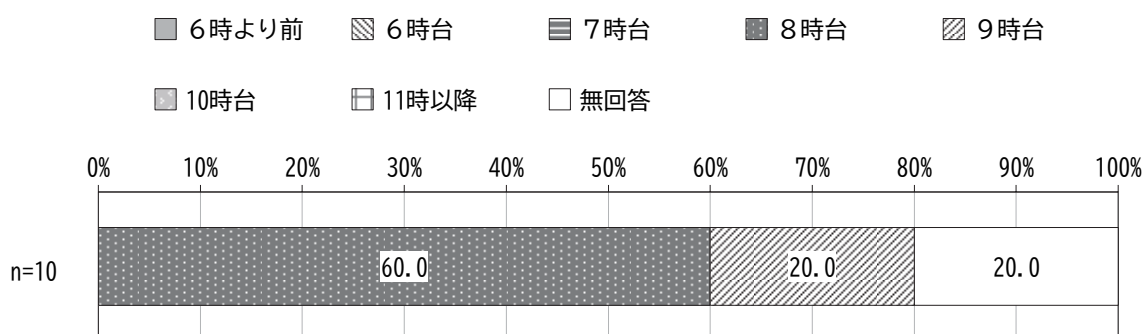
問 12B-②-1 小学校就学前の上から2番目の子：利用日数（現在）

「週5日」が70%と多くなっている。



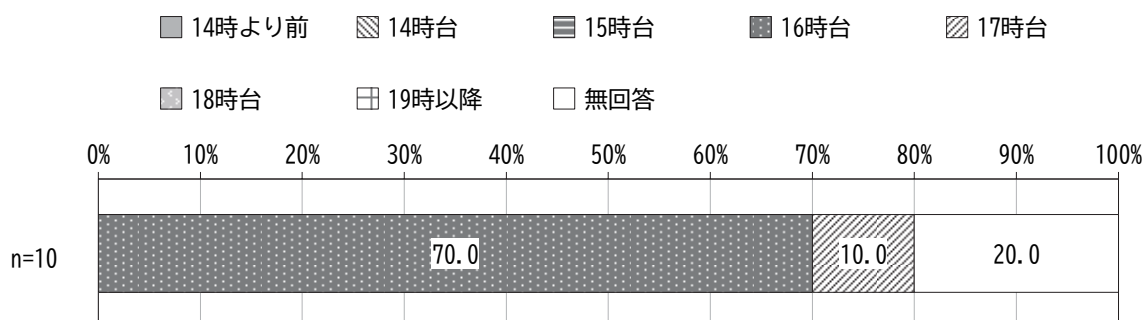
問 12B-②-1 小学校就学前の2番目の子：利用開始時間（現在）

「8時台」が60%と多く、次いで「9時台」が20%となっている。



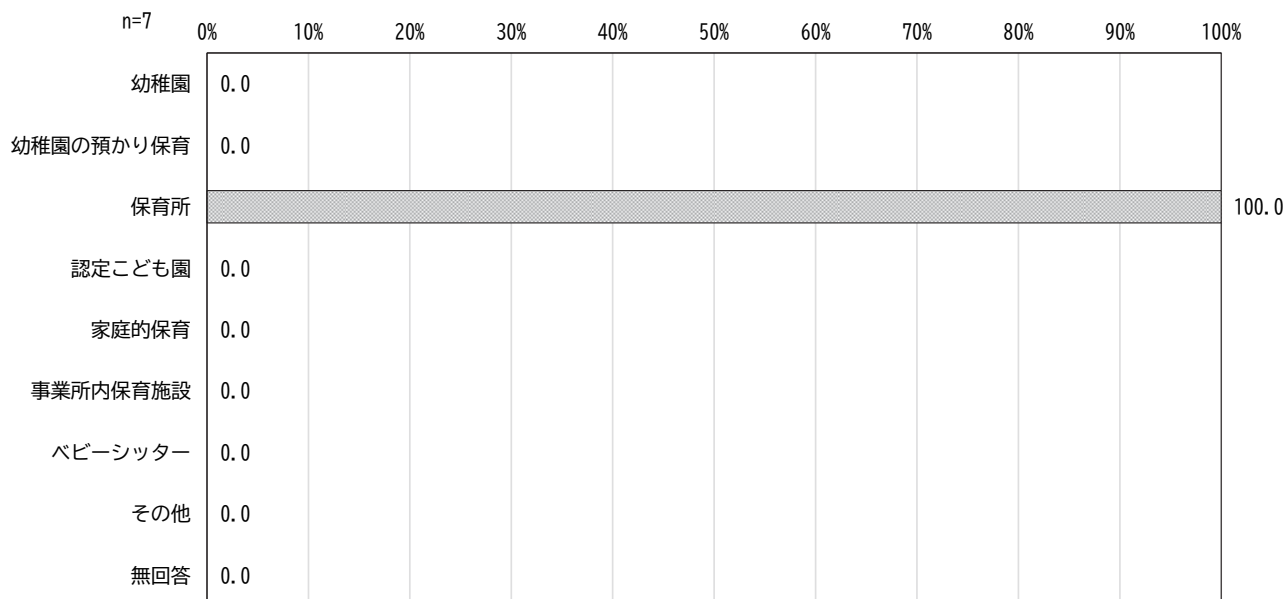
問 12B-②-1 小学校就学前の2番目の子：利用終了時間（現在）

「16時台」が70%と多く、次いで「17時台」が10%となっている。



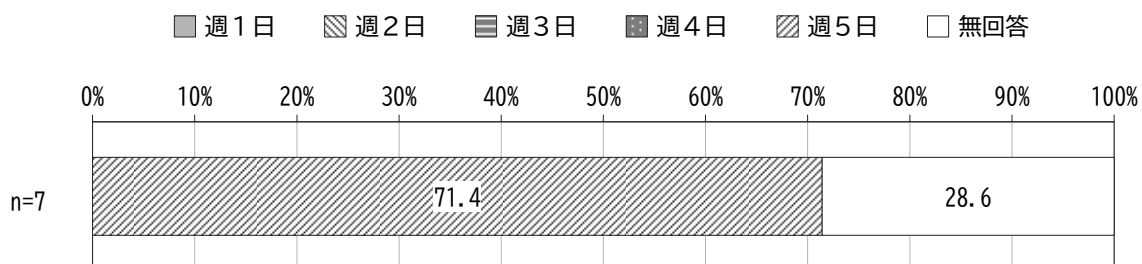
問 12B-③ 小学校就学前の上から2番目の子：今後希望の教育・保育事業

件数は少ないが、「保育所」という回答がみられる。



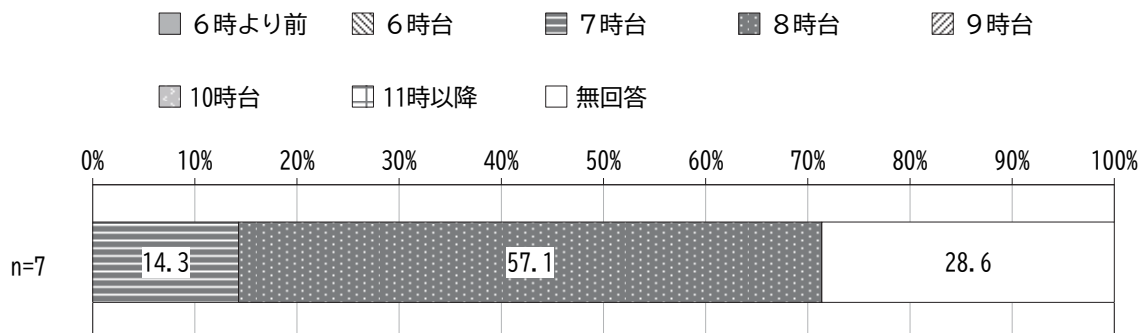
問 12B-③-1 小学校就学前の上から2番目の子：利用日数（希望）

件数は少ないが、「週5日」という回答がみられる。



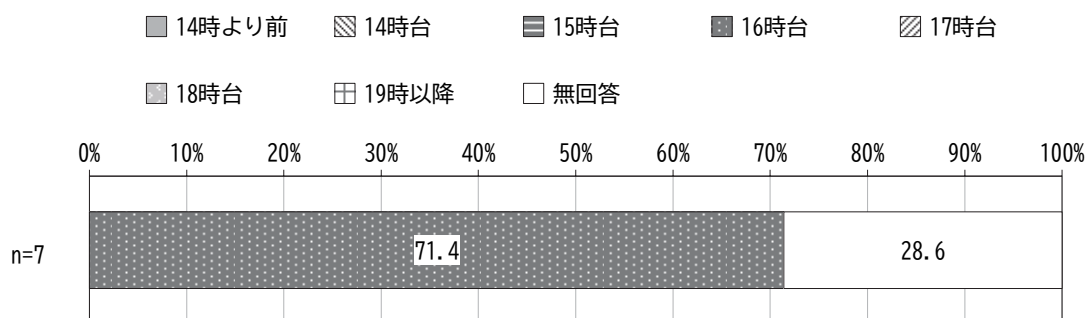
問 12B-③-1 小学校就学前の上から2番目の子：利用開始時間（希望）

件数は少ないが、「8時台」がやや多くなっている。



問 12B－③－1 小学校就学前の上から2番目の子：利用終了時間（希望）

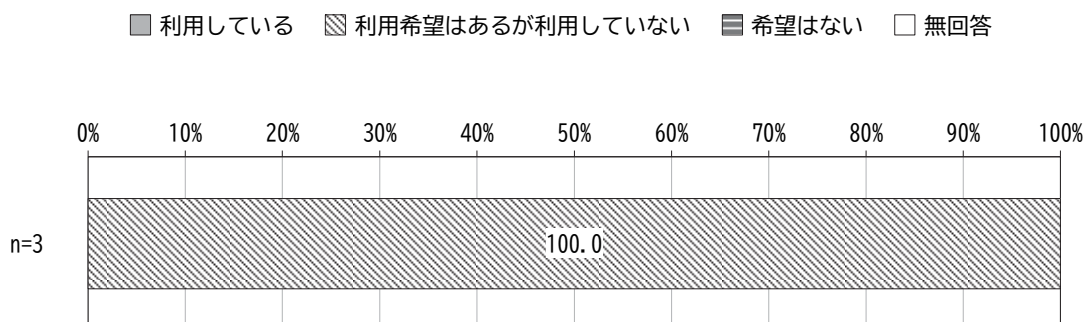
件数は少ないが、「16 時台」という回答がみられる。



問 12C－① 小学校就学前の上から3番目の子：教育・保育事業の利用状況

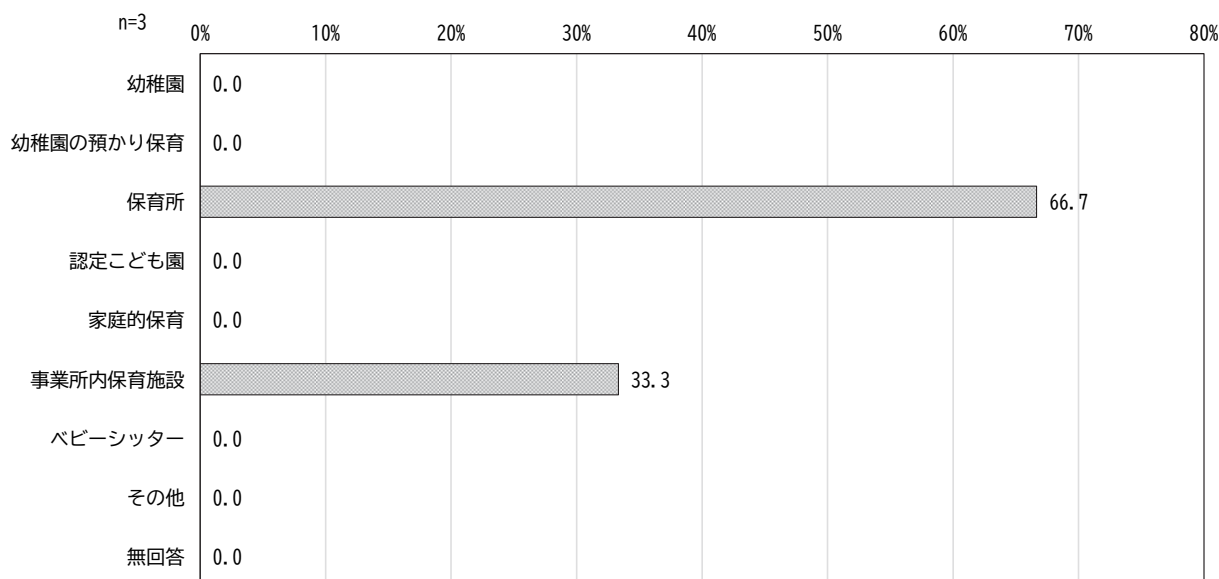
問 12 問2で答えた小学校就学前のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

件数は少ないが、「利用希望はあるが利用していない」という回答がみられる。



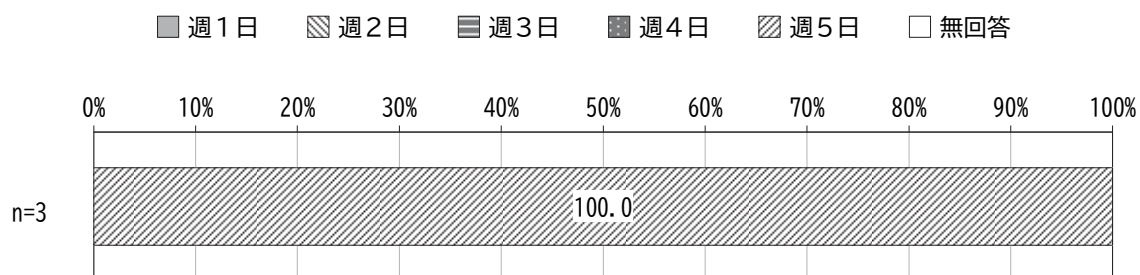
問 12C－③ 小学校就学前の上から3番目の子：今後希望の教育・保育事業

件数は少ないが、「保育所」「事業所内保育施設」という回答がみられる。



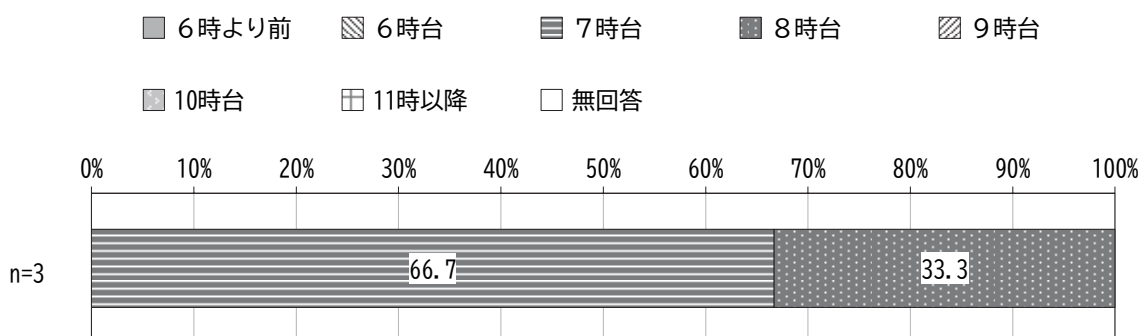
問 12C－③－1 小学校就学前の上から3番目の子：利用日数（希望）

件数は少ないが、「週5日」という回答がみられる。



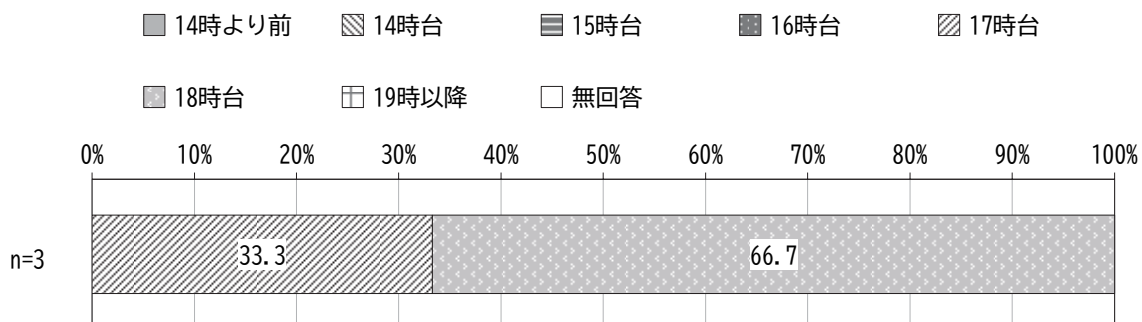
問 12C－③－1 小学校就学前の上から3番目の子：利用時間（希望）

件数は少ないが、「7時台」「8時台」という回答がみられる。



問 12C－③－1 小学校就学前の上から3番目の子：利用時間（希望）

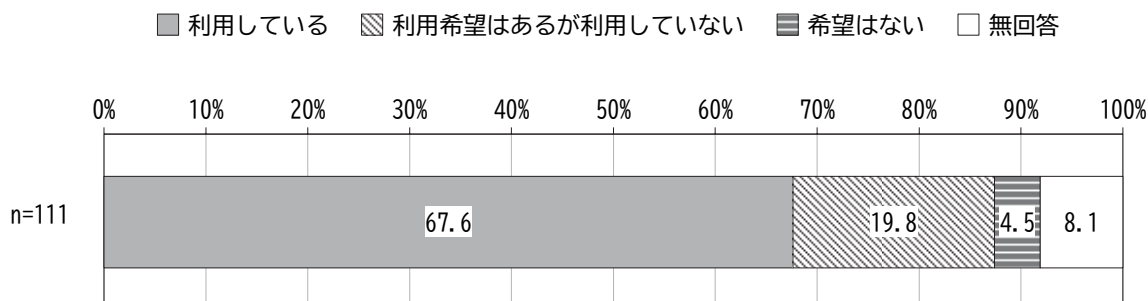
件数は少ないが、「18時台」「17時台」という回答がみられる。



問 12D-① すべての子ども（合算）：教育・保育事業の利用状況

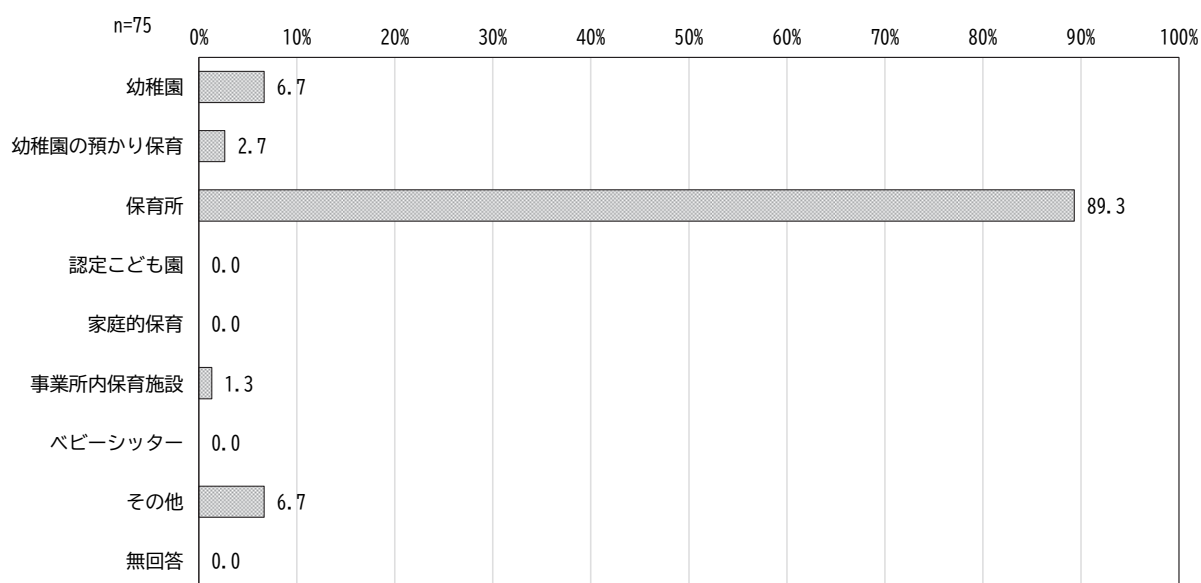
問 12 問 2 で答えた小学校就学前のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「利用している」が 68%と多く、次いで「利用希望はあるが利用していない」が 20%、「希望はない」が5%となっている。



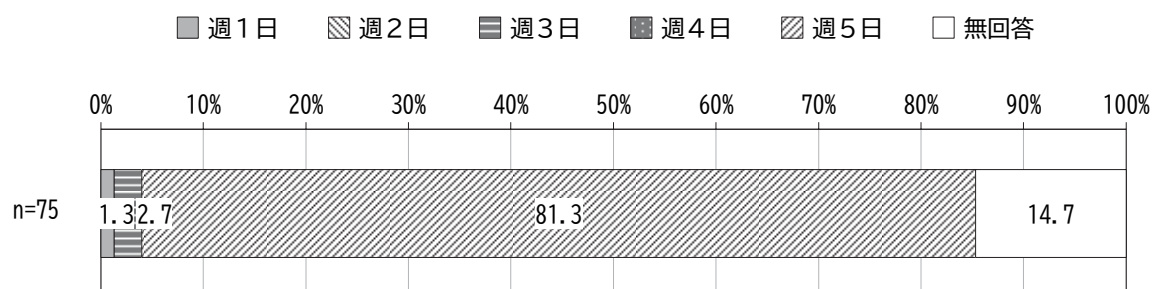
問 12D-② すべての子ども（合算）：利用中の教育・保育事業

「保育所」が 89%と多く、次いで「幼稚園」が7%となっている。



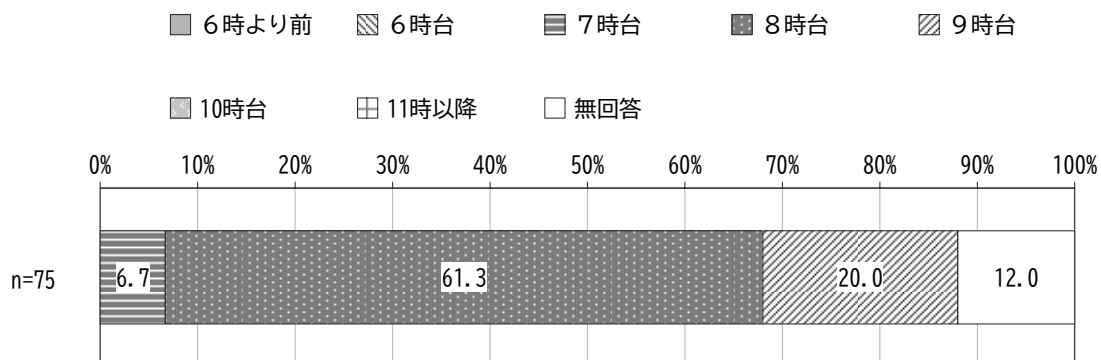
問 12D-②-1 すべての子ども（合算）：利用日数（現在）

「週5日」が 81%と多くなっている。



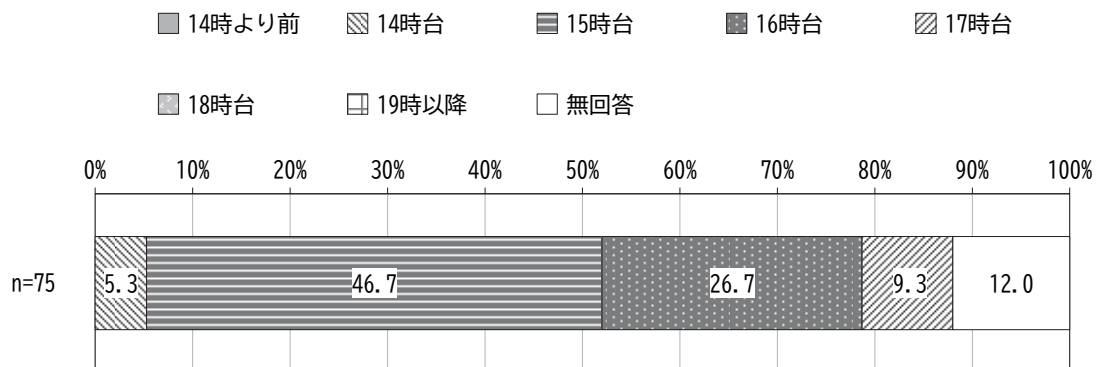
問 12D-②-1 すべての子ども（合算）：利用開始時間（現在）

「8時台」が 61%と多く、次いで「9時台」が 20%、「7時台」が7%となっている。



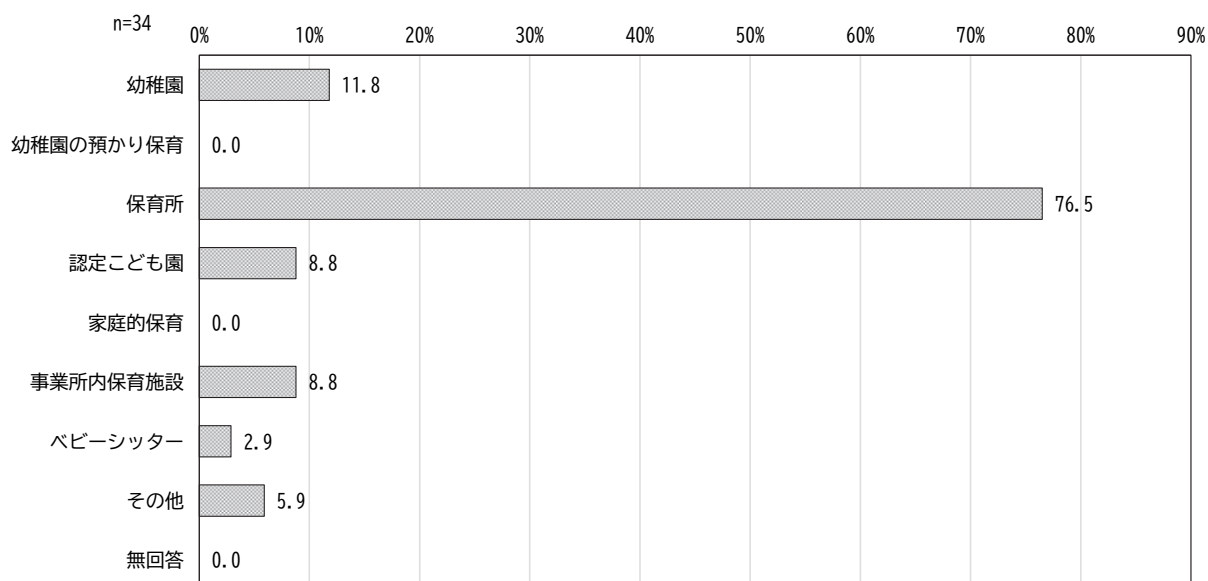
問 12D-②-1 すべての子ども（合算）：利用終了時間（現在）

「15時台」が 47%と多く、次いで「16時台」が 27%、「17時台」が9%となっている。



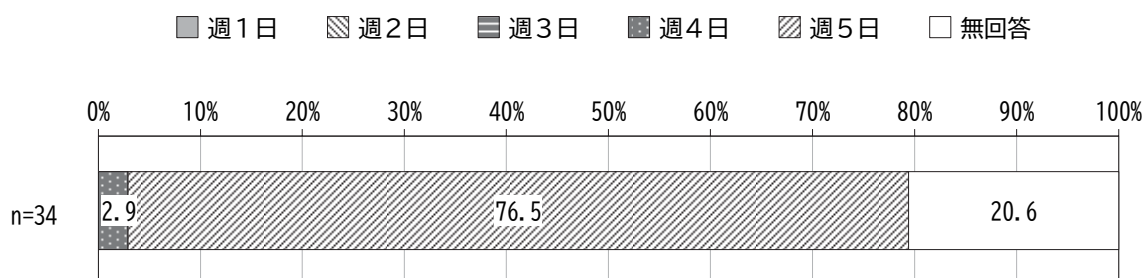
問 12D-③ すべての子ども（合算）：今後希望の教育・保育事業

「保育所」が 77%と多く、次いで「幼稚園」が 12%、「認定こども園」「事業所内保育施設」がともに9%となっている。



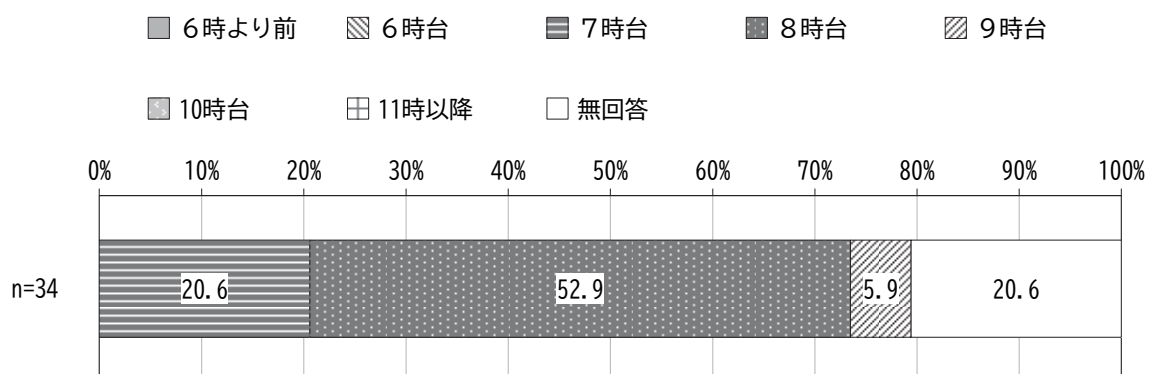
問 12D-③-1 すべての子ども（合算）：利用日数（希望）

「週5日」が77%と多くなっている。



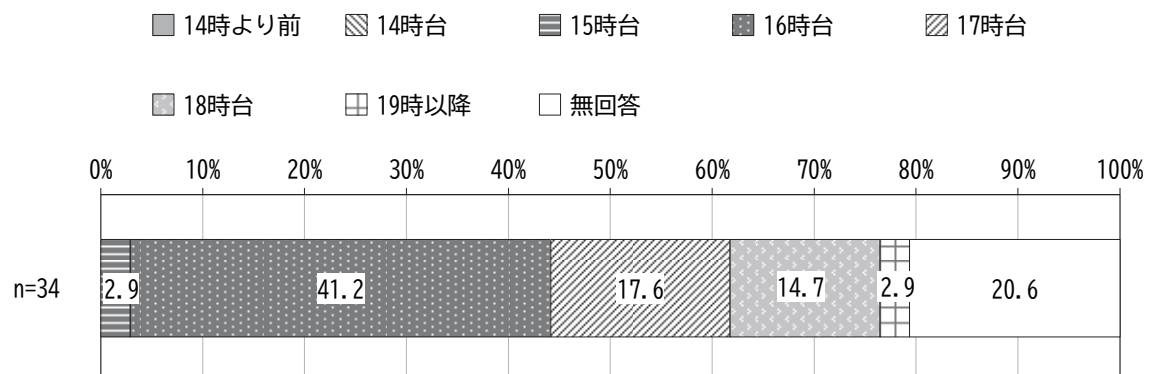
問 12D-③-1 すべての子ども（合算）：利用開始時間（希望）

「8時台」が53%と多く、次いで「7時台」が21%、「9時台」が6%となっている。



問 12D-③-1 すべての子ども（合算）：利用終了時間（希望）

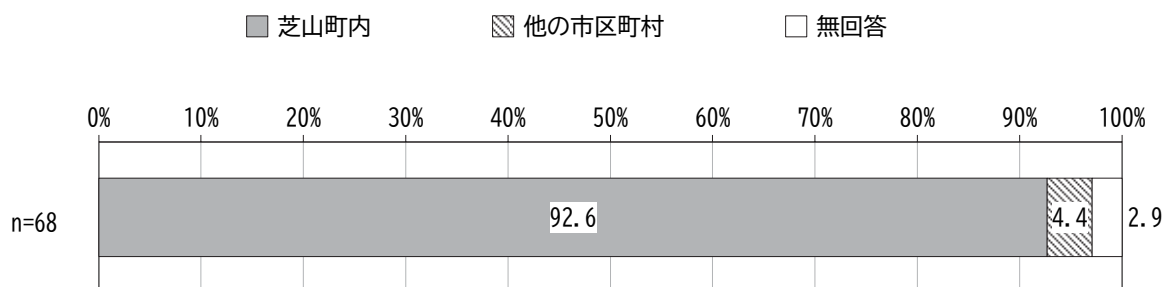
「16時台」が41%と多く、次いで「17時台」が18%、「18時台」が15%となっている。



問 12-1 教育・保育事業の利用場所

問 12-1 問 12①で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

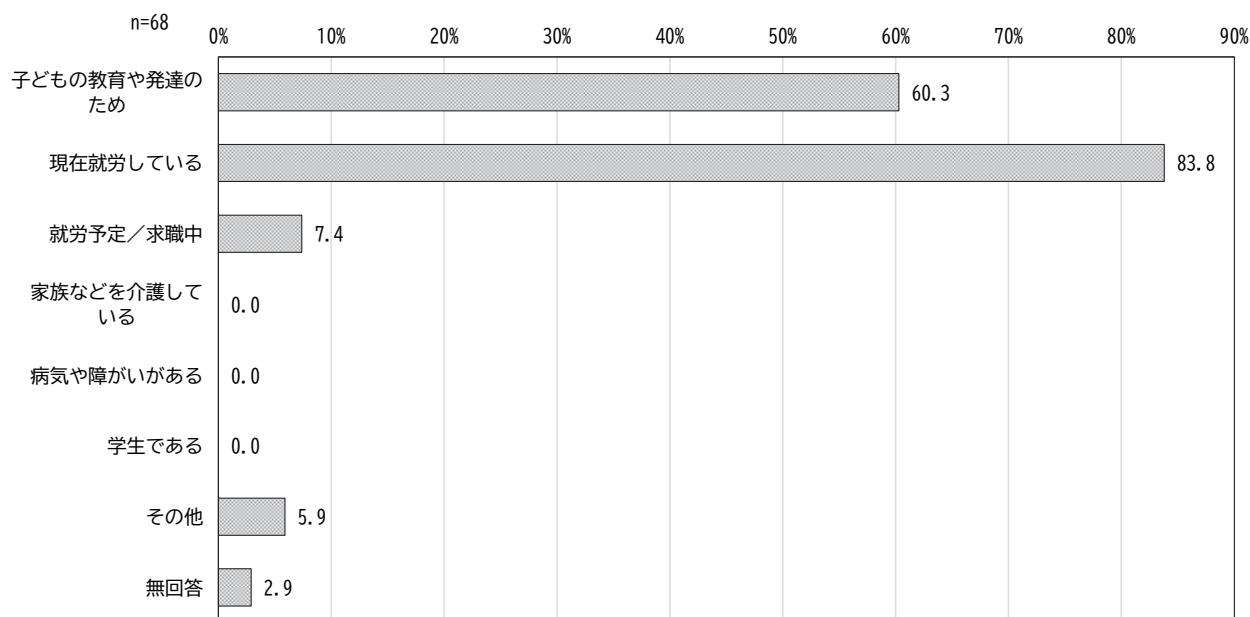
「芝山町内」が 93%と多くなっている。



問 12-2 利用している理由

問 12-2 問 12①で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

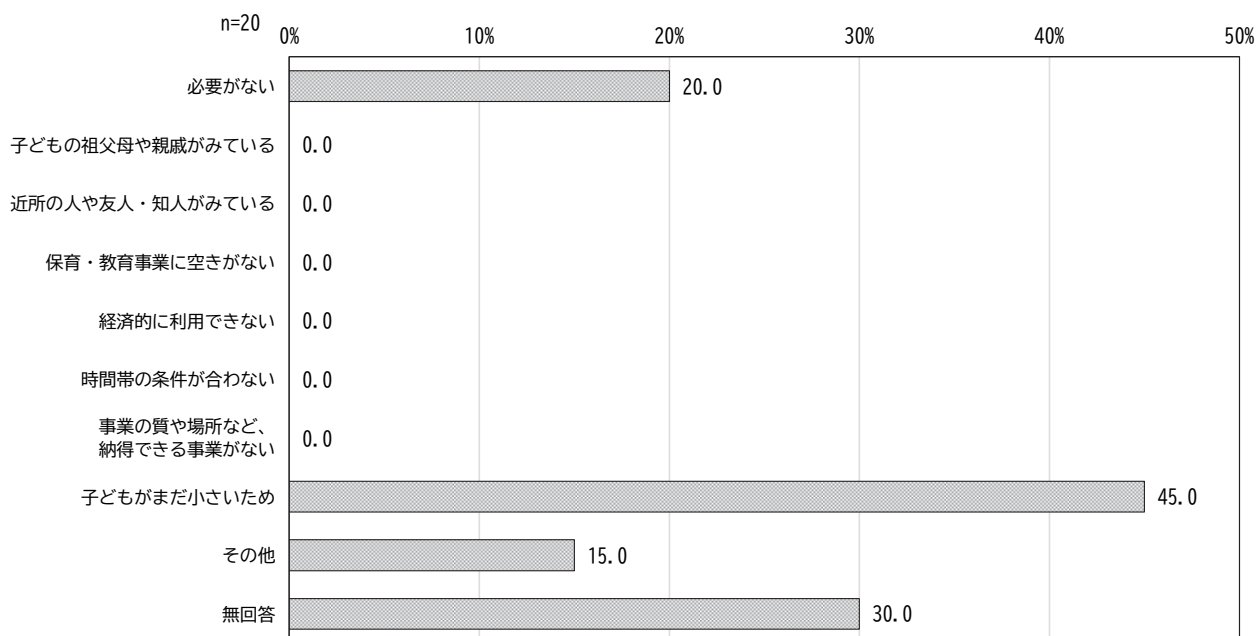
「現在就労している」が 84%と多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 60%、「就労予定/求職中」が 7%となっている。



問 12-3 利用していない理由

問 12-3 問 12①で「2. 利用希望はあるが利用していない（保育所待機中を含む）」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

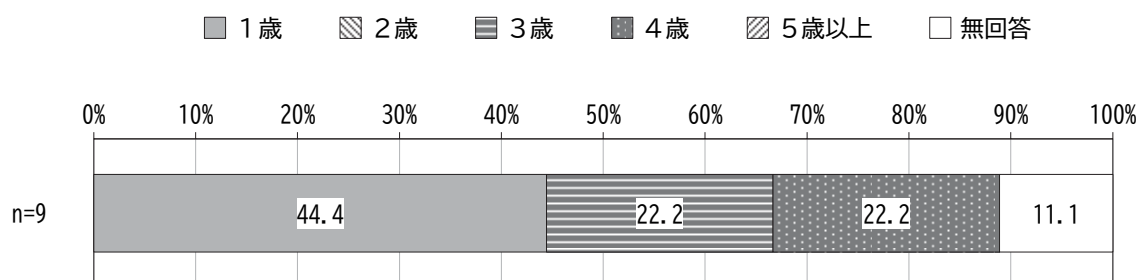
「子どもがまだ小さいため」が 45%と多く、次いで「必要がない」が 20%となっている。



問 12-3-1 利用したい子どもの年齢

前問で子どもがまだ小さいためという回答者が想定している子どもの年齢

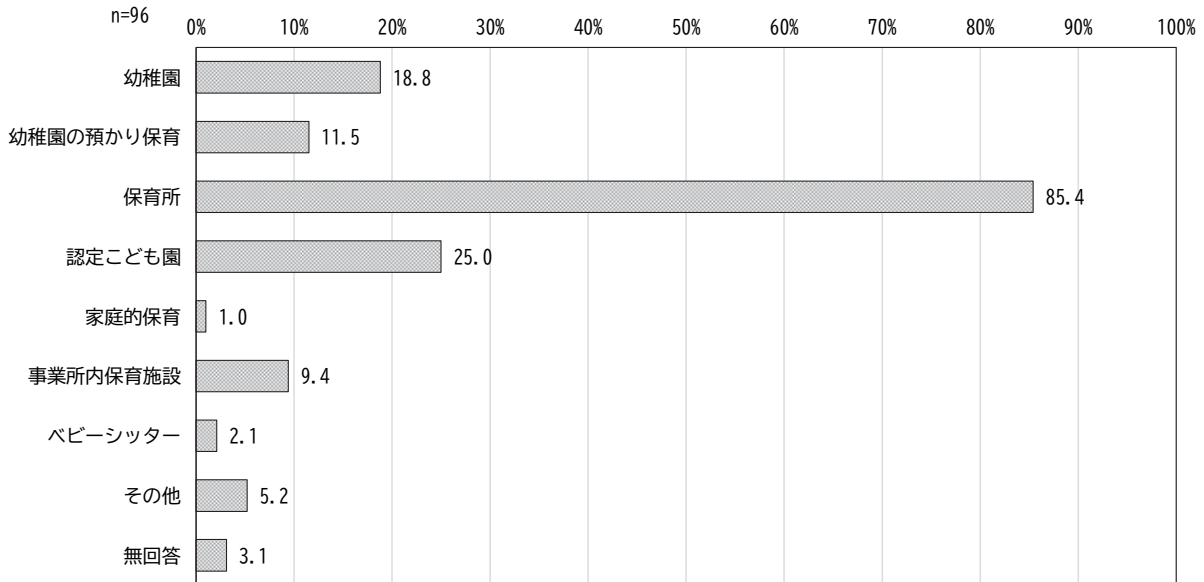
件数は少ないが、「1歳」がやや多くみられる。



問 13 定期的に利用したい事業

問 13 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

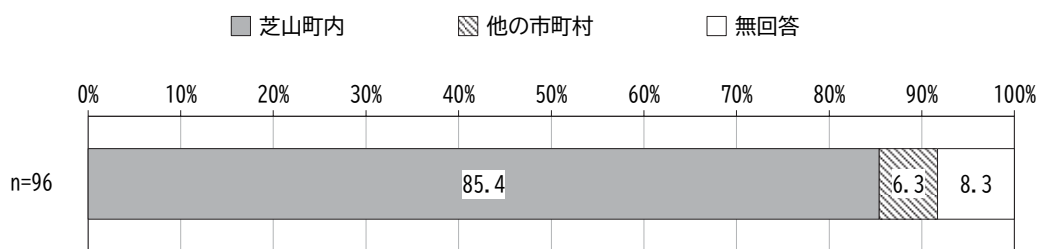
「保育所」が 85%と多く、次いで「認定こども園」が 25%、「幼稚園」が 19%となっている。



問 13-1 利用したい場所

問 13-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

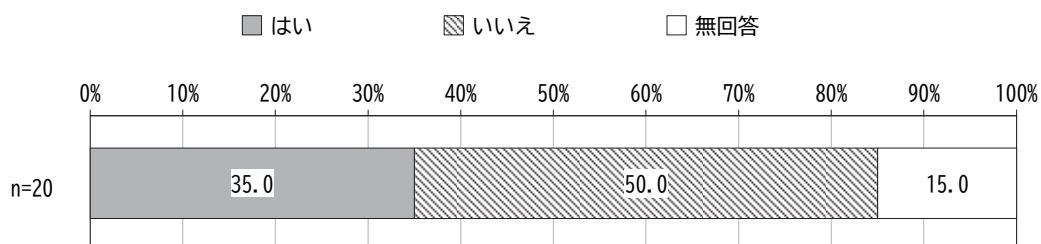
「芝山町内」が 85%と多く、次いで「他の市区町村」が 6%となっている。



問 13-2 利用希望

問 13-2 問 13 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」又は「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけた方にうかがいます。他のサービスよりも幼稚園（通常利用・預かり保育）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「いいえ」が 50%と多く、「はい」が 35%となっている。

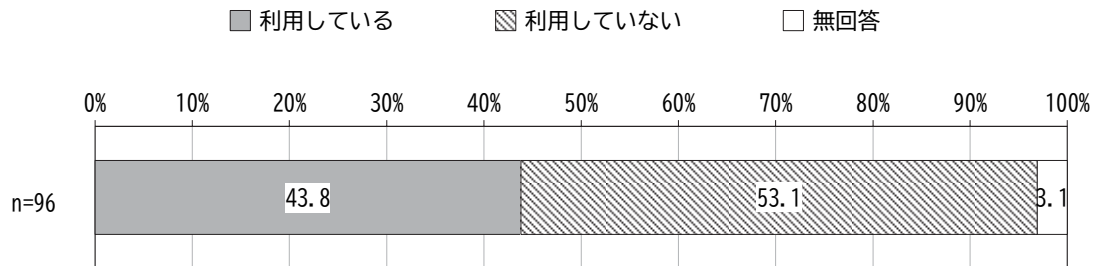


6. 地域の子育て支援事業の利用状況

問 14－① 地域子育て支援拠点事業の利用状況

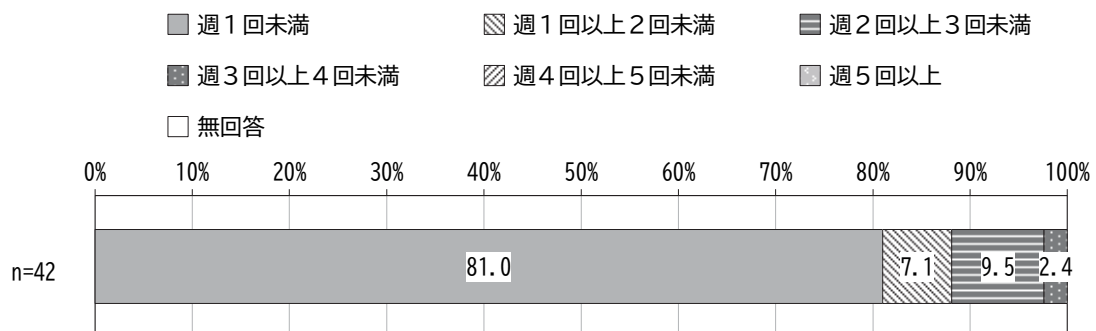
問 14 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場の、「子育て支援センター」）を利用していますか。利用している回数と主に利用しているお子さんを合わせてお答えください。利用している回数は口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「利用していない」が 53%と多く、「利用している」が 44%となっている。



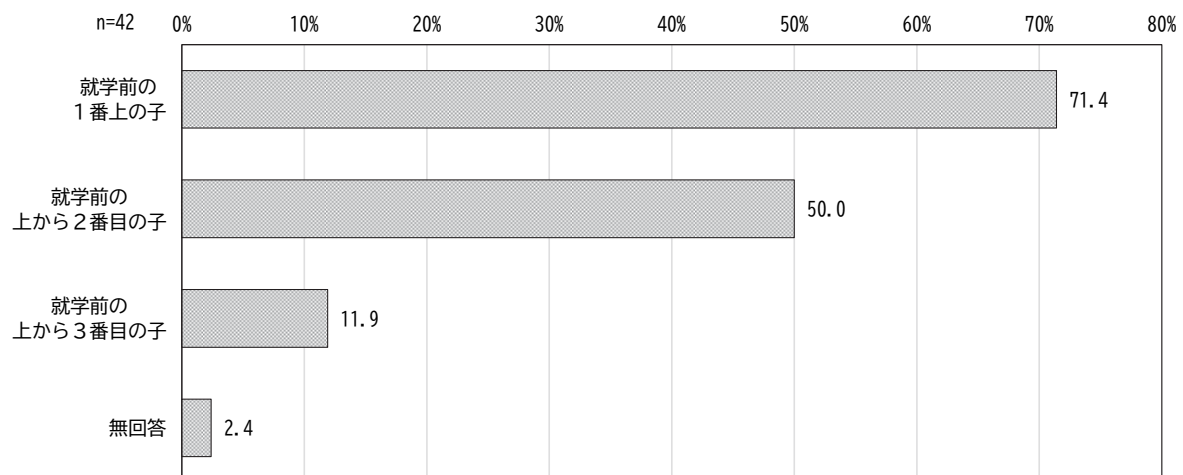
問 14－② 地域子育て支援拠点事業の利用回数

「週1回未満」が 81%と多く、次いで「週2回以上3回未満」が 10%、「週1回以上2回未満」が7%となっている。



問 14－③ 利用している子ども

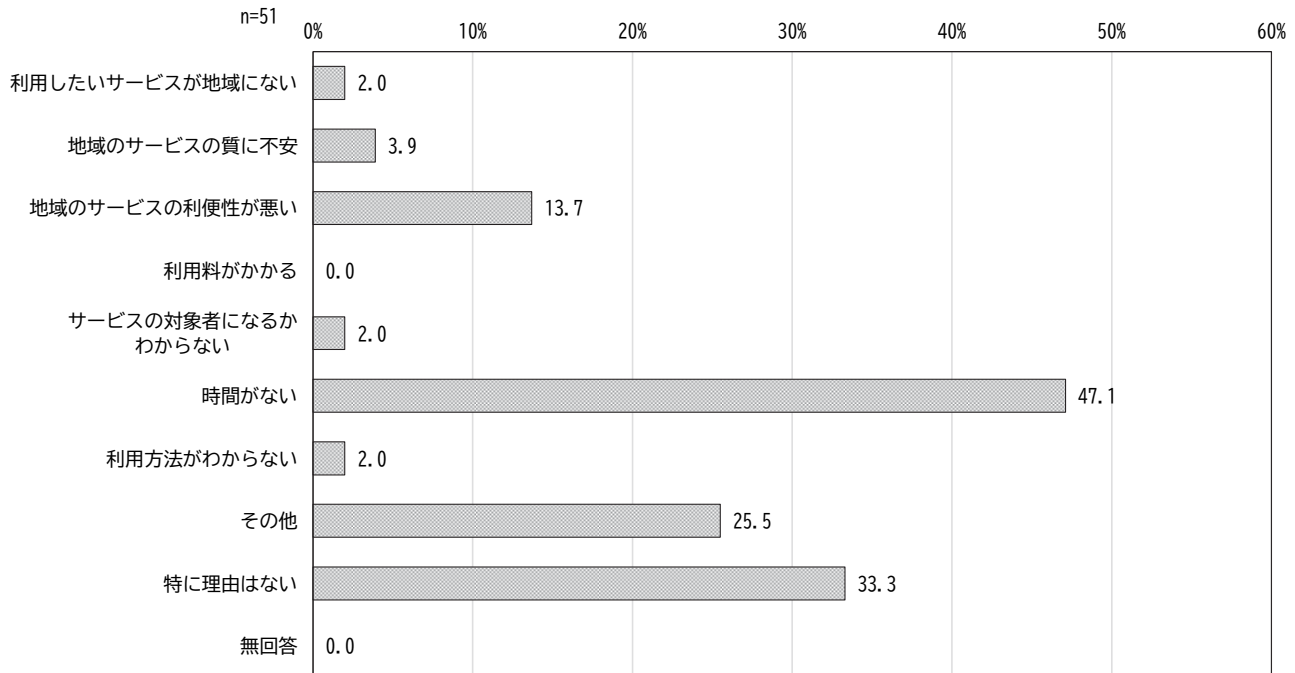
「就学前の1番上の子」が 71%と多く、次いで「就学前の上から2番目の子」が 50%、「就学前の上から3番目の子」が 12%となっている。



問 14－ 1 利用していない理由

問 14-1 問 14①で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

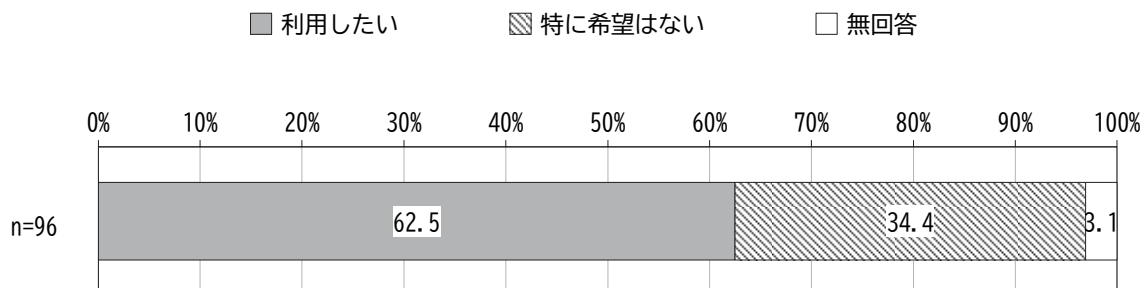
「時間がない」が 47%と多く、次いで「特に理由はない」が 33%、「地域のサービスの利便性が悪い」が 14%となっている。



問 15－① 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向

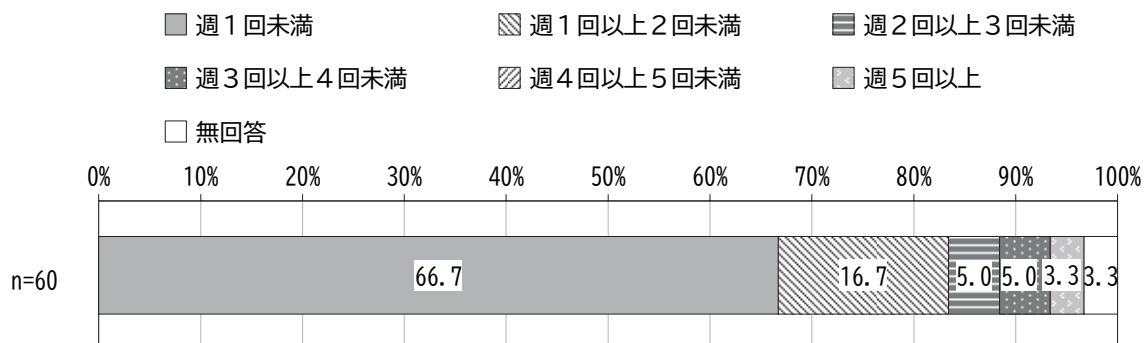
問 15 地域子ども・子育て支援事業※を、今後町が実施すれば利用したいという希望はありますか。希望がある場合は、利用したい回数と主に利用させたいお子さんを合わせてお答えください。利用したい回数は口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「利用したい」が 63%と多く、「特に希望はない」が 34%となっている。



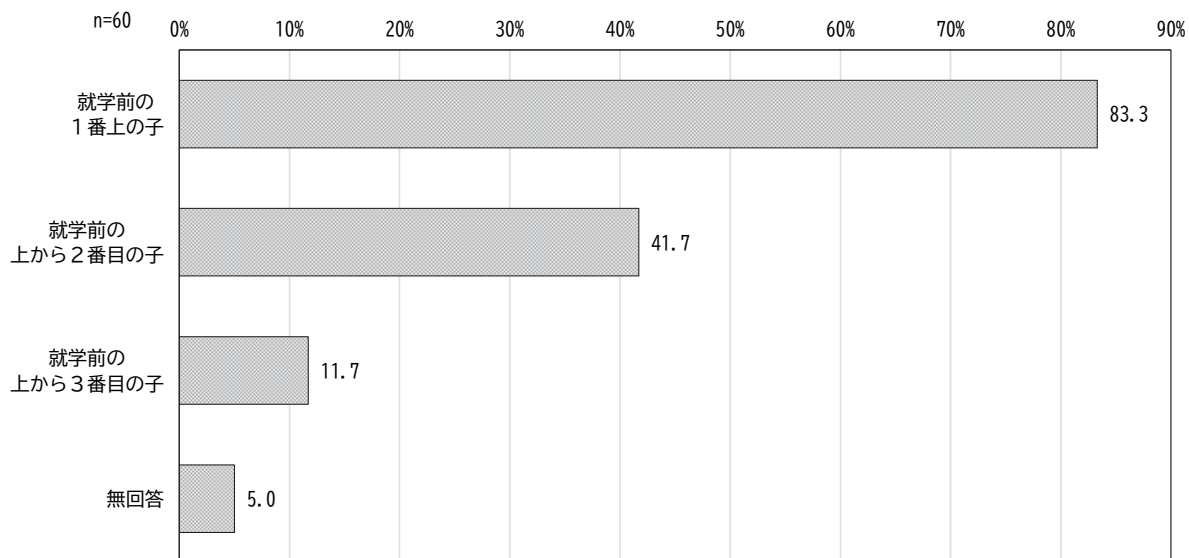
問 15-② 地域子育て支援拠点事業の希望回数

「週1回未満」が 67%と多く、次いで「週1回以上2回未満」が 17%、「週2回以上3回未満」「週3回以上4回未満」が5%となっている。



問 15-③ 利用させたい子ども

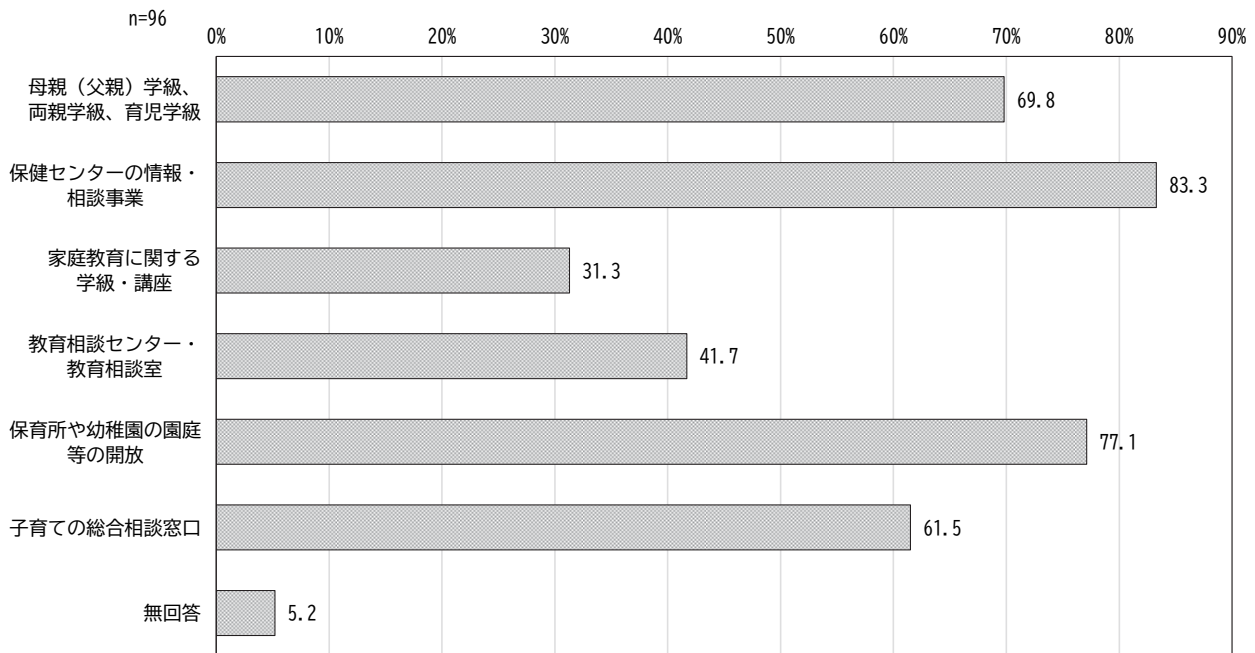
「就学前の1番上の子」が 83%と多く、次いで「就学前の上から2番目の子」が 42%、「就学前の上から3番目の子」が 12%となっている。



問 16-1 事業の認知度

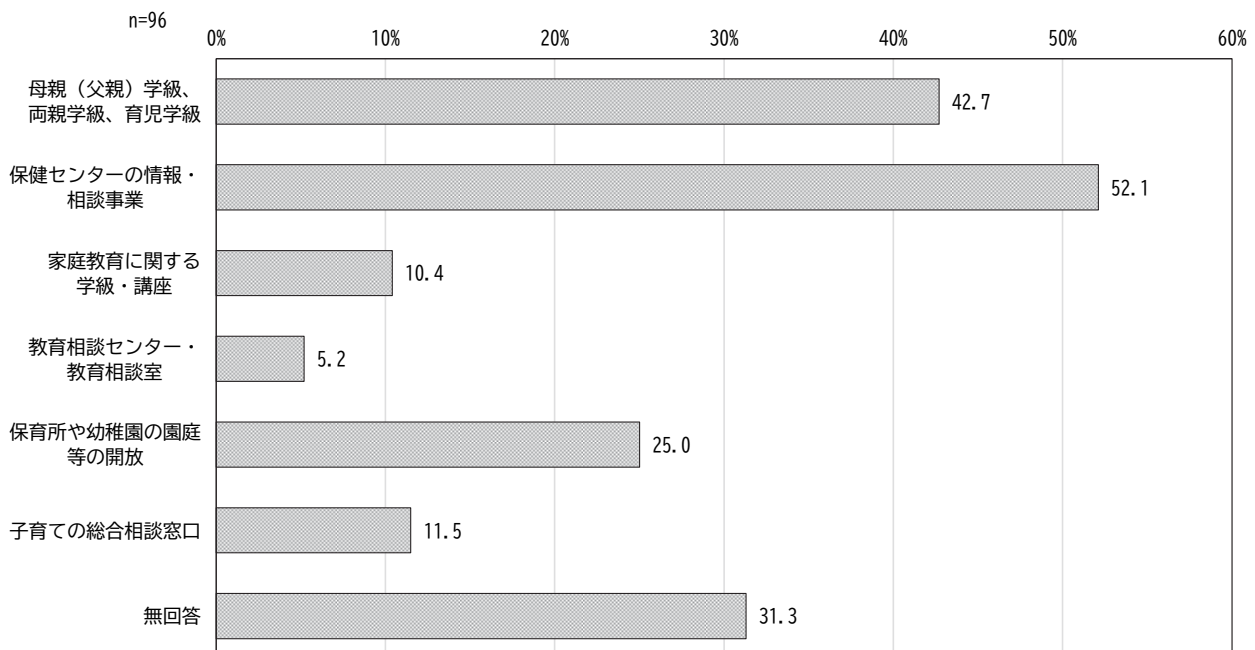
問 16 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑥の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、実施していないものもあります。

「保健センターの情報・相談事業」が 83%と多く、次いで「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が 77%、「母親（父親）学級、両親学級、育児学級」が 70%となっている。



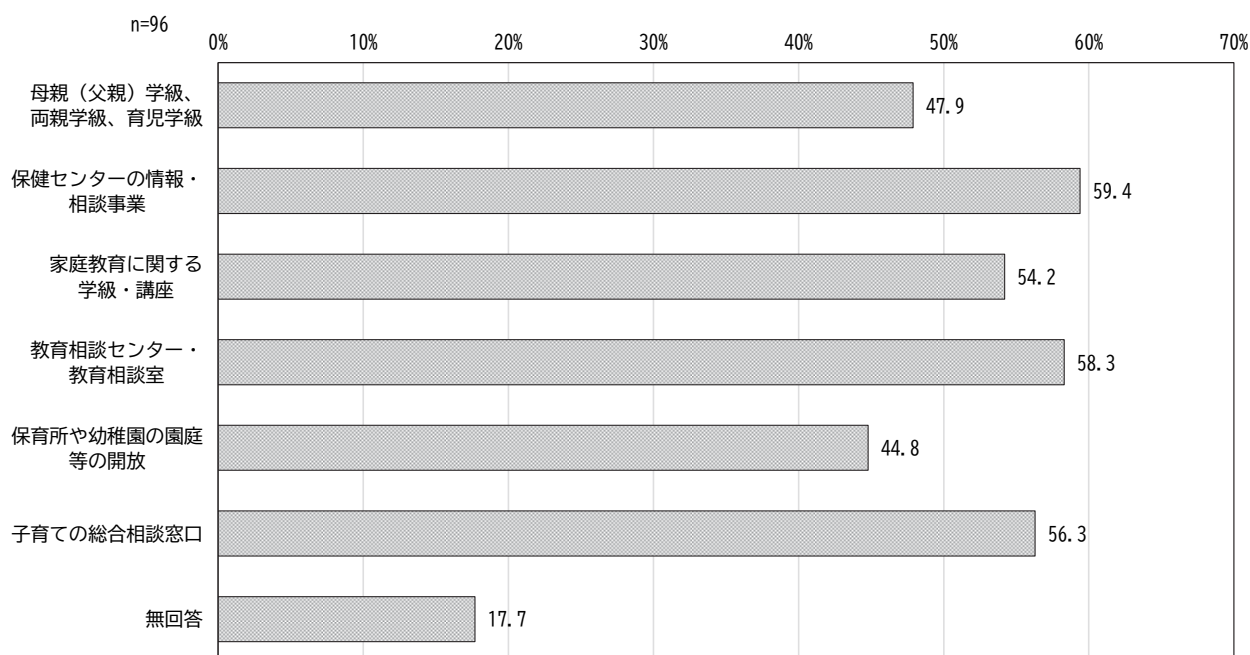
問 16-2 事業の利用状況

「保健センターの情報・相談事業」が 52%と多く、次いで「母親（父親）学級、両親学級、育児学級」が 43%、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が 25%となっている。



問 16－3 事業の利用意向

「保健センターの情報・相談事業」が 59%と多く、次いで「教育相談センター・教育相談室」が 58%、「子育ての総合相談窓口」が 56%となっている。

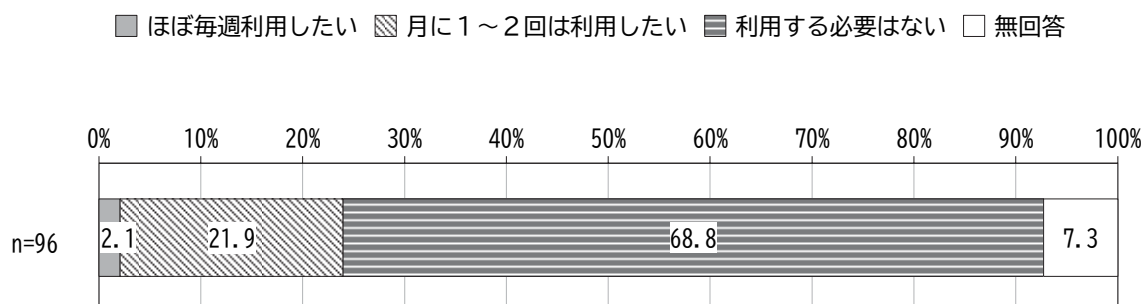


7. 土曜休日等の定期的な教育・保育事業の利用希望

問 17（1） 教育・保育事業の利用希望（土曜日）

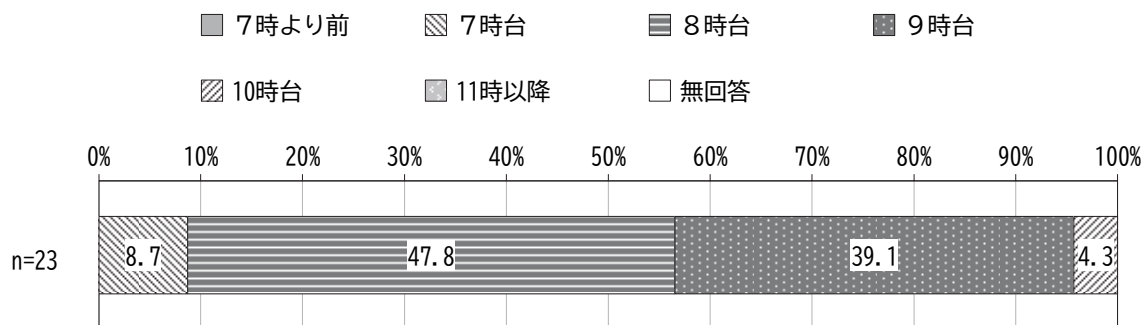
問 17 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日、長期の休暇中に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

「利用する必要はない」が 69%と多く、次いで「月に1～2回利用したい」が 22%となっている。



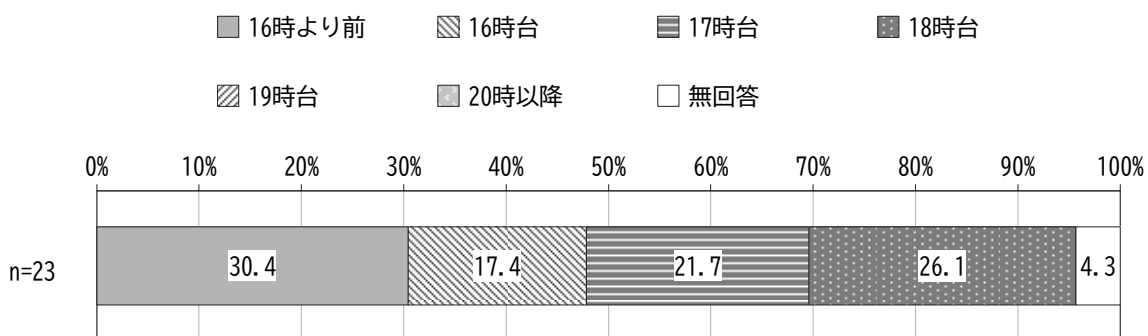
問 17（１） 教育・保育事業の利用希望の開始時間帯（土曜日）

「8時台」が 48%と多く、次いで「9時台」が 39%、「7時台」が9%となっている。



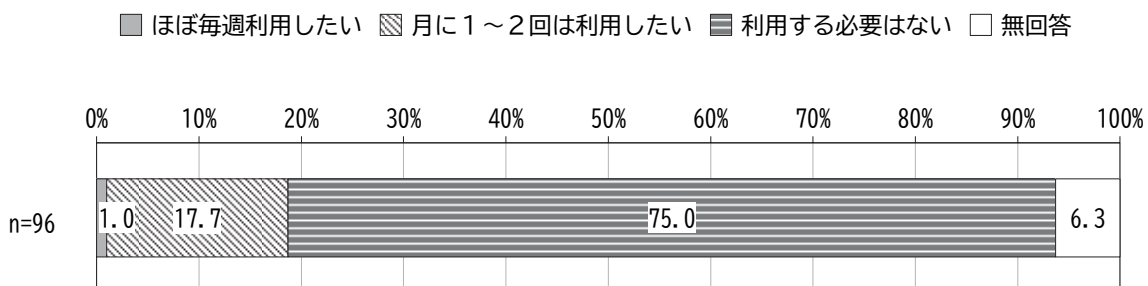
問 17（１） 教育・保育事業の利用希望の終了時間帯（土曜日）

「16 時より前」が 30%と多く、次いで「18 時台」が 26%、「17 時台」が 22%となっている。



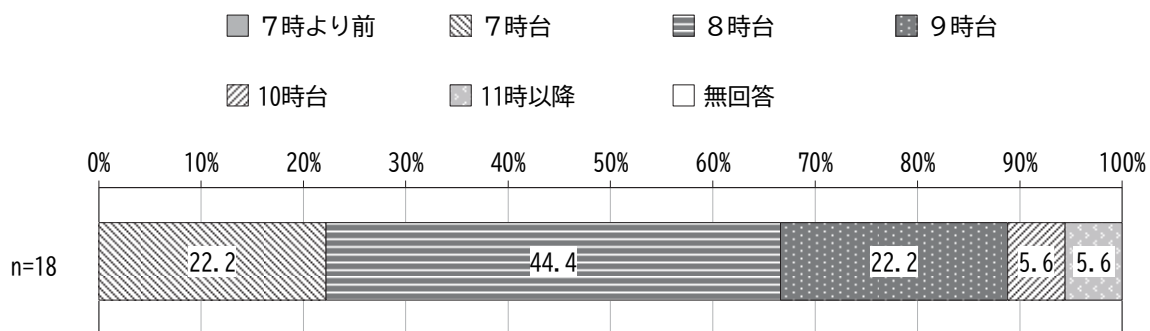
問 17（２） 教育・保育事業の利用希望（日祝日）

「利用する必要はない」が 75%と多く、次いで「月に1～2回利用したい」が 18%となっている。



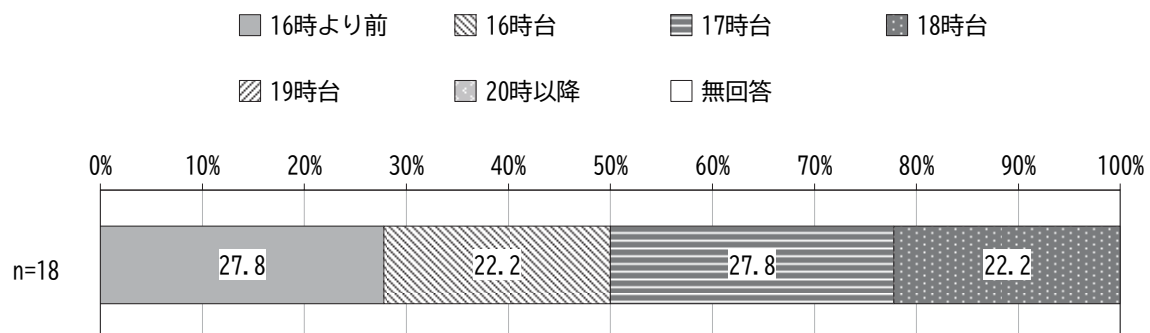
問 17（2） 教育・保育事業の利用希望の開始時間帯（日曜日）

「8時台」が 44%と多く、次いで「7時台」「9時台」がともに 22%となっている。



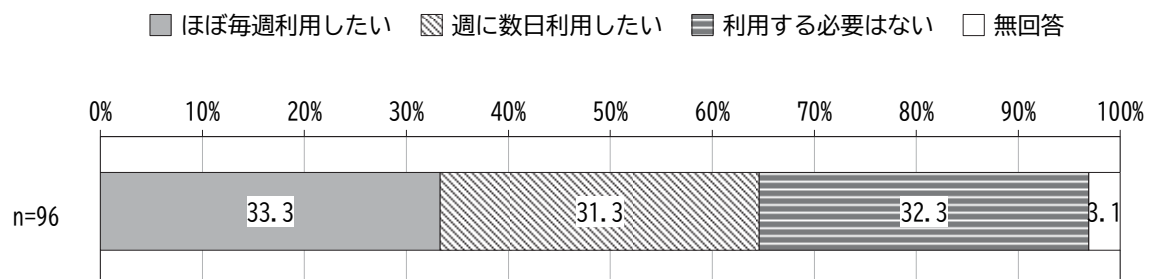
問 17（2） 教育・保育事業の利用希望の終了時間帯（日曜日）

「16 時より前」「17 時台」がともに 28%と多く、次いで「16 時台」「18 時台」がともに 22%となっている。



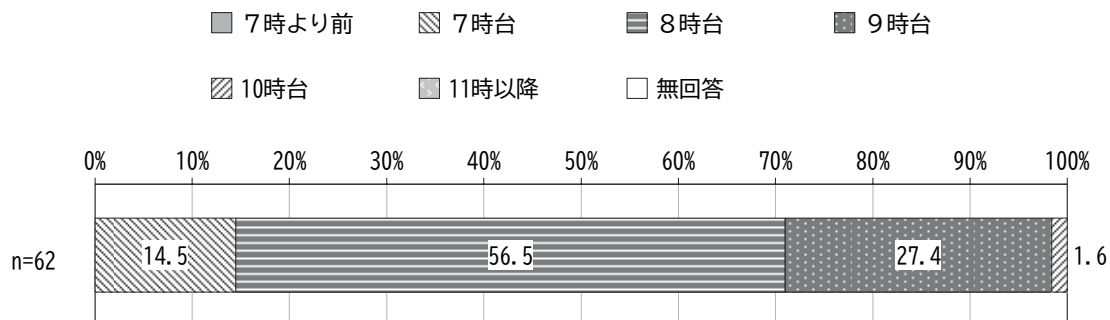
問 17（3） 教育・保育事業の利用希望（長期休暇期間中）

「ほぼ毎週利用したい」が 33%と多く、次いで「利用する必要はない」が 32%、「週に数日利用したい」が 31%となっている



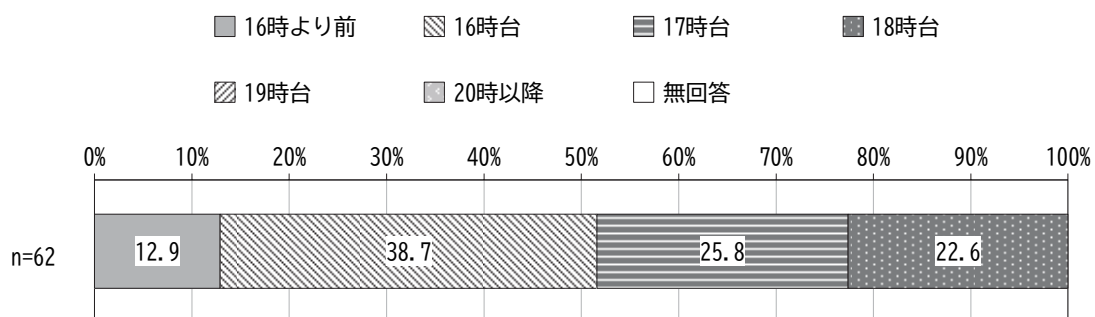
問 17（3） 教育・保育事業の利用希望の開始時間帯（長期休暇期間中）

「8時台」が 57%と多く、次いで「9時台」が 27%、「7時台」が 15%となっている。



問 17（3） 教育・保育事業の利用希望の終了時間帯（長期休暇期間中）

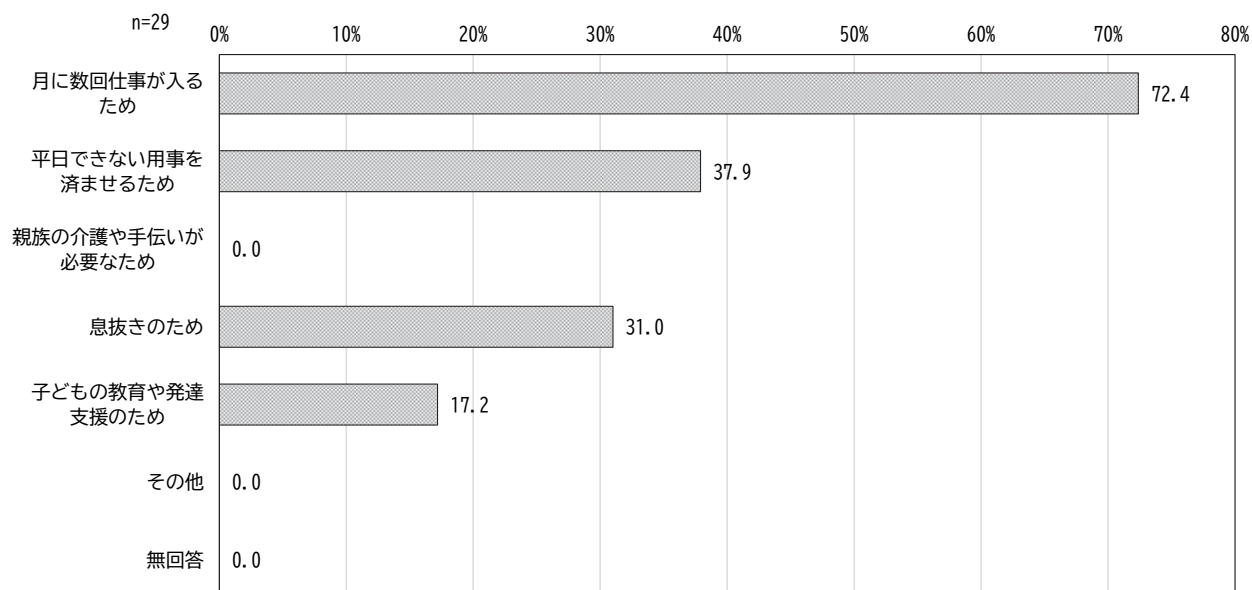
「16 時台」が 39%と多く、次いで「17 時台」が 26%、「18 時台」が 23%となっている。



問 17-1 たまに利用したい理由

問 17-1 問 17 の（1）もしくは（2）で、「2. 月に 1～2 回利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週（毎日）ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「月に数回仕事が入るため」が 72%と多く、次いで「平日できない用事を済ませるため」が 38%、「息抜きのため」が 31%となっている。

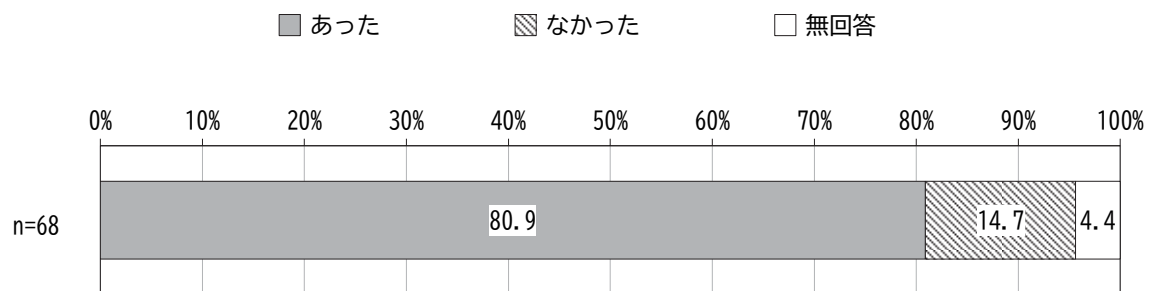


8. 子どもの病気の際の対応（平日の教育・保育事業利用者のみ）

問 18 病気等で教育・保育事業が利用できなかったこと

問 18 問 12①で「1. 利用している」（平日の定期的な教育・保育の事業を利用している）に○をつけた方にうかがいます。この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

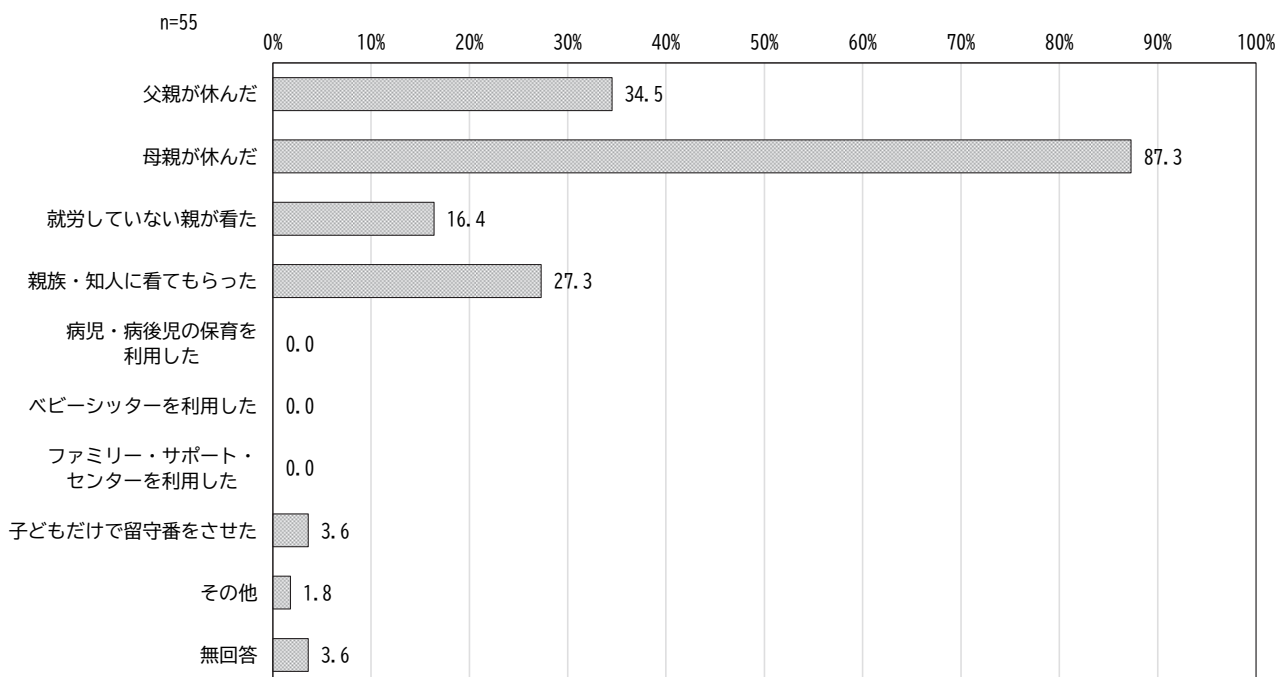
「あった」が81%と多く、「なかった」が15%となっている。



問 18-1 病気等の場合の対処法

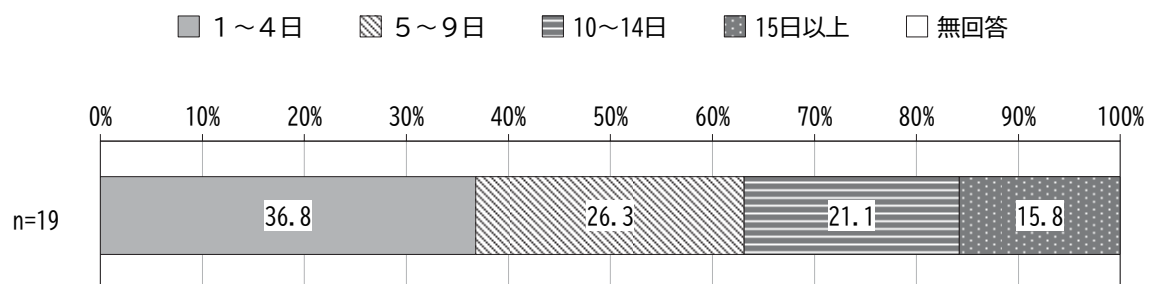
問 18-1 問 18 で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一桁に一字）。

「母親が休んだ」が87%と多く、次いで「父親が休んだ」が35%、「親族・知人に看てもらった」が27%となっている。



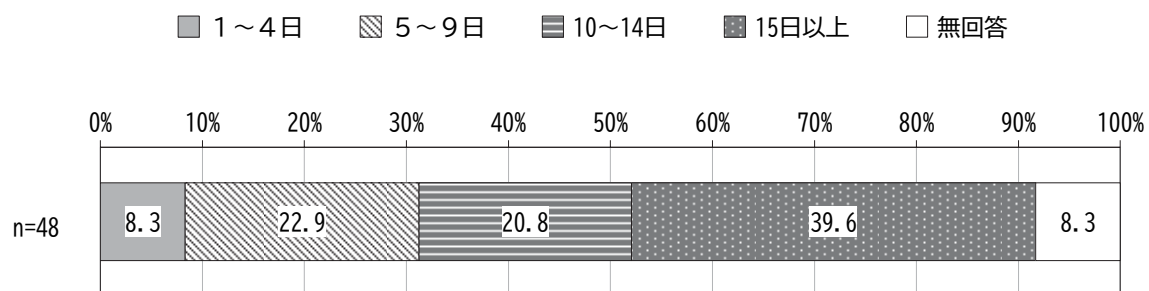
問 18－1－1 父親が休んだ日数

「1～4日」が 37%と多く、次いで「5～9日」が 26%、「10～14 日」が 21%となっている。



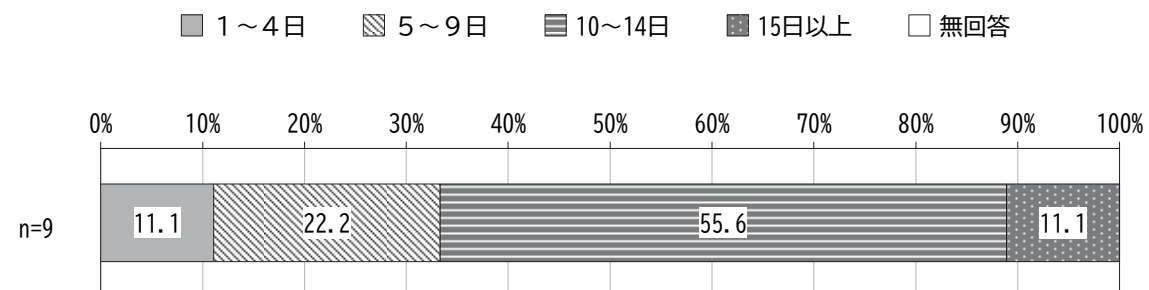
問 18－1－2 母親が休んだ日数

「15 日以上」が 40%と多く、次いで「5～9日」が 23%、「10～14 日」が 21%となっている。



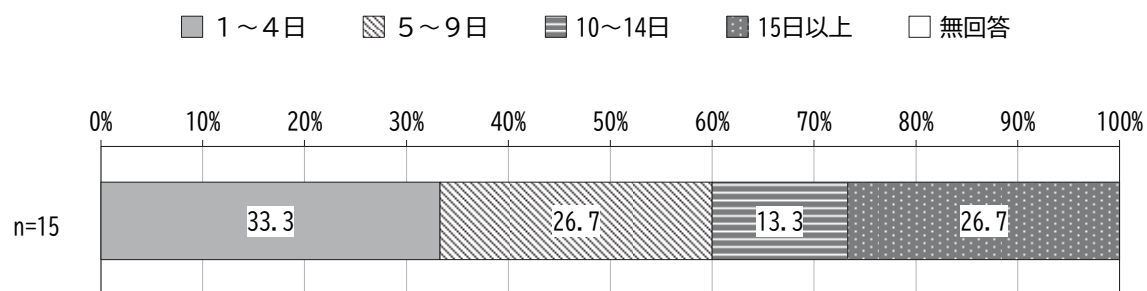
問 18－1－3 就労していない親が見た日数

「10～14 日」が 56%と多く、次いで「5～9日」が 22%、「1～4日」「15 日以上」がともに 11%となっている。



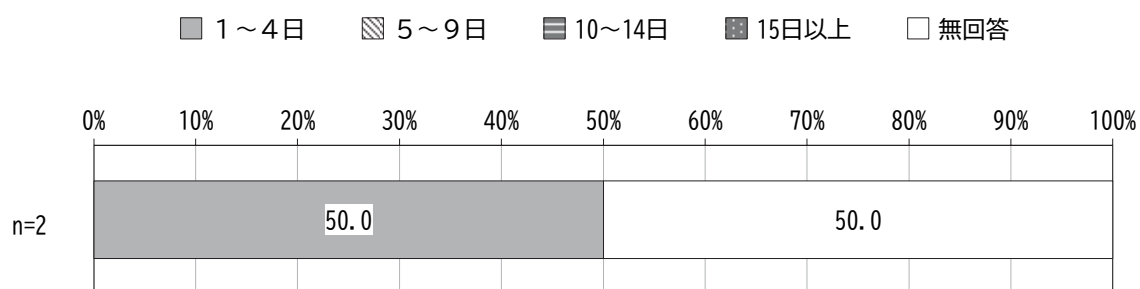
問 18－ 1 － 4 親族・知人が見た日数

「1～4日」が 33%と多く、次いで「5～9日」「15 日以上」がともに 27%となっている。



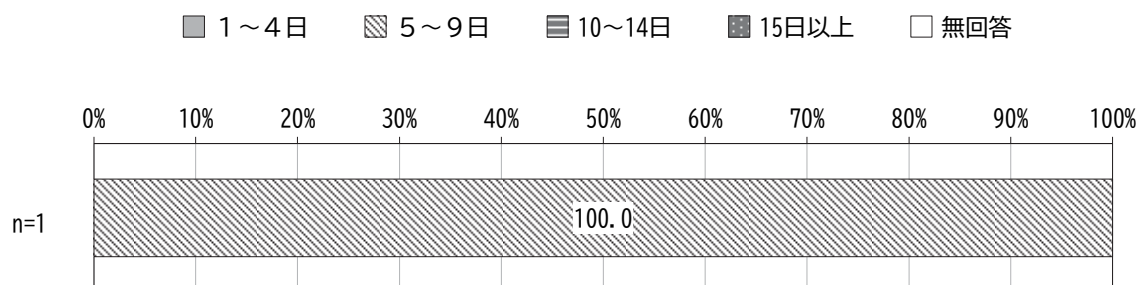
問 18－ 1 － 8 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数

件数は少ないが、「1～4日」という回答がみられる。



問 18－ 1 － 9 その他の日数

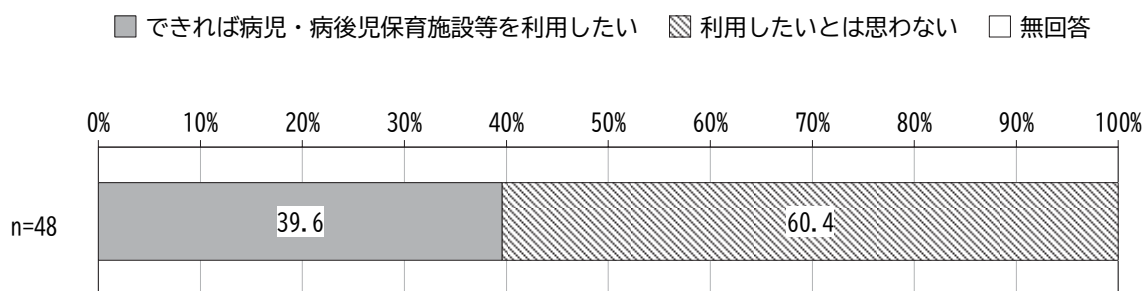
件数は少ないが、「5～9日」という回答がみられる。



問 18－2 病児・病後児保育施設の利用意向

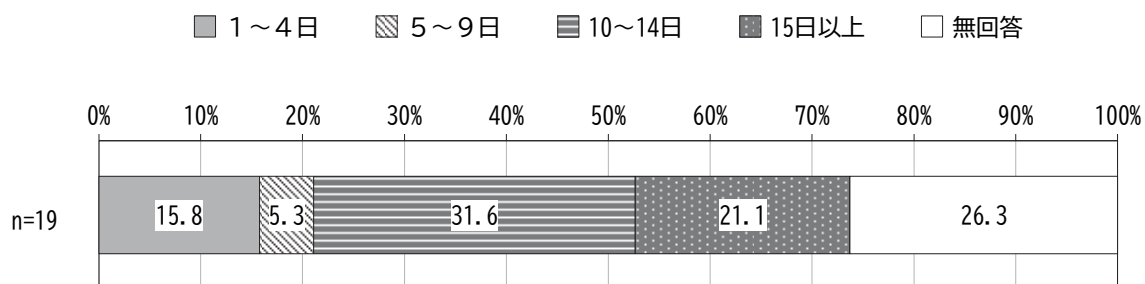
問 18-2 問 18-1 で「ア. 父親が休んだ」又は「イ. 母親が休んだ」に○をつけた方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前には、医師の診断が必要となります。

「利用したいとは思わない」が 60%と多く、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 40%となっている。



問 18－2－1 保育施設等を利用したい日数

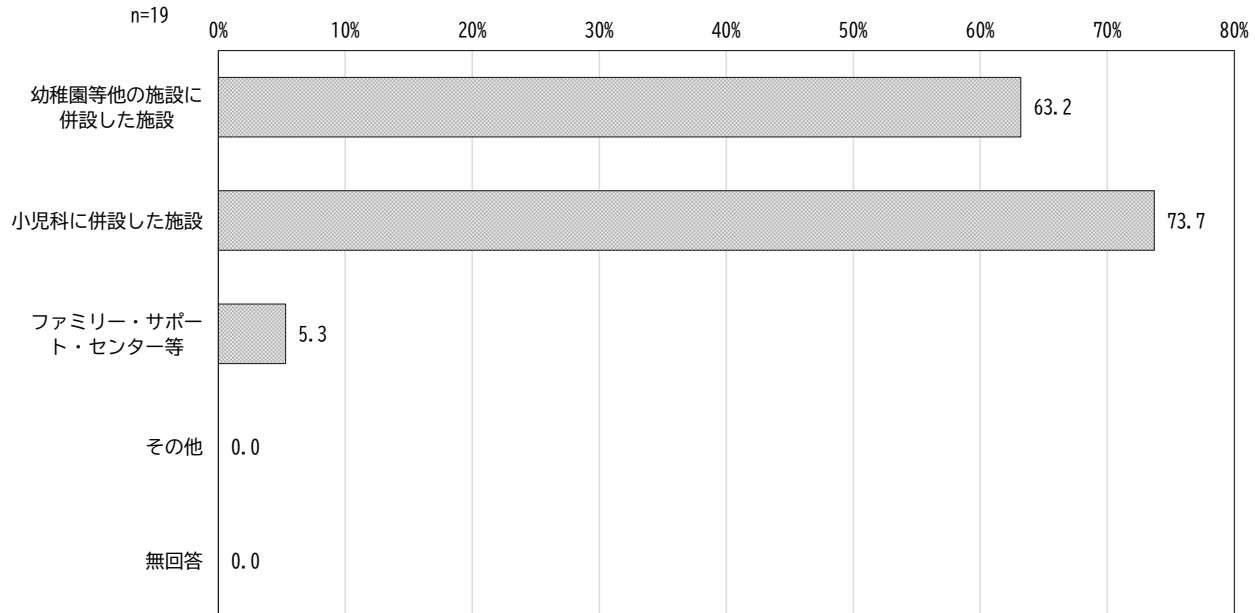
「10～14 日」が 32%と多く、次いで「15 日以上」が 21%、「1～4 日」が 16%となっている。



問 18-3 希望する事業形態

問 18-3 問 18-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 18-1 を理由とする目的で子どもを預ける場合、次のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

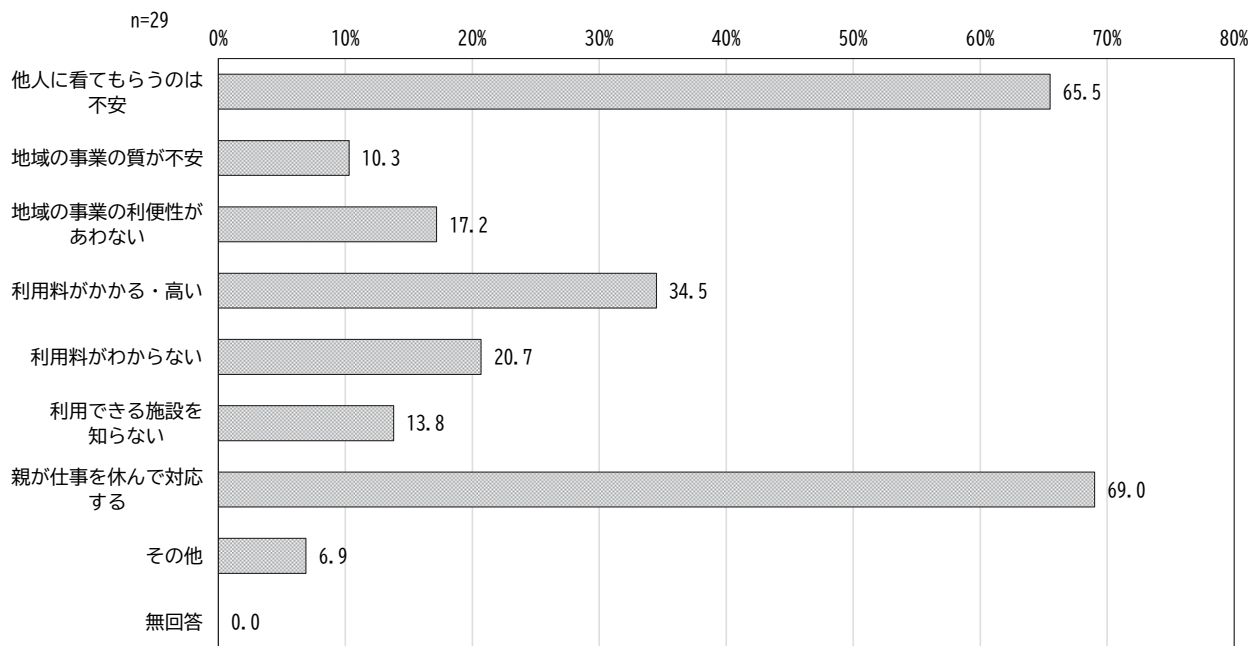
「小児科に併設した施設」が 74%と多く、次いで「幼稚園等他の施設に併設した施設」が 63%、「ファミリー・サポート・センター等」が5%となっている。



問 18-4 利用したいと思わない理由

問 18-4 問 18-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

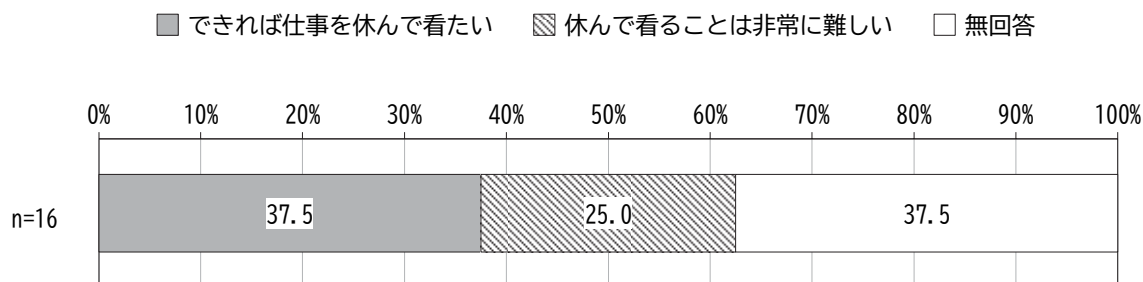
「親が仕事を休んで対応する」が 69%と多く、次いで「他人に看てもらうのは不安」が 66%、「利用料がかかる・高い」が 35%となっている。



問 18－5 仕事を休んで子どもを看たいか

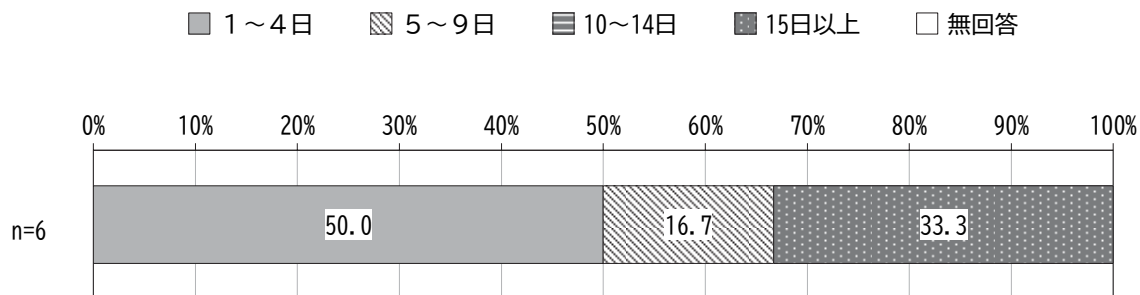
問 18-5 問 18-1 で「エ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」から「ケ. その他」のいずれかに回答した方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、「エ.」から「ケ.」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「できれば仕事を休んで看たい」が 38%と多く、「休んで看ることは非常に難しい」が 25%となっている。



問 18－5－1 仕事を休んで看たい日数

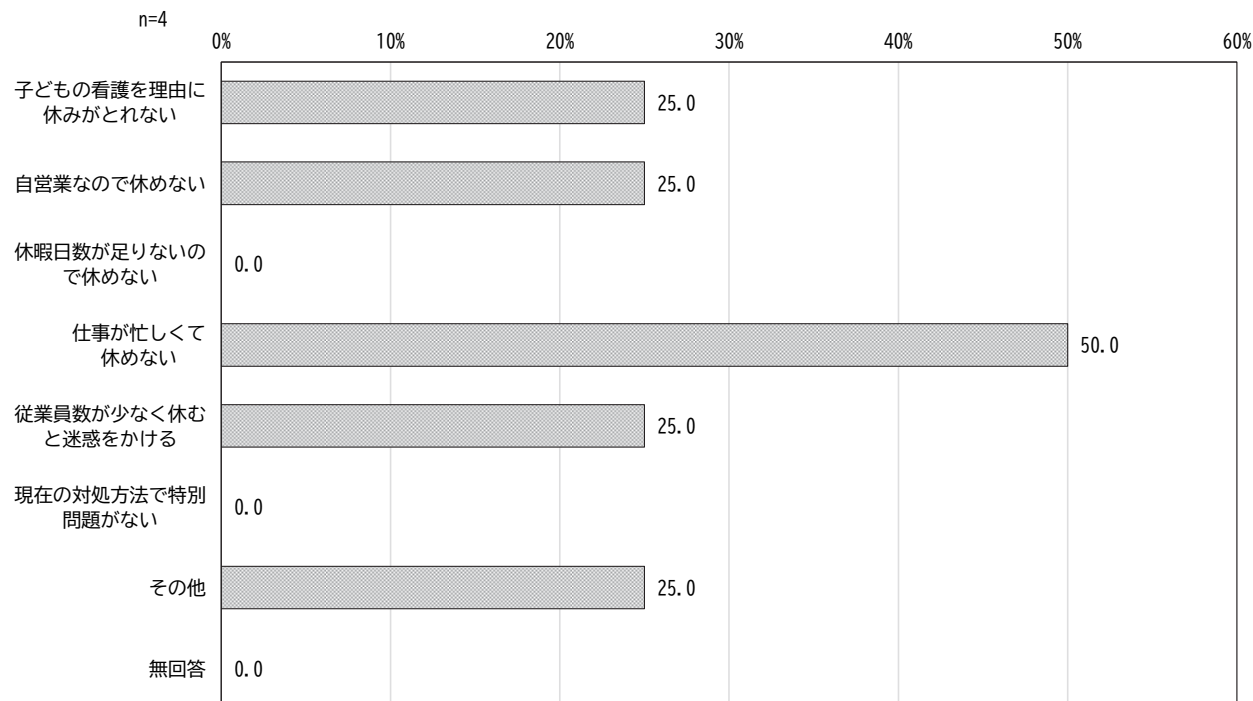
件数は少ないが、「1～4日」「15 日以上」という回答がみられる。



問 18-6 休んで看ることが難しい理由

問 18-6 問 18-5で「2. 休んで看ことは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

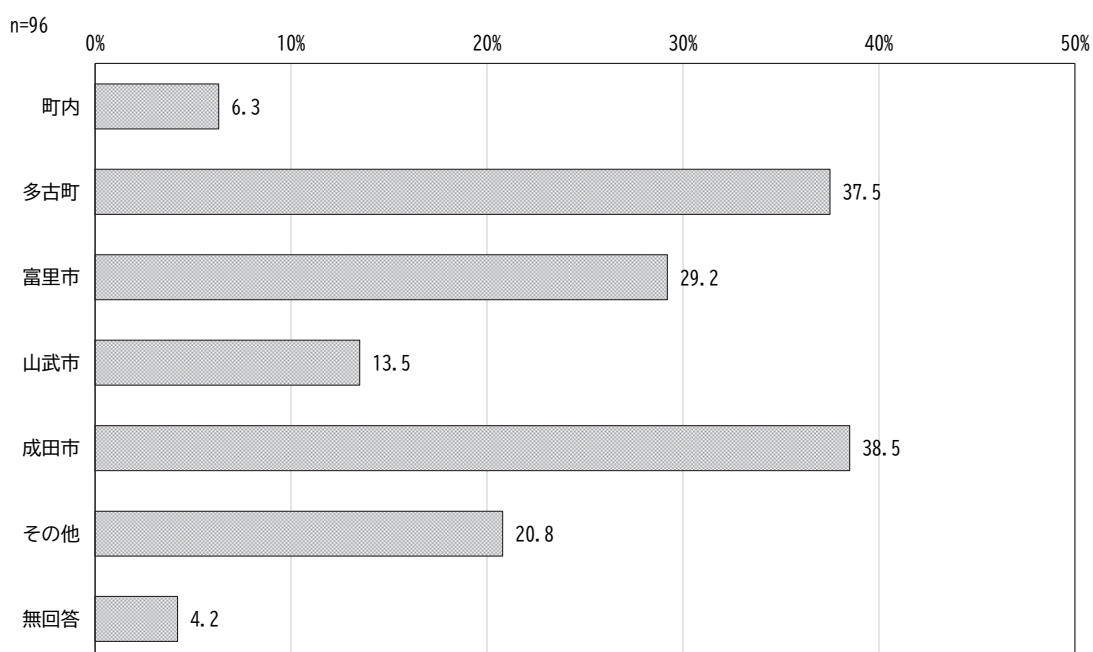
件数は少ないが、「仕事が忙しくて休めない」がやや多くみられる。



問 19 かかりつけ医の場所

問 19 お子さんが病気になった場合にかかりつけ医はどこにありますか。当てはまる番号2つまで○をつけてください。

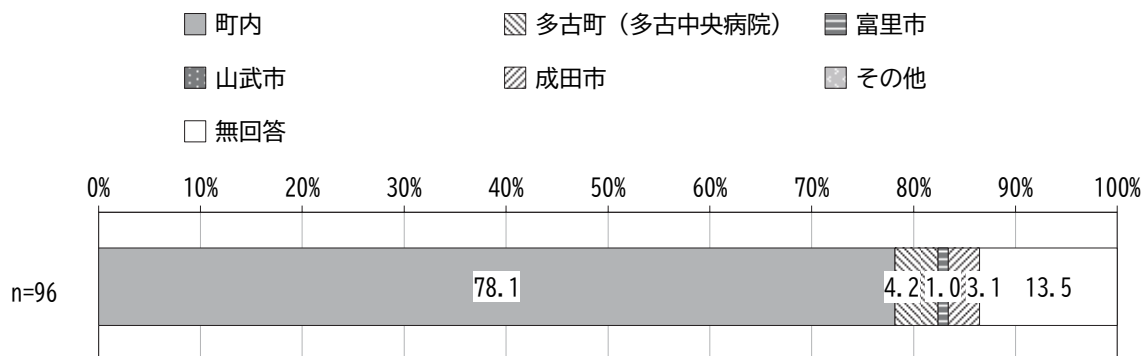
「成田市」が 39%と多く、次いで「多古町」が 38%、「富里市」が 29%となっている。



問 20（１） 病児・病後児保育施設の利用場所（第一希望）

問 20 病児・病後児保育施設はどこにあれば利用したいですか。当てはまる番号を第2希望まで【 】内に、ご記入ください。

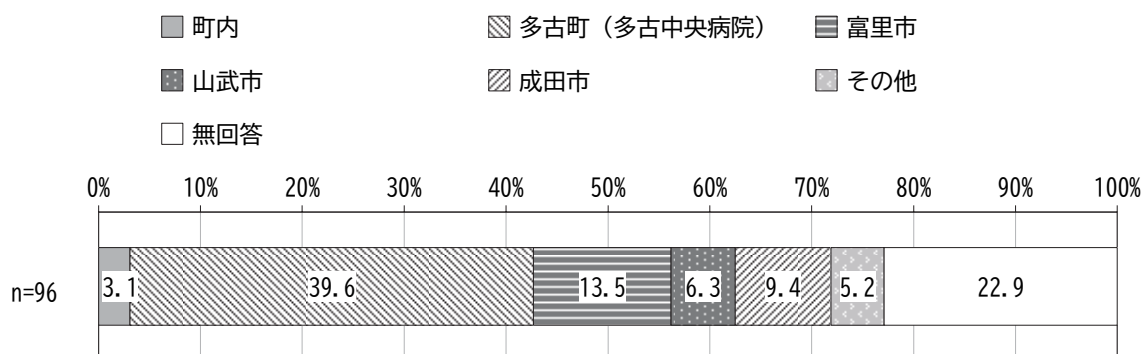
「町内」が78%と多くなっている。



問 20（２） 病児・病後児保育施設の利用場所（第二希望）

問 20 病児・病後児保育施設はどこにあれば利用したいですか。当てはまる番号を第2希望まで【 】内に、ご記入ください。

「多古町(多古中央病院)」が40%と多く、次いで「富里市」が14%、「成田市」が9%となっている。

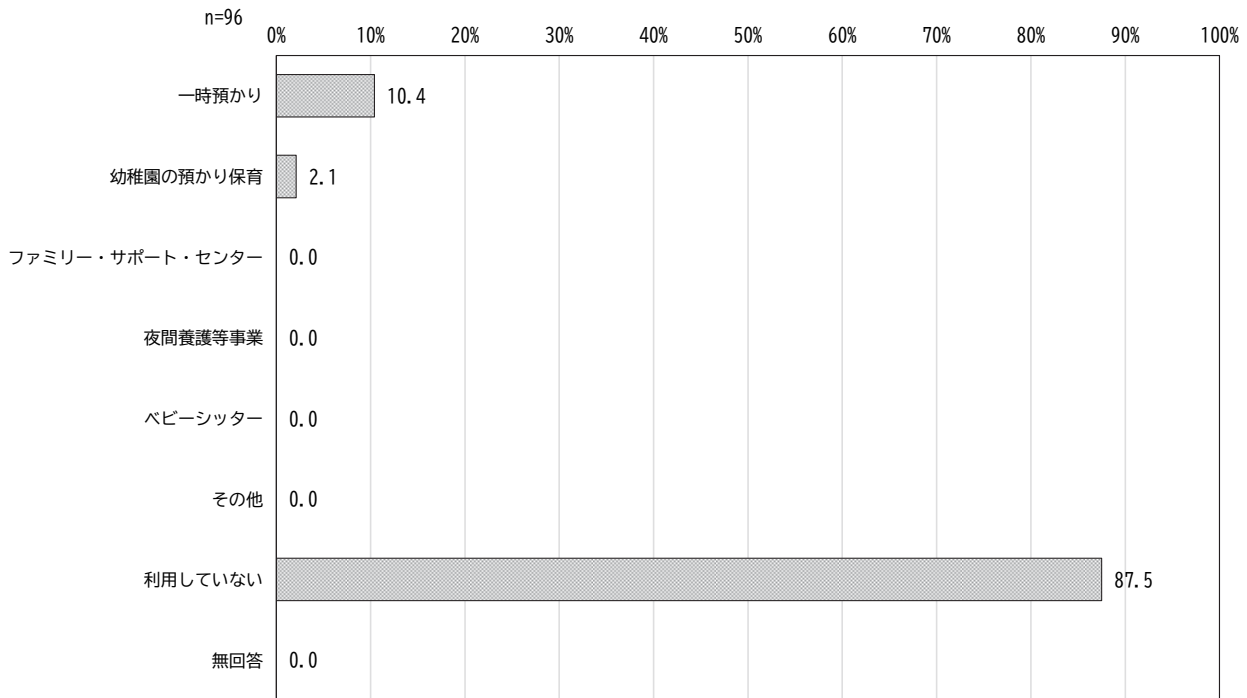


9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

問 21 不定期に利用している事業

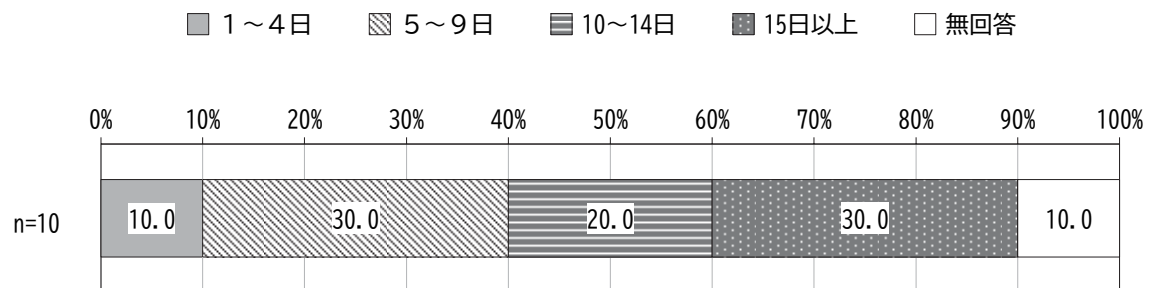
問 21 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不
定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号す
べてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください（数字は一桁に
一字）。

「利用していない」が 88%と多く、次いで「一時預かり」が 10%となっている。



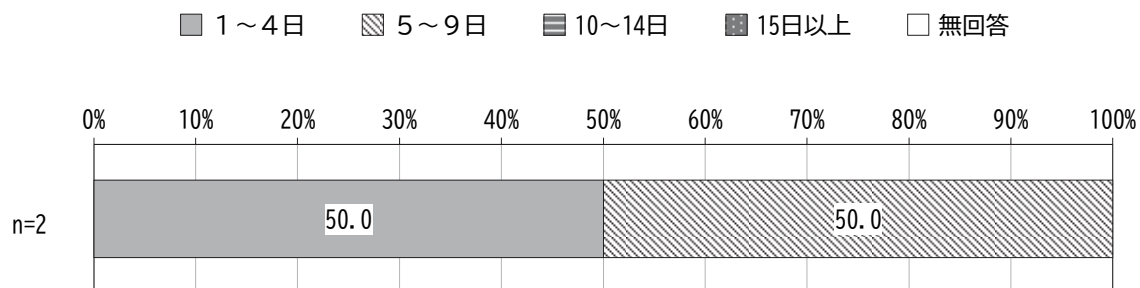
問 21（１） 一時預かりの日数

「5～9日」「15日以上」がともに 30%と多く、次いで「10～14日」が 20%となっている。



問 21（２） 幼稚園の預かり保育の日数

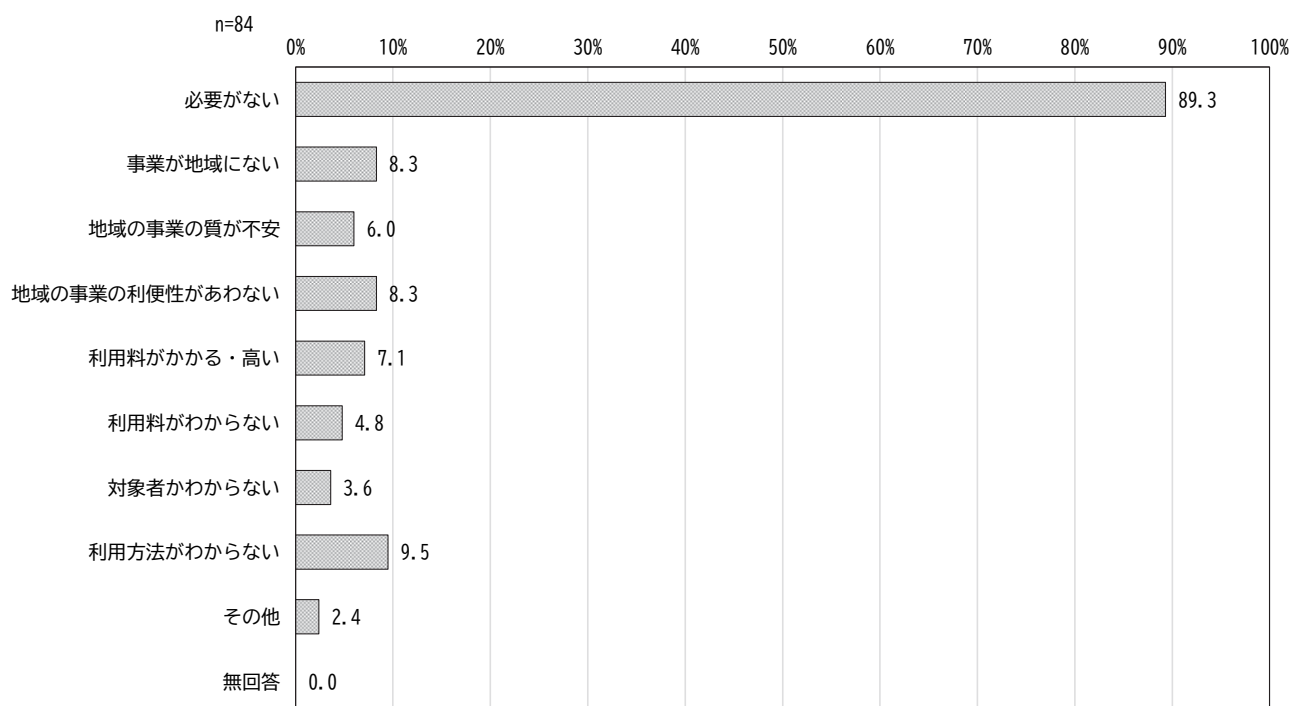
件数は少ないが、「1～4日」「5～9日」という回答がみられる。



問 21－１ 利用していない理由

問 21－１ 問 21 で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

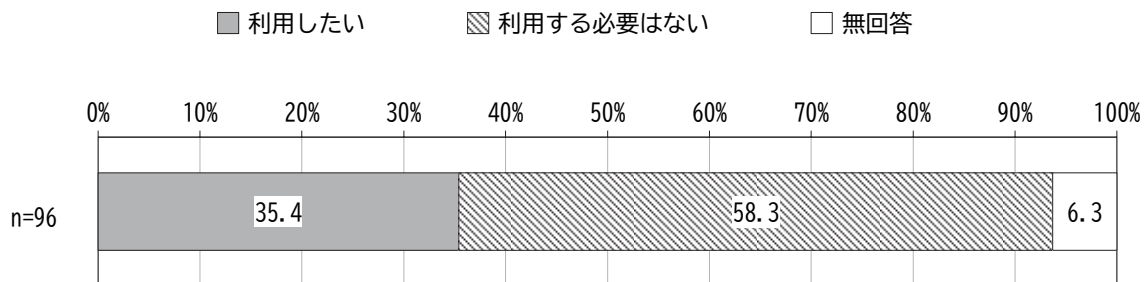
「必要がない」が89%と多く、次いで「利用方法がわからない」が10%、「事業が地域にない」「地域の事業の利便性があわない」がともに8%となっている。



問 22 事業の利用希望の有無

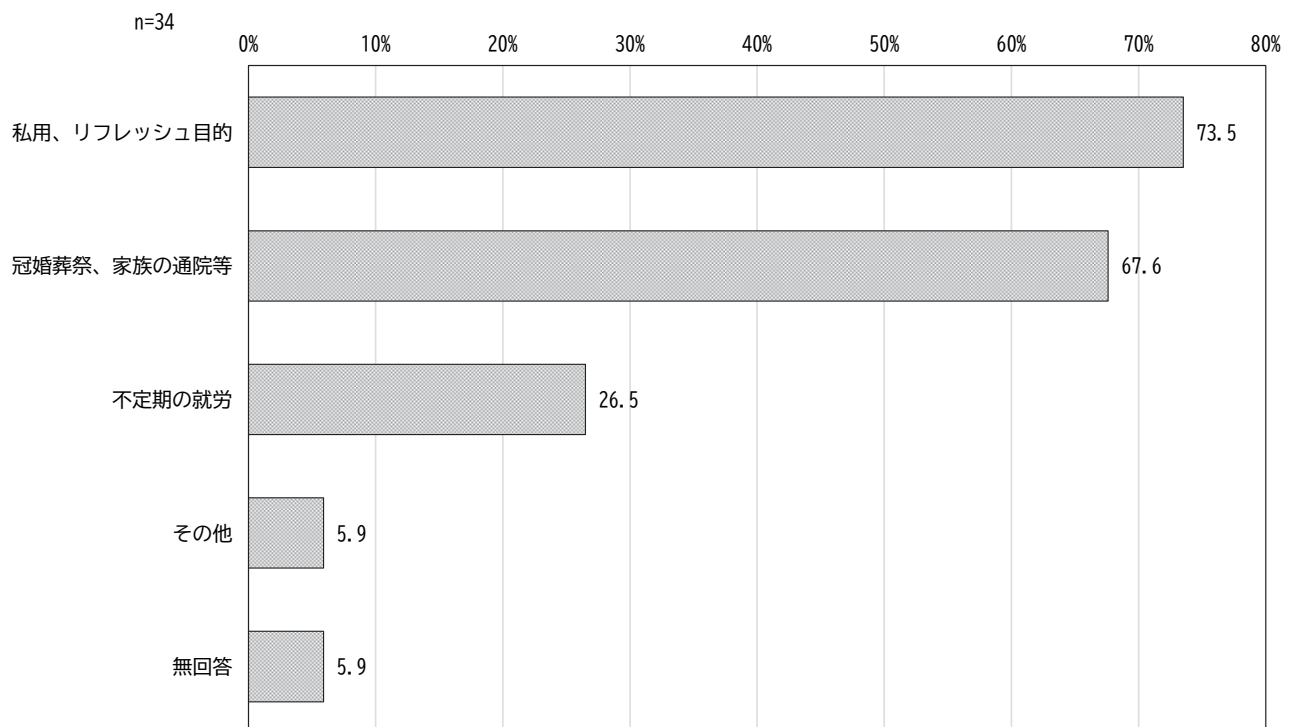
問 22 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

「利用する必要はない」が 58%と多く、「利用したい」が 35%となっている。



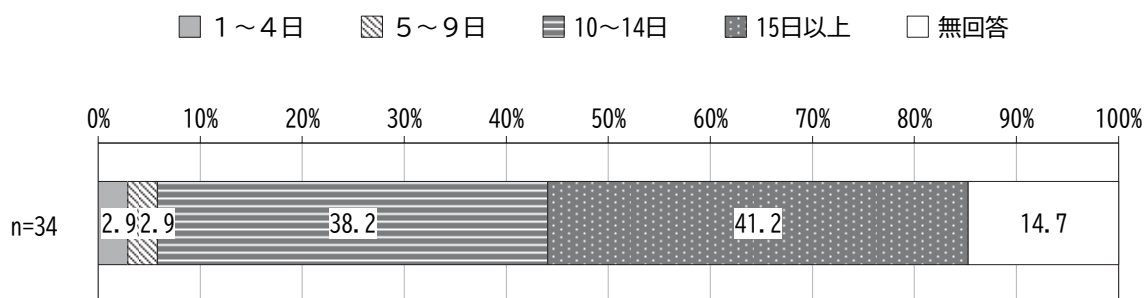
問 22（１） 事業の利用希望の理由

「私用、リフレッシュ目的」が 74%と多く、次いで「冠婚葬祭、家族の通院等」が 68%、「不定期の就労」が 27%となっている。



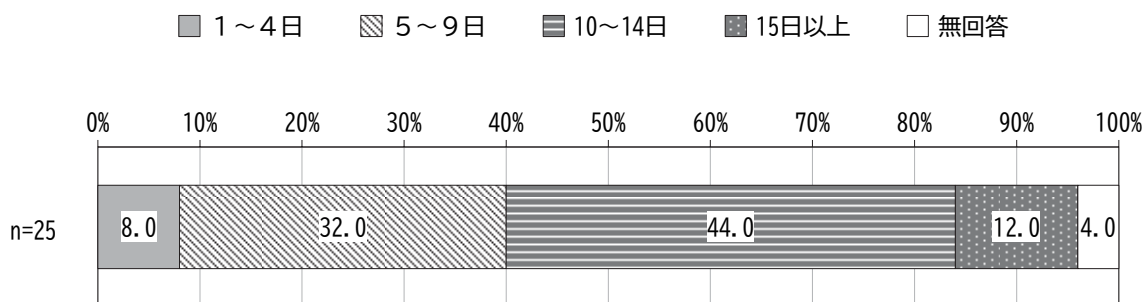
問 22（１） 合計の日数

「15 日以上」が 41%と多く、次いで「10～14 日」が 38%となっている。



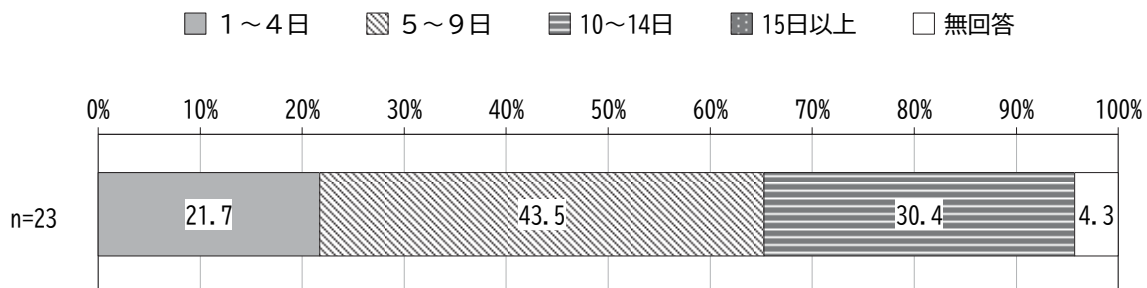
問 22（１）－１ 私用、リフレッシュ目的の日数

「10～14 日」が 44%と多く、次いで「5～9 日」が 32%、「15 日以上」が 12%となっている。



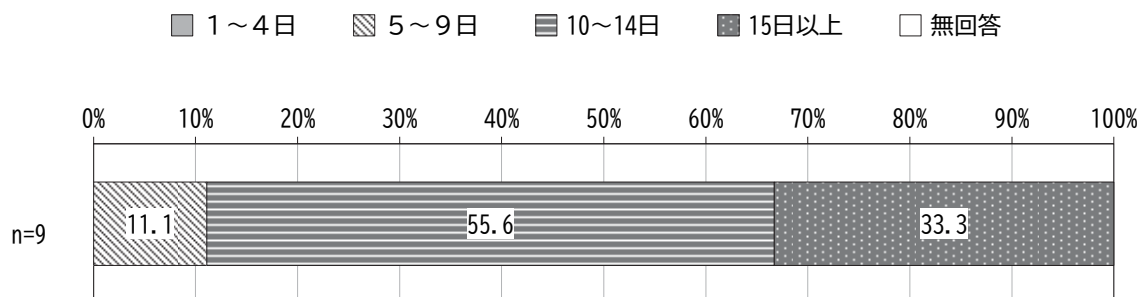
問 22（１）－２ 冠婚葬祭、家族の通院等の日数

「5～9 日」が 44%と多く、次いで「10～14 日」が 30%、「1～4 日」が 22%となっている。



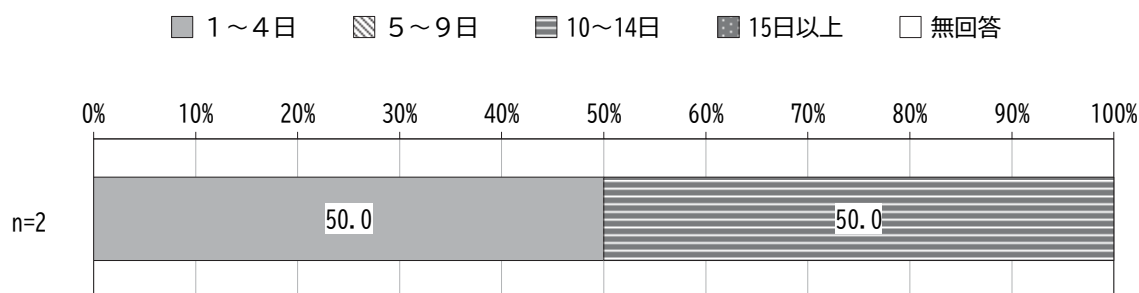
問 22（１）－３ 不定期の就労の日数

件数は少ないが、「10～14 日」が 56%と多く、次いで「15 日以上」が 33%、「1～4日」が 11%となっている。



問 22（１）－４ その他の日数

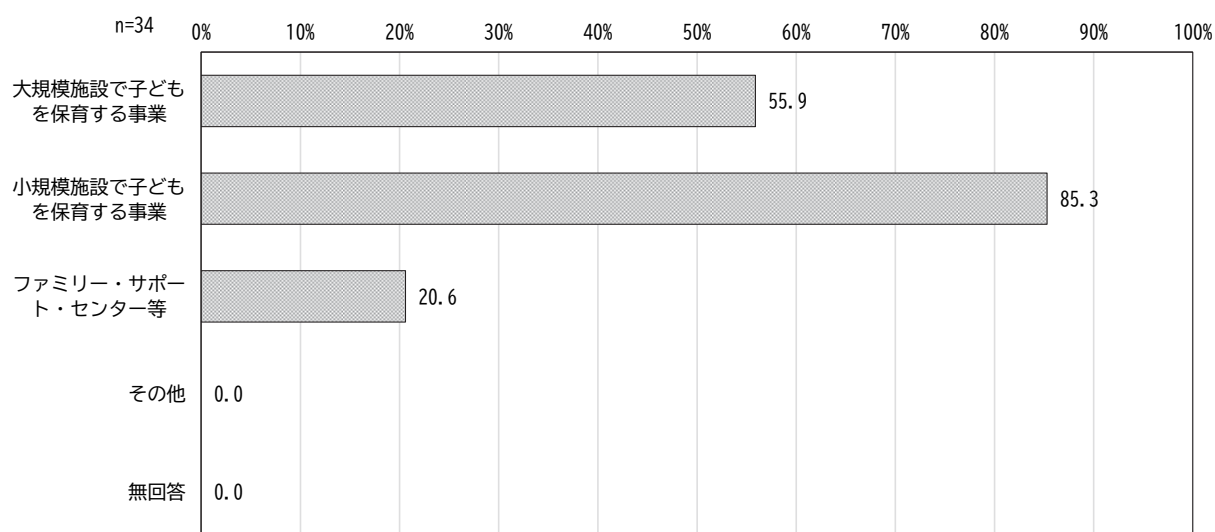
件数は少ないが、「1～4日」「10～14 日」という回答がみられる。



問 22－１ 希望する事業形態

問 22－１ 問 22 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 22 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

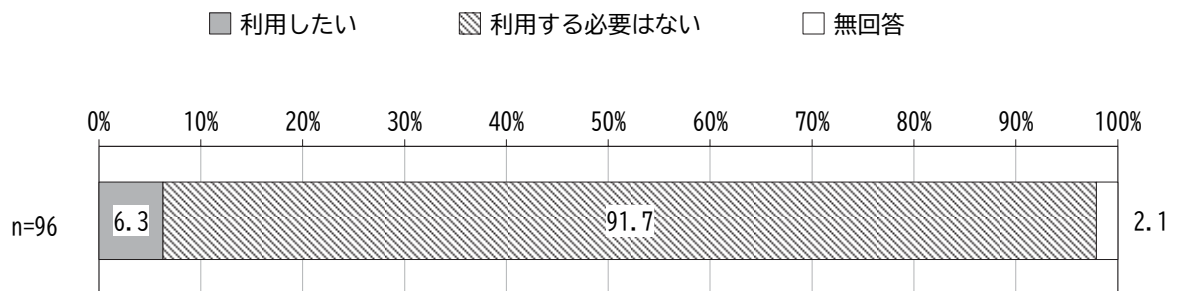
「小規模施設で子どもを保育する事業」が 85%と多く、次いで「大規模施設で子どもを保育する事業」が 56%、「ファミリー・サポート・センター等」が 21%となっている。



問 23（１） 短期入所生活援助事業（ショートステイ）等の利用希望

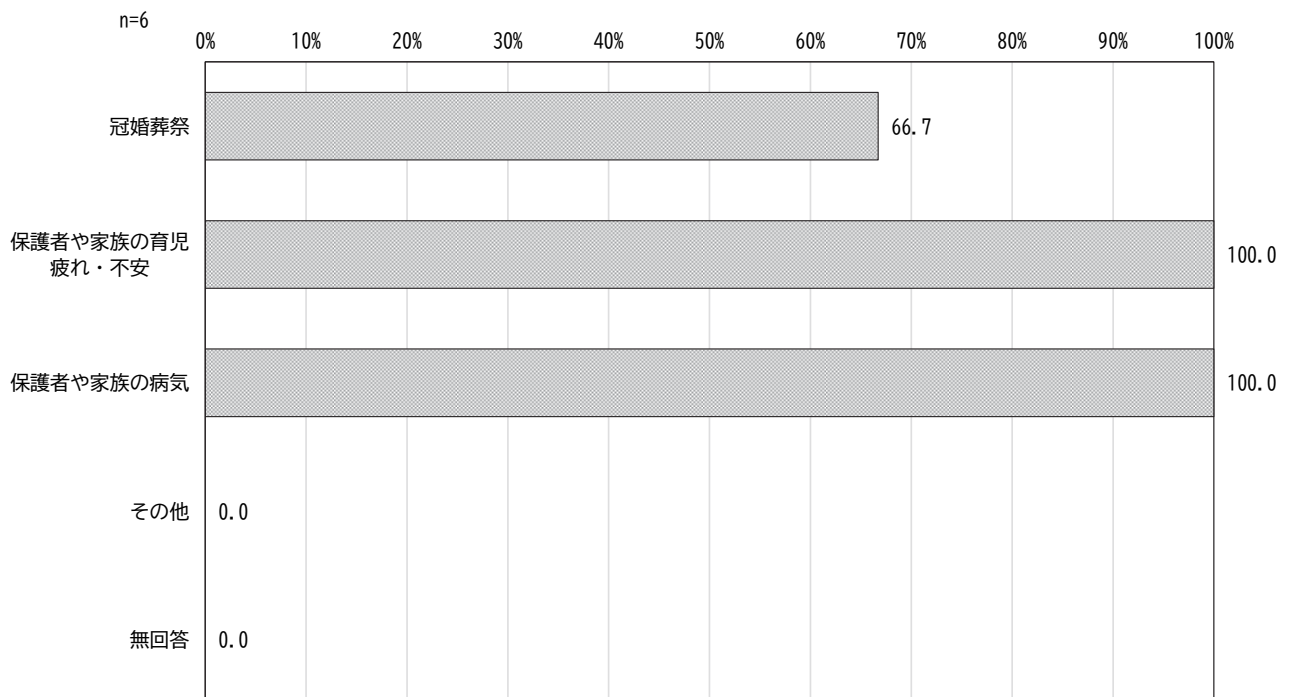
問 23 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれの泊数も口内に数字でご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

「利用する必要はない」が 92%と多く、「利用したい」が6%となっている。



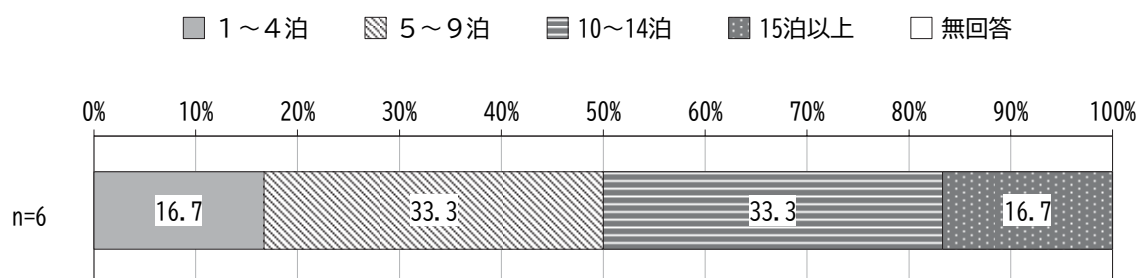
問 23（１） 事業の利用希望

件数は少ないが、「保護者や家族の育児疲れ・不安」「保護者や家族の病気」が 100%とともに多く、次いで「冠婚葬祭」が 67%となっている。



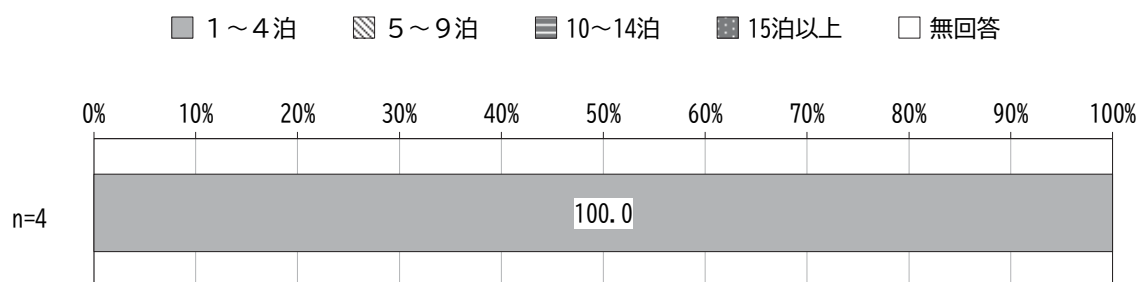
問 23（１） 合計の日数

件数は少ないが、「5～9泊」「10～14泊」がともに多くなっている。



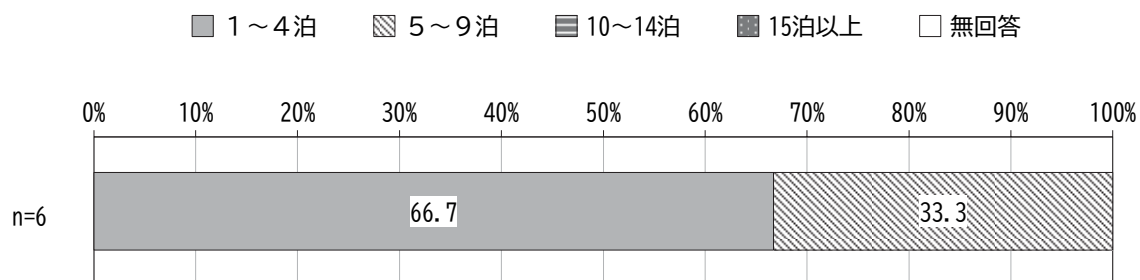
問 23（１）－１ 冠婚葬祭

件数は少ないが、「1～4泊」という回答がみられる。



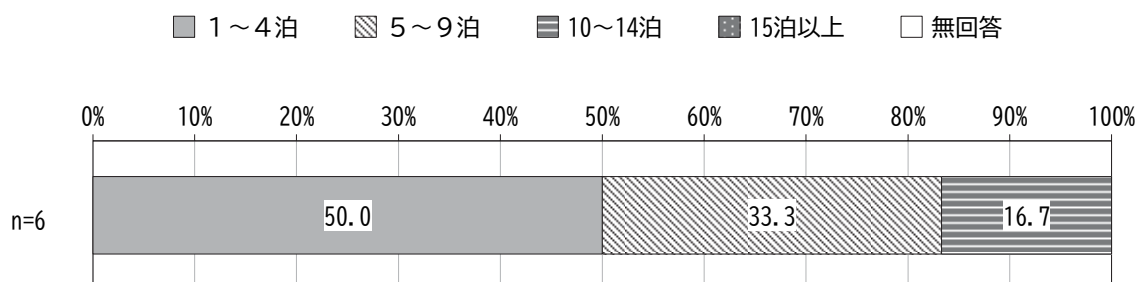
問 23（１）－２ 保護者や家族の育児疲れ・不安

件数は少ないが、「1～4泊」「5～9泊」という回答がみられる。



問 23（１）－３ 保護者や家族の病気

件数は少ないが、「1～4泊」「5～9泊」「10～14泊」という回答がみられる。

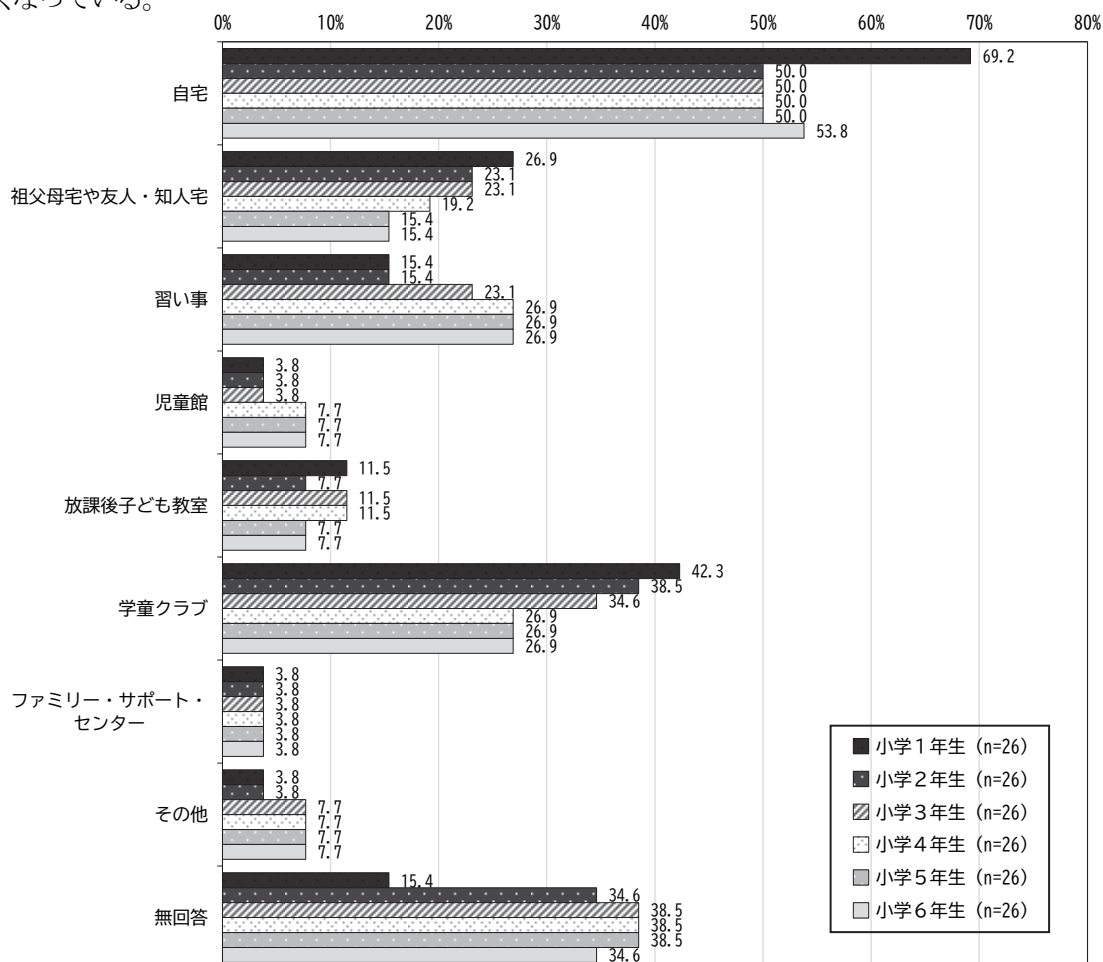


10. 小学校就学後の放課後の過ごし方（5歳以上の子どものみ）

問 24 放課後の過ごし方（全学年）

問 24 宛名のお子さんが、小学生になった時、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。

全学年で「自宅」が一番多く、次いで1～3年生では「学童クラブ」、4～6年生では「学童クラブ」「習い事」が多くなっている。



問 24 放課後の過ごし方（回答割合/学年別）

（単位：％）

	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生
1. 自宅	69.2	50.0	50.0	50.0	50.0	53.8
2. 祖父母宅や友人・知人宅	26.9	23.1	23.1	19.2	15.4	15.4
3. 習い事	15.4	15.4	23.1	26.9	26.9	26.9
4. 児童館	3.8	3.8	3.8	7.7	7.7	7.7
5. 放課後子ども教室	11.5	7.7	11.5	11.5	7.7	7.7
6. 学童クラブ	42.3	38.5	34.6	26.9	26.9	26.9
7. ファミリー・サポート・センター	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8
8. その他	3.8	3.8	7.7	7.7	7.7	7.7
無回答	15.4	34.6	38.5	38.5	38.5	34.6

問 24 放課後の過ごし方（週当たりの平均日数/学年別）

（単位：日）

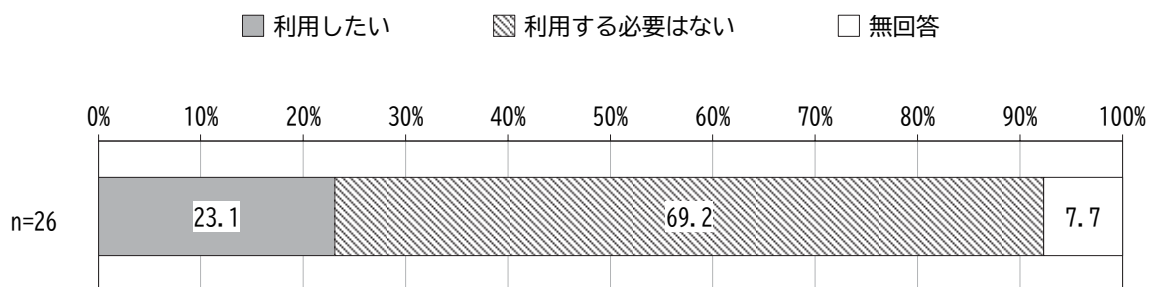
	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生
1. 自宅	3.3	2.4	2.2	2.6	3.0	3.1
2. 祖父母宅や友人・知人宅	2.4	1.8	1.8	1.6	1.3	1.3
3. 習い事	1.0	1.0	1.2	1.4	1.6	1.6
4. 児童館	1.0	1.0	1.0	2.0	2.0	2.0
5. 放課後子ども教室	2.7	1.0	1.0	1.3	1.5	1.5
6. 学童クラブ	4.1	4.3	3.9	3.4	3.0	2.6
6. 学童クラブ（何時まで）	17.6	17.5	17.6	17.8	17.8	17.8
7. ファミリー・サポート・センター	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0
8. その他	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0

※（何時まで）は時間表示。小数点以下 0.1＝6 分として計算。（例：17.5 時間＝午後 5 時 30 分）

問 25（１）－１ 学童クラブの利用希望（土曜日）

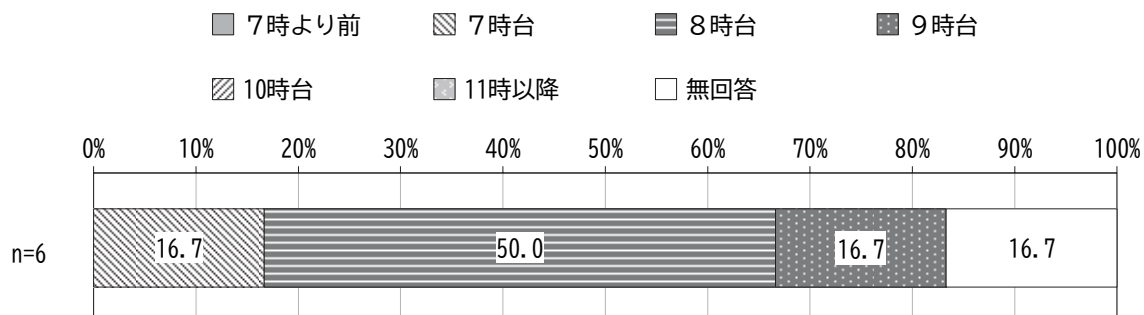
問 25 問 24 で「6. 学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日及び夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、学童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（１）～（３）それぞれについて、当てはまる番号１つに○をつけてください。また、「利用したい」方は、利用したい時間帯及び何年生まで利用したいかも口内に数字でご記入ください。

「利用する必要はない」が 69%と多く、「利用したい」が 23%となっている。



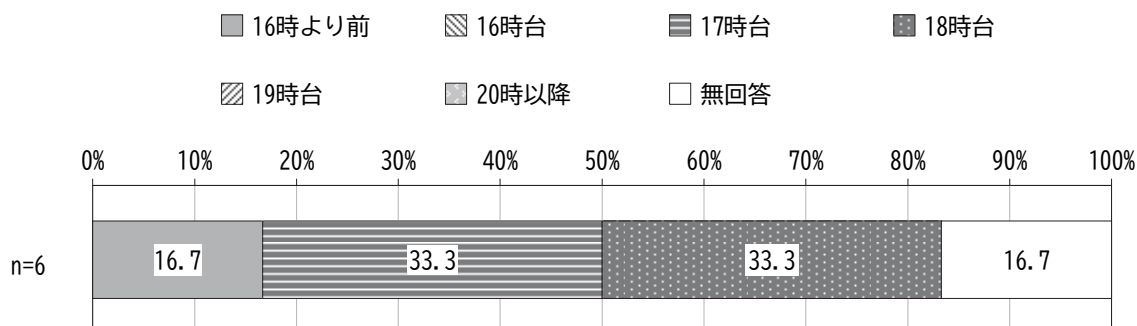
問 25（１）－２ 利用希望開始時間

件数は少ないが、「8時台」がやや多くみられる。



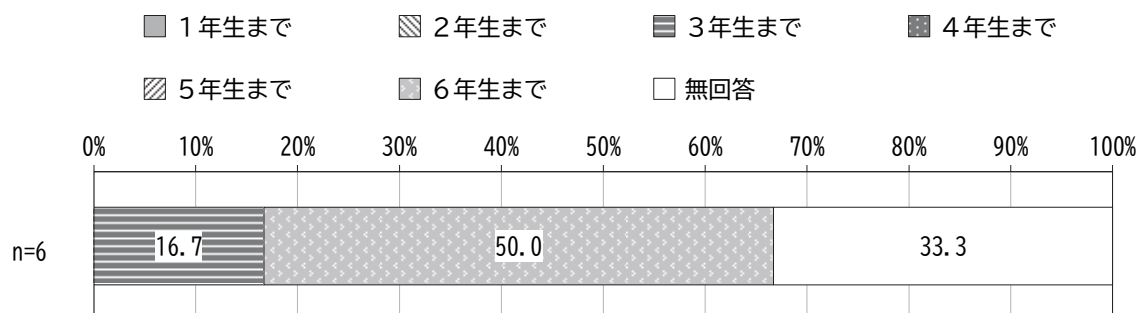
問 25（１）－３ 利用希望終了時間

件数は少ないが、「17 時台」「18 時台」「16 時より前」という回答がみられる。



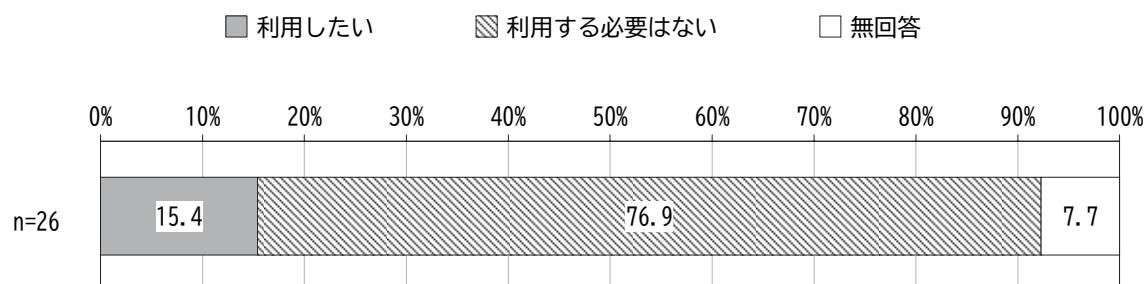
問 25（１）－４ 利用希望の学年

件数は少ないが、「6年生」「3年生」という回答がみられる。



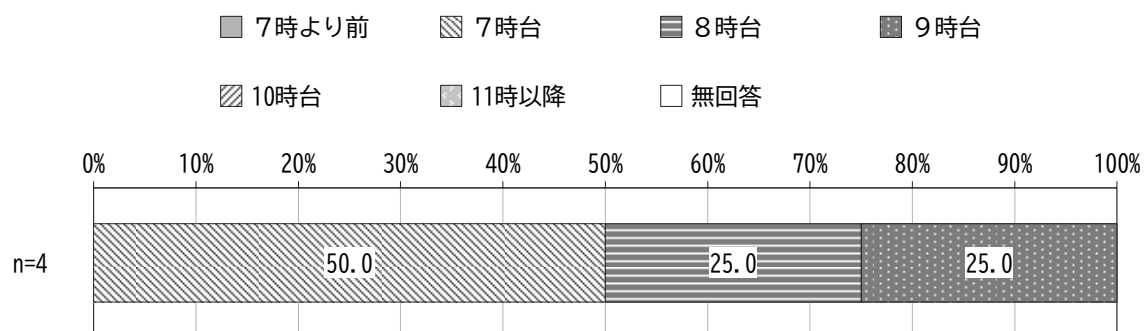
問 25（２）－１ 学童クラブの利用希望（日祝日）

「利用する必要はない」が 77%と多く、「利用したい」が 15%となっている。



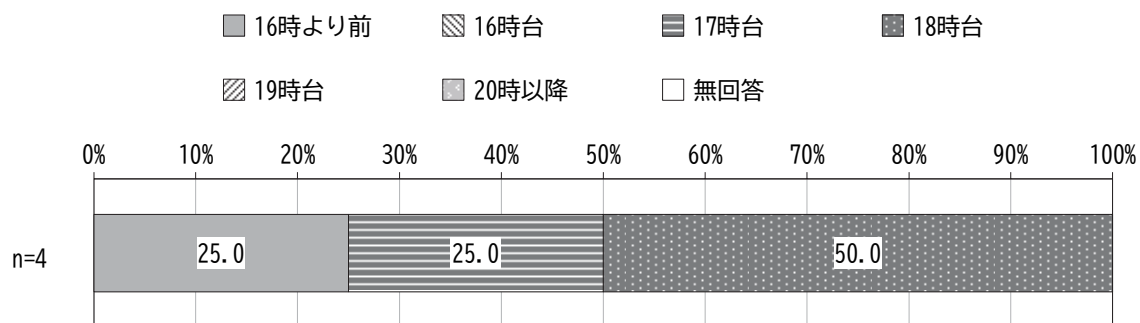
問 25（２）－２ 利用希望開始時間

件数は少ないが、「7時台」がやや多くみられる。



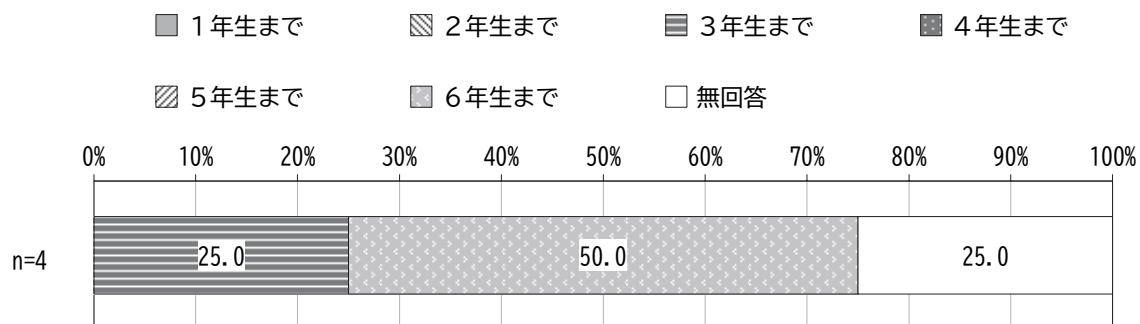
問 25（2）－3 利用希望終了時間

件数は少ないが、「17 時台」「18 時台」「16 時より前」という回答がみられる。



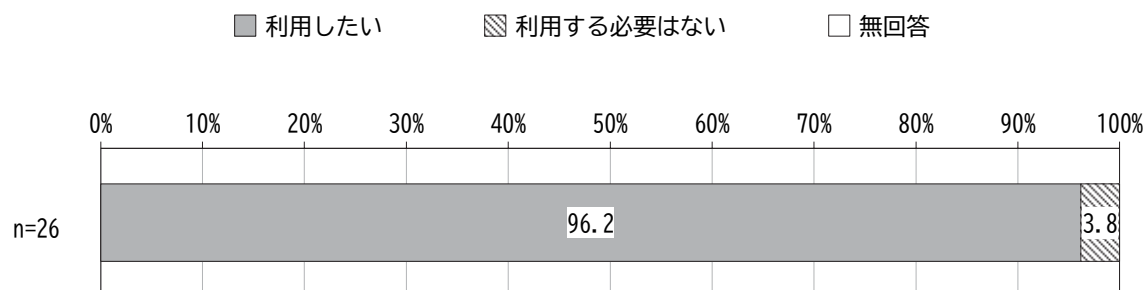
問 25（2）－4 利用希望の学年

件数は少ないが、「6年生」「3年生」という回答がみられる。



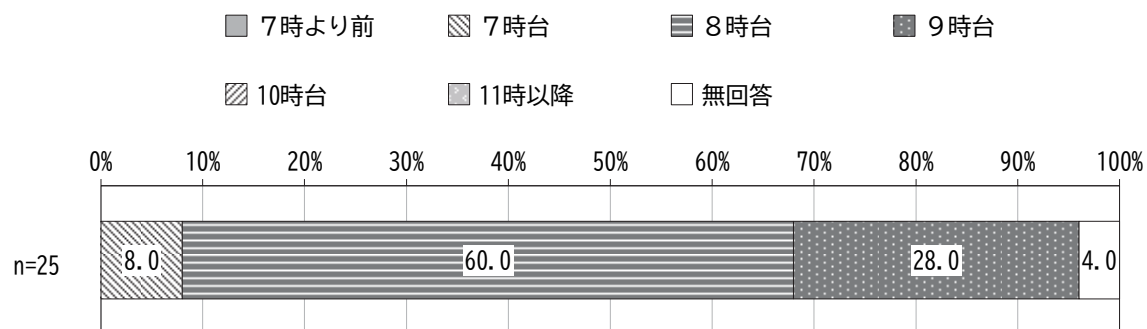
問 25（3）－1 長期休暇中の学童クラブの利用希望

「利用したい」が 96%と多くなっている。



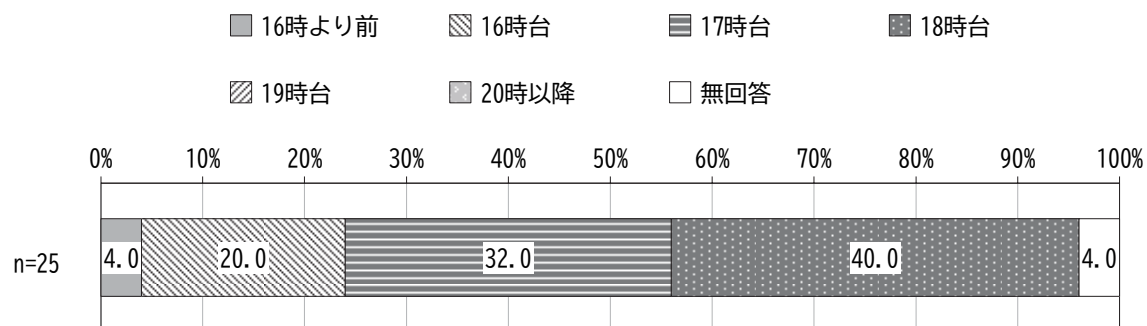
問 25（3）－ 2 利用希望の開始時間

「8時台」が 60%と多く、次いで「9時台」が 28%、「7時台」が8%となっている。



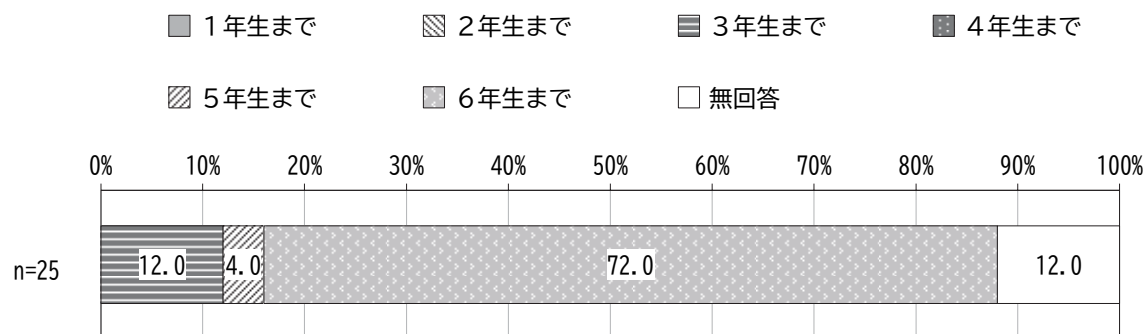
問 25（3）－ 3 利用希望の終了時間

「18 時台」が 40%と多く、次いで「17 時台」が 32%、「16 時台」が 20%となっている。



問 25（3）－ 4 利用希望の学年

「6年生」が 72%と多く、次いで「3年生」が 12%となっている。

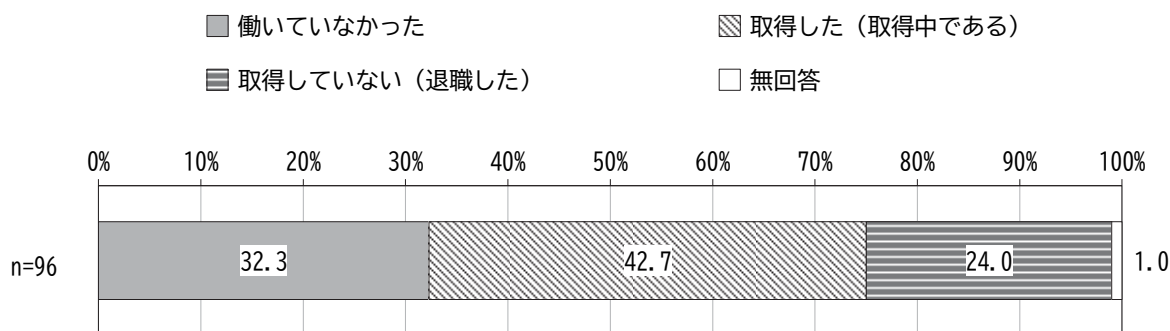


11. 職場の両立支援制度

問 26（１）－① 育児休業の取得（母親）

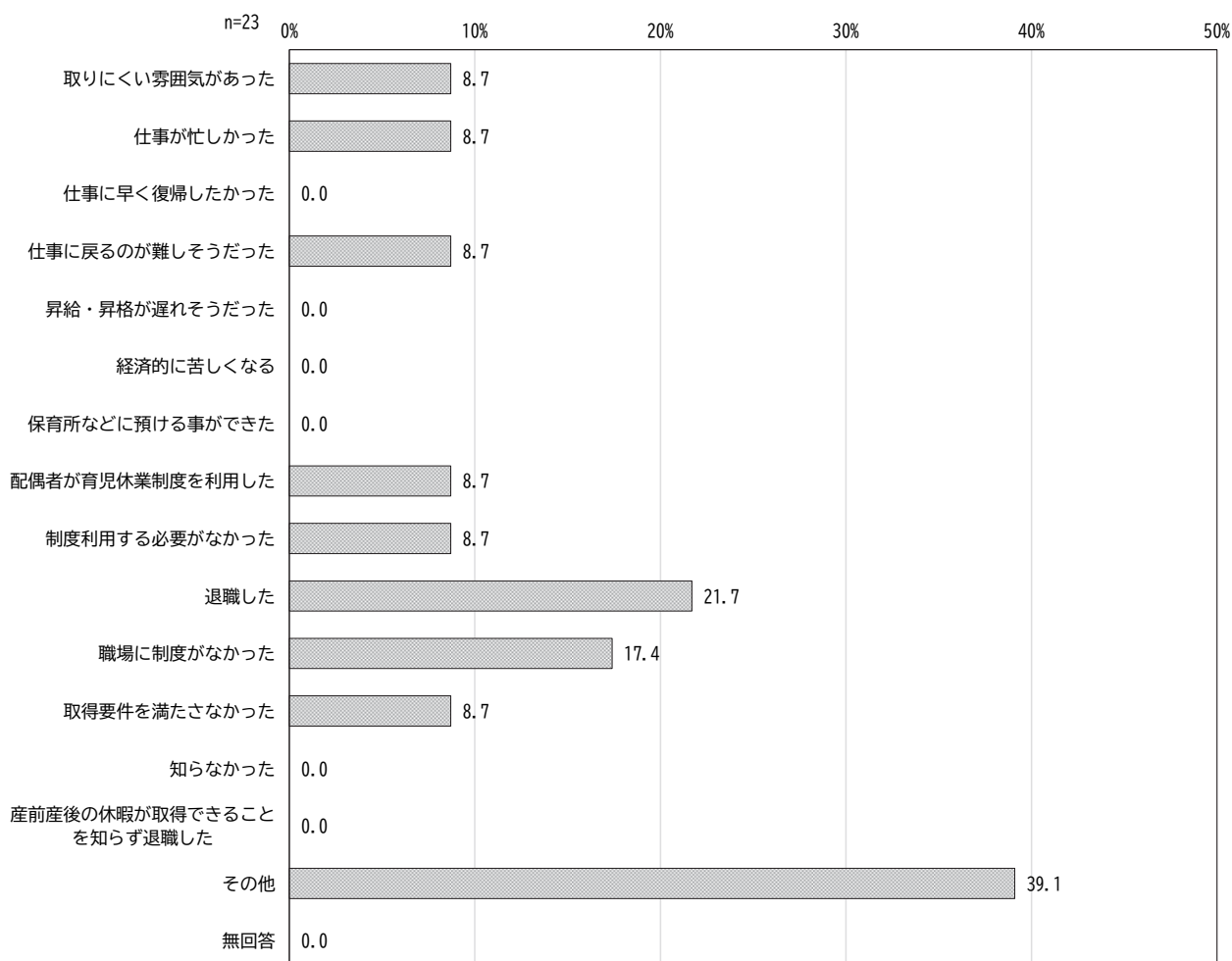
問 26 お子さんが生まれたとき、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。すべてのお子さんを合わせた状況で、母親、父親それぞれについてお答えください。なお、お子さんによって取得期間等が異なる場合は、最も長く取得したときの状況でお答えください。

「取得した」が 43%と多く、次いで「働いていなかった」が 32%、「取得していない」が 24%となっている。



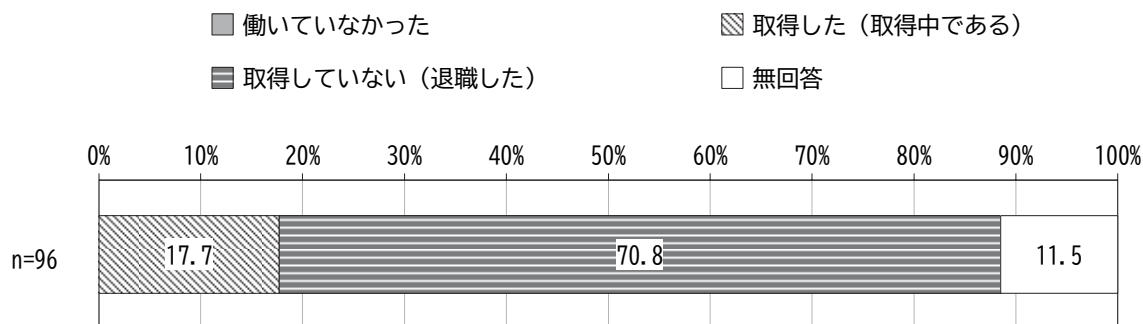
問 26（１）－② 取得していない理由

「退職した」が 22%と多く、次いで「職場に制度がなかった」が 17%となっている。



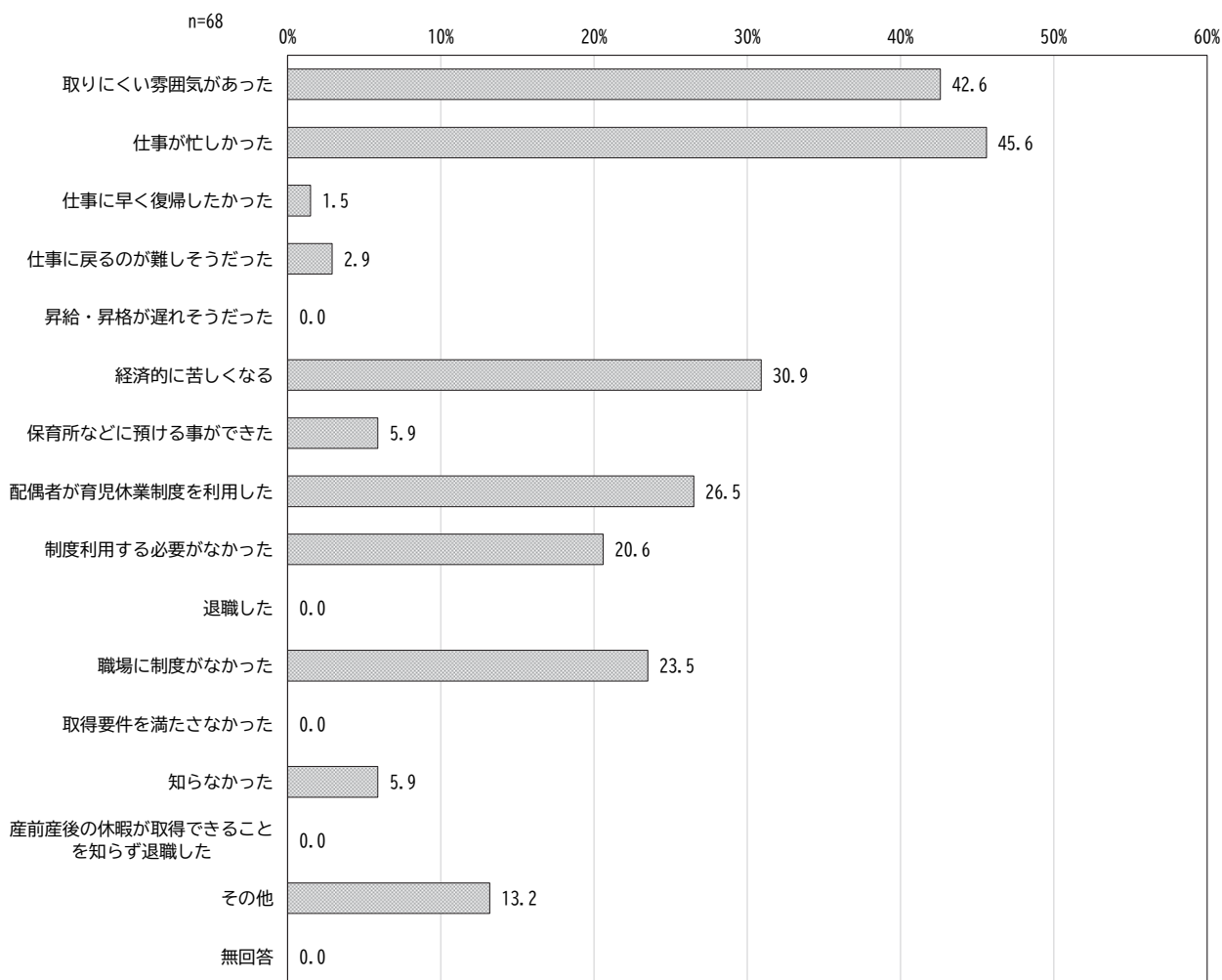
問 26（2）－① 育児休業の取得（父親）

「取得していない」が 71%と多く、次いで「取得した」が 18%となっている。



問 26（2）－② 取得していない理由

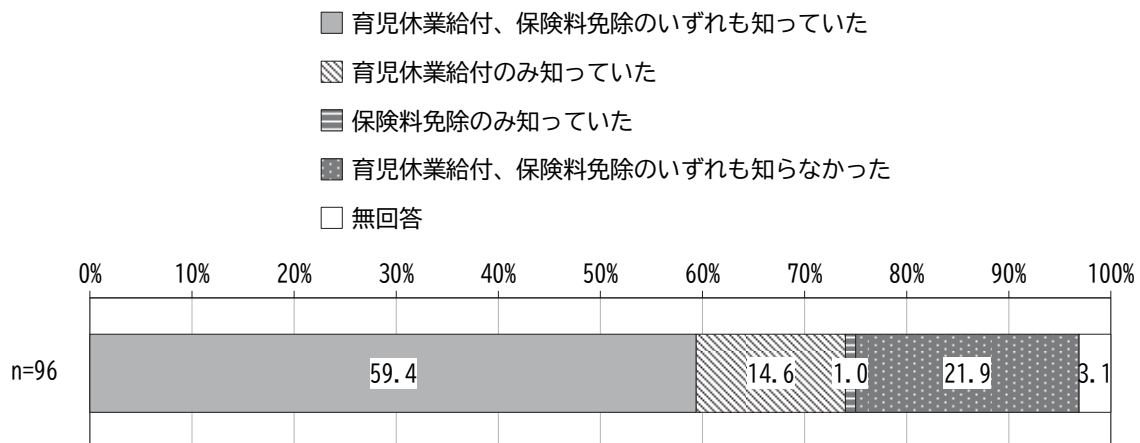
「仕事が忙しかった」が 46%と多く、次いで「取りにくい雰囲気があった」が 43%、「経済的に苦しくなる」が 31%となっている。



問 26－1 育児休業給付、保険料免除の知識

問 26-1 子どもが原則 1 歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は 1 歳 6 ヶ月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

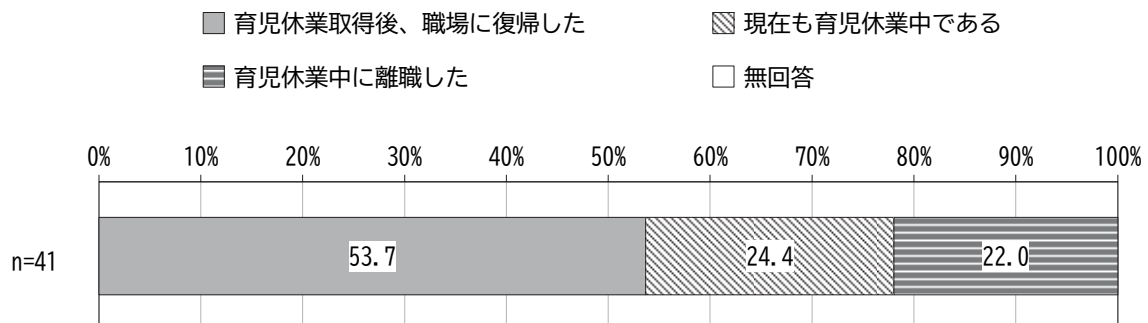
「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が 59%と多く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が 22%、「育児休業給付のみ知っていた」が 15%となっている。



問 26－2（1） 職場への復帰（母親）

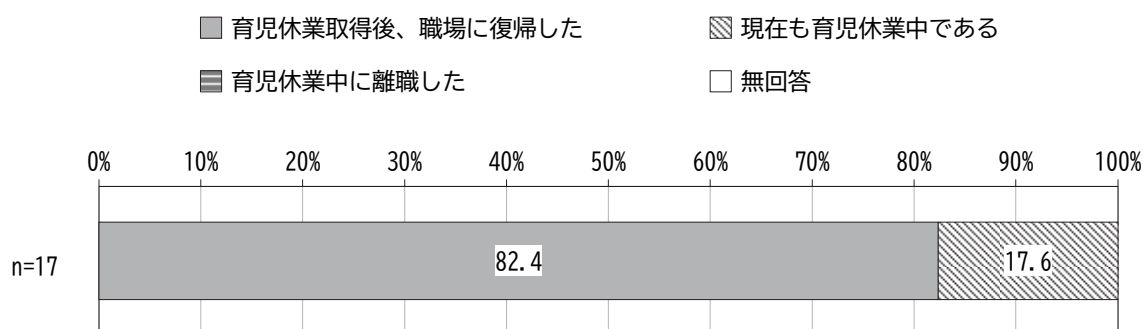
問 26-2 問 26 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「育児休業取得後、職場に復帰した」が 54%と多く、次いで「現在も育児休業中である」が 24%、「育児休業中に離職した」が 22%となっている。



問 26-2 (2) 職場への復帰 (父親)

「育児休業取得後、職場に復帰した」が 82%と多く、次いで「現在も育児休業中である」が 18%となっている。

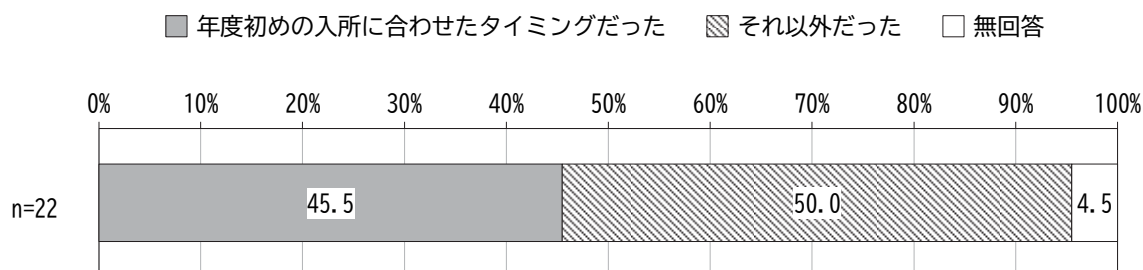


問 26-3 (1) 職場復帰のタイミング (母親)

問 26-3 問 26-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

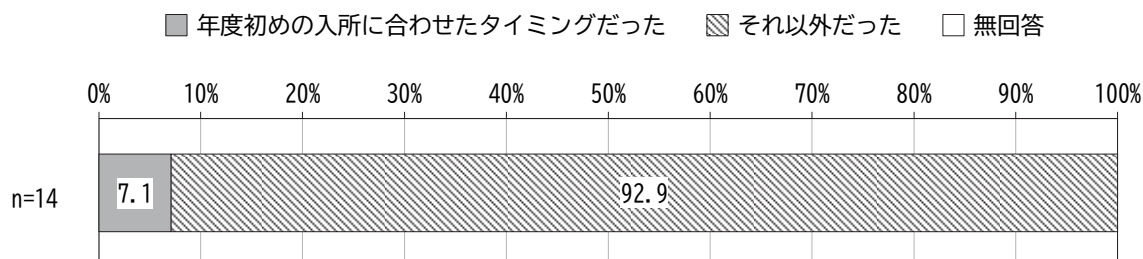
※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1 月～2 月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

「それ以外だった」が 50%と多く、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 46%となっている。



問 26-3 (2) 職場復帰のタイミング (父親)

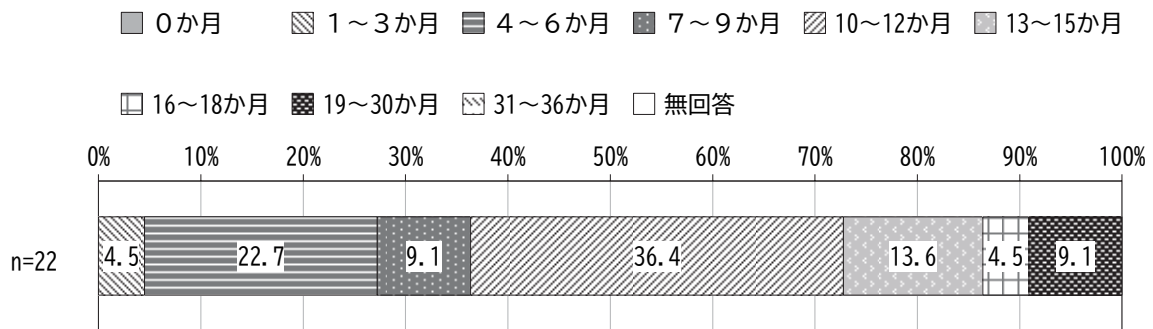
「それ以外だった」が 93%と多く、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 7%となっている。



問 26-4 (1) -① 育児休業の実際の取得期間（母親）

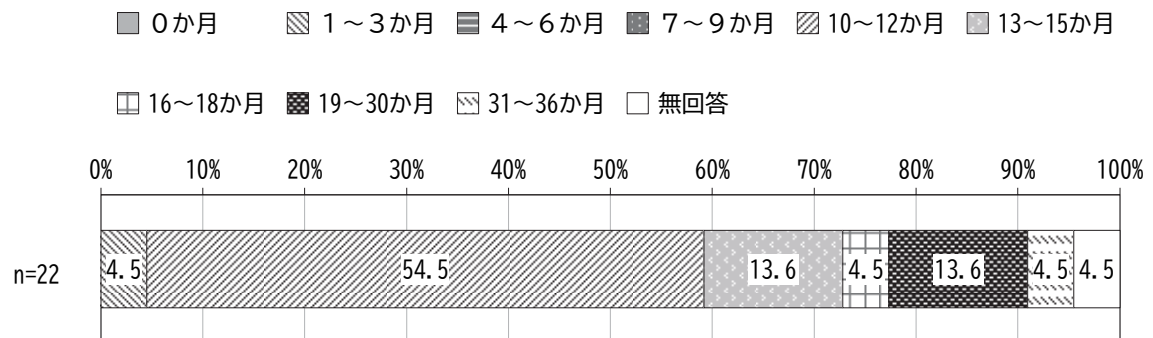
問 26-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望として」はお子さんが何歳何ヶ月のときまで育児休業を取りたかったですか。母親、父親それぞれについて、口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「10～12 か月」が 36%と多く、次いで「4～6 か月」が 23%、「13～15 か月」が 14%となっている。



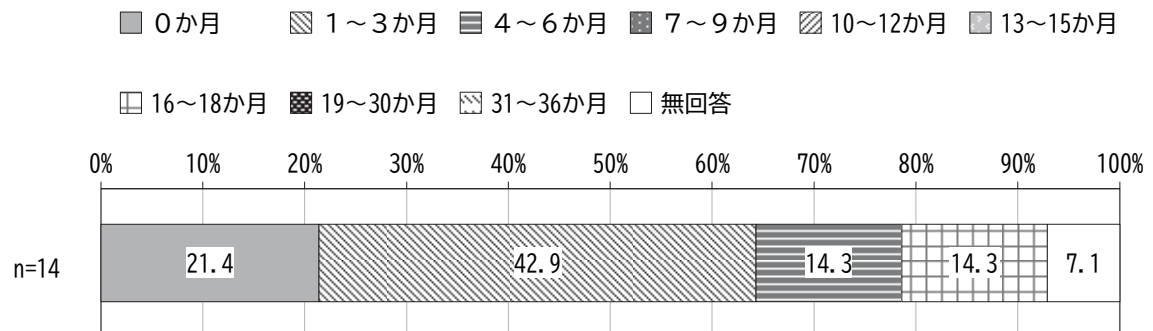
問 26-4 (1) -② 希望取得期間（母親）

「10～12 か月」が 55%と多く、次いで「13～15 か月」「19～30 か月」がともに 14%となっている。



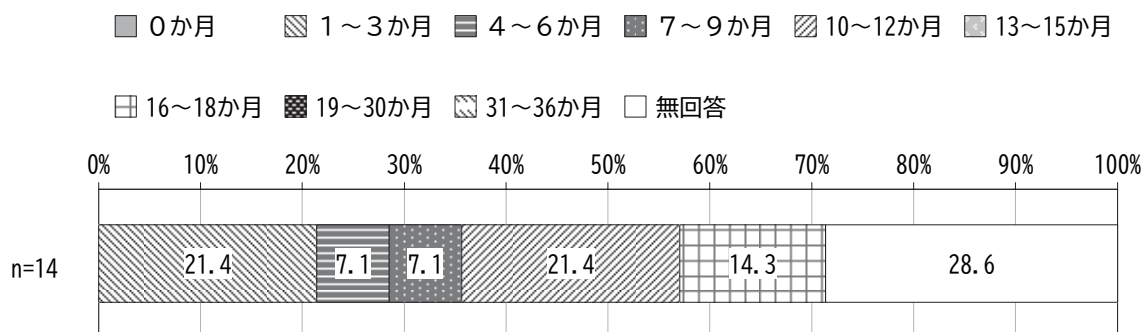
問 26-4 (2) -① 育児休業の実際の取得期間（父親）

「1～3 か月」が 43%と多く、次いで「0 か月」が 21%、「4～6 か月」「16～18 か月」がともに 14%となっている。



問 26-4 (2) -② 希望取得期間（父親）

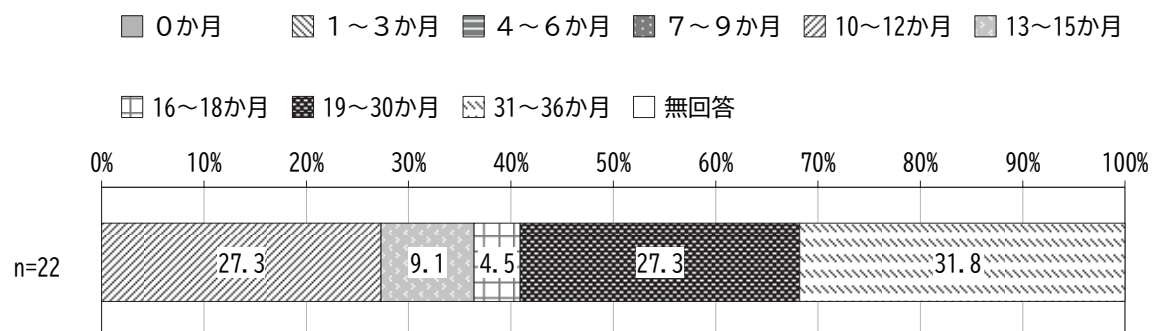
「1～3か月」「10～12 か月」がともに 21%と多く、次いで「16～18 か月」が 14%となっている。



問 26-5 (1) 育児休業の希望取得期間（母親）

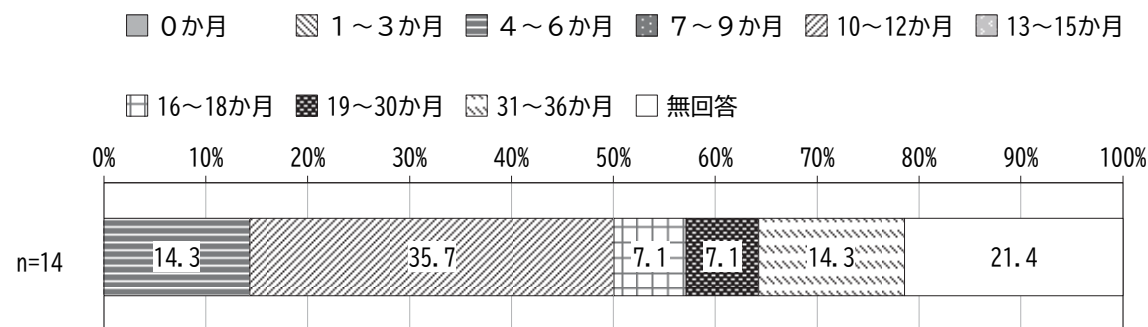
問 26-5 お勤め先に、3歳まで育児休業を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。母親、父親それぞれについて、□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「31～36 か月」が 32%と多く、次いで「10～12 か月」「19～30 か月」がともに 27%となっている。



問 26-5 (2) 育児休業の希望取得期間（父親）

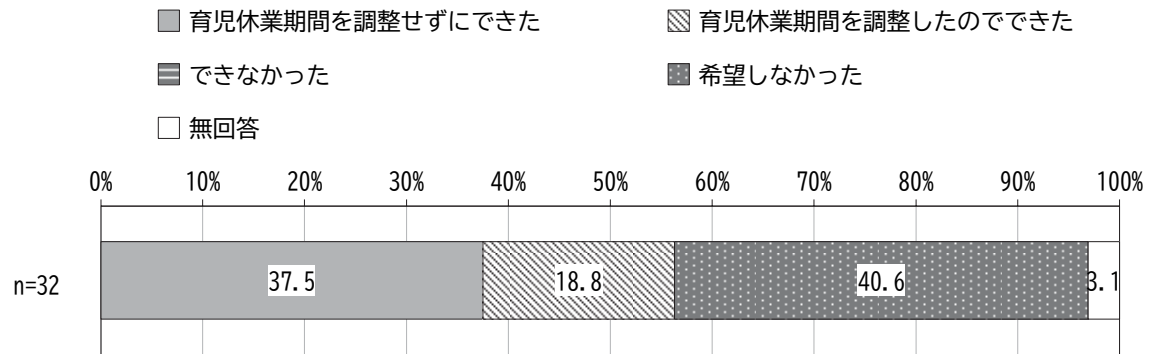
「10～12 か月」が 36%と多く、次いで「4～6か月」「31～36 か月」がともに 14%となっている。



問 26-6 希望保育サービスの利用

問 26-6 育児休業明けに、希望する保育サービスをすぐ利用できましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「希望しなかった」が 41%と多く、次いで「育児休業期間を調整せずにできた」が 38%、「育児休業期間を調整したのでできた」が 19%となっている。

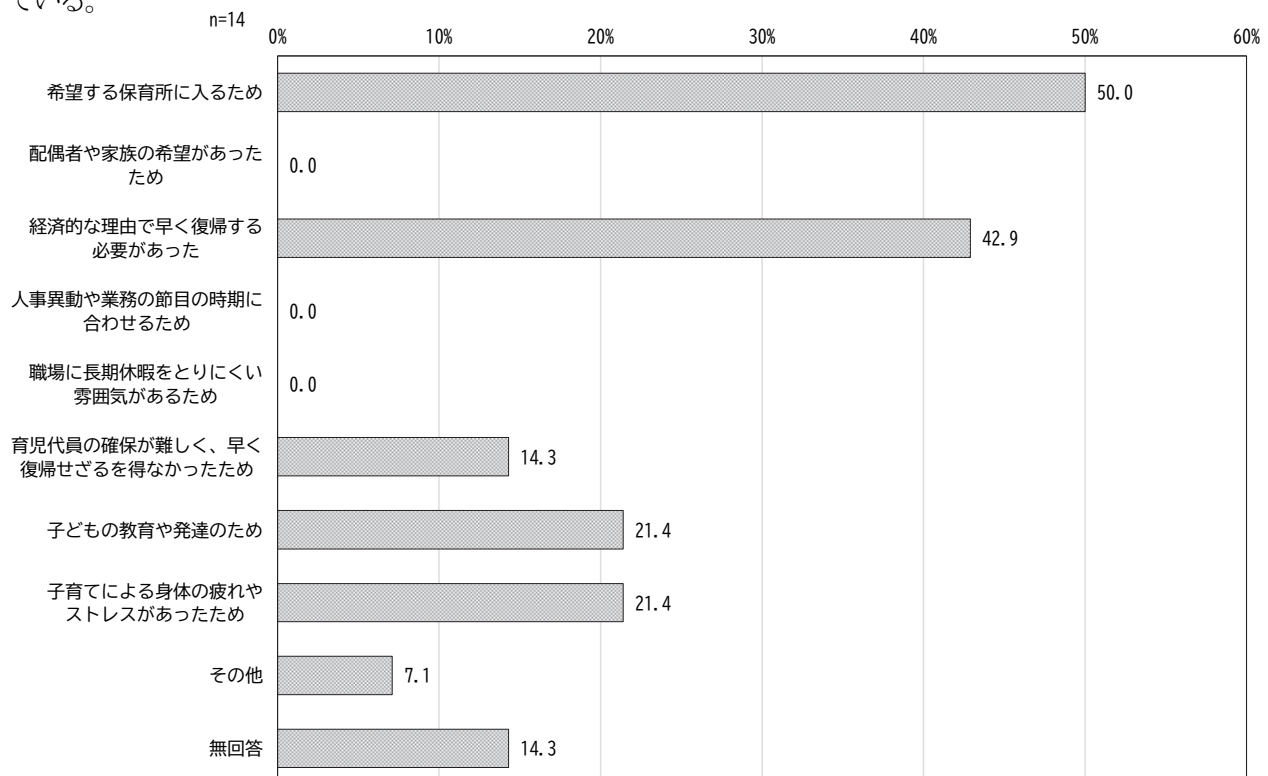


問 26-8 (1) -① 希望より早い理由 (母親)

問 26-8 問 26-4 で実際の復帰と希望が異なった方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

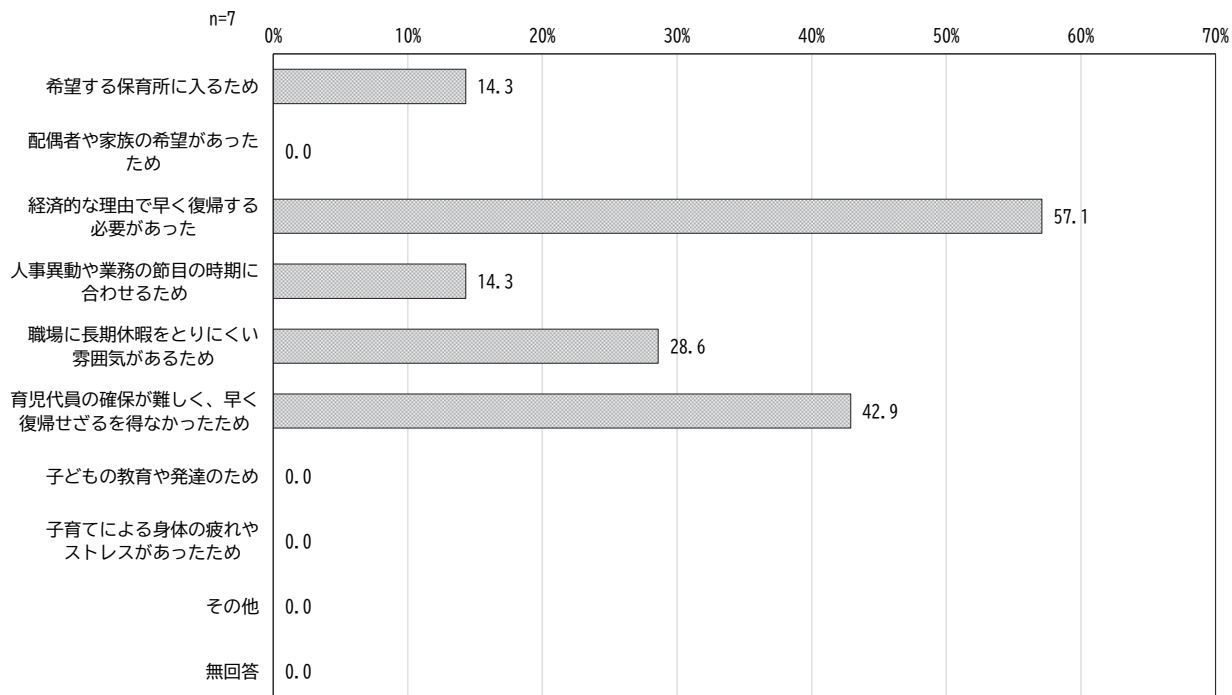
(1) 「希望」より早く復帰した方 ※母親、父親それぞれについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「希望する保育所に入るため」が 50%と多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 43%、「子どもの教育や発達のため」「子育てによる身体の疲れやストレスがあったため」がともに 21%となっている。



問 26-8 (1) -② 希望より早い理由 (父親)

件数は少ないが、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」がやや多くみられる。

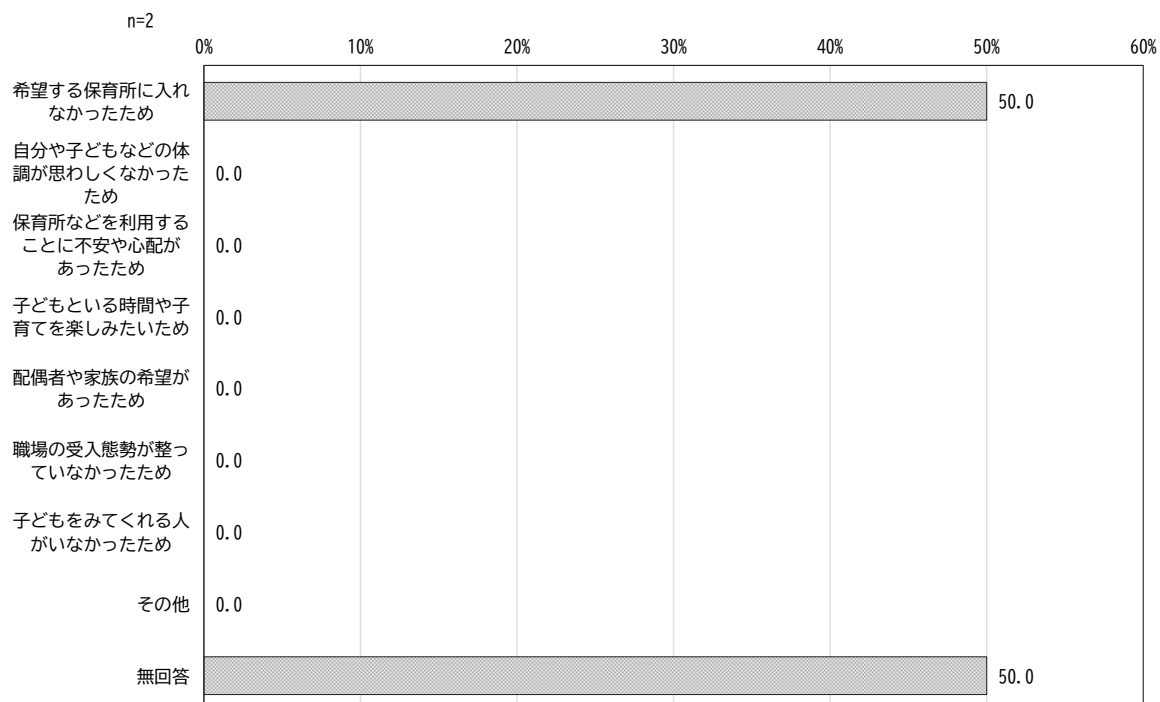


問 26-8 (2) -① 希望より遅い理由 (母親)

問 26-8 問 26-4 で実際の復帰と希望が異なった方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(2)「希望」より遅く復帰した方 ※母親、父親それぞれについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

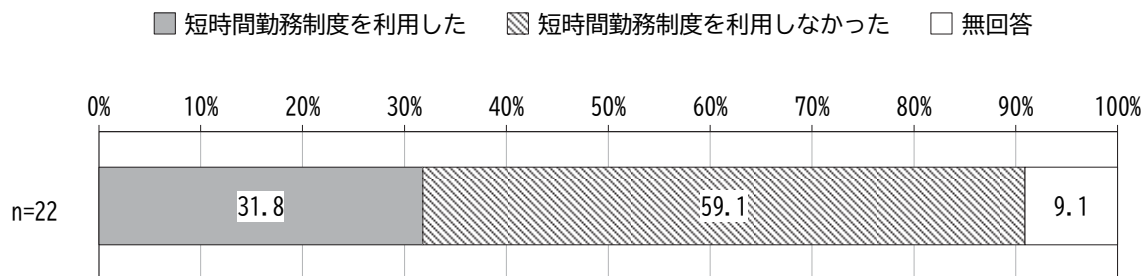
件数は少ないが、「希望する保育所に入れなかったため」という回答がみられる。



問 26－9（１） 短時間勤務制度の利用（母親）

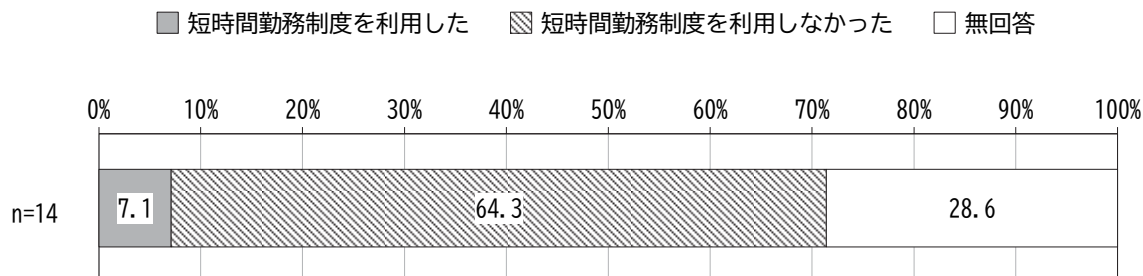
問 26－9 問 26－2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

「短時間勤務制度を利用しなかった」が 59%と多く、「短時間勤務制度を利用した」が 32%となっている。



問 26－9（２） 短時間勤務制度の利用（父親）

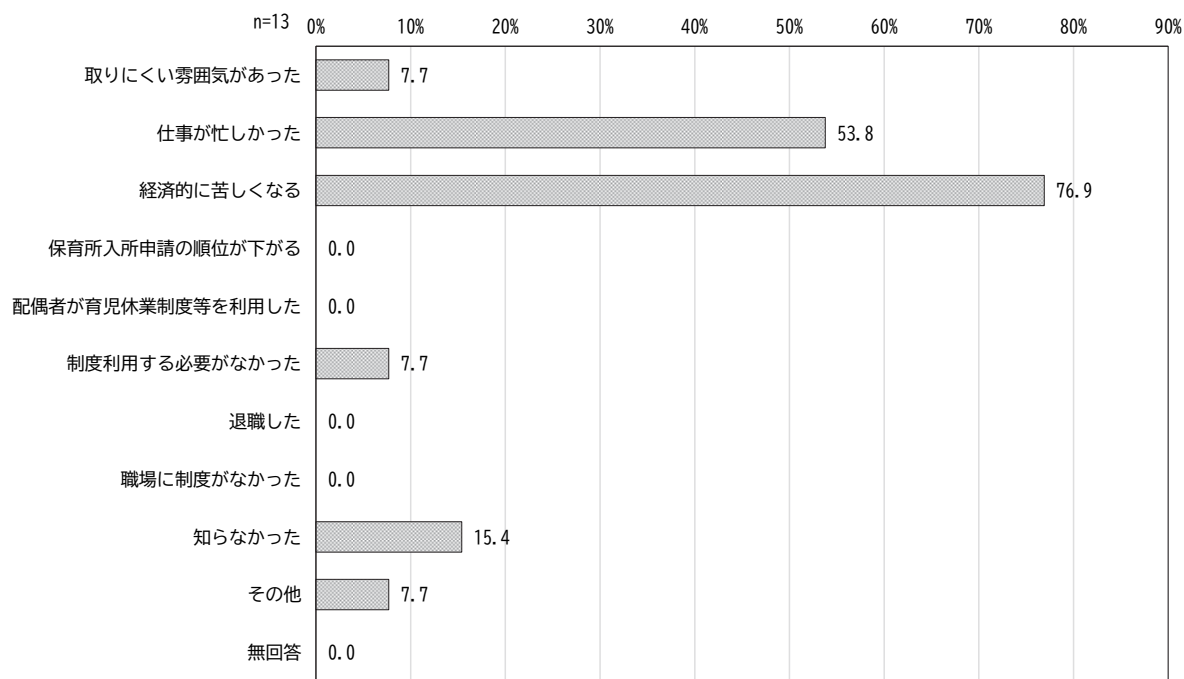
「短時間勤務制度を利用しなかった」が 64%と多く、「短時間勤務制度を利用した」が7%となっている。



問 26-10（1） 利用しなかった理由（母親）

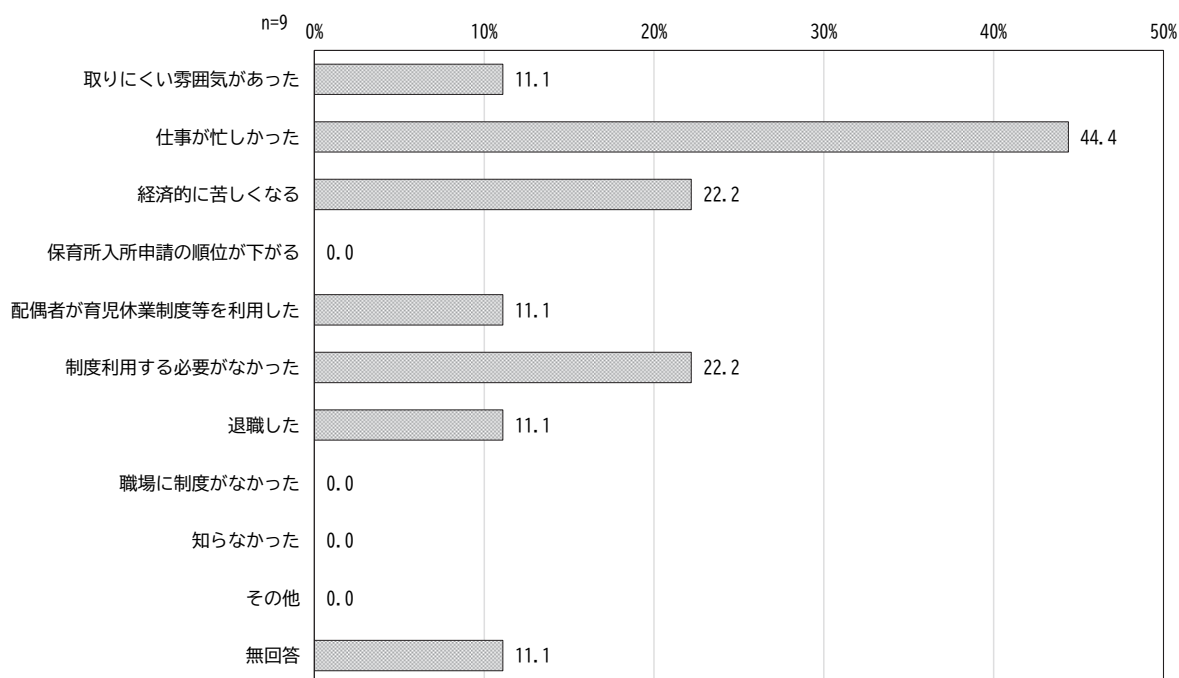
問 26-10 問 26-9で「2. 短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「経済的に苦しくなる」が 77%と多く、次いで「仕事が忙しかった」が 54%、「知らなかった」が 15%となっている。



問 26-10（2） 利用しなかった理由（父親）

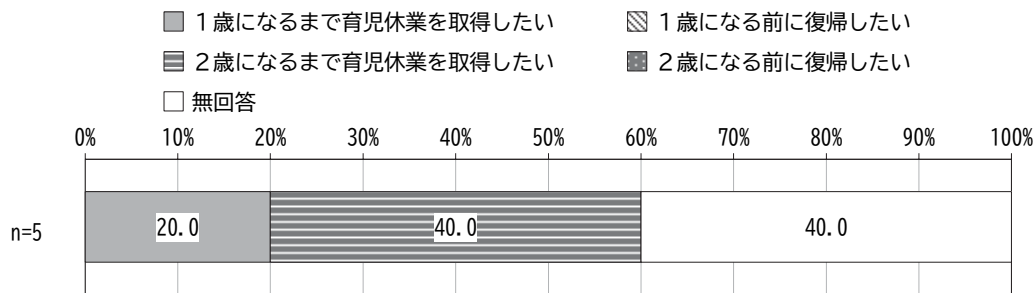
件数は少ないが、「仕事が忙しかった」がやや多くみられる。



問 26-11 (1) 1歳までの育児休業希望（母親）

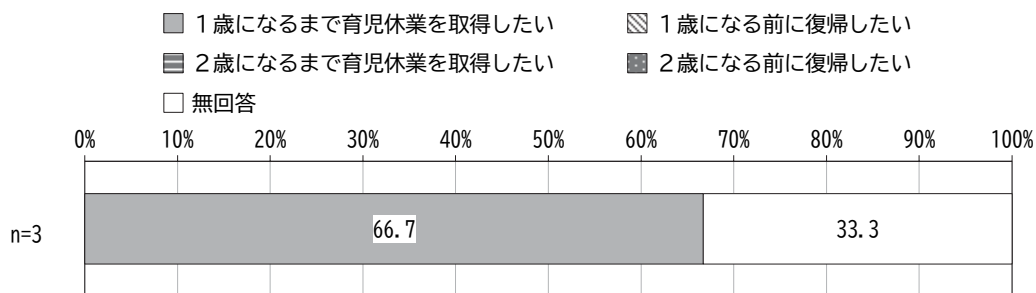
問 26-11 問 26-2 で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方で、お子さんが1歳未満の方にうかがいます。宛名のお子さんが1歳（または2歳）になったときに必ずお子さんを預けられる施設等があれば、1歳（または2歳）になるまで育児休業を取得しますか。又は預けられる施設があっても1歳（または2歳）になる前に復帰しますか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

件数は少ないが、「2歳になるまで育児休業を取得したい」「1歳になるまで育児休業を取得したい」という回答がみられる。



問 26-11 (2) 1歳までの育児休業希望（父親）

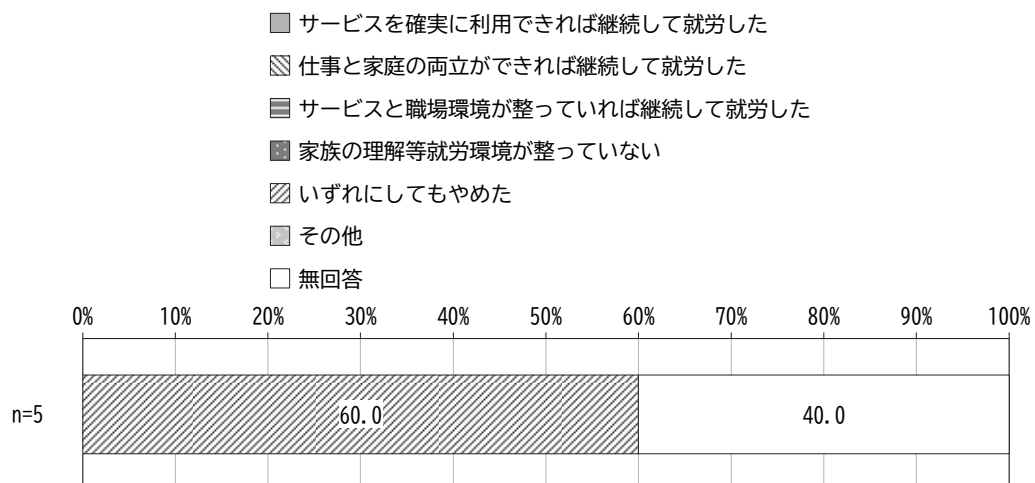
件数は少ないが、「1歳になるまで育児休業を取得したい」という回答がみられる。



問 26-12 就労継続への意向

問 26-12 育児休暇を取得せずに退職された方にうかがいます。仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。次の中から、あなたの考えにもっとも近い番号1つに○をつけてください。

件数は少ないが、「いずれにしてもやめた」という回答がみられる。

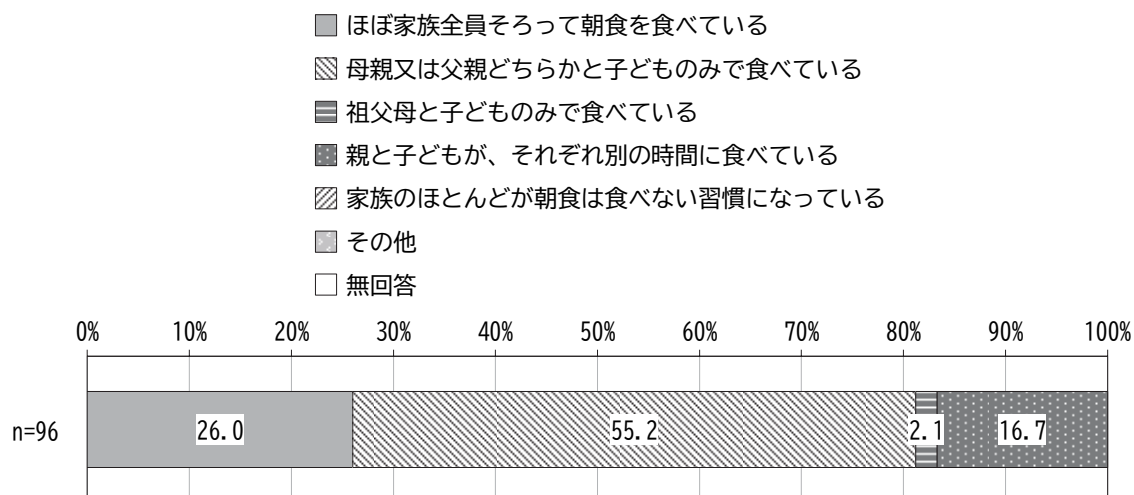


12. 日頃の子育てなどについて

問 27 朝食の状況

問 27 ご家族一緒に朝食を食べていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

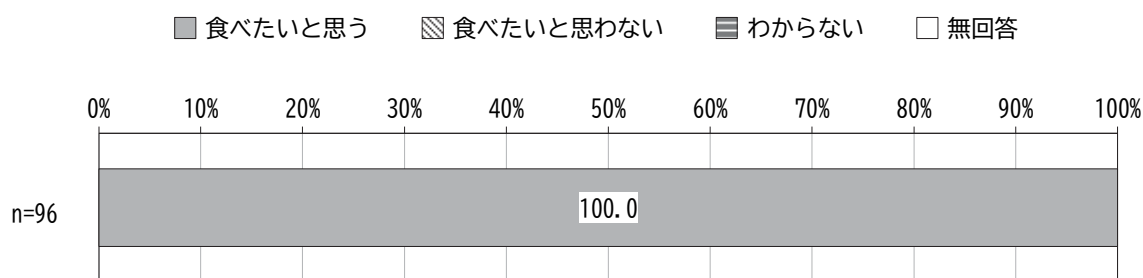
「母親又は父親どちらかと子どものみで食べている」が 55%と多く、次いで「ほぼ家族全員そろって朝食を食べている」が 26%、「親と子どもが、それぞれ別の時間に食べている」が 17%となっている。



問 28 家族がそろった朝食・夕食の希望

問 28 朝食又は夕食を家族そろって食べる習慣（状況）があれば、できる限り一緒に食べたいと思いますか。現在そろって食べている方もお答えください。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「食べたいと思う」が 100%となっている。



問 29 父親の子どもへのかかわり

問 29 お父さんは子どもの面倒をみることにしてどのようなかかわり方をしていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。※母子家庭の場合は回答不要です。

「食事を作る」では、「時々する」が44%と多く、次いで「まったくしない」25%、「あまりしない」が23%となっている。

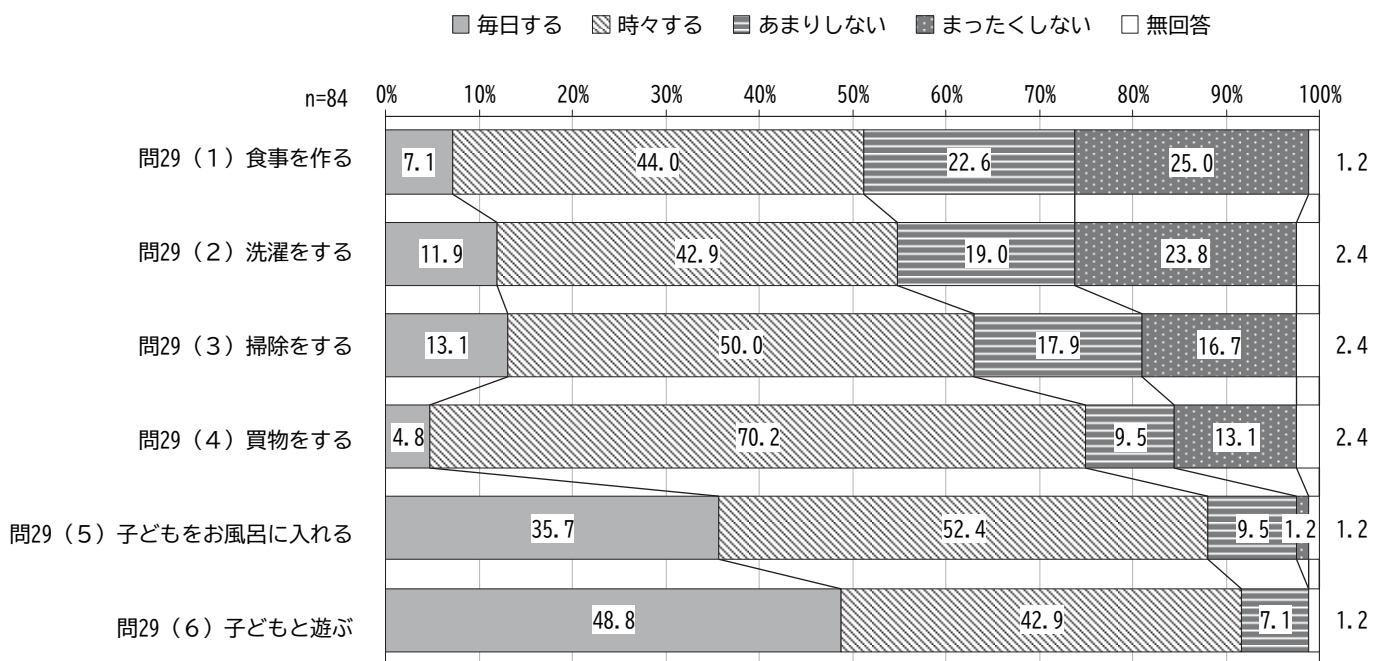
「洗濯をする」では、「時々する」が43%と多く、次いで「まったくしない」24%、「あまりしない」が19%となっている。

「掃除をする」では、「時々する」が50%と多く、次いで「あまりしない」が18%、「まったくしない」が17%となっている。

「買物をする」では、「時々する」が70%と多く、次いで「まったくしない」が13%、「あまりしない」が10%となっている。

「子どもをお風呂に入れる」では、「時々する」が52%と多く、次いで「毎日する」が36%、「あまりしない」が10%となっている。

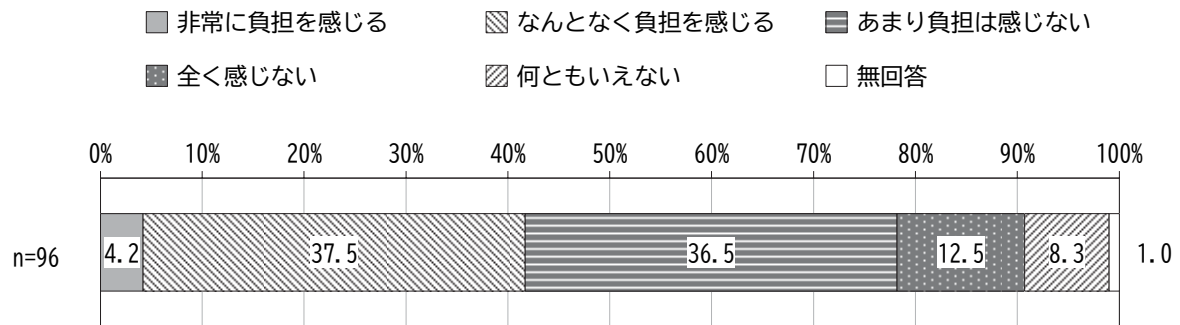
「子どもと遊ぶ」では、「毎日する」が49%と多く、次いで「時々する」が43%、「あまりしない」が7%となっている。



問 30 子育てに関する負担感

問 30 子育てに関して負担を感じていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

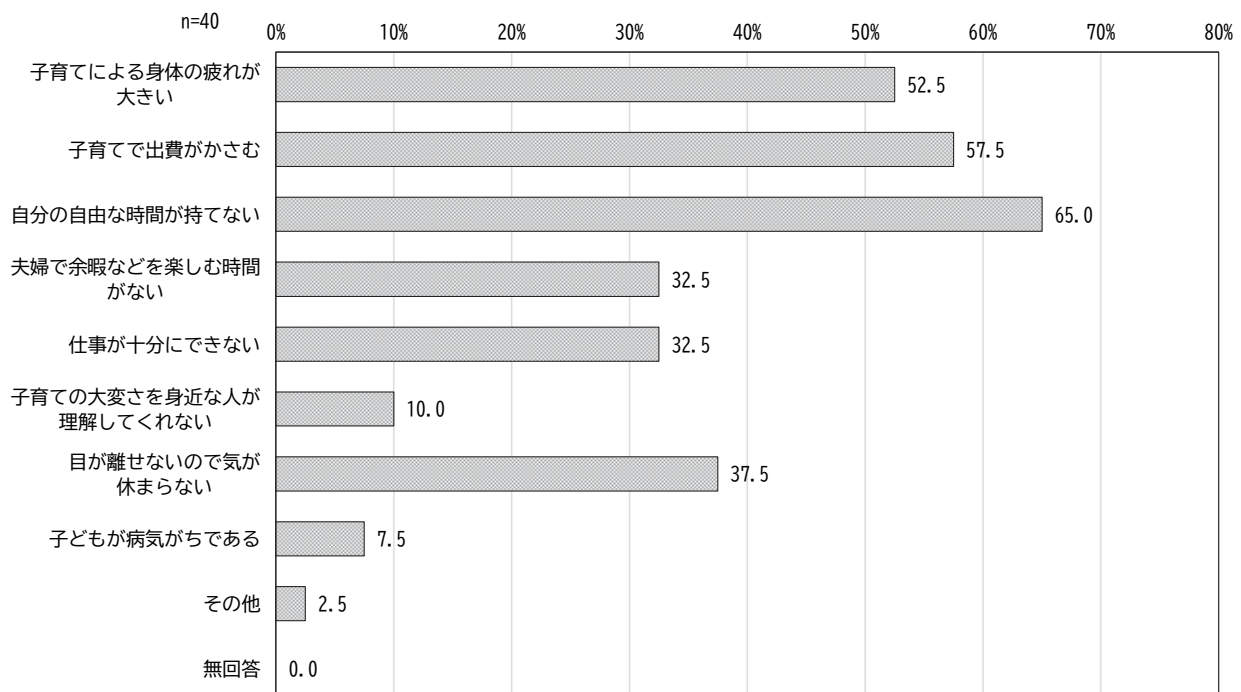
「なんとなく負担を感じる」が 38%と多く、次いで「あまり負担は感じない」が 37%、「全く感じない」が 13%となっている。



問 30-1 子育てで特に負担に思うこと

問 30-1 問 30 で「1. 非常に負担を感じる」「2. なんとなく負担を感じる」に○をつけた方にうかがいます。子育てをする上で、特に負担に思っていることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

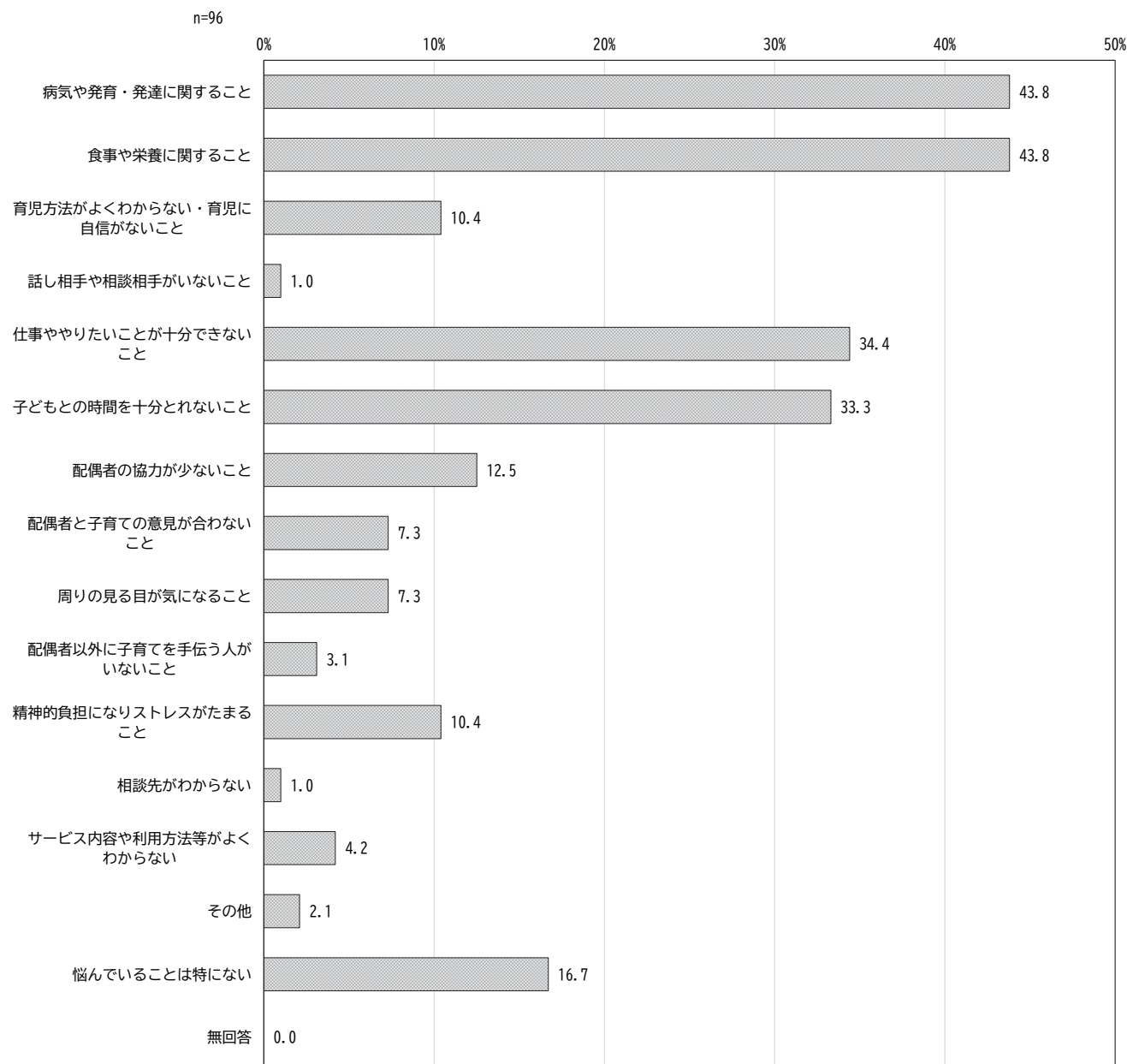
「自分の自由な時間が持てない」が 65%と多く、次いで「子育てで出費がかさむ」が 58%、「子育てによる身体の疲れが大きい」が 53%となっている。



問 31 子育ての悩み気になること

問 31 子育てに関して、日常悩んでいること、又は気になることはどのようなことです。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

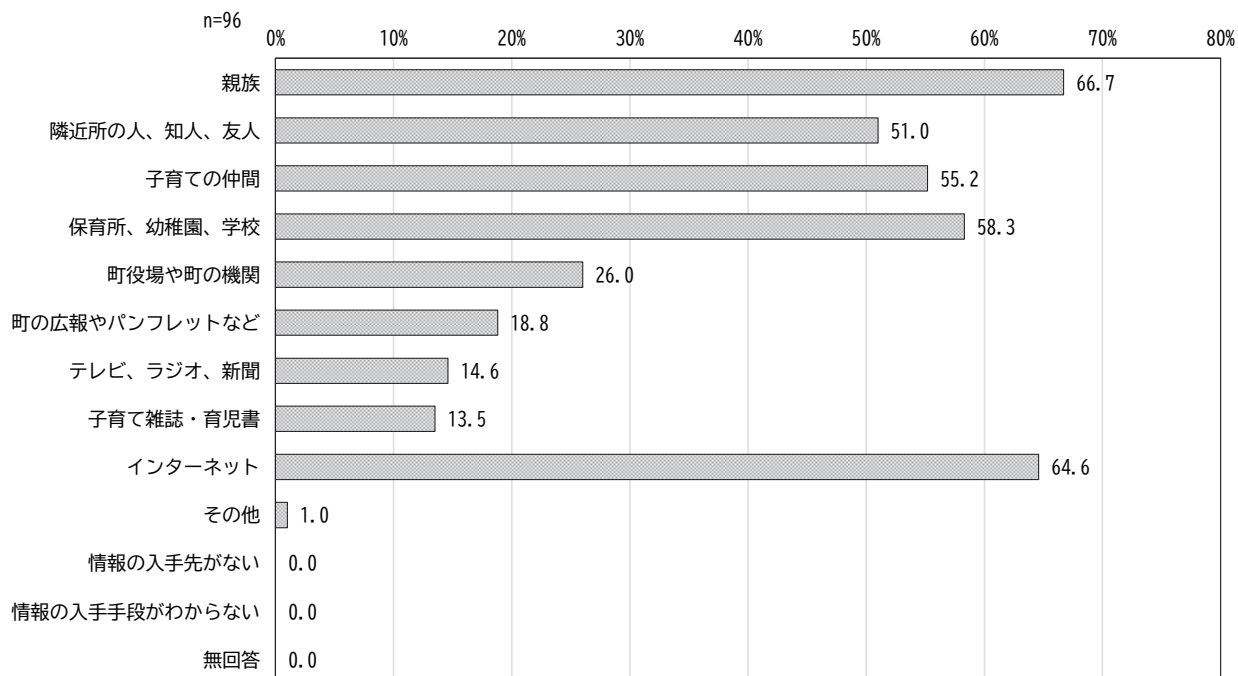
「食事や栄養に関すること」「病気や発育・発達に関すること」がともに 44%と多く、次いで「仕事ややりたいことが十分できないこと」が 34%となっている。



問 32 子育て情報の入手先

問 32 子育てに関する情報を、どのように入手していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

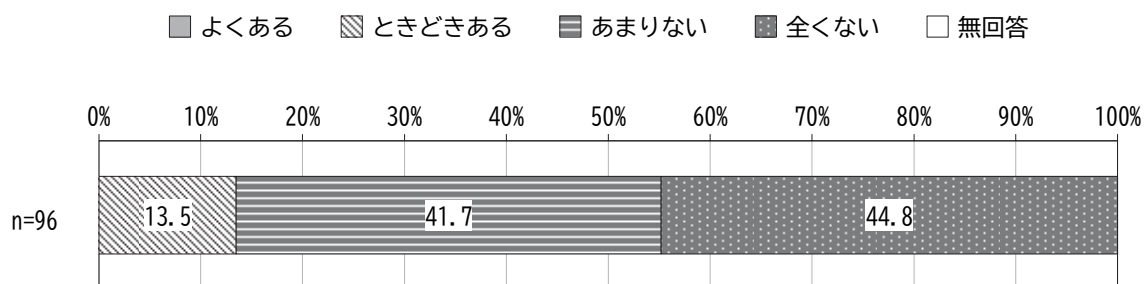
「親族」が 68%と多く、次いで「インターネット」が 65%、「保育所、幼稚園、学校」が 58%となっている。



問 33 子どもを虐待しているのではないかと思うこと

問 33 子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

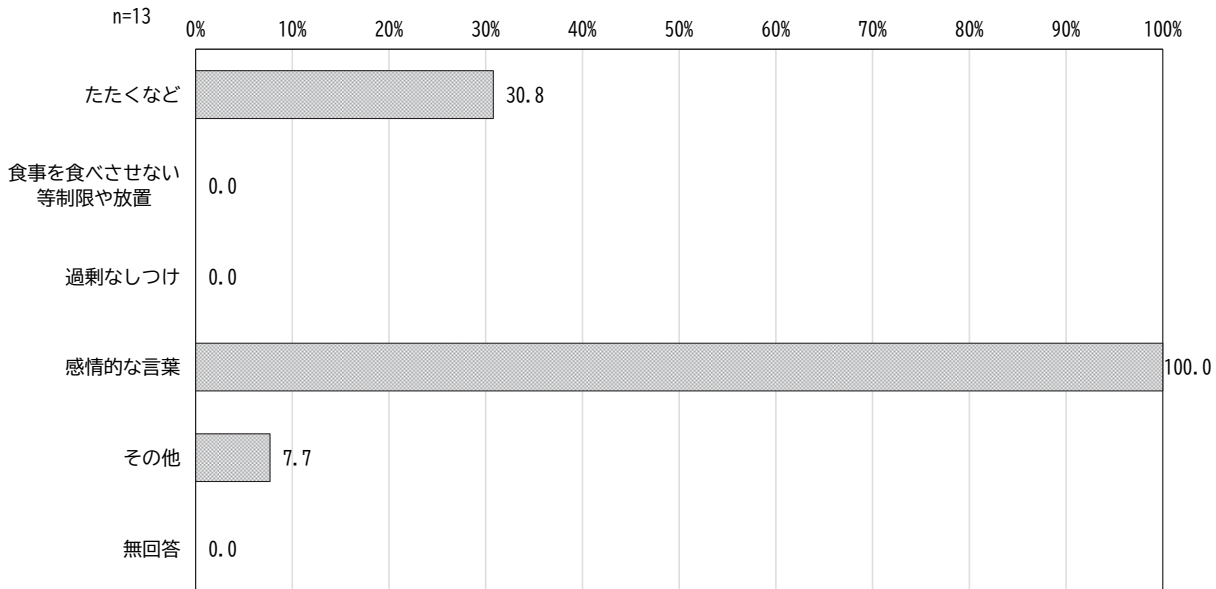
「全くない」が 45%と多く、次いで「あまりない」が 42%、「ときどきある」が 14%となっている。



問 33- 1 虐待していると思う状況

問 33- 1 問 33 で「1. よくある」「2. ときどきある」に○をつけた方にうかがいます。そのように思うのは、どのような場合ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

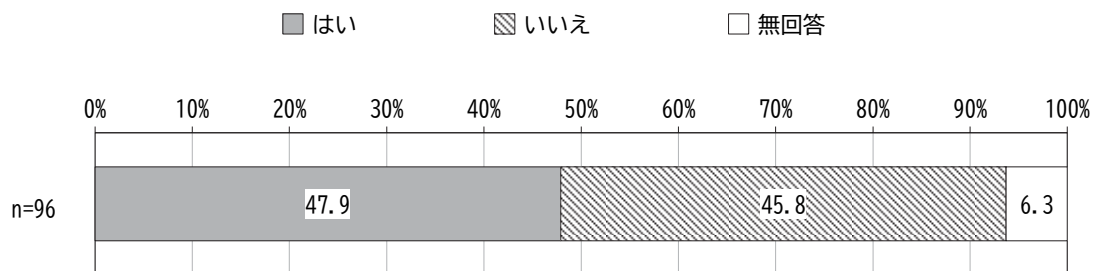
「感情的な言葉」が 100%と多く、次いで「たたくなど」が 31%となっている。



問 34 児童虐待通報先を知っている

問 34 児童虐待を発見した場合の通報先をご存知ですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

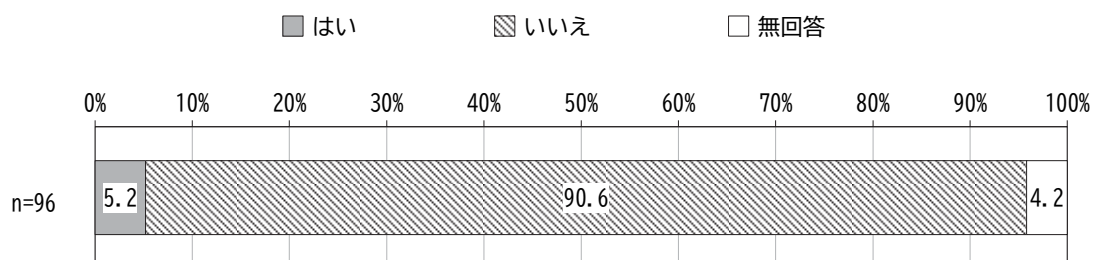
「はい」が 48%と多く、「いいえ」が 46%となっている。



問 35 身近で児童虐待と思うようなことに出会ったこと

問 35 身近で、児童虐待と思われるようなことに出会ったことがありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

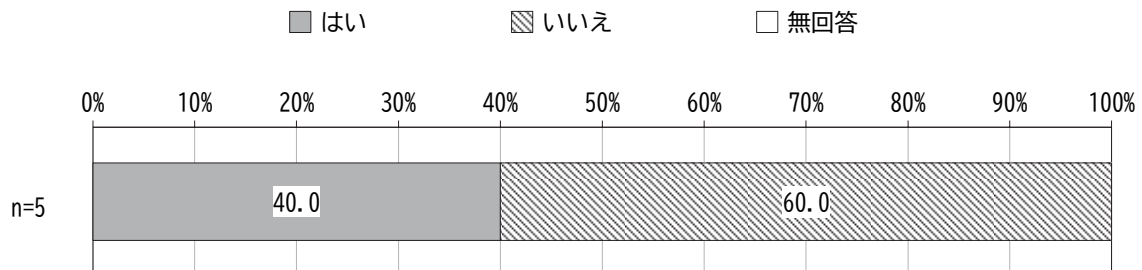
「いいえ」が 91%と多く、「はい」が 5%となっている。



問 35－1 虐待発見時、公的機関に通報した

問 35－1 問 35 で「1. はい」に○をつけた方にうかがいます。そのときに公的な機関に通報しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

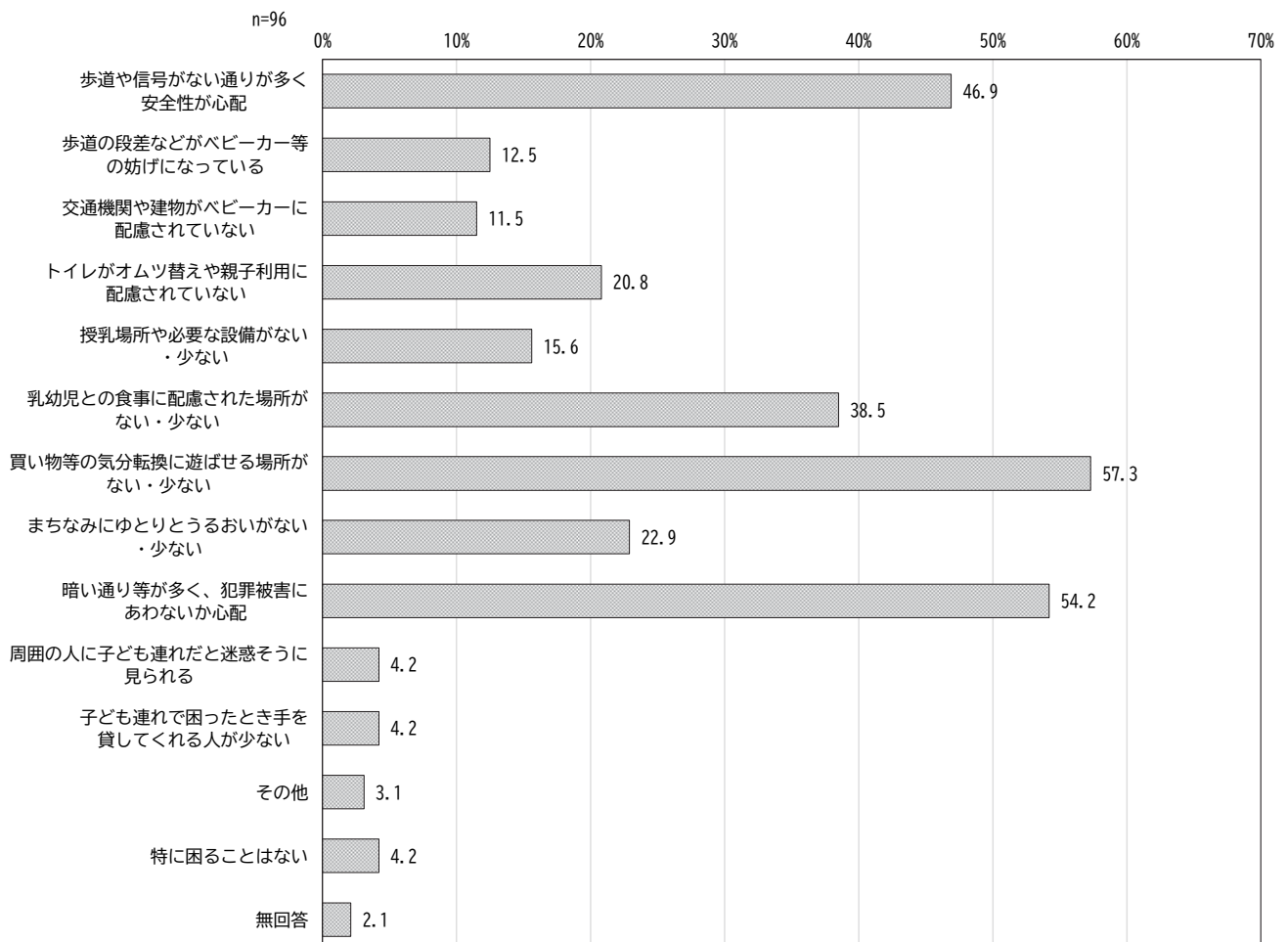
件数は少ないが、「いいえ」がやや多くみられる。



問 36 子どもとの外出の際、困ることや困ったこと

問 36 子どもとの外出の際、困ることや困ったことは何ですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

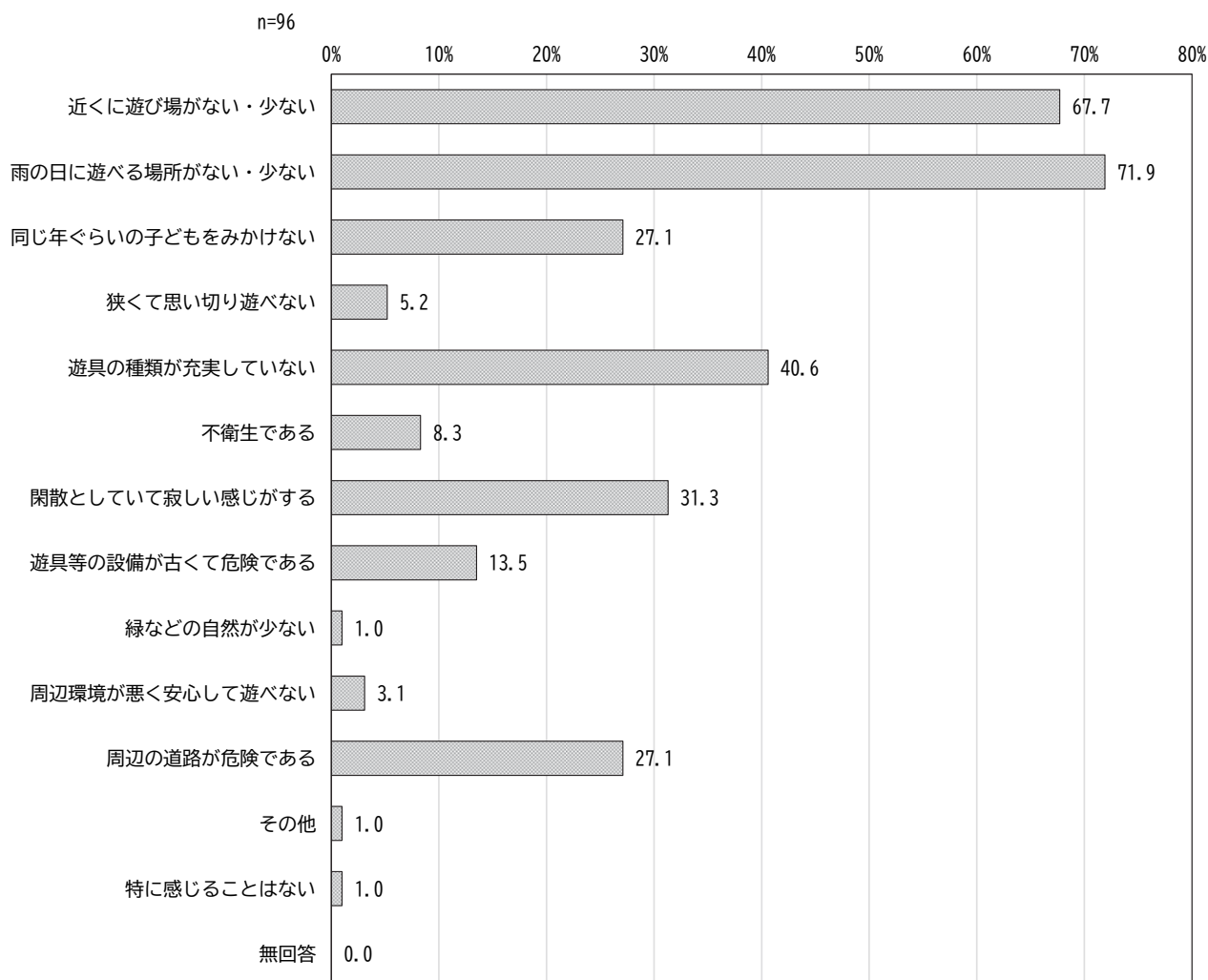
「買い物等の気分転換に遊ばせる場所がない・少ない」が 57%と多く、次いで「暗い通り等が多く、犯罪被害にあわないか心配」が 54%、「歩道や信号がない通りが多く安全性が心配」が 47%となっている。



問 37 近所の子どもの遊び場で感じていること

問 37 家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることはありますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

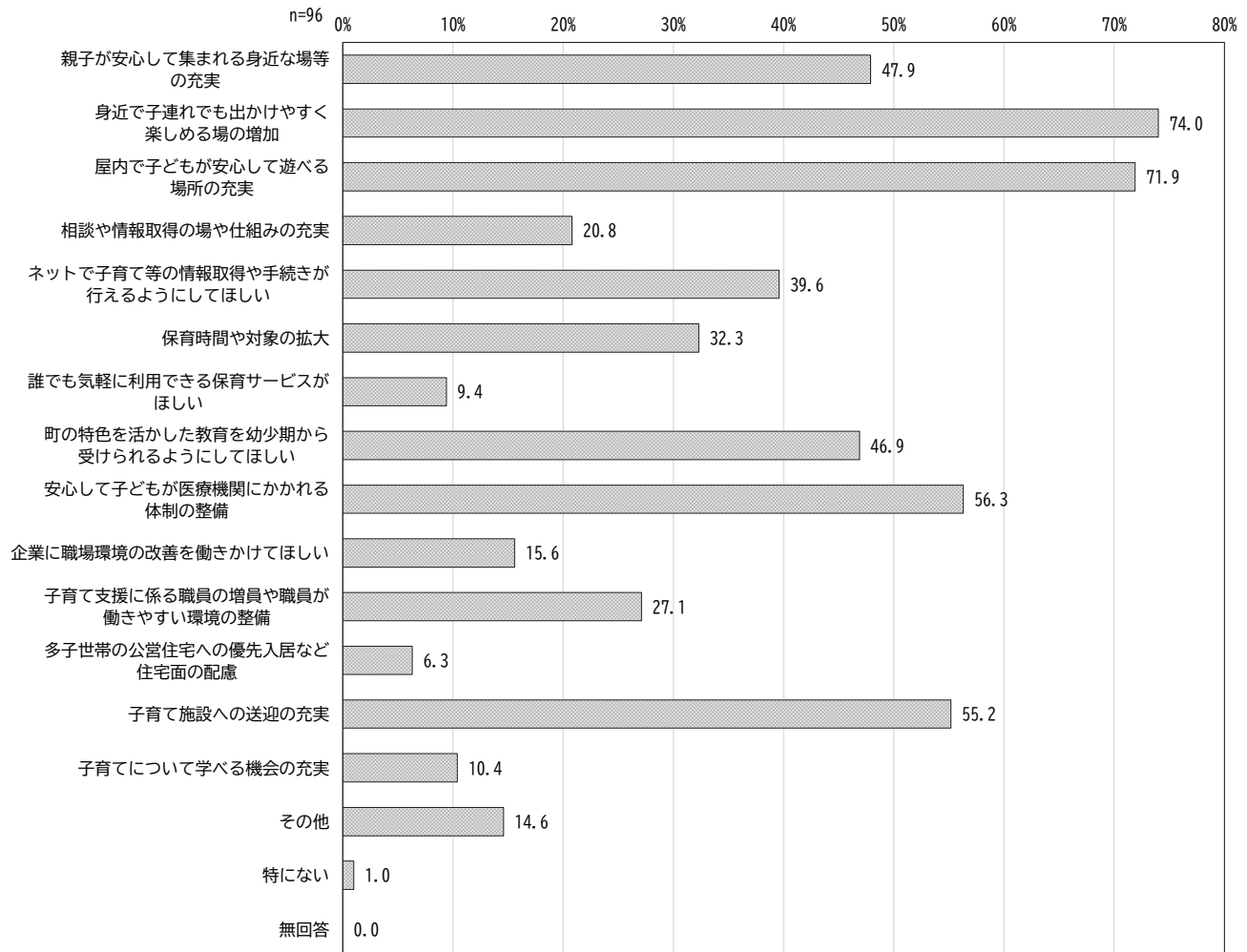
「雨の日に遊べる場所がない・少ない」が 72%と多く、次いで「近くに遊び場がない・少ない」が 68%、「遊具の種類が充実していない」が 41%となっている。



問 38 子育て支援環境充実に望ましい支援策

問 38 子育て支援環境の充実のためには、どのような支援策が望ましいと考えますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

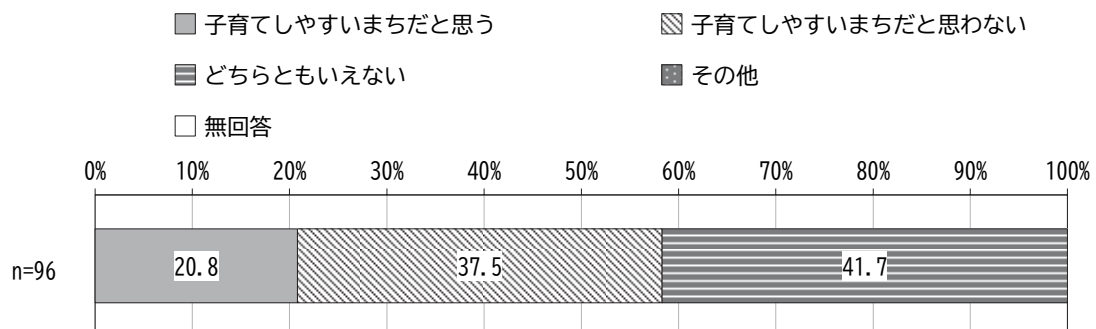
「身近で子連れでも出かけやすく楽しめる場の増加」が 74%と多く、次いで「屋内で子どもが安心して遊べる場所の充実」が 72%、「安心して子どもが医療機関にかかる体制の整備」が 56%となっている。



問 39 子育てについて芝山町の印象

問 39 芝山町は、子育てがしやすいまちだと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

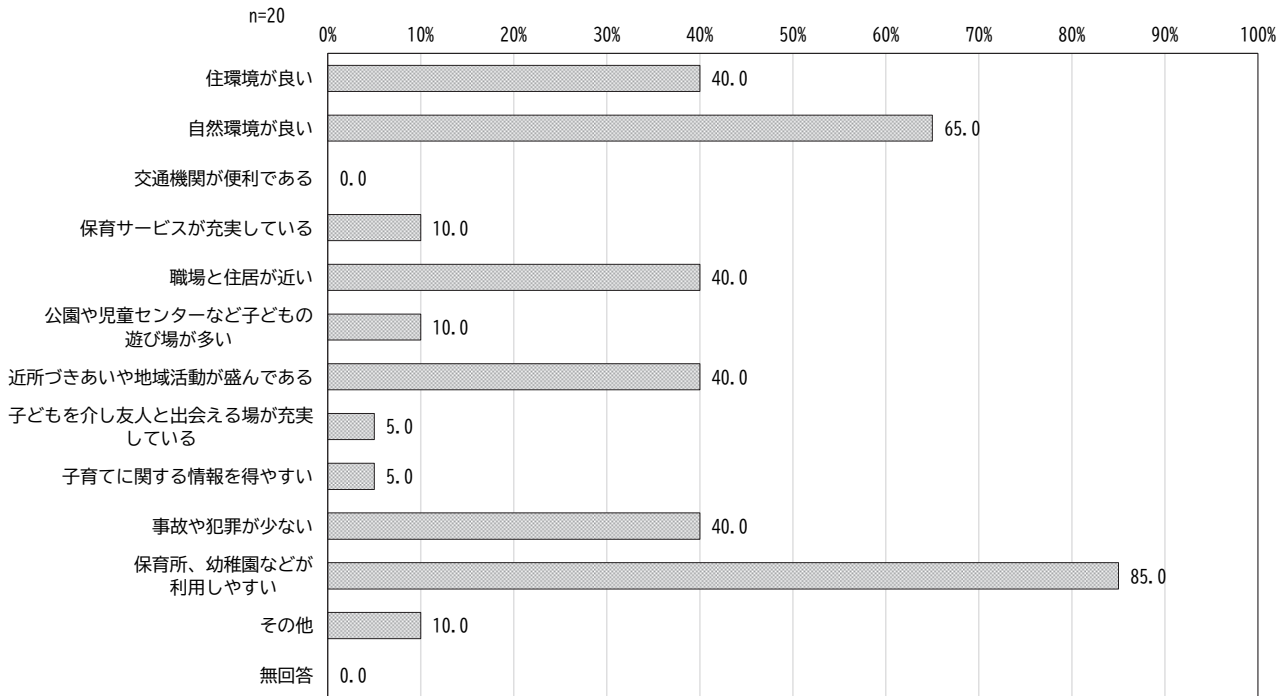
「どちらともいえない」が 42%と多く、次いで「子育てしやすいまちだと思わない」が 38%、「子育てしやすいまちだと思う」が 21%となっている。



問 39-1 子育てしやすいまちと思う理由

問 39-1 問 39 で「1. 子育てしやすいまちだと思う」に○をつけた方にうかがいます。「子育てしやすいまちだと思う」理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

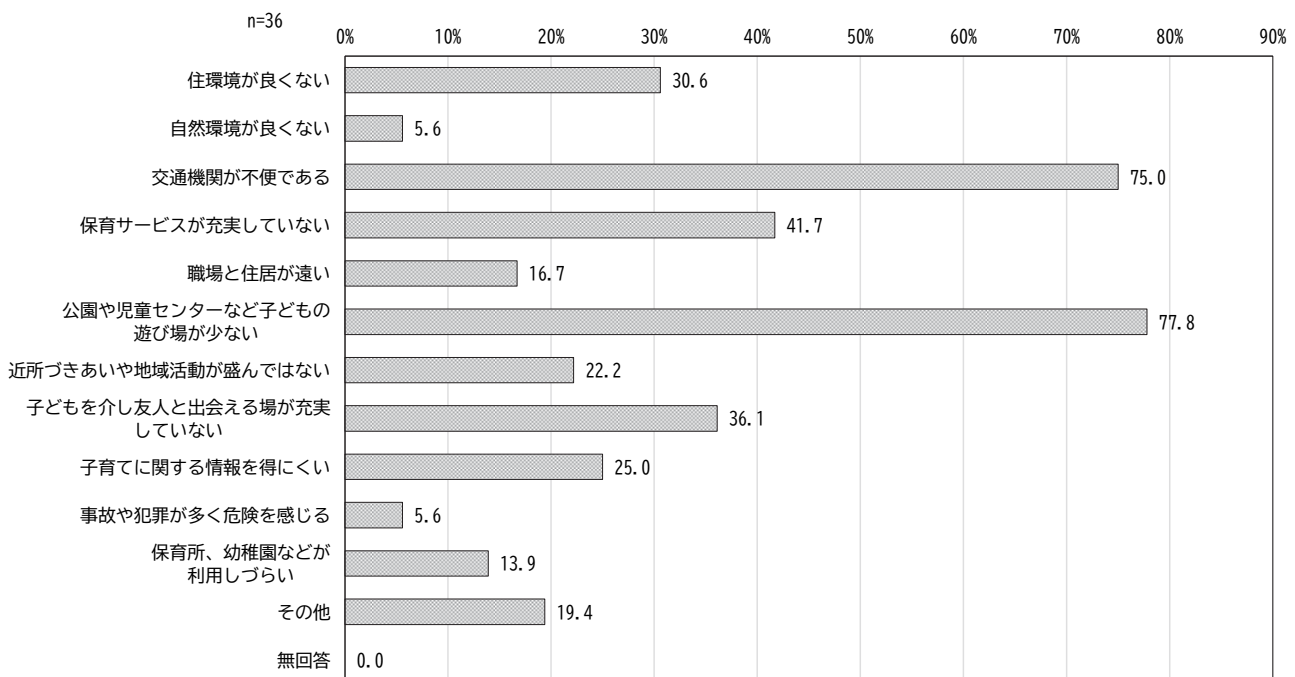
「保育所、幼稚園などが利用しやすい」が 85%と多く、次いで「自然環境が良い」が 65%となっている。



問 39-2 子育てしやすいまちと思わない理由

問 39-2 問 39 で「2. 子育てしやすいまちだと思わない」に○をつけた方にうかがいます。「子育てしやすいまちだと思わない」理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

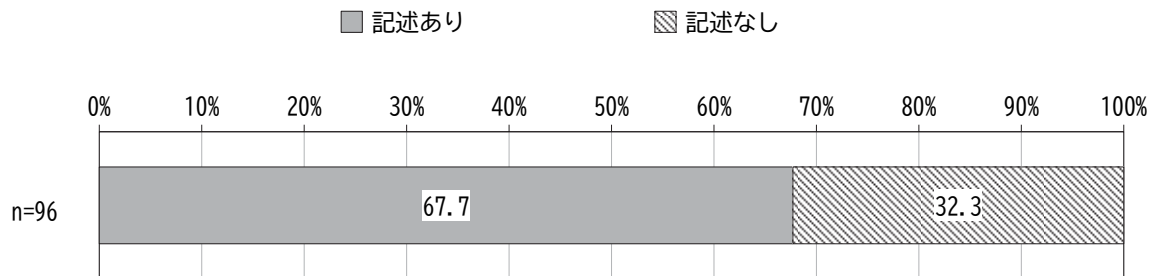
「公園や児童センターなど子どもの遊び場が少ない」が 78%と多く、次いで「交通機関が不便である」が 75%、「保育サービスが充実していない」が 42%となっている。



問 40 自由意見

問 40 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

「記述あり」が 68%と多く、「記述なし」が 32%となっている。



※再掲

地区分け	該当居住地区
A 地区	菱田東、中郷、辺田、菱田宿、中谷津、住母家、千代田、坂志岡、加茂
B 地区	谷平野、白樹、浅川・稲葉、飯櫃、小原子、山田
C 地区	牧野東、牧野西、宝馬、岩山、川津場、あけぼの、スカイビレッジ、三和、朝倉、一本松
D 地区	小池 3、小池 4、小池 5、小池 6、小池 8、バルールド、大台西、大台南、高田東、高田西、新井田、新井田新田、はにわ台東、はにわ台南、はにわ台北 1、はにわ台北 2、ハニワ台ニュータウン、芝山台
E 地区	小池 1、小池 2、小池 7、小池 9、芝山、山中東、山中西、高谷、殿部田、境・宮崎、上吹入、下吹入、大台北、大台宿、

(1) 保育サービスについて

居住地区	主な育児者	記述内容
D 地区	父母ともに	芝山らしいゆったりとした保育をしているのは子どもたちにとってもとてもよいと思いました。それぞれの家庭に合った保育サービスが使えるようにしてほしい。
E 地区	父母ともに	・土曜保育利用を同居人がいても利用できるようにしてほしい。
D 地区	父母ともに	・子どもが少ないのに 0 才児に待機児童がいるのはおかしい。3 つの保育所を 1 つにすれば職員数も増え、良いと思う。・慣し保育を必ずやる必要があるなら仕事復帰の 1 ヶ月前から入所できるようにしてほしい。(結局仕事を休まないといけなくなり、何のための保育なのか)・登所時(特に 8:30)朝礼で職員が来るのが遅く、保母者が待っていることが多かった。(時間になったらすぐ預ってほしい。朝は忙しい。)

居住地区	主な育児者	記述内容
D地区	父母ともに	・こちらの要望を聞き入れ、改善して頂けたことは大変ありがたいと思っています。・少しずつ家族、家庭環境等昔と変わっていつているので、それに合ったサポートをして頂きたいです。
D地区	父母ともに	・0歳保育が第2保育所のみなので利用しづらい・発達しょうがいの子へのサポートがない。・病児・病後児保育がない・3歳検診等まとめてやりすぎて人が多く時間がかかりすぎる。
D地区	主に母親	年度途中でも0歳児の入所ができるように保育所の職員さんを増やしてほしい。
B地区	父母ともに	園長をはじめ、職員は良くしてくれている。駐車場がせまいのが難点。
C地区	父母ともに	簡単な事ではないと思いますが、さすがに保育所が古すぎると思う。子育てしやすい町と言えない理由の1つだと思います。
D地区	父母ともに	支援センターの一時保育夜間、土日に対応して頂けると有難いです。
B地区	父母ともに	保育所統合に向けて、スピーディーにやって欲しい。防犯面が心配。カメラをつけたらどうか。英語や体操など取り入れて欲しい。自園給食にして欲しい。弁当もちの期間が長く負担。欠席の連絡をラインでやってらどうか。(多古は取り入れている。)
B地区	父母ともに	誰でも預けられると助かる。子供のケアも大切だが親のケアも必要。
D地区	主に母親	0才児保育が第2保育所のみだったため、育休後復帰せず退職しました。上の子が第3に通ってるので2カ所に送迎しなきゃならず、保護者の負担と、残業時、保育所利用時間に間に合わなくなるためでした。
D地区	主に母親	来年度からフルタイムで就労予定なので、病児保育が近くにあるとうれしいです。前職場は9～18時で通勤時間が30分だったので、残業すると本当にギリギリで、大変だったので、保育時間も長くなってくると便利です。
E地区	父母ともに	0才児の受け入れを拡大してほしい。
D地区	主に母親	生後3ヵ月くらいからのあずかりや、産後ケアを無料でつかえたら、うれしい。
D地区	主に母親	生後7ヶ月未満でも預けられるところがほしい。
D地区	主に母親	1歳未満の保育。
E地区	主に父親	町で行われている保育サービス全ての説明会がほしい。(保育所、はぐーん、幼稚園合同)
C地区	父母ともに	子供に強制的にお昼寝を取らせる事に反対します。こども家庭庁でも「保育の中の睡眠をめぐる問題」として取り上げられているため改善して欲しいです。
C地区	主に母親	昔のまま変わっていない。時代に合わせて、建物も、保育の内容も変えていくべき。
D地区	父母ともに	子ども園がほしい。幼児の頃から教育の場をつくってほしい。

居住地区	主な育児者	記述内容
D地区	父母ともに	保育所の古さが気になる。幼児から教育的な面を充実させてほしい。
D地区	父母ともに	時間外利用を仕事の時だけではなく、兄弟で卒業式や入学式がある時に、間に合わないので、時間外を利用させてほしい。
D地区	父母ともに	芝山町内の幼稚園は、芝山町に住んでいる世帯が少なく同世代との情報交換や交流の機会が極端に少ないと感じる。
E地区	主に母親	○保育所の施設が古く、災害時に不安があったり子ども達に不便があったりするのではと感じる。園舎と駐車場が離れていて、歩いて行く道の歩道が整備されていない点も危険。様々な面で未熟な子ども達が安心、安全、快適に過ごすことができる環境を整えてあげてほしいと思う。
D地区	父母ともに	芝山町ならではのサービスや取り組みが見えない。芝山町とは。
B地区	父母ともに	保育所がボロい。子どもがお昼寝するスペースでヤスデなどの害虫が確認できた。(第二保育所)
D地区	父母ともに	待機児童は少ないと思うので、利用しやすくしてよい。施設はかなり古いようなので、改善が必要だと思う。
D地区	父母ともに	ダンスの時間とか運動の時間を増やしてほしい。土曜の支援センターの開放紙でもいいので、子供の保育園での姿の写真。(スマホでもみれたりできるとありがたい)
D地区	父母ともに	公的な子育て支援施設は土日祝に利用できないのが不満です。

(2) 生活環境（公園、道路、交通機関など）について

居住地区	主な育児者	記述内容
D地区	父母ともに	せっかく緑が多いのに歩道がないため、安心して散歩に行けない。
E地区	主に母親	○雨が降ると通れない道（通学路）を整備してほしい。○広い平地の公園を作してほしい。
D地区	主に母親	・公園の遊具は、低年齢の子どもが遊べるものが少ないように思います。 ・高校に進学し、通学するには交通機関が不十分に感じます。
E地区	父母ともに	・芝山公園に遊具を増してほしい・道路にはみ出ている枝など切してほしい。
D地区	父母ともに	歩道がせまい所が多く小学校・保育所の近くの道が使用しにくい。時間で区切っても坂道をすごい勢いで車が走り危ない。
C地区	父母ともに	一日子供とあそべる公園があるといい。
D地区	父母ともに	歩道がなく、近くにも歩いて遊びに行くことができない。今後、小学校のバス停が近くにあっても歩道がないため1人で歩いて行かせることができない。子どもの遊び場を充実してほしい。
D地区	父母ともに	歩道がないと危ない。子どもたちが遊べない、歩けない。せっかく自然があるのに散歩にも安心していけない。

居住地区	主な育児者	記述内容
D地区	父母ともに	・交通機関は最悪。陣痛タクシーもなく、妊娠した時困る。ファミサポもなく気軽に頼める人がいないと子育てが大変。ベビーカーで散歩できない。遊歩道等がほしい。
D地区	主に母親	駅が遠い、バスがない等で通える高校が限られてしまうのをどうにかできたら。
B地区	父母ともに	そもそも公園が仁王尊しかないのはどうなのか。旭市の公園の多さ、広さ、遊具を見て、学んで欲しい。
C地区	父母ともに	子供たちが自然と立ち寄れる施設、図書館など、ほしい。
D地区	父母ともに	遊具がいっぱいある公園がないのは困る。芝山公園に設置してほしい。
D地区	主に母親	公園が少ない。
D地区	父母ともに	歩道が少ない大きい道路にはガードレールが欲しい。学校近くなど。
D地区	父母ともに	公園の遊具をもっと増やして欲しい。
B地区	父母ともに	芝山公園に大型遊具を入れて欲しい。ローラーすべり台等トイレをきれいにして欲しい。※絵のタイルがはがれて危ないので、直して欲しい。以前もアンケートに書いた。公園が少ない。
D地区	主に母親	住宅地の道路を整備してほしい。ガタガタ（歩道とくに）バス停をつかってほしい不便。
D地区	主に母親	公共交通機関が少なく、車移動がメインですが、あいあいタクシーが成田市、富里市にも行ければ、産婦人科の妊婦健診や、小児科受診、眼科受診など運転できない時助かったのになあとと思います。高くなってもいいので。
D地区	主に母親	3年前に引越してきて、まず思ったのが、歩道がない、ガードレールもない、細い道路で車がすごくスピードを出していることでした。徒歩圏内にあそべる所がないので車移動がメインなのでしょうが家の近くの住民道路のような所でもかなり飛ばす車が多いので子供だけで歩かせるのが不安です。歩道、ガードレールの整備して下さると安心します。
E地区	父母ともに	自宅から歩いていける距離に学校があるが歩道が狭すぎる為歩いて通わせられないので道路環境を整えてほしい。
D地区	父母ともに	・公園などの遊具をふやしてほしい。
D地区	父母ともに	ちょうど良い公園が少ない道路が整備不足、交通機関が少ない。
D地区	主に母親	子どもたちがたくさんあつまってくるような公園だと行きやすい。かんさんしてるとこわい。
D地区	主に母親	はにわ台から役場に向かう時に利用する坂道に歩道がなく夜も暗く、通学路として使わせるのは不安。
D地区	主に母親	公園は遊具が古く、種類も少ない。最寄り駅までの手段がない。
D地区	主に母親	最寄り駅までの交通手段がない歩道が少ない。
E地区	主に父親	公園が少ないので欲しい。ベビーカーで通れる道路が少ない。

居住地区	主な育児者	記述内容
C地区	父母ともに	保育園の送迎で毎日1時間20分かかっており、負担が大きいです。スクールバスの導入を望みます。
C地区	主に母親	外灯を増やしてほしい。
C地区	主に母親	子どもが少ないので仕方ないが、公園も少ないし、“通学路”のカンバン等も少ない。高校生になったときの、交通が不便で不安。
C地区	主に母親	子供達が遊べる場所がほとんどない。バスもない。
C地区	主に母親	公園が少ない。子供達が遊べる場所がない。バスがない。
E地区	父母ともに	家から小学校まで近いのでバスが来ないが、歩道がないので歩いて登下校させられない。
D地区	父母ともに	駅までの交通の便が悪く不便。
D地区	父母ともに	年長以上が楽しめる遊び場、アスレチック広場があればいいなと思います。公園内にレストランやc a f e、小さな美術館等あれば楽しいなと思います。(昆虫やハ虫類館、小さな水の生物館、植物館、小動物とのふれあいの場等)
D地区	父母ともに	遊具がもう少しほしい。
A地区	父母ともに	・公園の遊具が古く、シンボルとなるような遊具もないので、楽しく遊べる公園がほしい。保育所の駐車場からの通りが危険。
B地区	父母ともに	・芝山公園5～9月は雑草がひどくて遊ばせづらい。・歩道が少ない・公園が少ない。(やすらぎの里にも遊具があると嬉しい)
E地区	主に母親	○公園に人気が無く閑散としている時があり、周囲に店舗や住宅もほとんど無いので母と子だけで遊んでいた時に怖いと感じたことがあった。(芝山公園)遊具や設備だけでなく周囲の環境も防犯面等考慮して改善して頂けたら良いと思う。○道路環境(歩道・外灯等)では、子どもが出歩く際に危険なところが多いので、整備してほしい。
E地区	父母ともに	芝山公園の遊具を充実させて欲しいです。他町村からも遊びに来てほしいです。総合遊具のようなものが1つ大きくあると、楽しめると思う。
D地区	父母ともに	子どもが安心して遊べる場をもっと増やしてほしい。
B地区	父母ともに	家の近くに子供がいらない、近くに公園等遊べる場所が無い。小児専門の病院が近くに無いのが心配。
D地区	父母ともに	公園の維持ができてないのでケガの不安を覚えます。
B地区	父母ともに	歩道がない。芝山公園に魅力がない、雑草多い。
D地区	父母ともに	時期によって公園は草が多すぎる、銀杏だらけですべる、不衛生、蚊が多すぎる、など遊ぶのに心配になる時があるので、管理がもっとされるとよいと思う。地域でボランティアとかでもできそう、やってくれそう。
D地区	父母ともに	歩くスペースが狭いので広くしてほしい。シャトルバスのお昼あたりの時間公園でのイベント(さくらまつりなど)、公園で遊具増やしてほしい。

居住地区	主な育児者	記述内容
C地区	主に母親	公園や室内の遊び場がほしい。交通機関が不便。
E地区	主に母親	車と歩行者が互いに見づらい道が多い。すれ違いができない道なのに、トラックが走行する道がある

(3) 経済的負担について

居住地区	主な育児者	記述内容
E地区	父母ともに	・ゴミ袋が高すぎる。
D地区	父母ともに	ゴミ袋代が高いので、ゴミ袋の無料券はありがたいですが、人数（家族）によってゴミ袋の無料券が増えると嬉しいです。（1人暮らしの人はあまり使わないと聞きました。）
D地区	父母ともに	・車がないと生活できないので車の維持費が辛い。
D地区	主に母親	・ゴミ袋が高い・育児用品購入クーポンがあったら嬉しい。（おむつ等の消耗品）
A地区	父母ともに	・ゴミ袋が高い。
A地区	父母ともに	うちの子は今年で有料保育終了しますが、今後の若い世代の為に改善して頂きたいです。
B地区	父母ともに	けっこう負担である。もう少し保育料を安くできたら。
C地区	父母ともに	3人子供がいて、成長するにつれ、負担も増えるので、仕事も増やしています。低所得者やシングルに対して補助があるのも理解できますが共働きでも苦しいです。
D地区	父母ともに	病院代 200 円は安いかもしれないが、近くに信用できる小児科がないなら安いと感じない。
B地区	父母ともに	・小児科がなくて困る。医療費を 0 円にして欲しい。不妊治療助成。・任意の予防接種を助成して欲しい。（赤ちゃん）多古はある。成田市はインフルエンザ。助成あり。
A地区	父母ともに	インフルエンザの接種の補助があると助かります。高齢者があるので、子育て世帯にあってもよいのかと。小さい子は2回接種のため2人子供がいる場合など負担は大きく感じます。
B地区	父母ともに	おむつ代の支給があると助かる。
D地区	主に母親	赤ちゃんの時はとくにいろいろな無料サービス（券）などがあると助かる。オムツやミルク毎月の負担。
D地区	主に母親	小・中学の給食費無料、本当にありがたいです。ぜひ保育所の給食費もよろしくお願いします。未満児の保育料についても、幼稚園では満3才から対象になるなど、不公平感があるので、町独自で未満児の保育料無償化してくれるとうれしいです。

居住地区	主な育児者	記述内容
D地区	主に母親	オムツを利用している子がいるので、ゴミ袋の高さが負担になっています。なるべく分別、リサイクルをしています。可燃ゴミ袋、成田市の10枚100円に比べるとかなり高いし、オムツのゴミは意外とかさばるので、毎年送ってくれる2袋無料引換券を、例えば3才未満の子供がいる家庭には4袋とか、1世帯あたりではなく世帯人数で変えるとか検討して下さると嬉しいです。
E地区	父母ともに	子供医療費無料や、給食費無料町独自の給付金など。
D地区	主に母親	育休で100%の給料がずっともらえるか、もらえてない分を自治体から支給されると嬉しい。介護用おむつだけでなく、赤ちゃんのおむつ、おしりふきなどにつかえるものをほしい。
D地区	主に母親	児童ふよう手当の所得制限をなくしてほしい。
D地区	主に母親	可燃ゴミ袋が高いなど。
C地区	主に母親	一人親の保育料を世帯関係なく無償にしてほしい。
B地区	父母ともに	・物価高でとてもキツイ。おむつも一枚あたり12円ほど値上がり。(1年あたり1~1.5万円コストUP)
E地区	主に母親	○実際に子育てをする中で想像以上に経済的負担があることを実感した。第2子、第3子とためらわずに子を授かり育てていくには経済的な不安をなくすことも重要なので、子育て世帯への支援等を充実させて頂けると、芝山町で子を産み育てたいと思う人も増えるのではないかなと思う。
E地区	父母ともに	子育て世代応援商品券をいただきました。とても嬉しかったです。大切にに使わせていただきます。毎日、頑張っているんで、こういうごほうびのようなことは、保護者にとって、力になるので、とても感謝しています。
D地区	父母ともに	他市町村で行っているように、小児の予防接種の補助をしてほしい。(季節性インフルエンザ、ロタウイルス、おたふくかぜ等)
D地区	父母ともに	ゴミ袋の配布券はとても助かります。
D地区	父母ともに	○定期的に支援金等があり、たすかっています。児童手当に自動的に加算して支給してくれるので、手続きなども簡便ですばらしい。 ○任意接種の予防接種費用の補助があるととても助かります。おたふくとか。
D地区	父母ともに	子供が200円でうけられてありがたい。
E地区	主に母親	オムツを使用する歳まではゴミ袋無料引換券が欲しい。芝山町臨時こども応援商品券の使用できる所を町内だけでなく、山武郡内で使用できるようにできていたらもっとよかった。

(4) 情報提供について

居住地区	主な育児者	記述内容
C地区	父母ともに	もっと情報にアクセスできるようにアナウンスして欲しい。
D地区	父母ともに	L I N E等で、情報共有、提供してほしい。
D地区	父母ともに	・遅い、見にくい、情報がまわってこない。HPが見つらい。
D地区	主に母親	町のHPやメール等で配信。チャット形式で気軽にやりとりできればラク。
B地区	父母ともに	保育園からしか情報が発信されていないので、少ないと思う。
D地区	父母ともに	ネットで、はぐーん利用を予約できるなら利用する。電話しないといけないのは大変。
B地区	父母ともに	情報が少ない。インスタを使ったらどうか。(支援センター)
D地区	主に母親	小学校、保育所、支援センターといろんなところから情報があるので、手に入れやすいと思います。
D地区	主に母親	町のHPは比較的に見やすいし、引越し、出産、保育所の入所などで町役場に行くと窓口の方が丁寧で必要な支援が受けやすいと思います。支援センターにもお世話になってます。
D地区	主に母親	町のイベント、相談会とかSNS(インスタ、L I N E)で、流してほしい。L I N Eでそのまま予約できたら便利。
E地区	主に父親	役場に相談した事が、保育所に共有されていなかった事には驚いた。
A地区	父母ともに	・子育てについての情報をもっと配信してほしい。
E地区	主に母親	○ホームページが少しわかりづらい所がある。公式L I N E等個々に対して情報を届けられたり、問い合わせや申請が簡単にできたりするものがあると、もっと情報を得やすいと思う。
D地区	父母ともに	各々でとても良い情報を発信しているのに言葉がむずかしいです。
D地区	父母ともに	町の広報がわかりやすくてよいです。(マチイロアプリで読んでいます。続けてほしい。) なにか情報がほしければ、支援センターに行けばきっとわかる。という安心感もあります。

(5) 活動・遊びの場(子ども同士の交流など)や子ども自身の相談窓口について

居住地区	主な育児者	記述内容
D地区	父母ともに	支援センターは気軽に利用できて、とてもよかったです。子育て世代の方と話ができるのもリフレッシュになりました。
E地区	主に母親	学校以外の交流の場が少ない。友だちとあそびづらい。
E地区	主に母親	公園の遊具を増やしてほしい。
E地区	父母ともに	・公民館など定期的に交流などあったらいいと思う。
D地区	父母ともに	土・日・祝日に支援センターが利用出来ると嬉しい(数ヶ月に1度でもいいので) もし開いているのであればわかりやすく開場日を教えてほしい。

居住地区	主な育児者	記述内容
D地区	父母ともに	・支援センター、とても助かりました。相談もしやすく、講座は毎回とても楽しかったです。仕事復帰のため利用できなくなるのが残念です。
D地区	父母ともに	支援センターはいつでも利用できるのも、とても助かりました。今後利用することは少なくなりますが、今後の人のためにぜひ、今のままつづけてほしいです。
D地区	父母ともに	安全で遊具が沢山ある遊び場（屋内・外）を作してほしい。
D地区	父母ともに	・子供同士の交流の場は、現在のものにプラスして気軽に行けるイベント形式でも開催してほしい。
B地区	父母ともに	ほぼない。高齢者が多い芝山だからしかたないかもしれないが。
C地区	父母ともに	どこか交流する所があるかがわかりません。芝山が広くあったとしても施設まで行くことができない（不便）。町づくりしてほしい。
D地区	主に母親	土・日・祝日も含む、子どもの遊び場を増やしてほしい。
D地区	父母ともに	成田ニュータウンのような子どもが遊べる公園や場所が少なく感じます。
D地区	父母ともに	4半期に1回でも同じ年の子供と親でイベント等に参加できる機会があると交流がとれて今後小学校、中学校とおつきあいが上手にできる流れがつくりやすいのではないかと思います。（保育所以外の活動で）
B地区	父母ともに	・子育て支援センター、土曜日もやって欲しい。・児童館や図書館を作って欲しい。
D地区	主に母親	道の駅に室内であそべるスペースがあるといい。
D地区	主に母親	0才～18才くらいまでが利用できるような施設があるとうれしいです。室内、屋外のアソビ場、図書室、自習室など子供が安心してあそんだり、学んだり。支援センター大好きなので、未就学児までしか利用できないのがさみしいです。
D地区	主に母親	支援センター大好きな年長児が4月から行けなくて悲しいと言っていて、なおかつ小学生の兄弟はすでに行けないので、一番下の子がよく利用しているのですが、今後は利用しにくくなるので、近くに小学生もあそべるとうれしいです。
D地区	主に母親	○父親学級を全員必ず参加するほどの強制力がほしい。育児してるママの言うこともきかないし、ネットで調べもしないのでただうるさいだけになる。○子そだて支援センター以外に行くところがない。○外であそべるように遊具も増してほしい。○イオンのしまぐるランド（まくはり）とか ZOO アドベンチャーワールド（成田）。
D地区	主に母親	おもいっきり走って遊べる場がもっと欲しい。
E地区	主に父親	はぐーんでのイベントをもっと増やしてほしい。閉まるのが早いのももう少し長くして欲しい。

居住地区	主な育児者	記述内容
C地区	父母ともに	子育て支援センターを土日も開放して、小学生の兄弟も一緒に連れていける場所にして欲しいです。又、平日の利用で昼休みが入り利用出来なくなってしまう事も利用しづらい一因になっています。お弁当を持って行って一緒にとれるようにすれば、利用者間の交流も生まれます。
C地区	主に母親	土日の支援センターを開所してほしい。(有料でも良い)
A地区	父母ともに	・色々な人が使える自由なフリースペースがあると良い。子どもが参加出来るイベントをもっと増やしてもらえると良い。
D地区	父母ともに	子育て支援センターについて、未就学児童がいる小学生も利用できるとうれしい。(兄弟で利用できるとういなと思う)
E地区	主に母親	〇町全体で子どもの数が少ないと感じるので、各保育所や幼稚園の子ども達が交流できるような機会や場があると良いのではないかなと思う。
E地区	父母ともに	千葉県旭市にある、旭市多世代交流施設、おひさまテラスがとても良かったです。室内で遊べる所や本が読めて良かったので、芝山にも木のぬくもりのある所があると良いと思います。
D地区	父母ともに	子育て支援センターが新しく建て直され、未就学児がいる家庭はとても助かっていると思います。可能なら、①土曜日の開設②きょうだいの利用(現在、小学生になると利用ができなくなり、上の子と下の子が、小学生と未就学児で分かれてしまうと一緒に連れていくことができない)を希望します。
D地区	父母ともに	支援センターでは親の心にも余裕があるのかたくさんさんの相談ができる場所で助かってます。本来は保育所などでできれば良いですが、きっと余裕がないんです。
D地区	父母ともに	児童館があると小学校の居場所があっていいですね。
D地区	父母ともに	平日は仕事しているので、土日だとなかなかできなく、大きくなっても(小学校あたり)月齢の同じぐらいの集まりがあると嬉しい。

(6) その他

居住地区	主な育児者	記述内容
E地区	主に母親	部活がなくなるとのことだが、校庭とかで子どもたち同士で集まってあそぶ(運動)機会があるといい。
D地区	主に母親	全体的に公共施設の老朽化が気になります。安全で過ごしやすい施設になるのを待っています。(支援センターはとても素晴らしいです)
E地区	父母ともに	・レストランや食事する所などあればいいと思う。・3LDK~の住まいを作ってほしい。住宅地など
D地区	父母ともに	L I N E等で気軽に子育て相談ができたり、匿名で相談できたら良いのになあと思います。
D地区	主に母親	きれいな図書館。

居住地区	主な育児者	記述内容
B地区	父母ともに	子供は一体どこであそび、どこで学ばばいいのか。空港の滑走路が新しく出来るのに非常に残念である。
C地区	父母ともに	小さい事ですが、ゴミ袋の無料支援が3袋から2袋になった事もすごく残念。
D地区	主に母親	英会話、ダンスなどの講座をつくってほしい。不定期ではなく定期的に。
B地区	父母ともに	子育てに力を入れて欲しいです。多古町の方が子育てはやさしいと思う。
D地区	主に母親	3年前に成田市から引越してきましたが、子育て支援という意味ではとても優れている町だと思います。近所の方々も子供に優しくあたたかい町なので芝山町に引越してきて良かったと思います。
D地区	父母ともに	・新生児をふくめて、3才未満まではオムツ代金やミルク代金がすごくお金がかかります。物価がたかくなっているなかなかなので、少しでいいので支援金などがあるとたすかります。
E地区	主に父親	保健師相談も事務的に感じられた。人によって対応に差がある。産後ケアを充実させて欲しい。成田、山武で行っている事業の定携等。
C地区	父母ともに	芝山町の子供は他市町村に比べて虫歯が多いです。保育園で市販のお菓子を一日に二回あげるのを回数を減らす、フ素のうがいを導入する等、町として対策をした方が良いと思います。
D地区	父母ともに	風和里周辺にスーパーがあればとても助かります。買い物にかかる時間を短縮できます。
A地区	父母ともに	・保育所を早く立て替えてほしいです。
E地区	主に母親	○産後ケアに関する事業が充実すると良いなと思う。
E地区	父母ともに	やすらぎの図書室、公民館の図書室もとても良いのに利用者が少なくて残念です。広報などで町の施設の紹介や、工夫をすれば、利用する方がもっと増えるかと思います。おはなし会にも参加しましたが、とても楽しくて、良かったので、町の方にも利用して欲しいし、知ってほしいです。
D地区	父母ともに	医療機関の充実。
D地区	主に母親	アンケートをWEBでできるようにしてほしい。
D地区	主に母親	アンケートをWEBで可能にしてほしい。
B地区	父母ともに	生活用水が井戸水なので子どもがある年齢を越えた時に町の方でピロリ菌検査をしてほしい（ABC検査等）公共施設・各家庭の井戸の水質検査でいなくても行政の方でお願いしたい。
D地区	父母ともに	もう少し大きくなると町外へ進学、習い事などに行くようになると思うので、バスで安全に町外に出られるように交通機関が整備されるとよい。

居住地区	主な育児者	記述内容
E 地区	主に母親	今回のこのアンケートですが各質問がわかりづらい。また、問1と問2を回答した時点で特定できる要素があるのでやめてください。次回からはヒアリングではなく、アンケートにしてください。

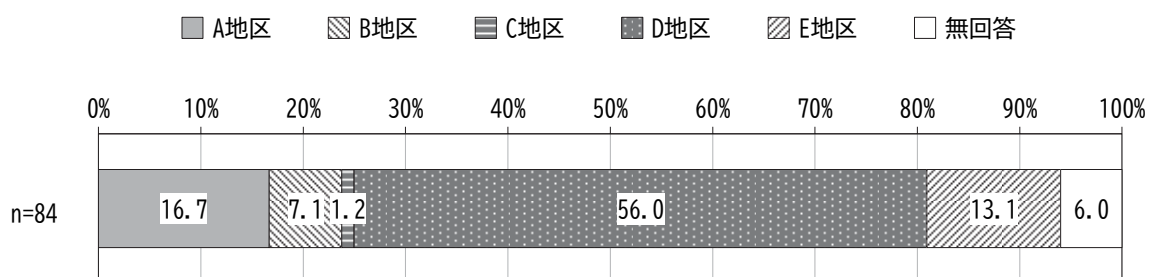
〔４〕小学生世帯調査結果

1. 居住地区

問１ 居住地区

問１ お住まいの地区として当てはまる番号１つに○をつけてください。

「D地区」が56%と多く、次いで「A地区」が17%、「E地区」が13%となっている。



※再掲

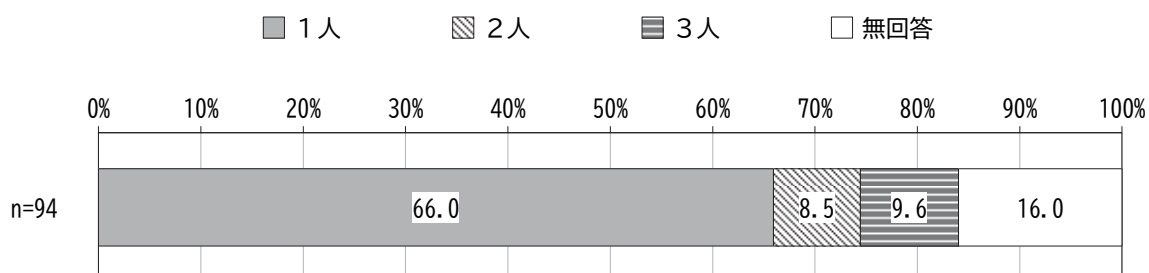
地区分け	該当居住地区
A地区	菱田東、中郷、辺田、菱田宿、中谷津、住母家、千代田、坂志岡、加茂
B地区	谷平野、白栴、浅川・稲葉、飯櫃、小原子、山田
C地区	牧野東、牧野西、宝馬、岩山、川津場、あけぼの、スカイビレッジ、三和、朝倉、一本松
D地区	小池3、小池4、小池5、小池6、小池8、バルールド、大台西、大台南、高田東、高田西、新井田、新井田新田、はにわ台東、はにわ台南、はにわ台北1、はにわ台北2、ハニワ台ニュータウン、芝山台
E地区	小池1、小池2、小池7、小池9、芝山、山中東、山中西、高谷、殿部田、境・宮崎、上吹入、下吹入、大台北、大台宿、

2. 子どもと家族の状況

問２ 小学１～４年生の子どもの人数

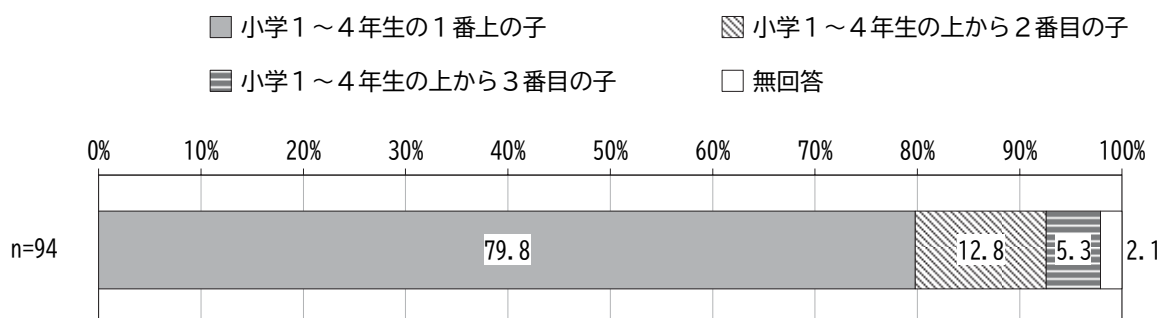
問２ あなたのご家庭には、小学１～４年生（平成２５年４月２日～平成２９年４月１日生まれ）のお子さんが、何人いますか。また、封筒の宛名のお子さんは、小学１～４年生のお子さんの中で何番目にあたりますか。当てはまる番号１つに○をつけてください。さらにそれぞれのお子さんの生まれ年月を合わせてお答えください。

「１人」が66%と多く、次いで「３人」が10%、「２人」が9%となっている。



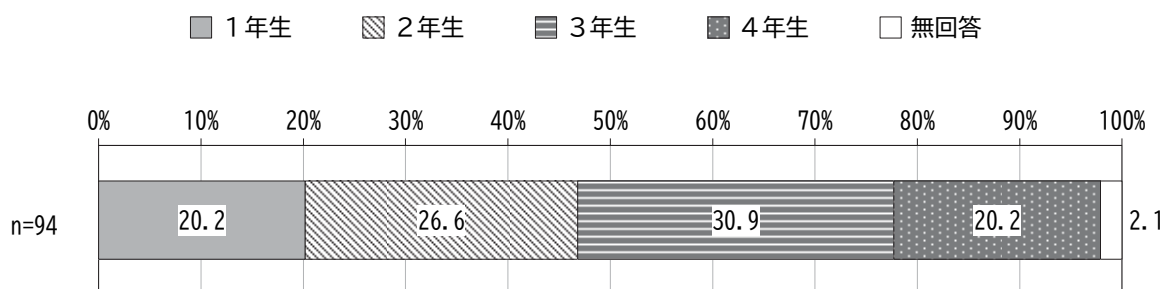
問2-1 宛名の子ども

「小学1～4年生の1番上の子」が 80%と多く、次いで「小学1～4年生の上から2番目の子」が 13%、「小学1～4年生の上から3番目の子」が5%となっている。



問2-5 小学1～4年生の子の学年（合計）

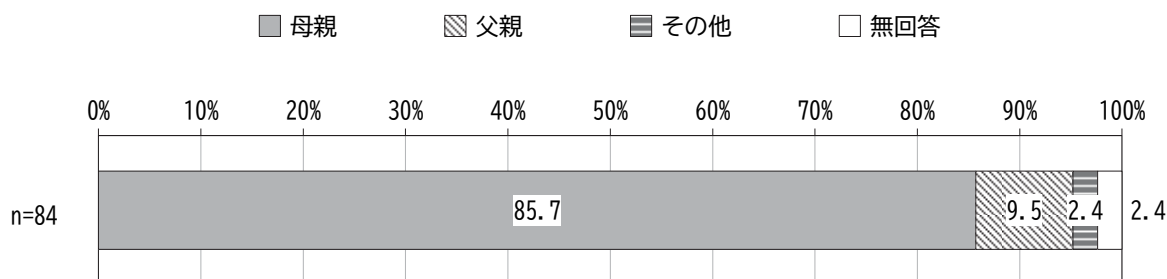
「3年生」が 31%と多く、次いで「2年生」が 27%、「1年生」「4年生」がともに 20%となっている。



問3 回答者

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

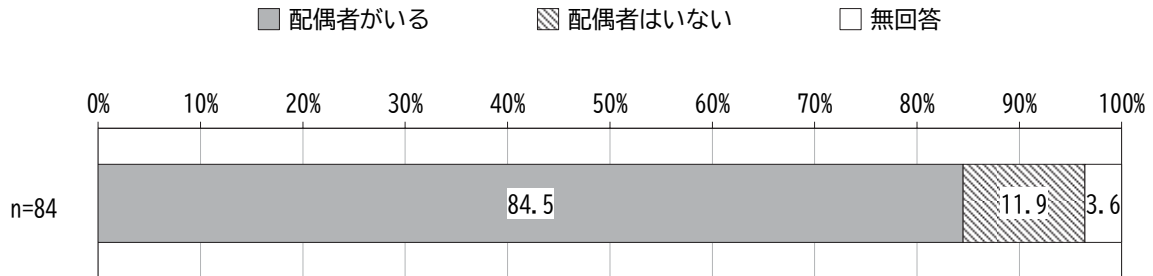
「母親」が 86%と多く、次いで「父親」が 10%となっている。



問4 回答者の配偶関係

問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

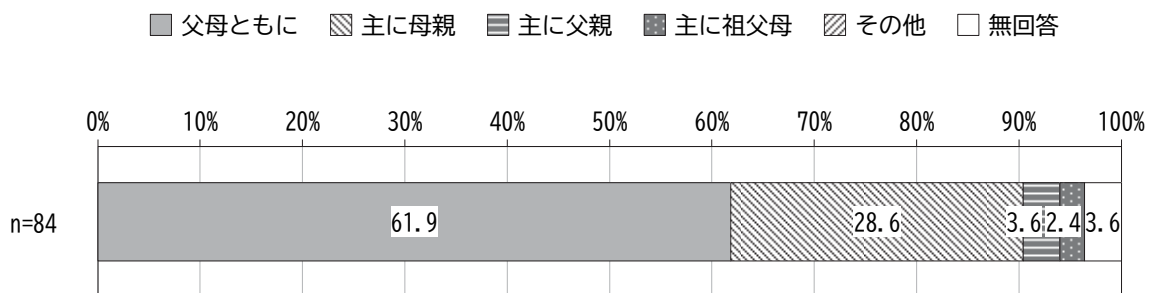
「配偶者がいる」が85%と多く、「配偶者はいない」が12%となっている。



問5 主な育児者

問5 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父母ともに」が62%と多く、次いで「主に母親」が29%となっている。

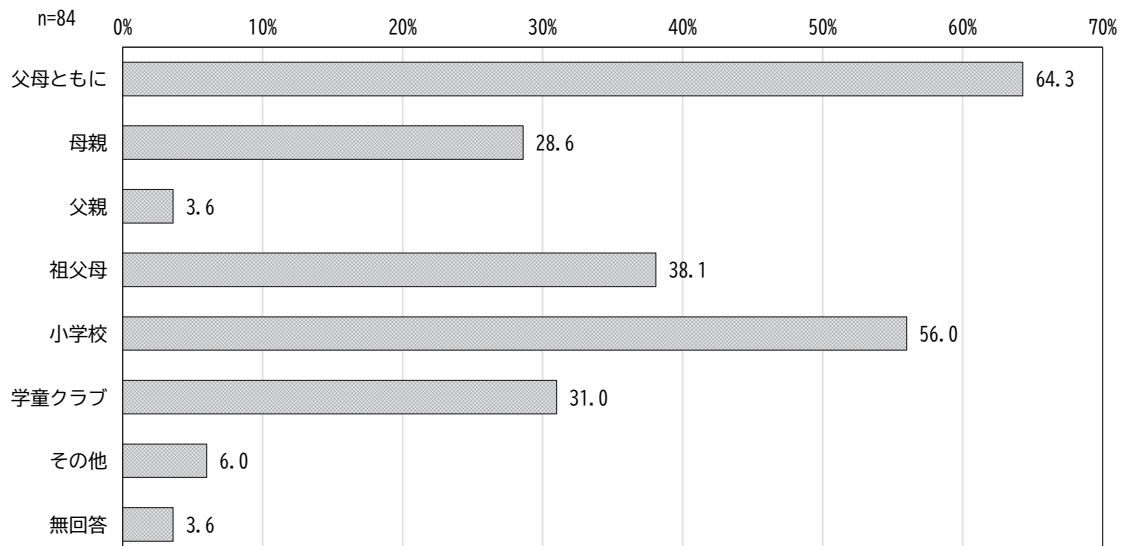


3. 子どもの育ちをめぐる環境

問6 主に子どもの世話をしている方

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、日常的にかかわっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

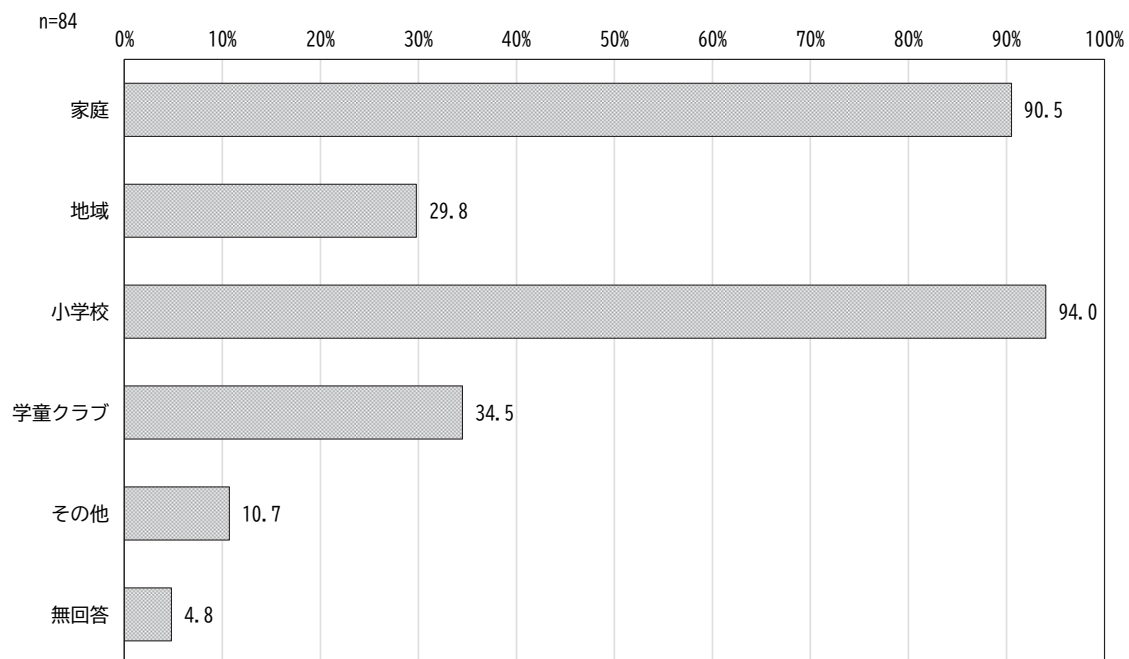
「父母ともに」が64%と多く、次いで「小学校」が56%、「祖父母」が38%となっている。



問7 子育てに最も影響する環境

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

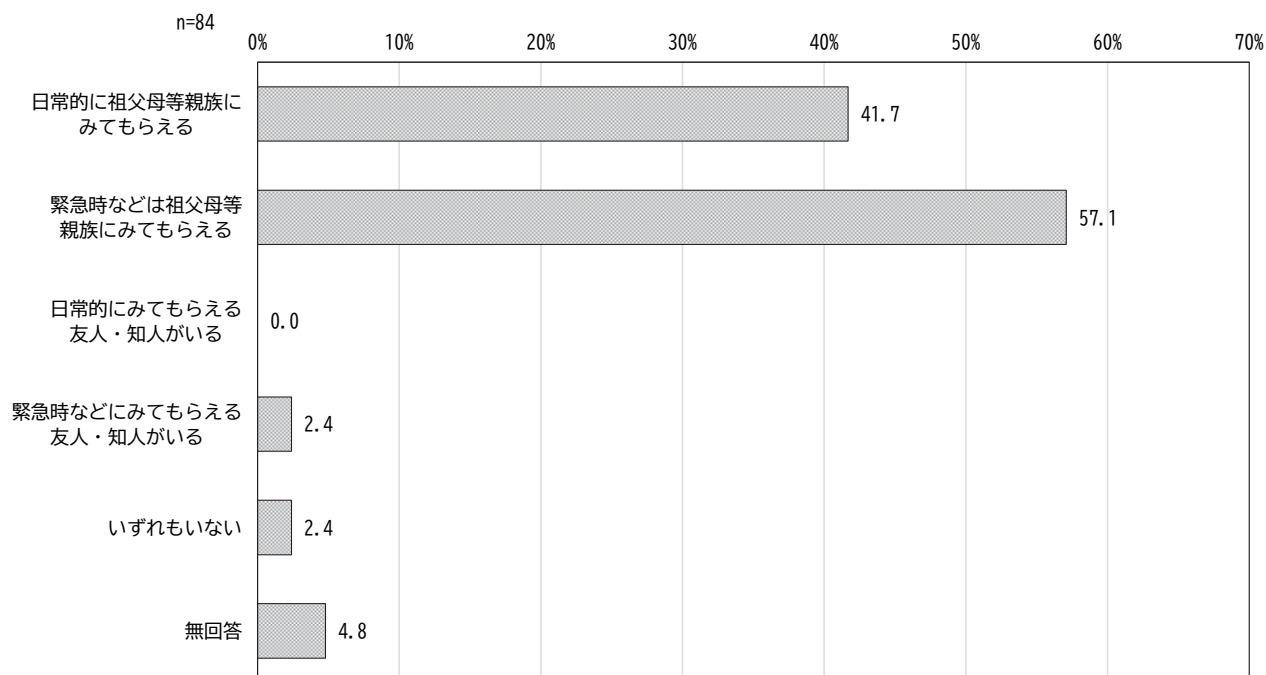
「小学校」が94%と多く、次いで「家庭」が91%、「学童クラブ」が35%となっている。



問8 子どもを預かってくれる人の状況

問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

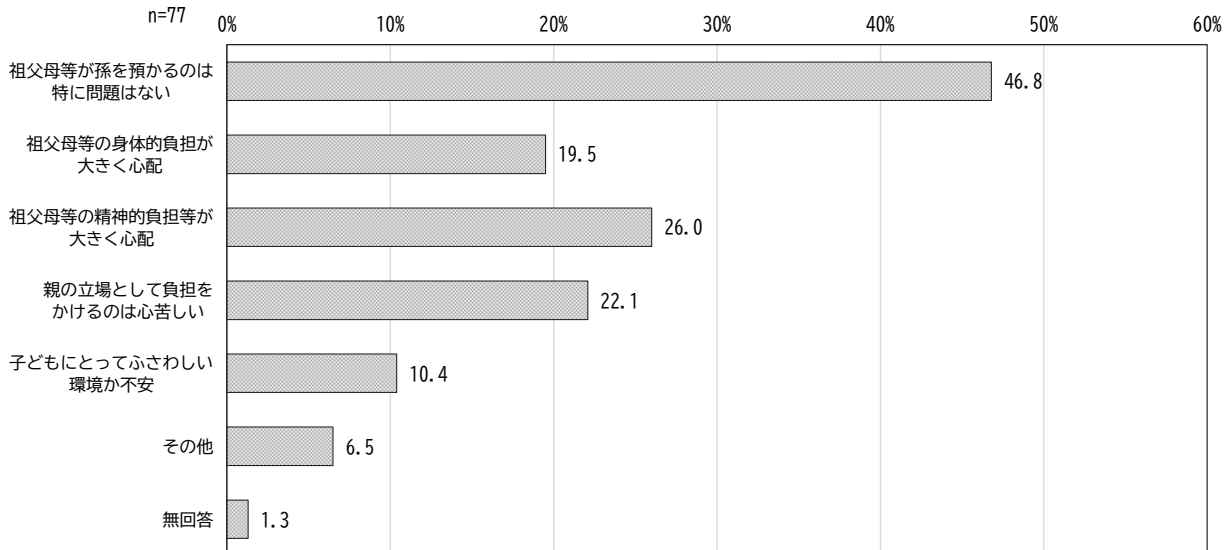
「緊急時などは祖父母等親族にみてもらえる」が57%と多く、次いで「日常的に祖父母等親族にみてもらえる」が42%となっている。



問8-1 祖父母等の預かりについての考え

問8-1 問8で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」又は「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

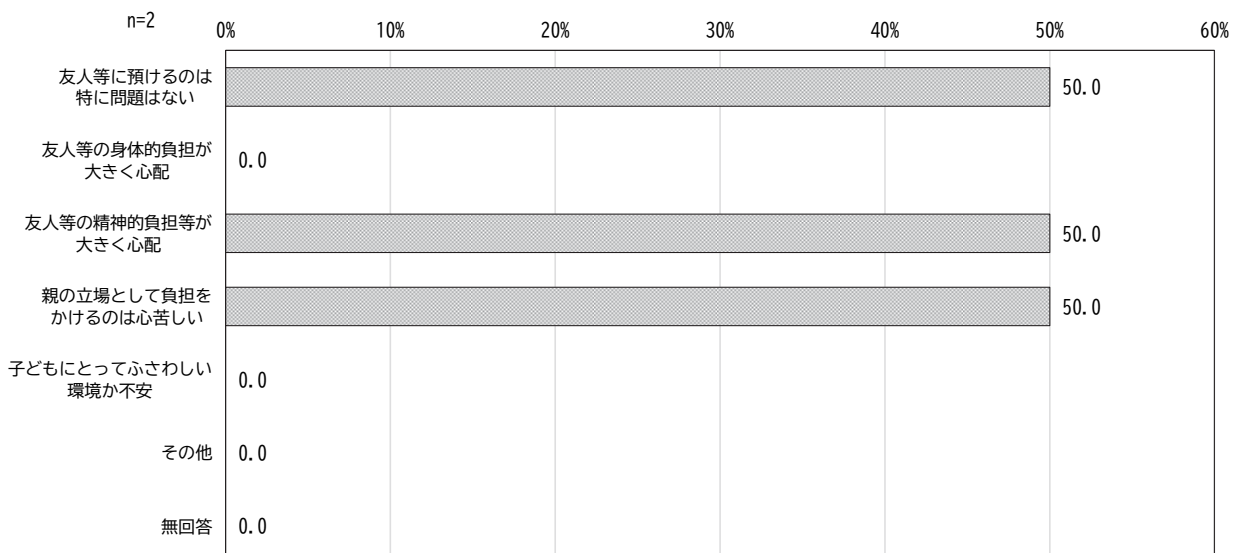
「祖父母が孫を預かるのは特に問題はない」が47%と多く、次いで「祖父母の精神的負担等が大きく心配」が26%、「親の立場として負担をかけるのは心苦しい」が22%となっている。



問8-2 友人等の預かりについての考え

問8-2 問8で「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」又は「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

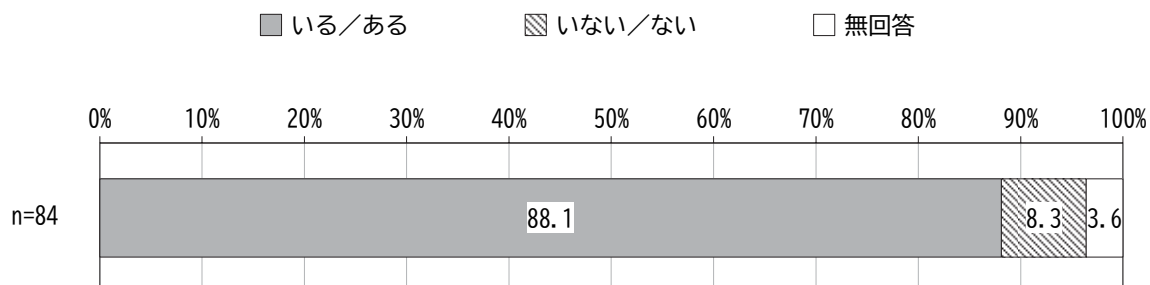
件数は少ないが、「友人等に預けるのは特に問題はない」「友人等の精神的負担等が大きく心配」「親の立場として負担をかけるのは心苦しい」という回答がみられる。



問9-① 相談できる人・場所

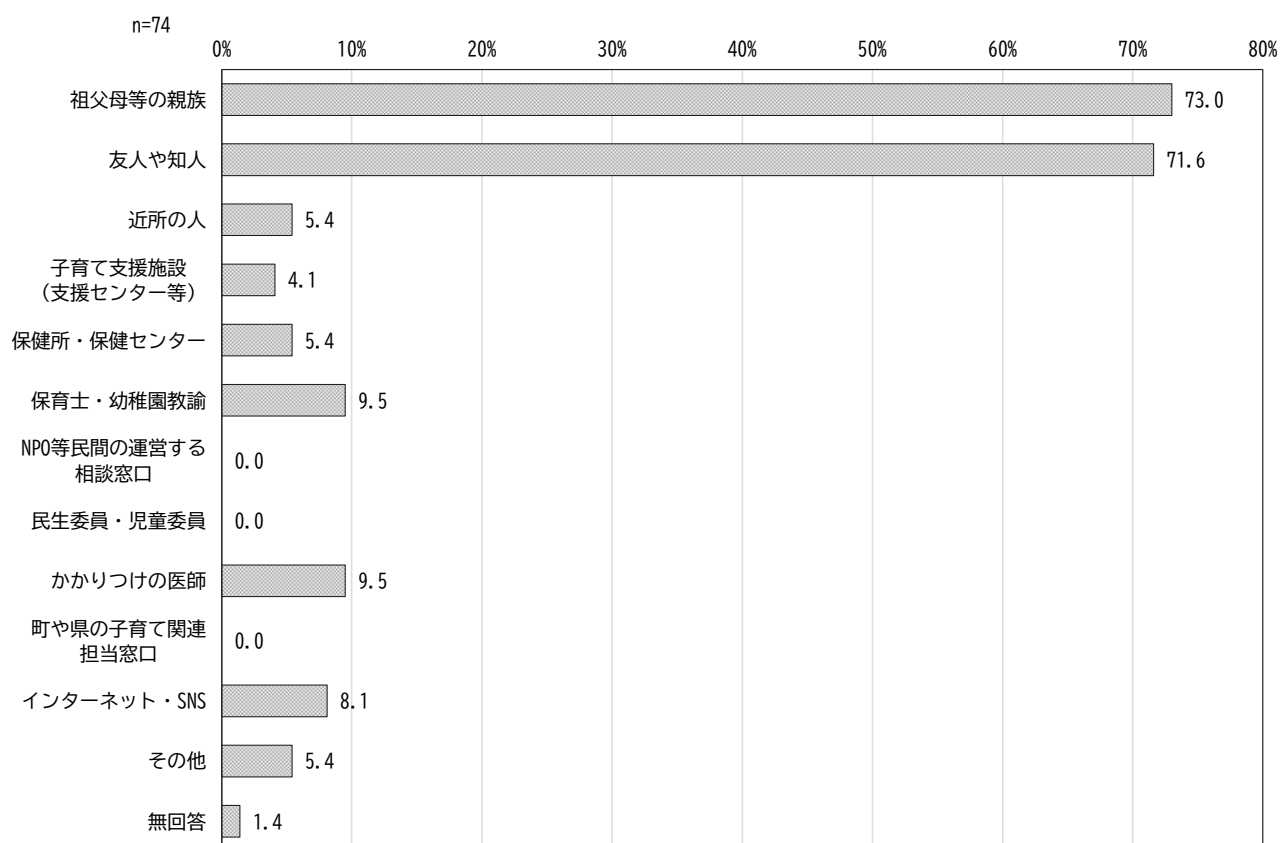
問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか。

「いる／ある」が88%と多く、「いない／ない」が8%となっている。



問9-② 気軽にできる相談先

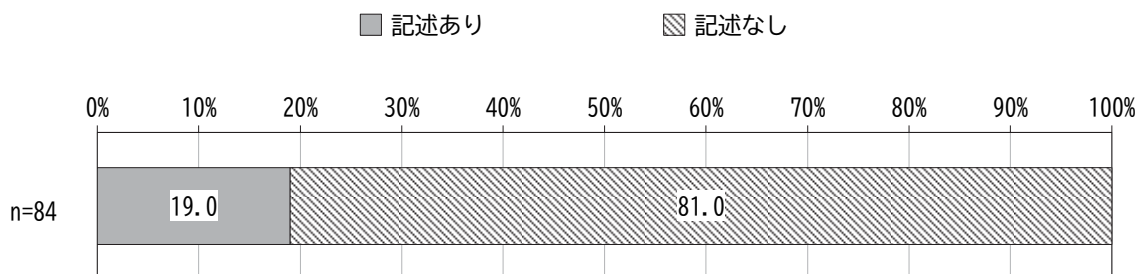
「祖父母等の親族」が73%と多く、次いで「友人や知人」が72%、「保育士・幼稚園教諭」「かかりつけの医師」がともに10%となっている。



問 10 希望する周囲からのサポート

問 10 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えですか。ご自由にお書きください。

「記述なし」が 81%と多く、「記述あり」が 19%となっている。



※再掲

地区分け	該当居住地区
A 地区	菱田東、中郷、辺田、菱田宿、中谷津、住母家、千代田、坂志岡、加茂
B 地区	谷平野、白樹、浅川・稲葉、飯櫃、小原子、山田
C 地区	牧野東、牧野西、宝馬、岩山、川津場、あけぼの、スカイビレッジ、三和、朝倉、一本松
D 地区	小池 3、小池 4、小池 5、小池 6、小池 8、バルールド、大台西、大台南、高田東、高田西、新井田、新井田新田、はにわ台東、はにわ台南、はにわ台北 1、はにわ台北 2、ハニワ台ニュータウン、芝山台
E 地区	小池 1、小池 2、小池 7、小池 9、芝山、山中東、山中西、高谷、殿部田、境・宮崎、上吹入、下吹入、大台北、大台宿、

居住地区	主な育児者	記述内容
無回答	主に母親	・病後児保育。(インフルエンザやコロナ等 出席停止期間が長く、かなり負担。家に置いておくのは心配。)・支援センター、現在小学生以下のみの利用になっている。
D地区	父母ともに	・子育ての体験談とかたまにみれたりしたら、参考になるかもしれない。
A地区	主に母親	お金の補助。もっと子供達が行きやすくしてほしい。図書館。公園。
D地区	父母ともに	ネット等で、相談できる窓口があるといいと思います。
E地区	父母ともに	相談デー。
D地区	父母ともに	共働きや、シフト勤務に対応してもらえる様なサポートがあるとありがたい。
D地区	父母ともに	教育を受けるための塾や子供が集って学べる学校とは別の場所など芝山にもう少しふえてほしい。下学年とわず、中学生なども通える塾が芝山内に見当たらない。町外ならぽつぽつあると聞きますが、必ず車で送る場所だときびしいと思う。近隣にあったらいいなと思う。

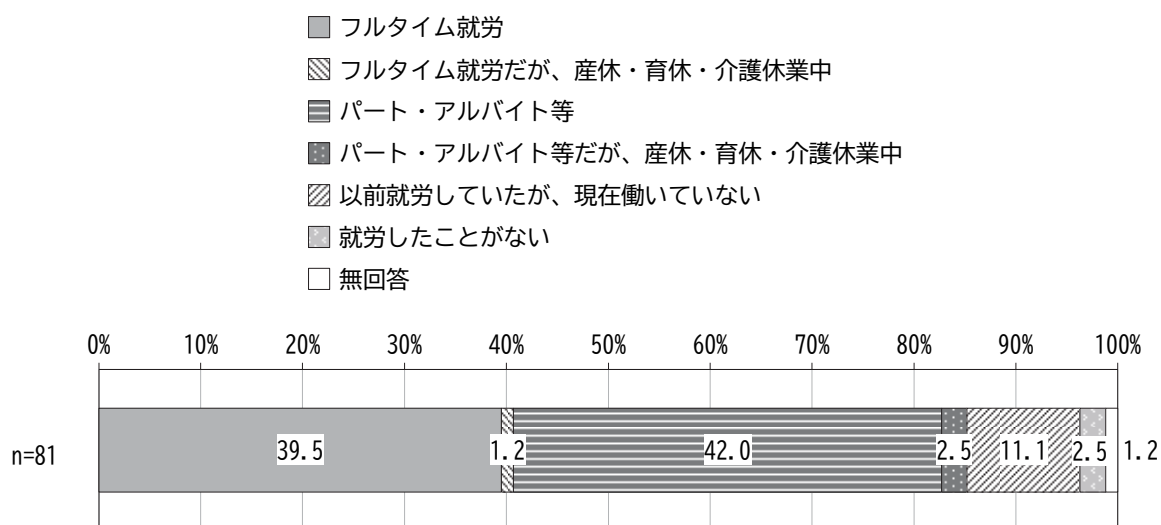
居住地区	主な育児者	記述内容
D地区	父母ともに	気軽に相談できたり、預けたりできるサポート
B地区	主に母親	今も色々とサポートしていただいている事が多いので、ありがとうございます。自分に何かあった時や緊急に何か起きた時の事を考えると不安にはなります。
D地区	主に祖父母	誰もが身内の子のような存在としてとらえ、親身になって声をかけたり、気にしてもらえたらそれでよいと思います。基本は、家庭であると考えます。その家庭内での様子がおかしい時はイチ早くキャッチできるようにあってほしいです。学校（先生方）のお力が大切かと思っています。
A地区	主に母親	芝山の子育てで一番大変なのは、子どもの送迎（小・中・習い事）です。送迎ができなくて、スポ少や習いごとをやらせてあげられないことも多々あり。ライドシェアができるようになれば、ライドシェアを利用した子どもの送迎サービスをやってもらえたら、すごく助かると思います。
E地区	父母ともに	兄が小学校低学年の時に、サポート学級？に入るかとなりそうな時、町（保健センター）では、「山武郡とかの所に行ってください」学校では「病院に行ってください」（行った方がよい）と言われ、町で相談できる専門の方がいなかった。（未就学児なら良いですけど、小学生は…という感じでした）今は町にそういう窓口が（専門の方に話がまづはきける）できていると良いです。
D地区	父母ともに	少し出掛けるとなった際、気軽に預ることが出来るサービス
D地区	父母ともに	子供が元気に生きいきと育ててほしいと思います。そのためには身近な人には、悪い事、良い事をきちんと見てほしい。行政には元気に育つ所が今かけているように感じます。学校の授業（体育、行間だけではマラソン、ナワトビ）元気が足りないと。
D地区	父母ともに	子育てしやすい地域づくりをもっとしてほしい。たとえば、公園の整備や交通機関を充実させてもらいたい。
D地区	父母ともに	年に1回、〇才児相談のような、希望すれば保健師さん、栄養師さんたちとお話しできる機会が小学生になってもあるとよい。同じ学年の親と交流する場が同時にあるとよりよい。

4. 保護者の就労状況

問 11（１）－① 母親の就労状況

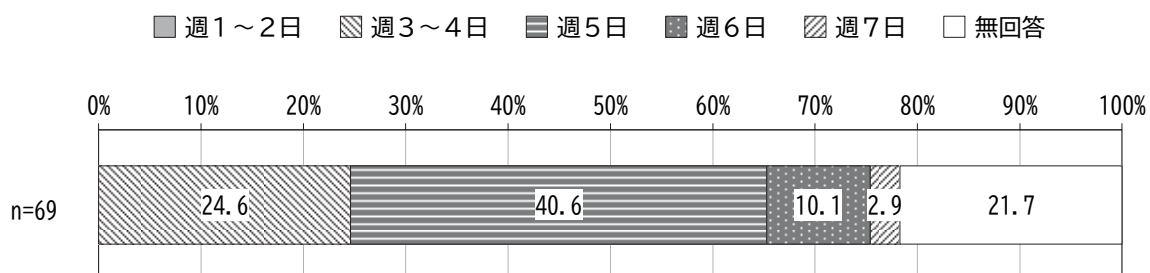
問 11 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。
 （１）母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号１つに○をつけてください。母親の「就労状況」と「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。また、産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況でお答えください。

「パートタイム・アルバイト等」が 42%と多く、次いで「フルタイム就労」が 40%、「以前就労していたが、現在働いていない」が 11%となっている。



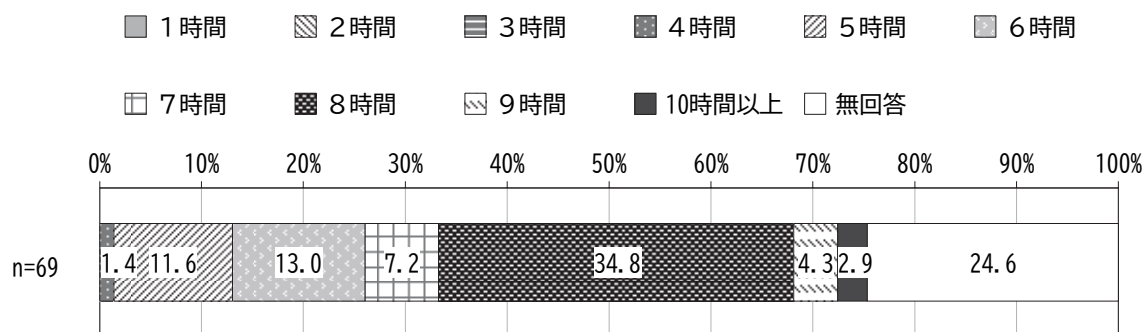
問 11（１）－②－１ 就労日数

「週5日」が 41%と多く、次いで「週3～4日」が 25%、「週6日」が 10%となっている。



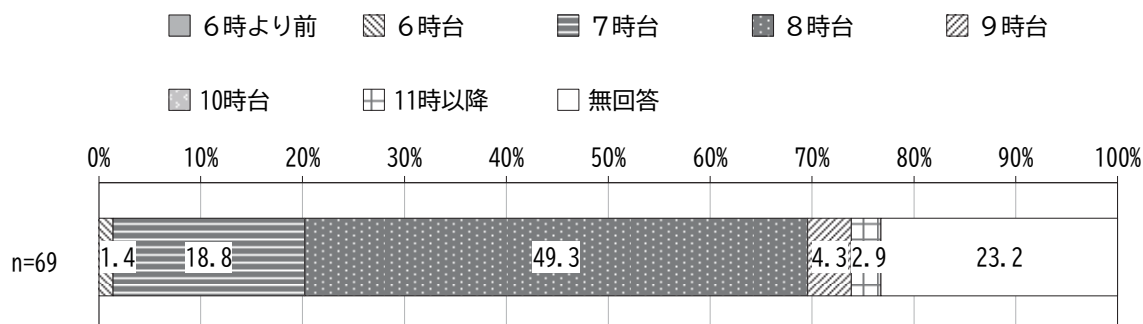
問 11（1）－②－2 就労時間

「8時間」が 35%と多く、次いで「6時間」が 13%、「5時間」が 12%となっている。



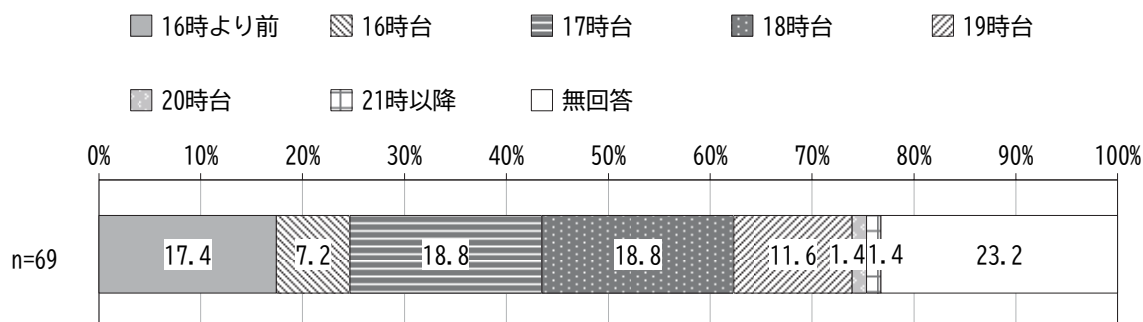
問 11（1）－②－3 家を出る時間

「8時台」が 49%と多く、次いで「7時台」が 19%となっている。



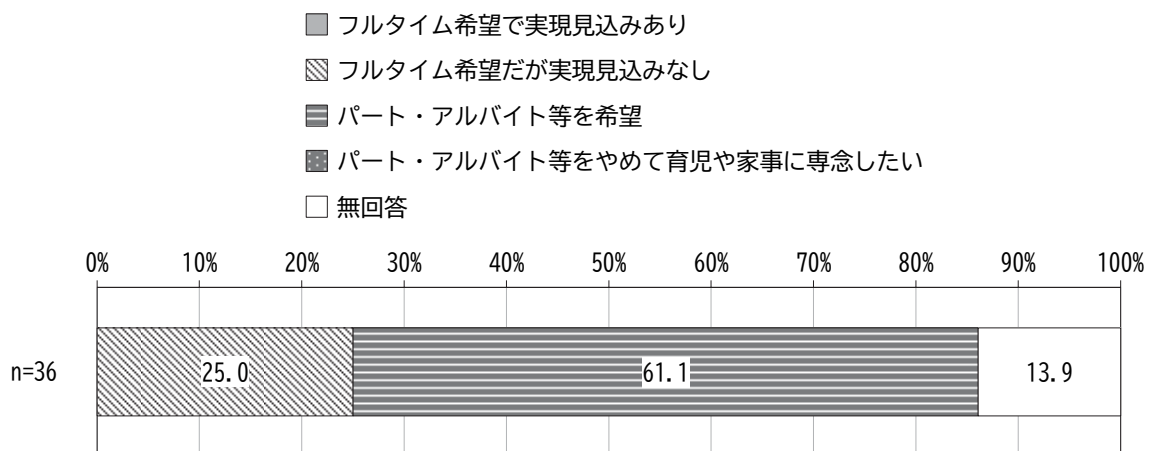
問 11（1）－②－4 帰宅時間

「17時台」「18時台」がともに 19%と多く、次いで「16時より前」が 17%となっている。



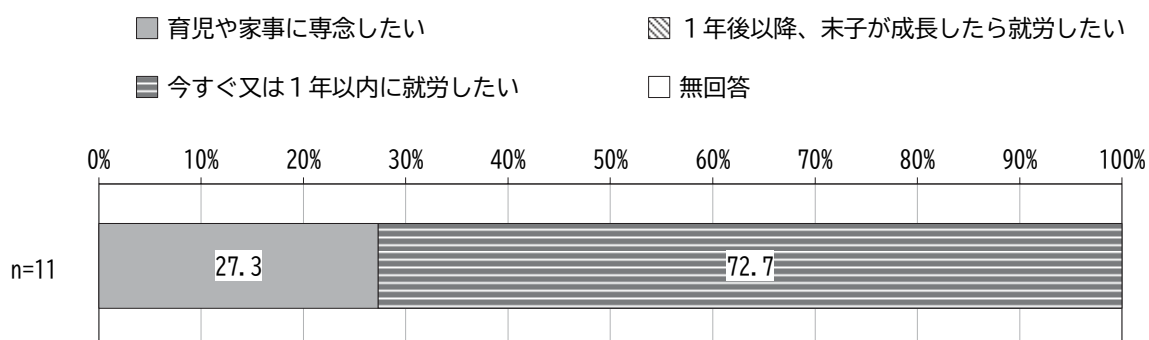
問 11（1）－③ パート・アルバイト等の方のフルタイムへの転換希望

「パート・アルバイト等を希望」が 61%と多く、次いで「フルタイム希望だが実現見込みなし」が 25%となっている。



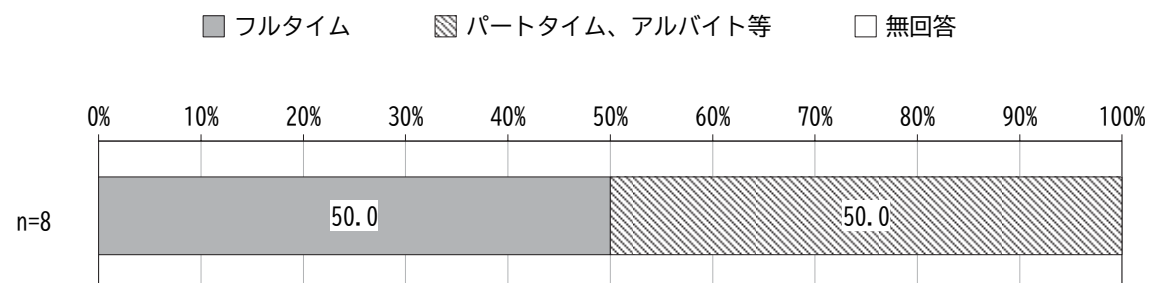
問 11（1）－④－1 就労していない方の就労への考え

「今すぐ又は1年以内に就労したい」が 73%と多く、次いで「育児や家事に専念したい」が 27%となっている。



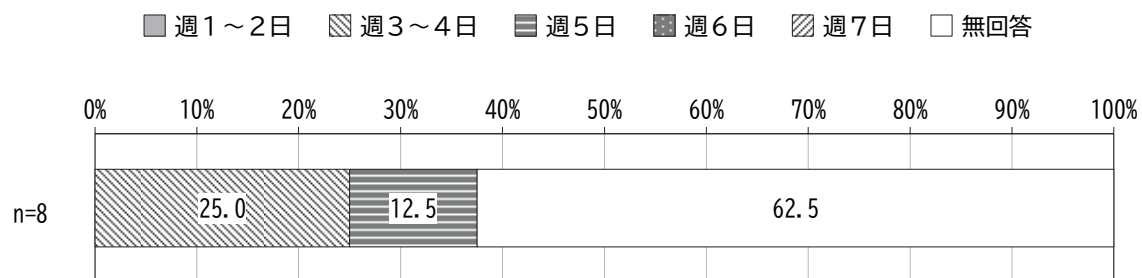
問 11（1）－④－3 希望就労形態

件数は少ないが、「フルタイム」「パートタイム、アルバイト等」という回答がみられる。



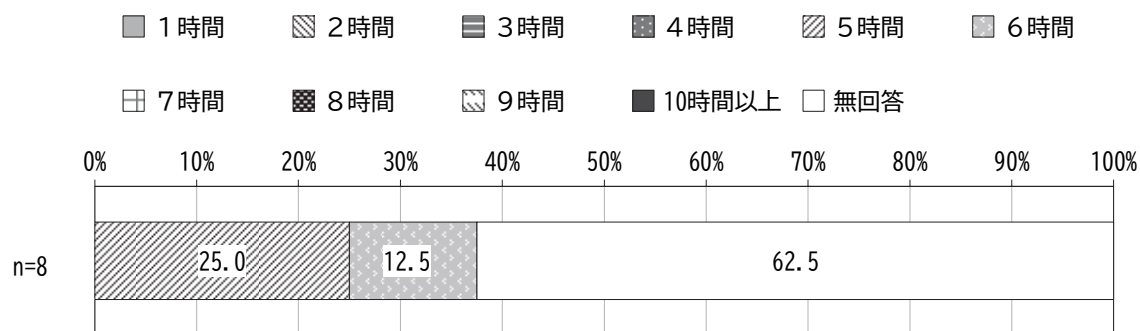
問 11（1）－④－3－1 希望就労日数

件数は少ないが、「週3～4日」がやや多くみられる。



問 11（1）－④－3－2 希望就労時間

件数は少ないが、「5時間」がやや多くみられる。

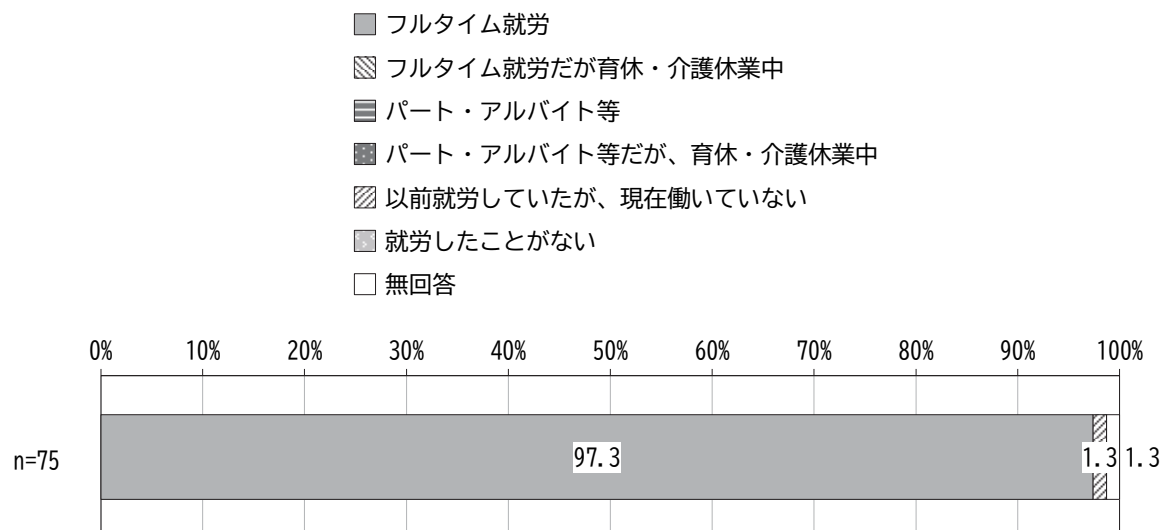


問 11（2）－① 父親の就労状況

問 11 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

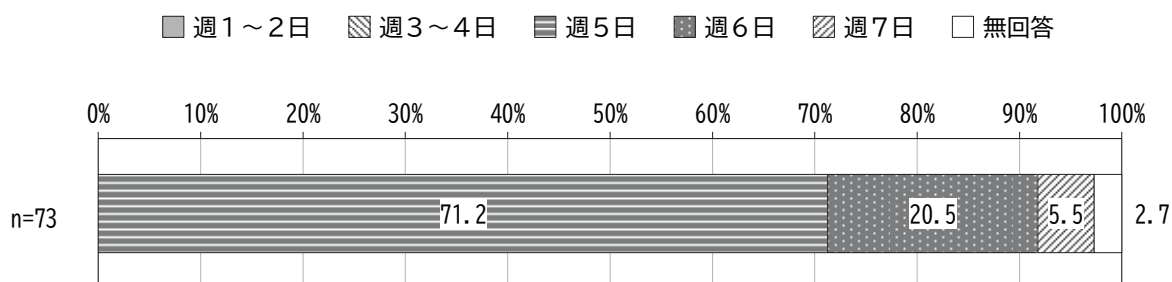
（2）父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。父親の「就労状況」と「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。また、育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況でお答えください。

「フルタイム就労」が97%と多くなっている。



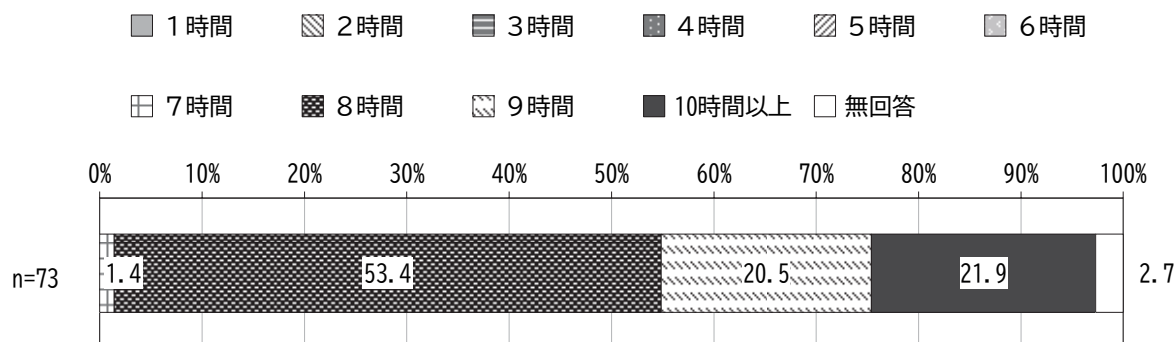
問 11（2）－②－1 就労日数

「週5日」が 71%と多く、次いで「週6日」が 21%、「週7日」が6%となっている。



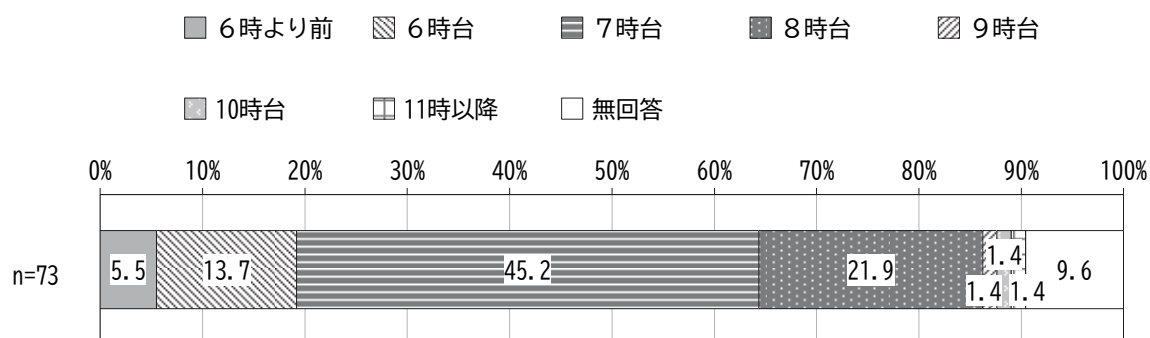
問 11（2）－②－2 就労時間

「8時間」が 53%と多く、次いで「10 時間以上」が 22%、「9時間」が 21%となっている。



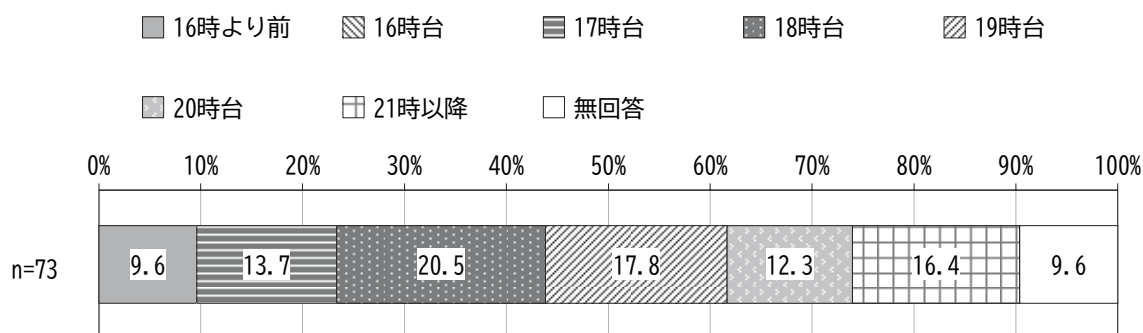
問 11（2）－②－3 家を出る時間

「7時台」が 45%と多く、次いで「8時台」が 22%、「6時台」が 14%となっている。



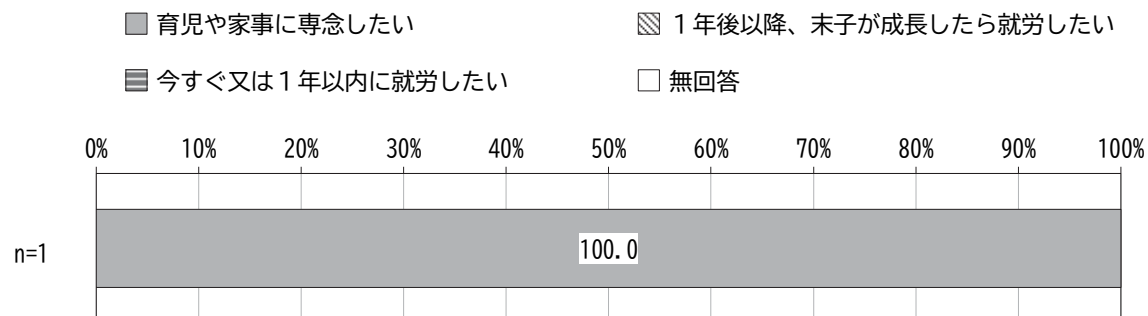
問 11（2）－②－4 帰宅時間

「18 時台」が 21%と多く、次いで「19 時台」が 18%、「21 時台」が 16%となっている。



問 11（2）－④－1 就労していない方の就労への考え

件数は少ないが、「育児や家事に専念したい」という回答がみられる。

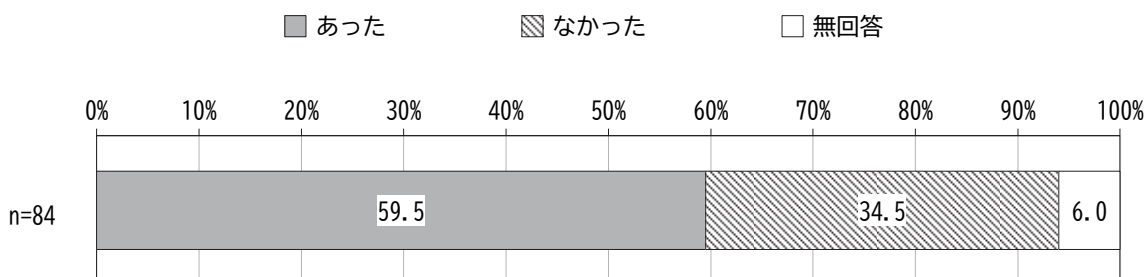


5. 子どもが病気の際の対応

問 12 病気等で教育・保育事業が利用できなかったこと

問 12 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

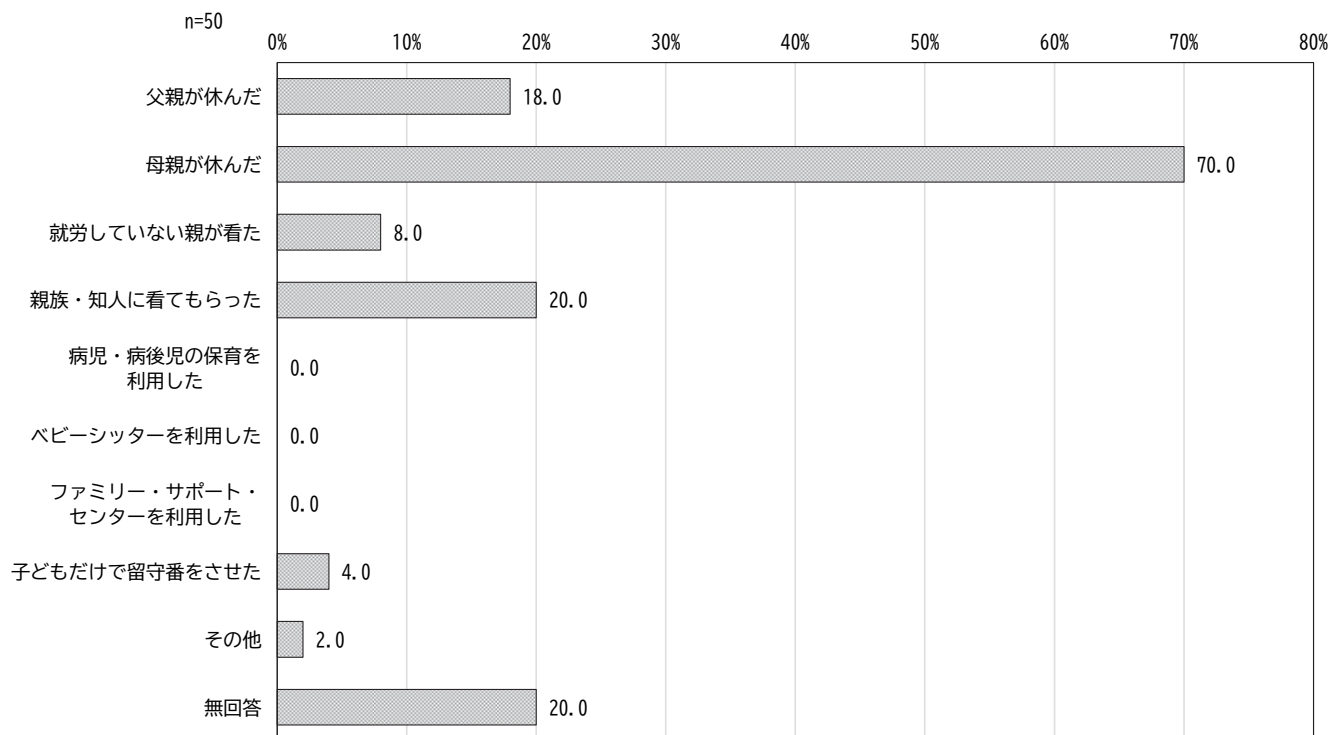
「あった」が 60%と多く、「なかった」が 35%となっている。



問 12-1 病気等の場合の対処

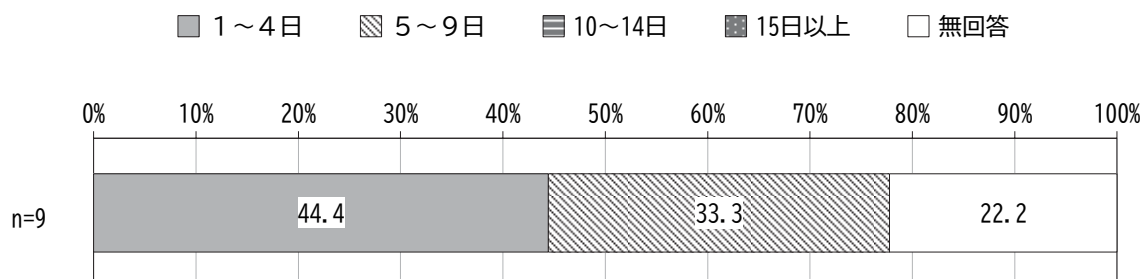
問 12-1 宛名のお子さんが病気やけがで通学できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一桁に一字）

「母親が休んだ」が70%と多く、次いで「親族・知人に看てもらった」が20%、「父親が休んだ」が18%となっている。



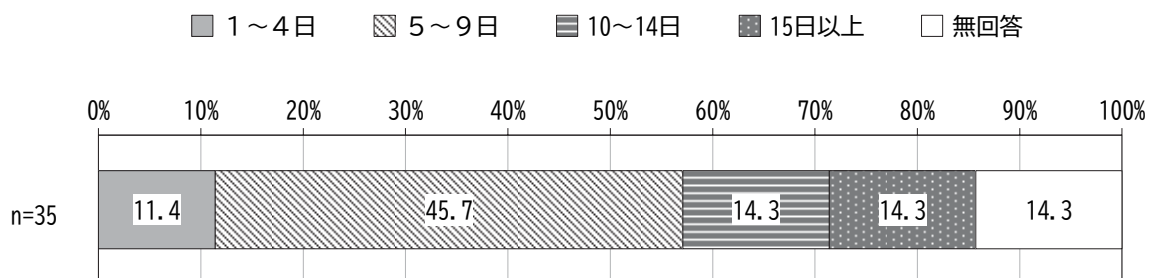
問 12-1-1 父親が休んだ日数

件数は少ないが、「1～4日」がやや多くみられる。



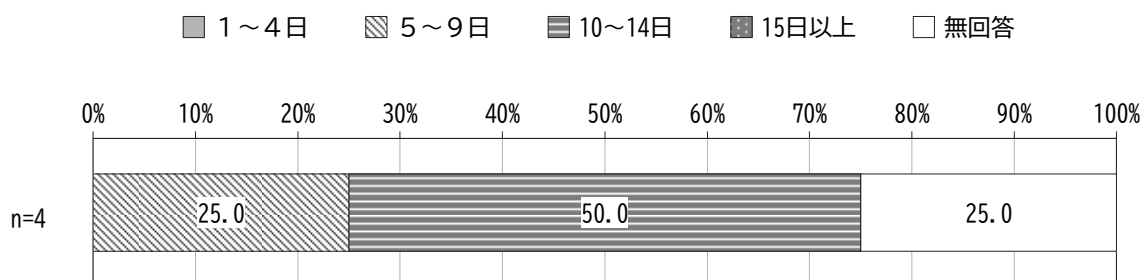
問 12-1-2 母親が休んだ日数

「5～9日」が46%と多く、次いで「10～14日」「15日以上」がともに14%となっている。



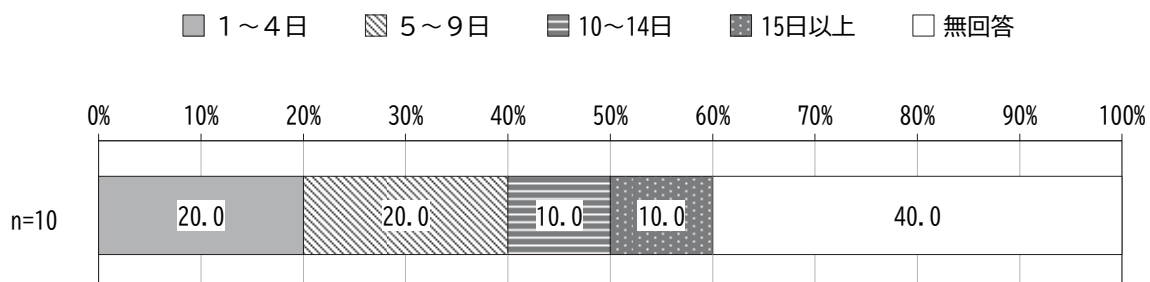
問 12-1-3 就労していない親が見た日数

件数は少ないが、「10～14日」がやや多くみられる。



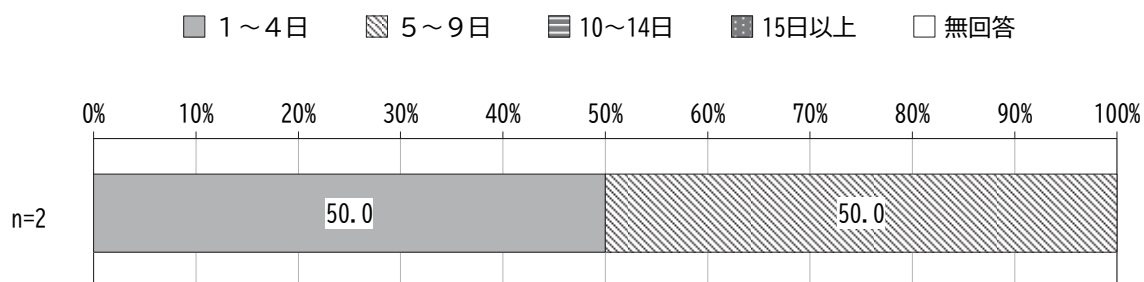
問 12-1-4 親族・知人が見た日数

「1～4日」「5～9日」がともに20%と多く、次いで「10～14日」「15日以上」がともに10%となっている。



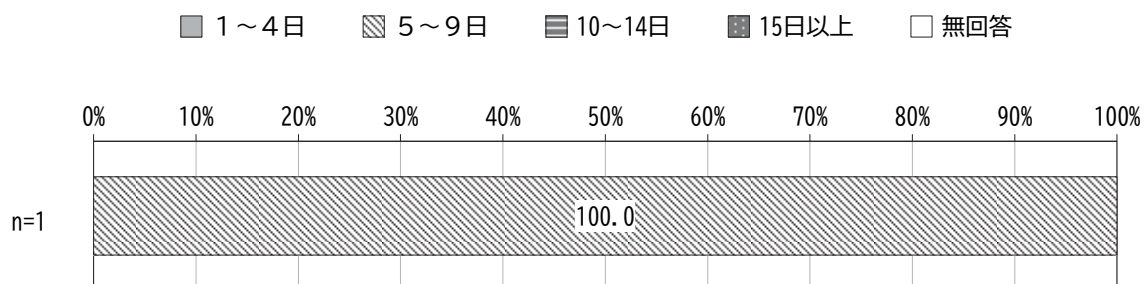
問 12-1-8 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数

件数は少ないが、「1～4日」「5～9日」という回答がみられる。



問 12-1-9 その他の日数

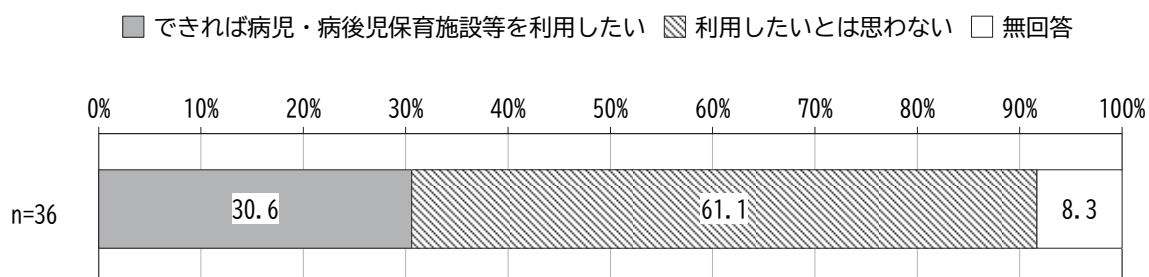
件数は少ないが、「5～9日」という回答がみられる。



問 12-2 病児・病後児保育施設の利用意向

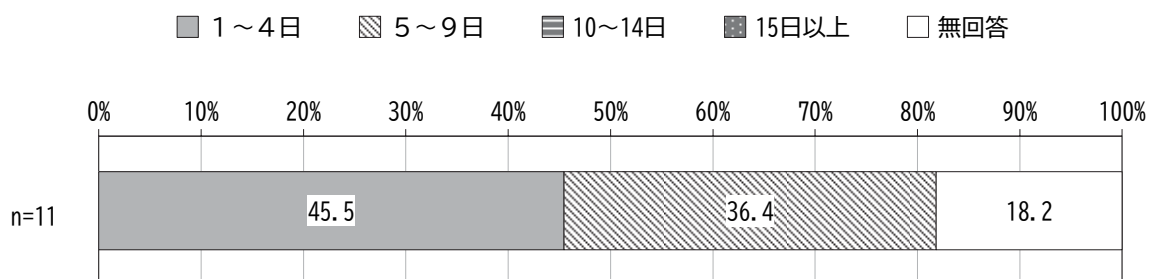
問 12-2 問 12-1 で「ア. 父親が休んだ」又は「イ. 母親が休んだ」に○をつけた方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用には医師の診断が必要となります。

「利用したいとは思わない」が 61%と多く、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 31%、となっている。



問 12-2-1 保育施設等を利用したい日数

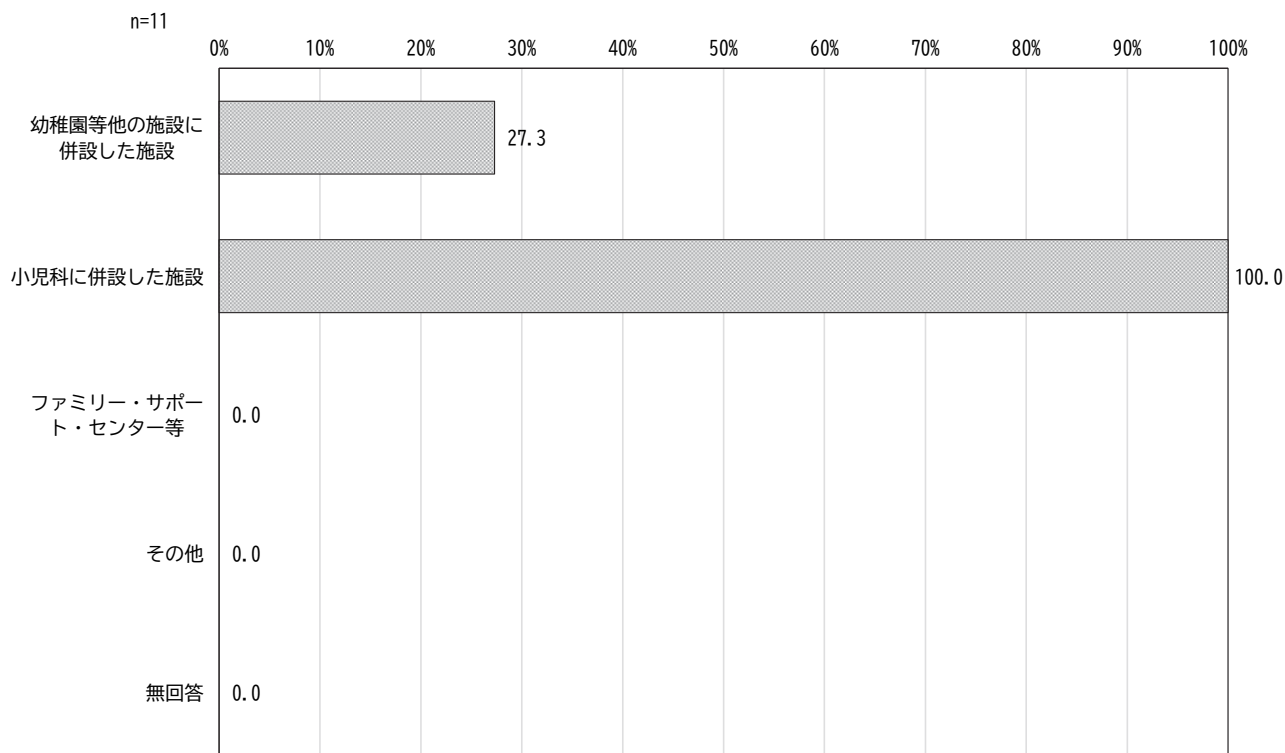
「1～4日」が 46%と多く、次いで「5～9日」が 36%となっている。



問 12-3 希望する事業形態

問 12-3 問 12-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 12-1 を理由とする目的で子どもを預ける場合、次のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

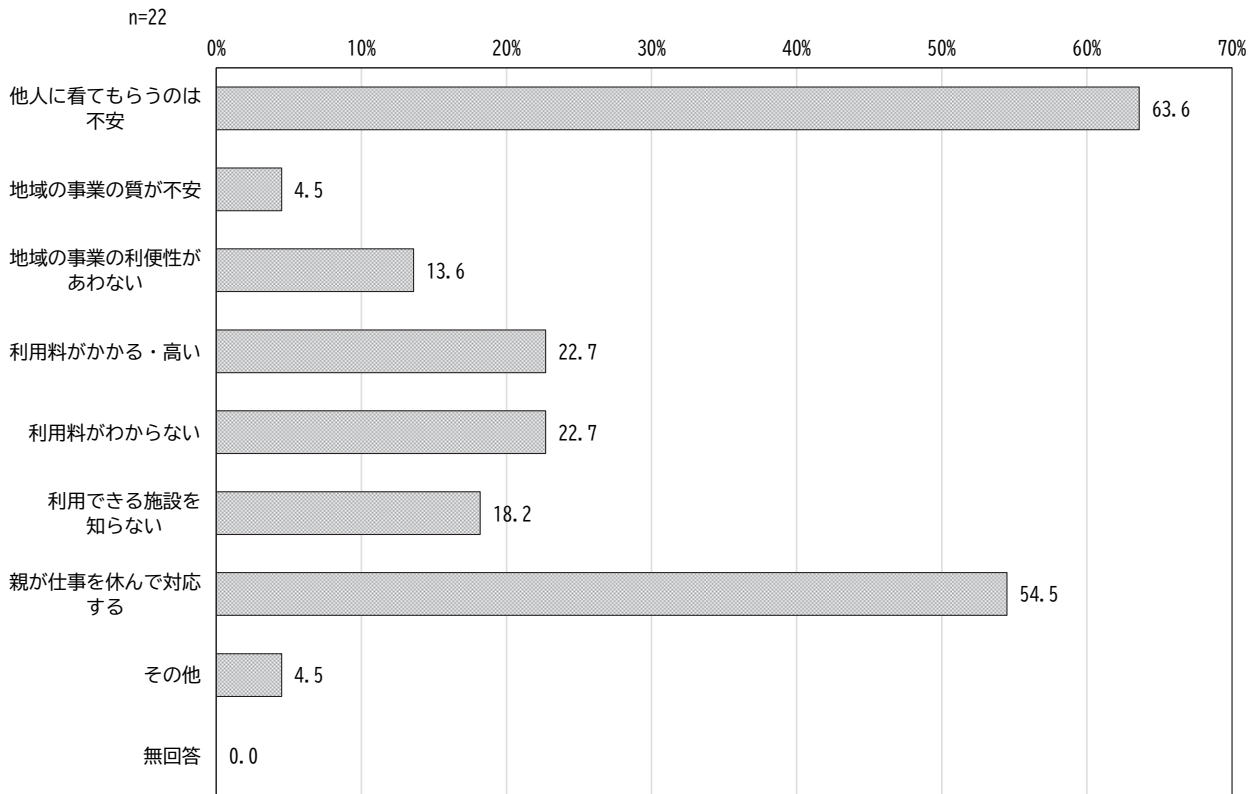
「小児科に併設した施設」が 100%と多く、次いで「幼稚園等他の施設に併設した施設」が 27%となっている。



問 12-4 利用したいと思わない理由

問 12-4 問 12-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

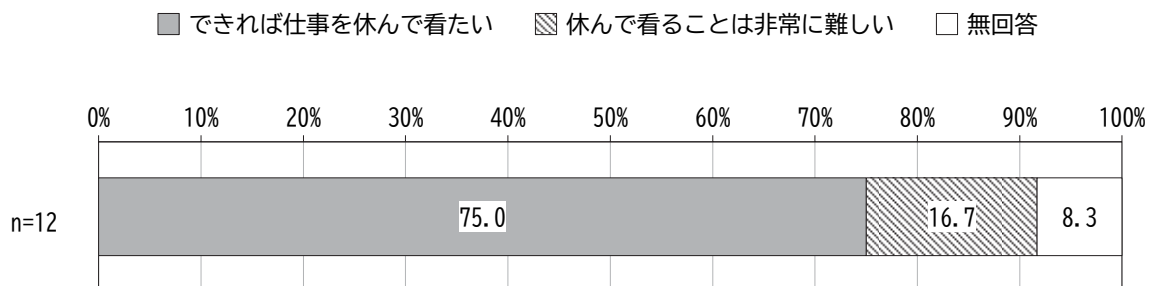
「他人に看てもらうのは不安」が 64%と多く、次いで「親が仕事を休んで対応する」が 55%、「利用料がかかる・高い」「利用料がわからない」がともに 23%となっている。



問 12-5 仕事を休んで子どもを看たいか

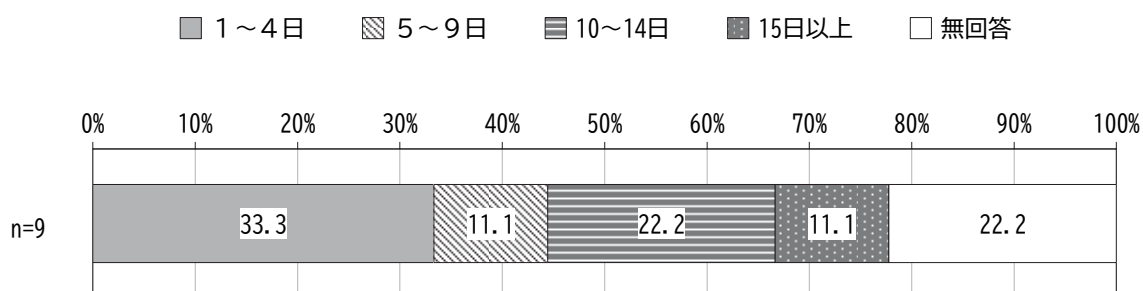
問 12-5 問 12-1 で「エ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」～「ケ. その他」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、「エ.」から「ケ.」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください (数字は一桁に一字)。

「できれば仕事を休んで看たい」が 75%と多く、「休んで看ることは非常に難しい」が 17%となっている。



問 12-5-1 仕事を休んで看たい日数

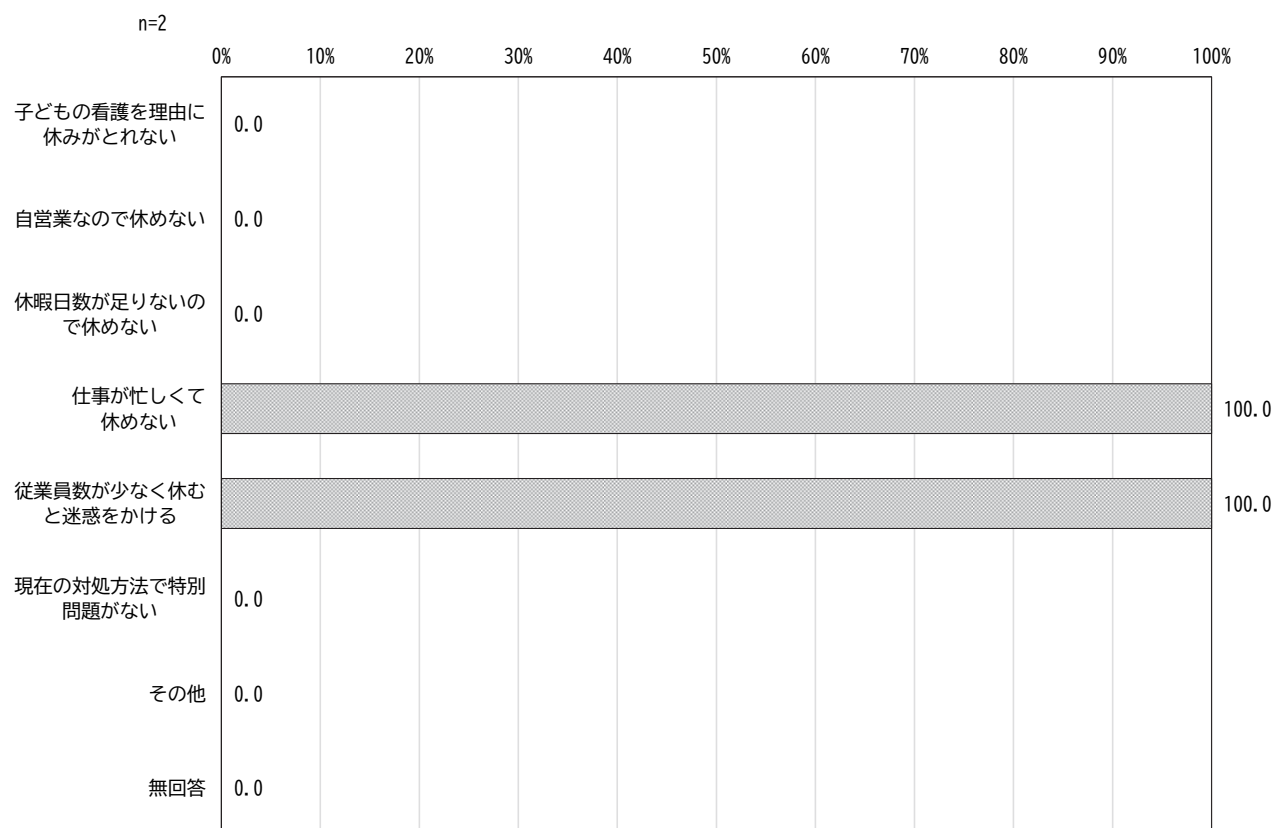
件数は少ないが、「1～4日」がやや多くみられる。



問 12-6 休んで看ることが難しい理由

問 12-6 問 12-5で「2. 休んで看ことは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

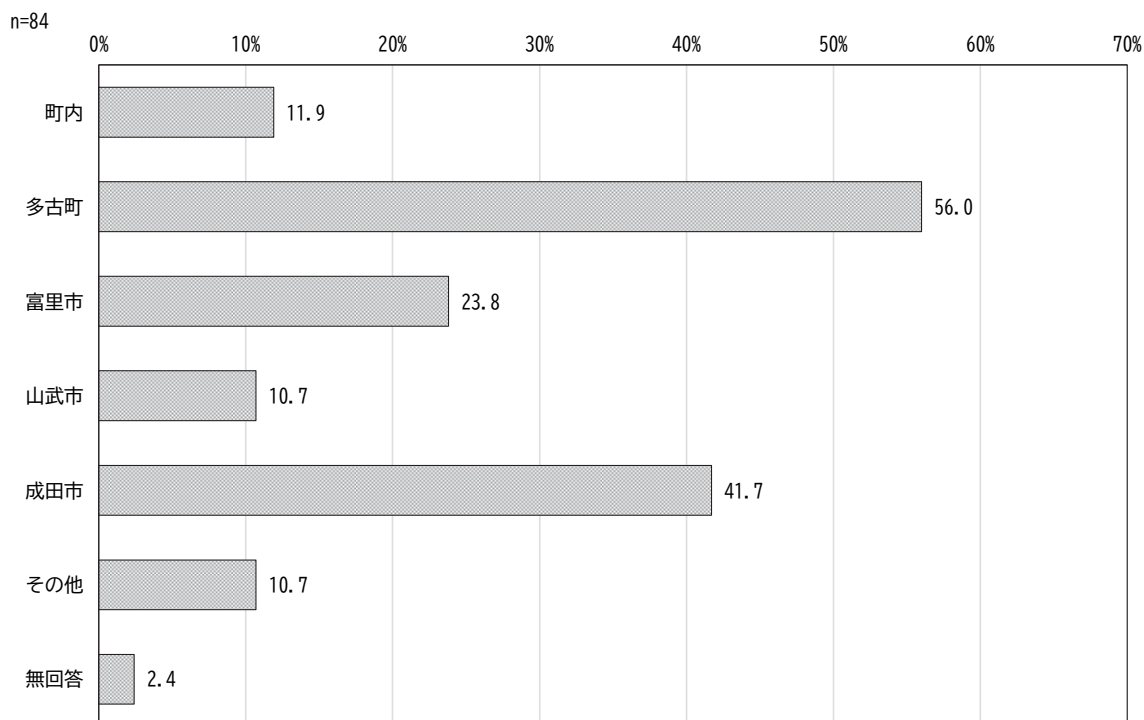
件数は少ないが、「仕事が忙しくて休めない」「従業員数が少なく休むと迷惑をかける」という回答がみられる。



問 13 かかりつけ医の場所

問 13 お子さんが病気になった場合にかかりつけ医はどこにありますか。当てはまる番号2つまで○をつけてください。

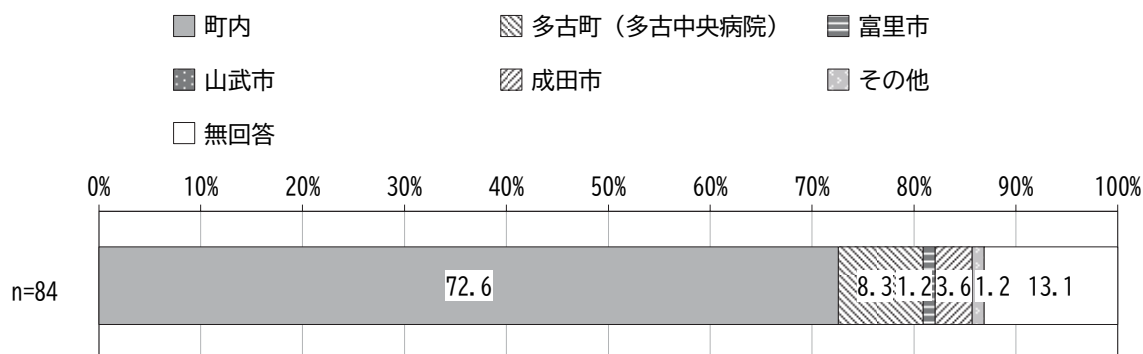
「多古町」が 56%と多く、次いで「成田市」が 42%、「富里市」が 24%となっている。



問 14 病児・病後児保育施設の利用場所（第一希望）

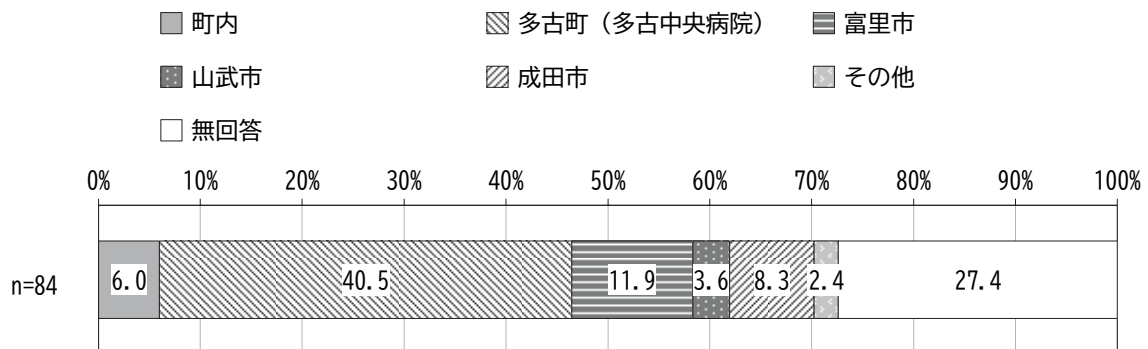
問 14 病児・病後児保育施設はどこにあれば利用したいですか。当てはまる番号を第2希望まで【 】内に、ご記入ください。

「町内」が 73%と多く、次いで「多古町(多古中央病院)」が8%となっている。



問 14 病児・病後児保育施設の利用場所（第二希望）

「多古町(多古中央病院)」が 41%と多く、次いで「富里市」が 12%、「成田市」が8%となっている。

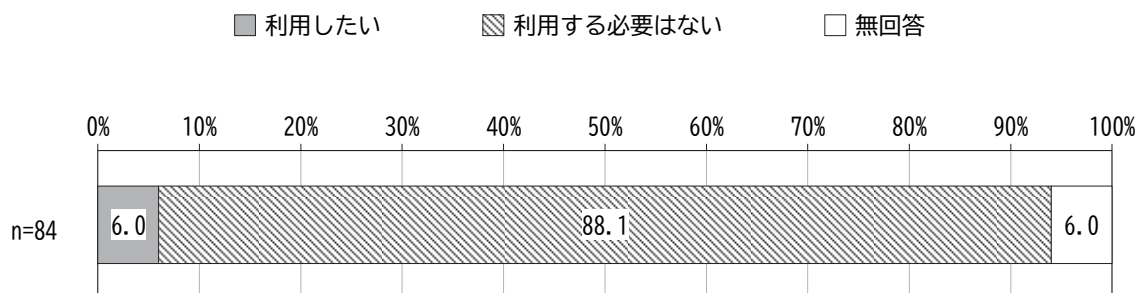


6. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

問 15（１） 短期入所生活援助事業（ショートステイ）等の利用希望

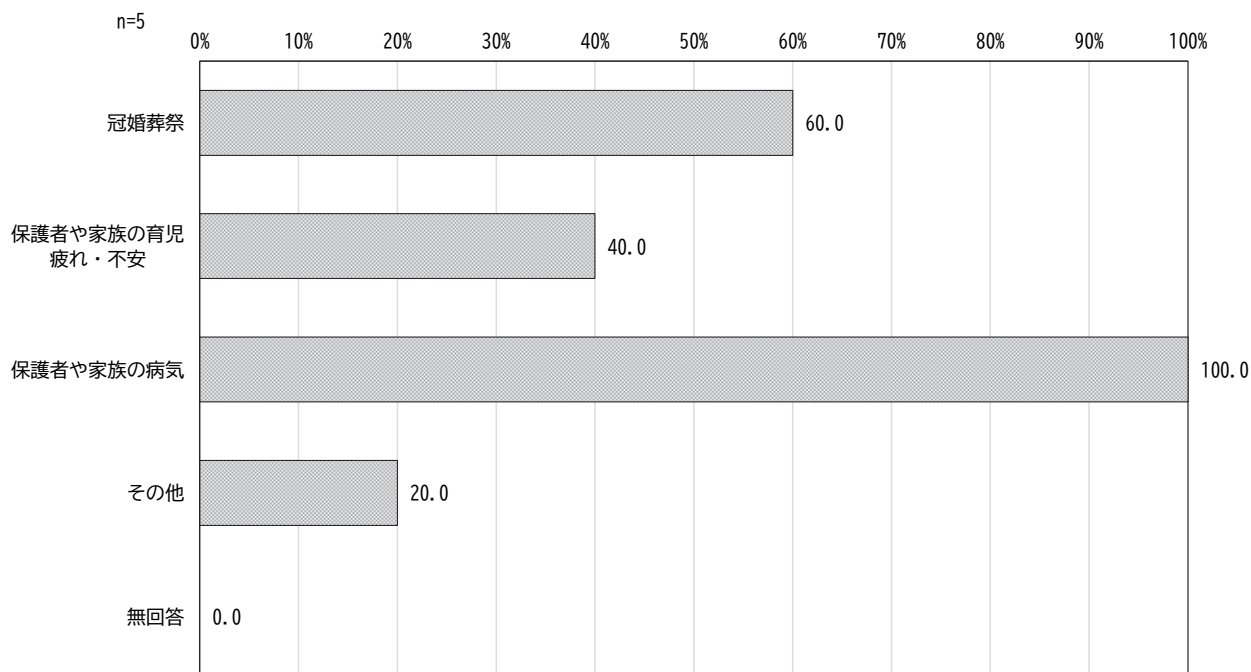
問 15 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれの泊数も口内に数字でご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

「利用する必要はない」が 88%と多く、「利用したい」が6%となっている。



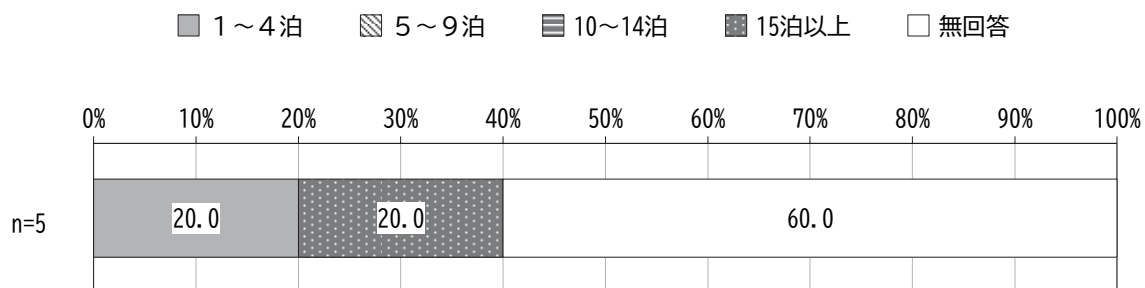
問 15（１） 事業の利用希望

件数は少ないが、「保護者や家族の病気」が 100%と多く、次いで「冠婚葬祭」が 60%、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が 40%となっている。



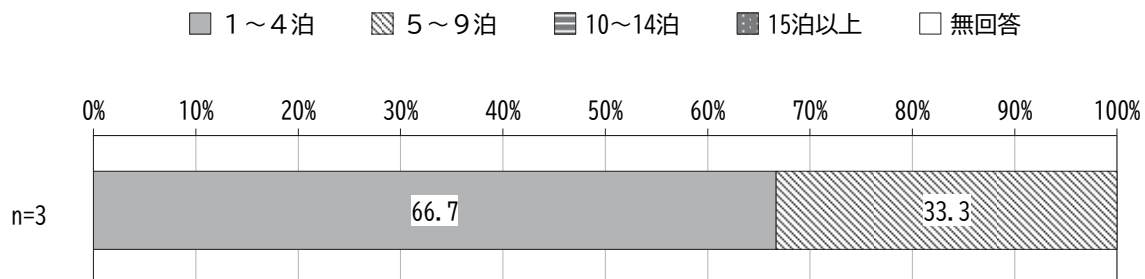
問 15（１） 合計の日数

件数は少ないが、「1～4泊」「15泊以上」という回答がみられる。



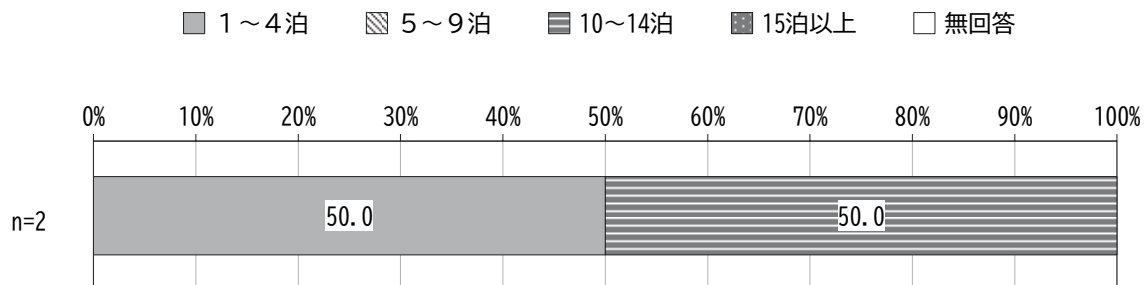
問 15（１）－１ 冠婚葬祭

件数は少ないが、「1～4泊」がやや多くみられる。



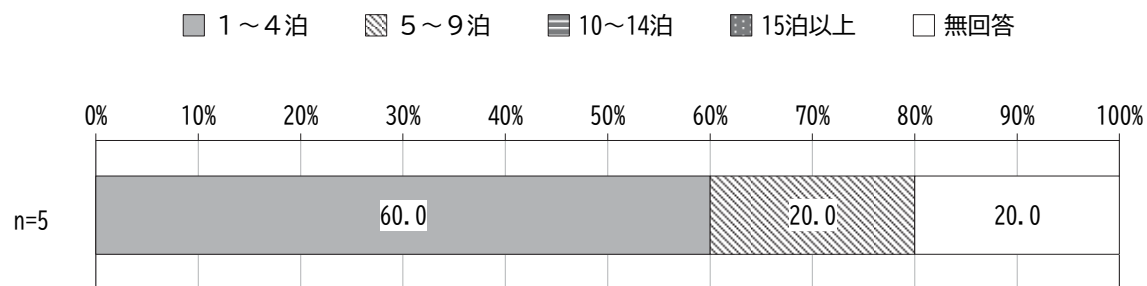
問 15（１）－２ 保護者や家族の育児疲れ・不安

件数は少ないが、「１～４泊」「１０～１４ 泊」という回答がみられる。



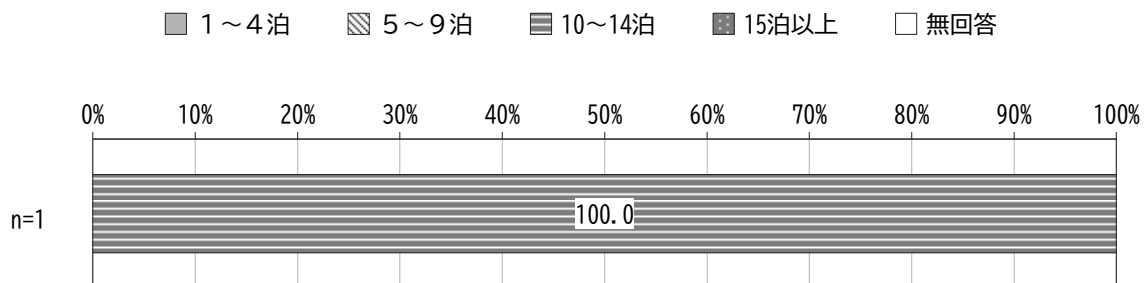
問 15（１）－３ 保護者や家族の病気

件数は少ないが、「１～４泊」がやや多くみられる。



問 15（１）－４ その他の日数

件数は少ないが、「１０～１４ 泊」という回答がみられる。

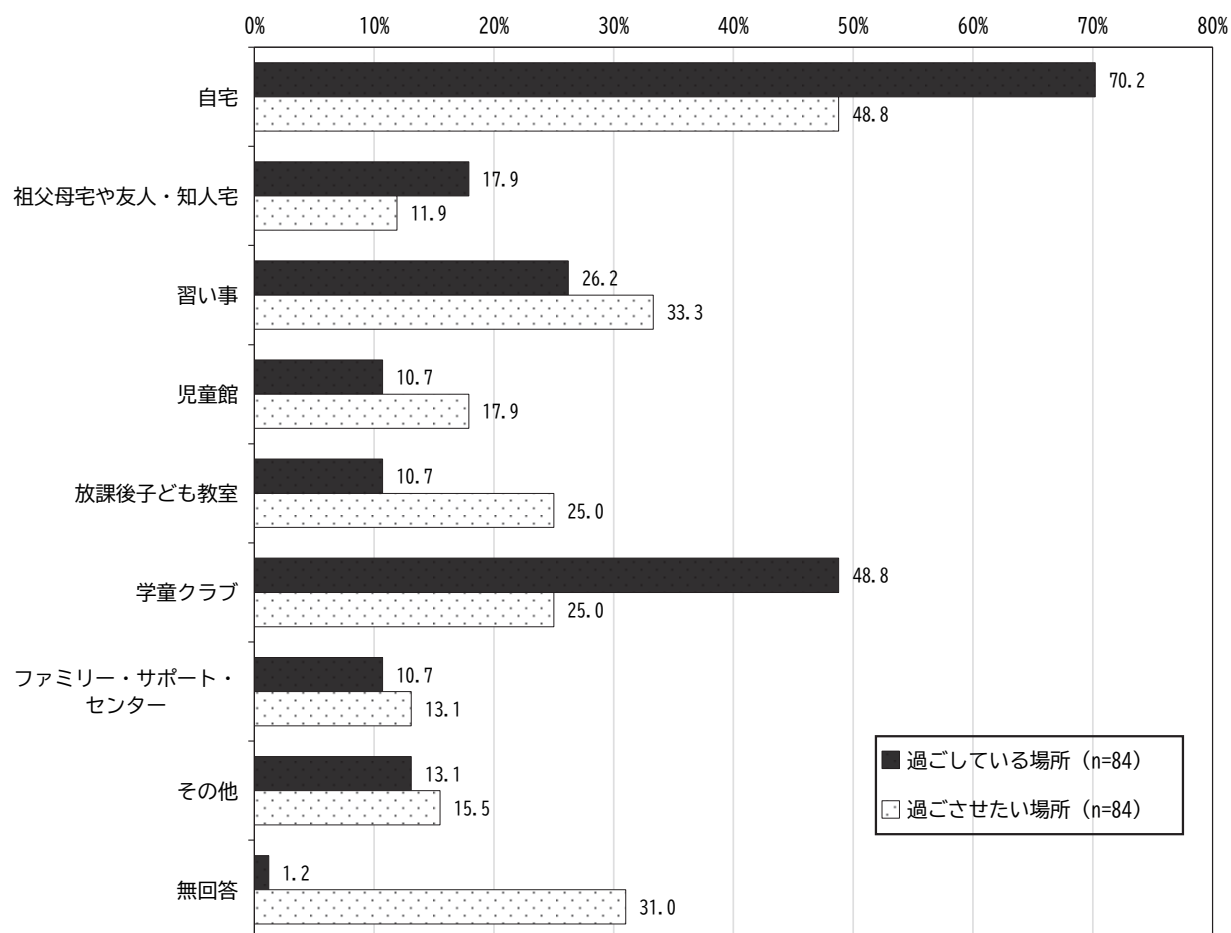


7. 放課後の過ごし方

問 16（1） 放課後の過ごし方

問 16 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせていますか、また、過ごさせたいと思いますか。それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。なお、「学童クラブ」の場合には、利用する時間も口内に数字でご記入ください。

過ごしている場所・過ごさせたい場所ともに「自宅」が一番多く、次いで過ごしている場所では「学童クラブ」、過ごさせたい場所では「習い事」となっている。



問 16 放課後の過ごし方（回答割合/現在・希望別）

（単位：％）

	過ごしている場所	過ごさせたい場所
1. 自宅	70.2	48.8
2. 祖父母宅や友人・知人宅	17.9	11.9
3. 習い事	26.2	33.3
4. 児童館	10.7	17.9
5. 放課後子ども教室	10.7	25
6. 学童クラブ	48.8	25
7. ファミリー・サポート・センター	10.7	13.1
8. その他	13.1	15.5
無回答	1.2	31

問 16 放課後の過ごし方（週当たりの平均日数/現在・希望別）

（単位：日）

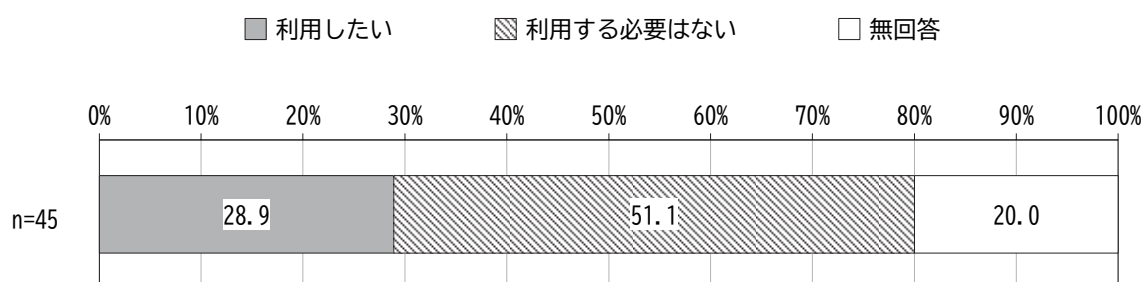
	過ごしている場所	過ごさせたい場所
1. 自宅	4.6	4.2
2. 祖父母宅や友人・知人宅	0.7	0.8
3. 習い事	1.5	1.6
4. 児童館	0.0	1.2
5. 放課後子ども教室	0.0	1.9
6. 学童クラブ	3.7	3.4
6. 学童クラブ（何時まで）	16.8	17.0
7. ファミリー・サポート・センター	0.3	1.2
8. その他	0.6	1.5

※（何時まで）は時間表示。小数点以下0.1＝6分として計算。（例：17.5時間＝午後5時30分）

問 17（１）－１ 学童クラブの利用希望（土曜日）

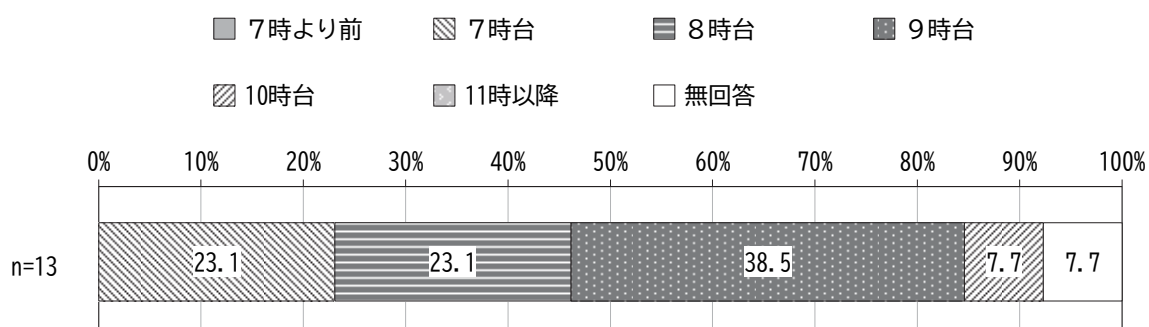
問 17 学童クラブを利用している（もしくは今後利用したい）方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日及び夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、学童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（１）～（３）それぞれについて、当てはまる番号１つに○をつけてください。また、「利用したい」方は、利用したい時間帯及び何年生まで利用したいかも口内に数字でご記入ください。

「利用する必要はない」が 51%と多く、「利用したい」が 29%となっている。



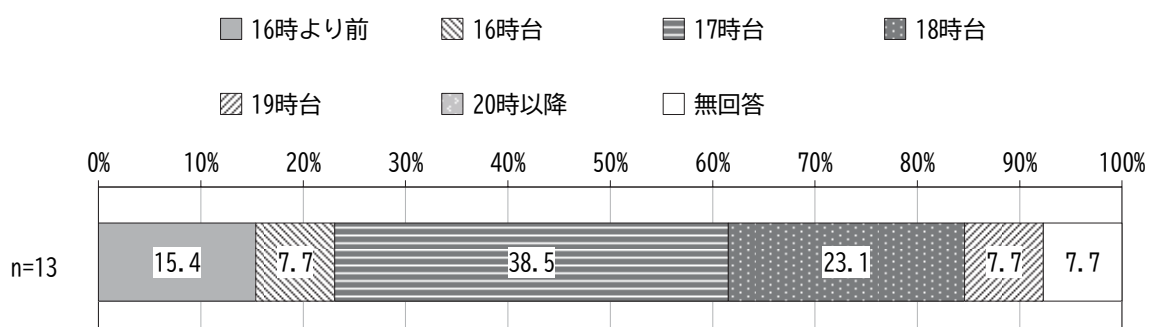
問 17（１）－２ 利用希望開始時間

「9時台」が 39%と多く、次いで「7時台」「8時台」がともに 23%となっている。



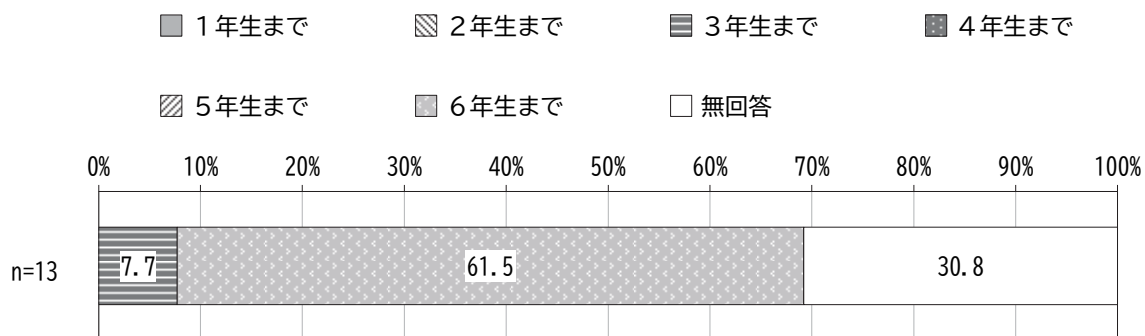
問 17（１）－３ 利用希望終了時間

「17 時台」が 39%と多く、次いで「18 時台」が 23%、「16 時より前」が 15%となっている。



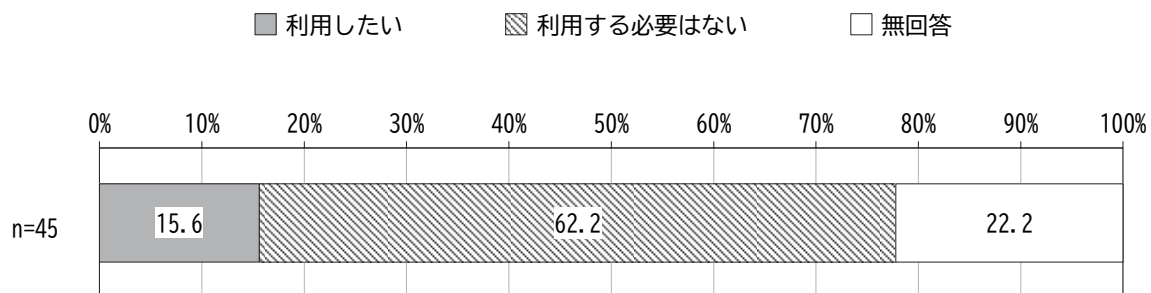
問 17（1）－ 4 利用希望の学年

「6年生」が 62%と多く、次いで「3年生」が8%となっている。



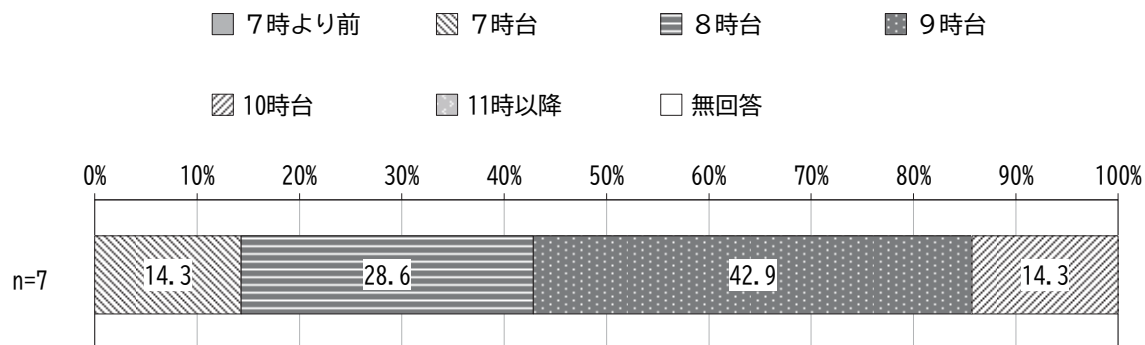
問 17（2）－ 1 学童クラブの利用希望（日祝日）

「利用する必要はない」が 62%と多く、「利用したい」が 16%となっている。



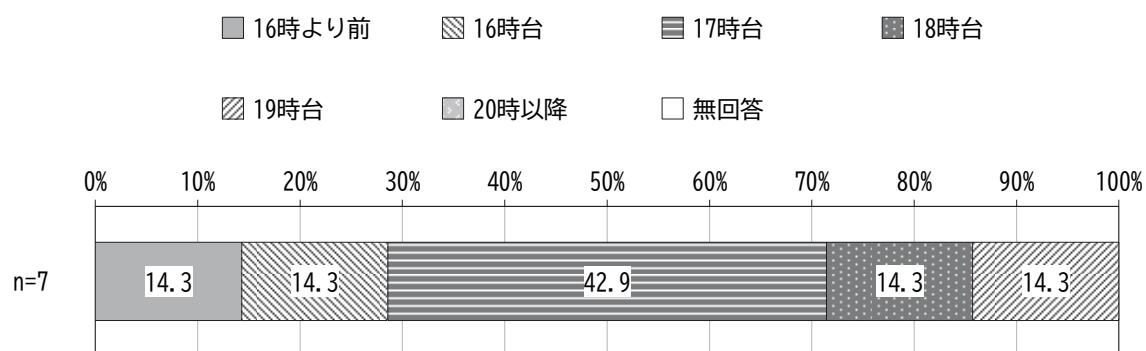
問 17（2）－ 2 利用希望開始時間

件数は少ないが、「9時台」がやや多くみられる。



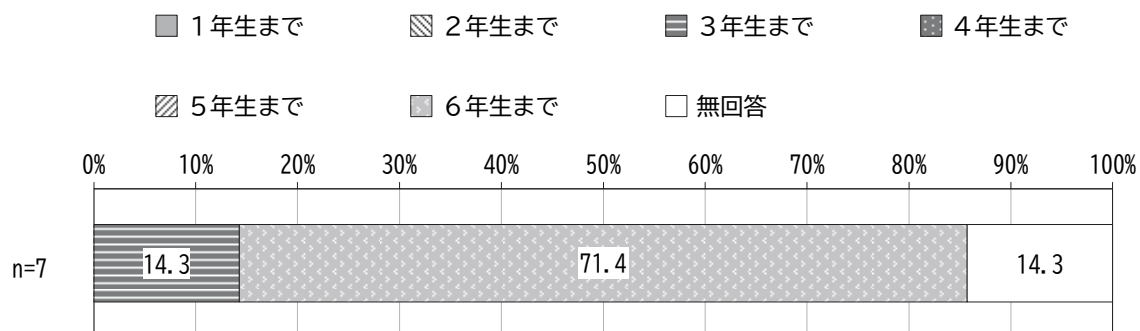
問 17（2）－3 利用希望終了時間

件数は少ないが、「17 時台」がやや多くみられる。



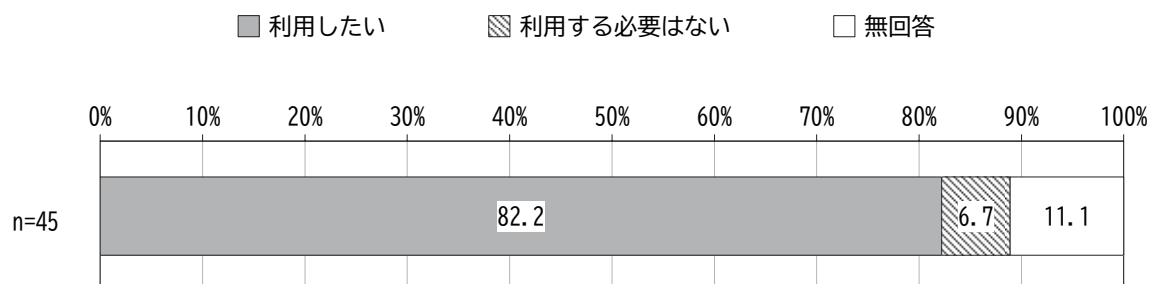
問 17（2）－4 利用希望の学年

件数は少ないが、「6年生」がやや多くみられる。



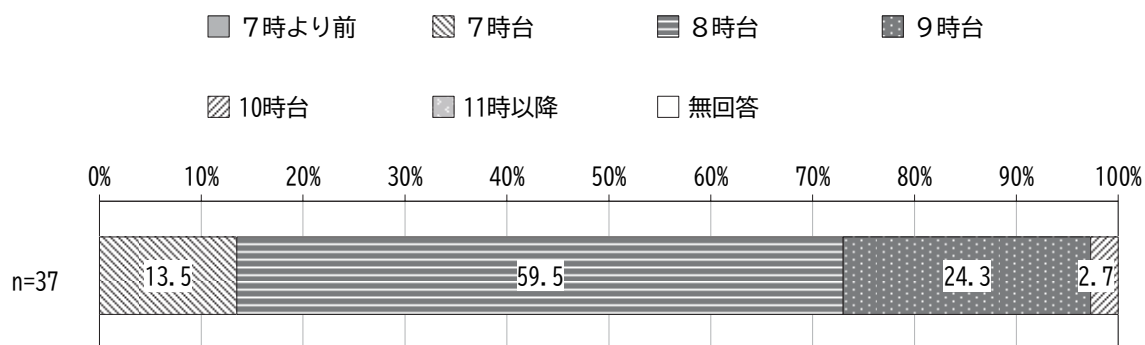
問 17（3）－1 長期休暇中の学童クラブの利用希望

「利用したい」が82%と多く、「利用する必要はない」が7%となっている。



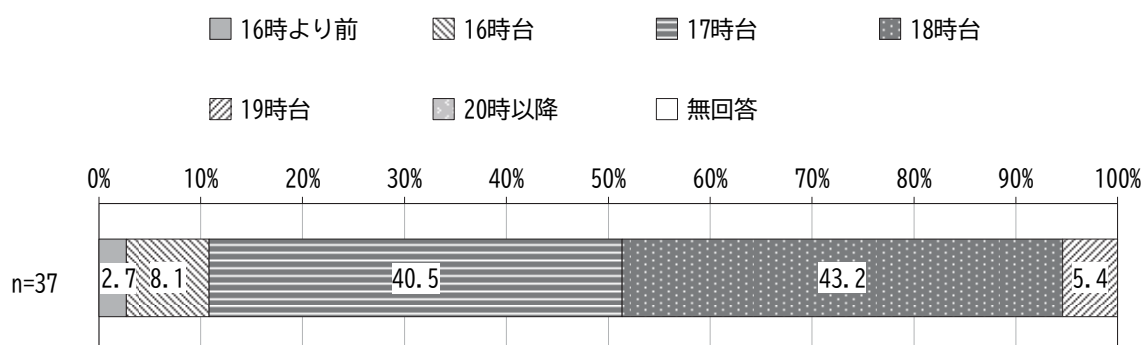
問 17（3）－ 2 利用希望開始時間帯

「8時台」が 60%と多く、次いで「9時台」が 24%、「7時台」が 14%となっている。



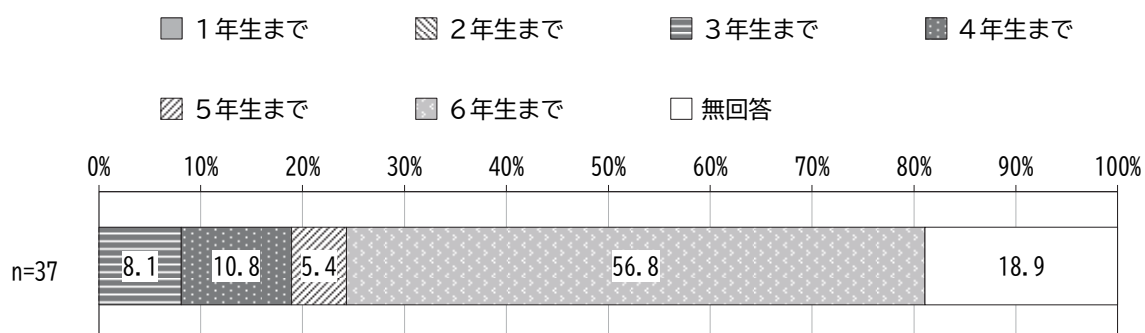
問 17（3）－ 3 利用希望終了時間帯

「18 時台」が 43%と多く、次いで「17 時台」が 41%、「16 時台」が8%となっている。



問 17（3）－ 4 利用希望の学年

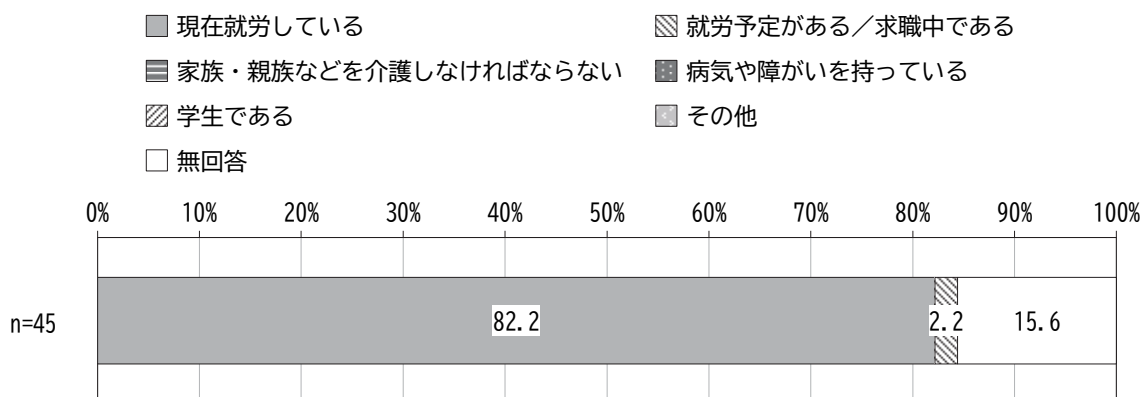
「6年生」が 57%と多く、次いで「4年生」が 11%、「3年生」が8%となっている。



問 18 学童クラブを利用している理由

問 18 学童クラブを利用している（させたい）理由について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

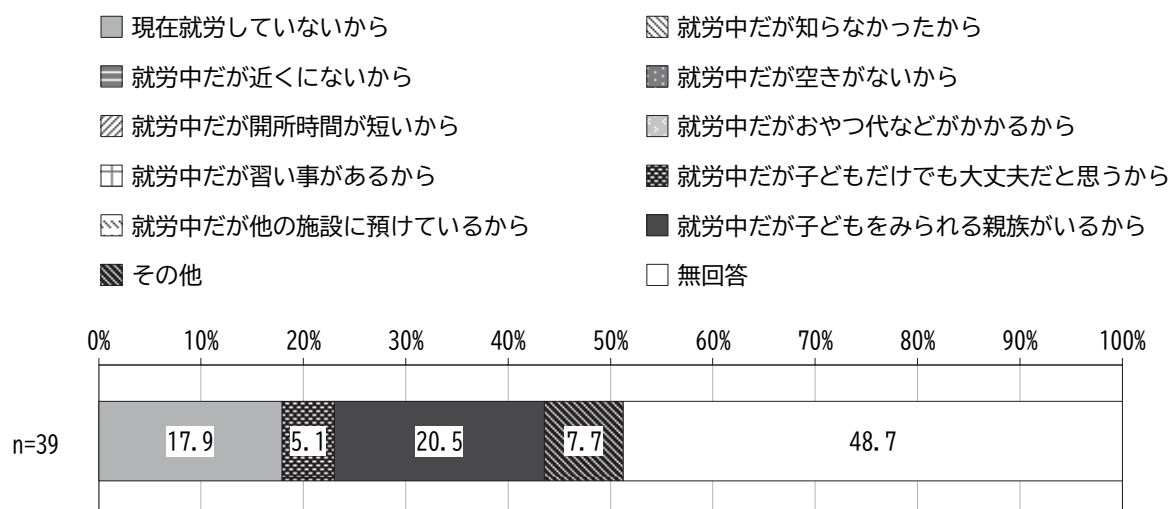
「現在就労している」が 82%と多くなっている。



問 19 学童クラブを利用していない理由

問 19 現在学童クラブを利用していない方にうかがいます。学童クラブを利用していない理由について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「就労中だが子どもをみられる親族がいるから」が 21%と多く、次いで「現在就労していないから」が 18%、「就労中だが子どもだけでも大丈夫だと思うから」が 5%となっている。

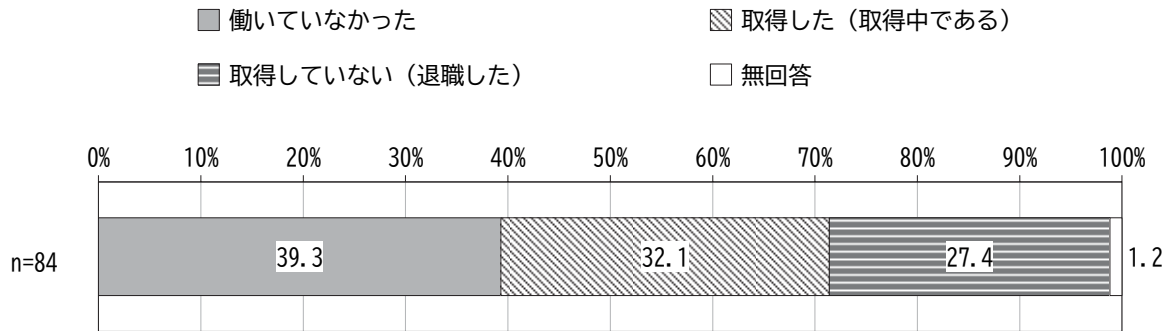


8. 職場の両立支援制度

問 20（１）－① 育児休業の取得（母親）

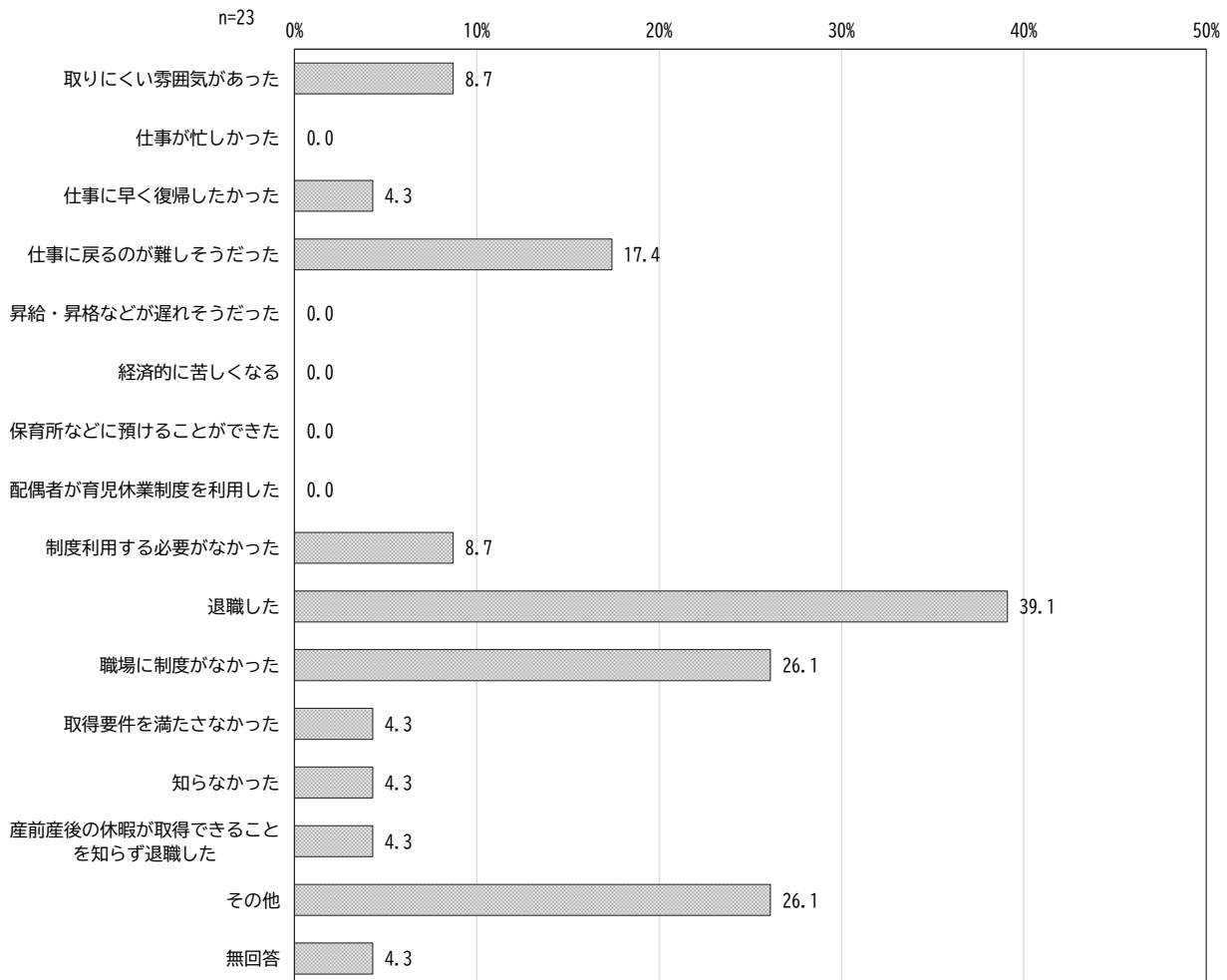
問 20 お子さんが生まれたとき、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。すべてのお子さんを合わせた状況で、母親、父親それぞれについてお答えください。なお、お子さんによって取得期間等が異なる場合は、最も長く取得したときの状況でお答えください。

「働いていなかった」が 39%と多く、次いで「取得した」が 32%、「取得していない」が 27%となっている。



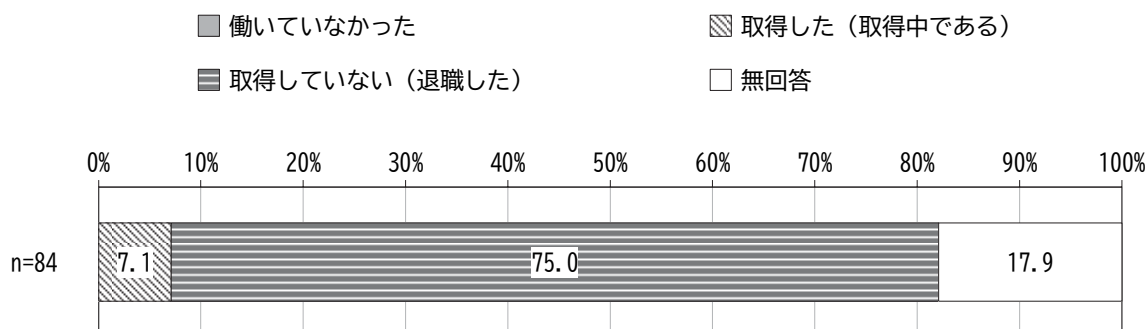
問 20（１）－② 取得していない理由

「退職した」が 39%と多く、次いで「職場に制度がなかった」が 26%、「仕事に戻るのが難しそうだった」が 17%となっている。



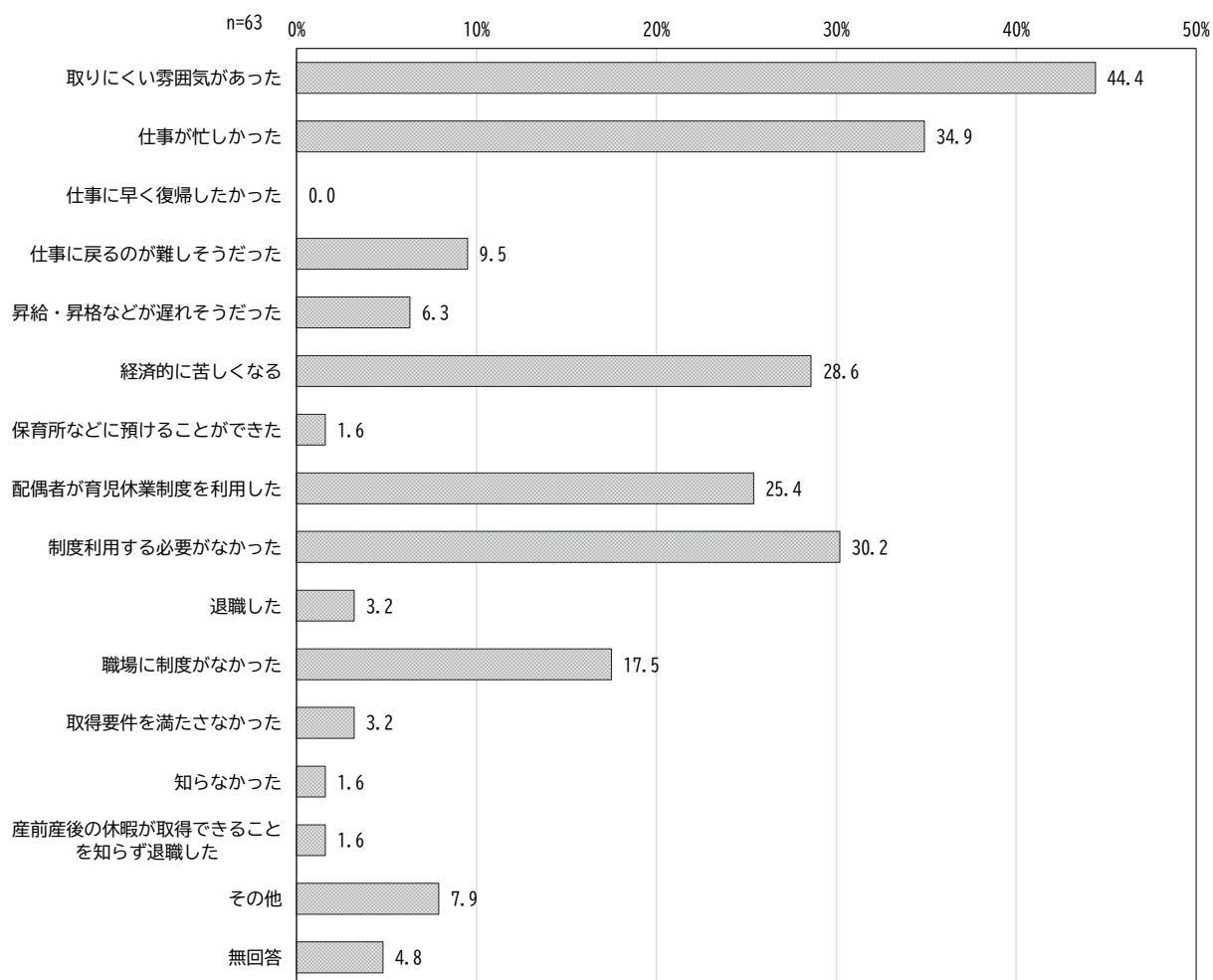
問 20（２）－① 育児休業の取得（父親）

「取得していない」が 75%と多く、次いで「取得した」が7%になっている。



問 20（２）－② 取得していない理由

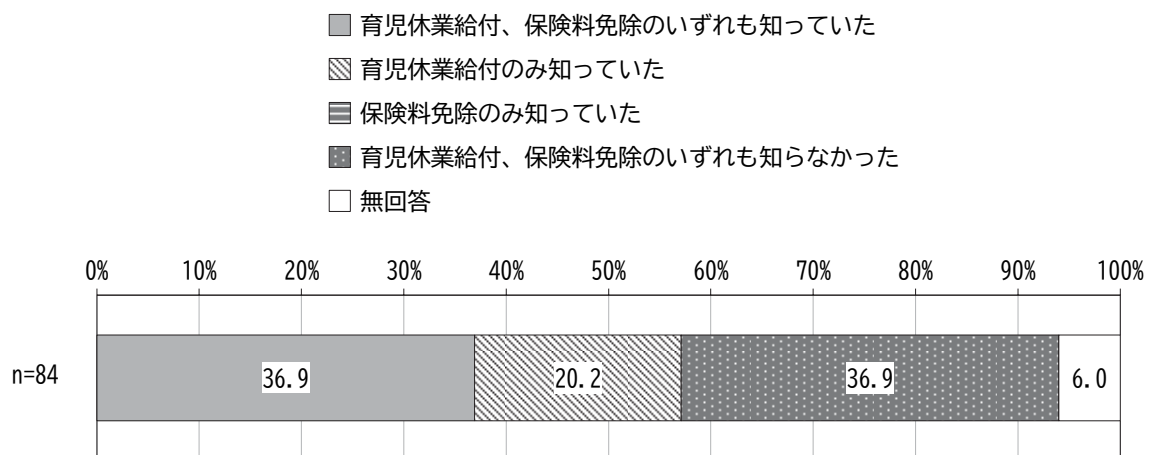
「取りにくい雰囲気があった」が 44%と多く、次いで「仕事が忙しかった」が 35%、「制度利用する必要がなかった」が 30%となっている。



問 20－1 育児休業給付、保険料免除の知識

問 20-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

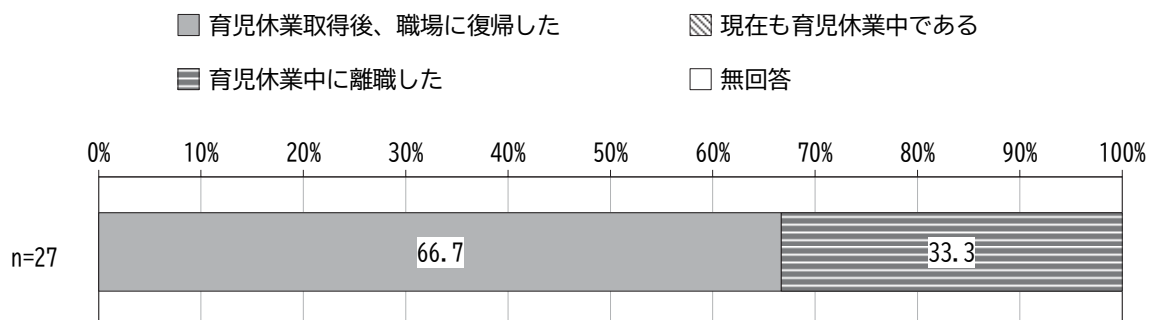
「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」がともに37%と多く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」が20%となっている。



問 20－2（1） 職場への復帰（母親）

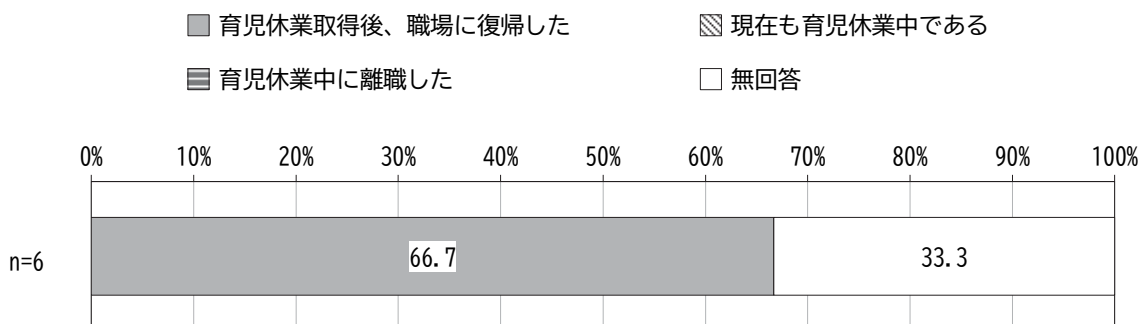
問 20-2 問 20で「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

「育児休業取得後、職場に復帰した」が67%と多く、次いで「育児休業中に離職した」が33%となっている。



問 20-2 (2) 職場への復帰 (父親)

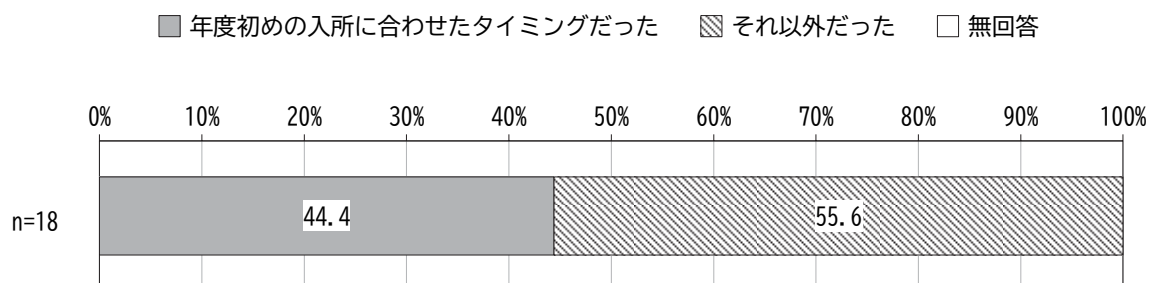
件数は少ないが、「育児休業取得後、職場に復帰した」という回答がみられる。



問 20-3 (1) 職場復帰のタイミング (母親)

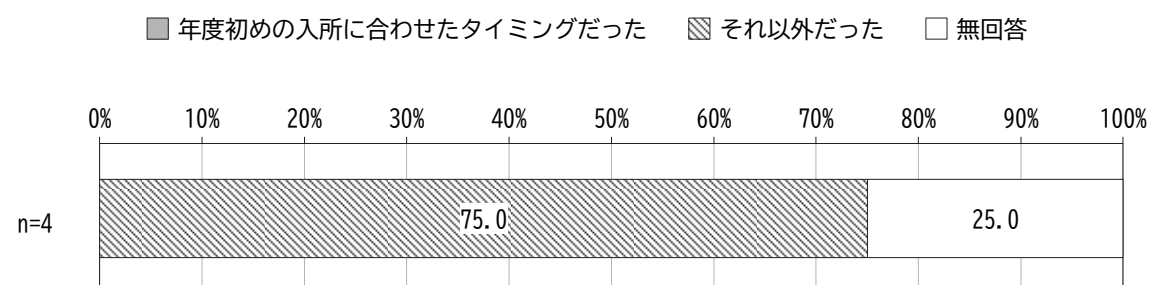
問 20-3 問 20-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1 月～2 月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

「それ以外だった」が 56%と多く、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 44%となっている。



問 20-3 (2) 職場復帰のタイミング (父親)

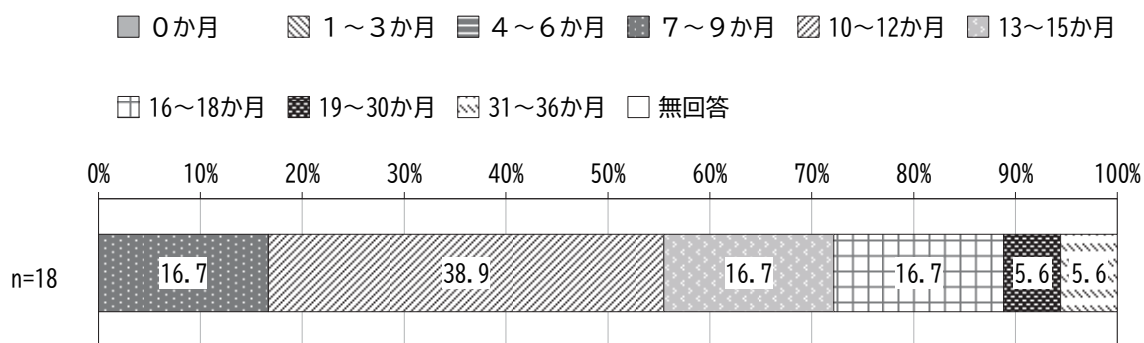
件数は少ないが、「それ以外だった」という回答がみられる。



問 20-4 (1) 育児休業の実際の取得期間（母親）

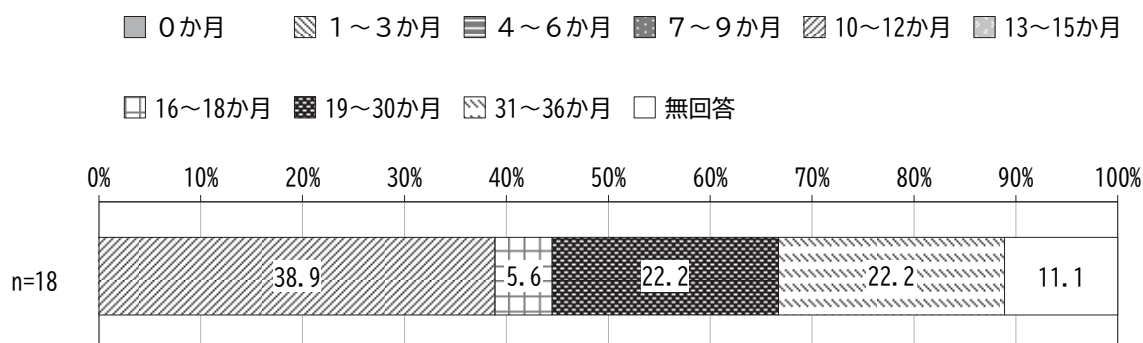
問 20-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望として」はお子さんが何歳何ヶ月のときまで育児休業を取りたかったですか。母親、父親それぞれについて、口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

「10～12 か月」が 39%と多く、次いで「7～9 か月」「13～15 か月」「16～18 か月」がそれぞれ 17%となっている。



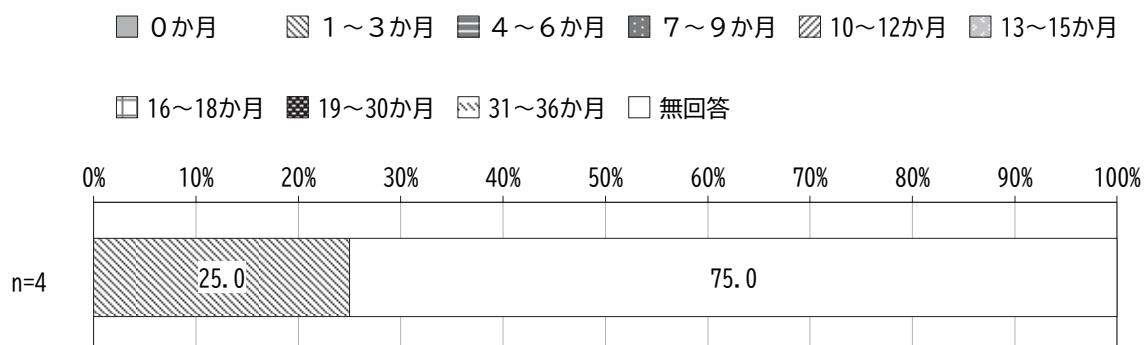
問 20-4 (1) 希望取得期間（母親）

「10～12 か月」が 39%と多く、次いで「19～30 か月」「31～36 か月」がともに 22%となっている。



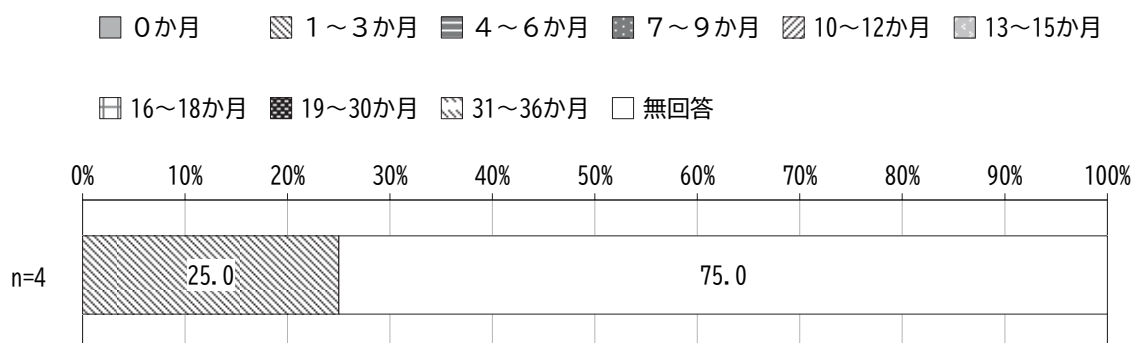
問 20-4 (2) 育児休業の取得期間（父親）

件数は少ないが、「1～3か月」という回答がみられる。



問 20-4 (2) 希望取得期間（父親）

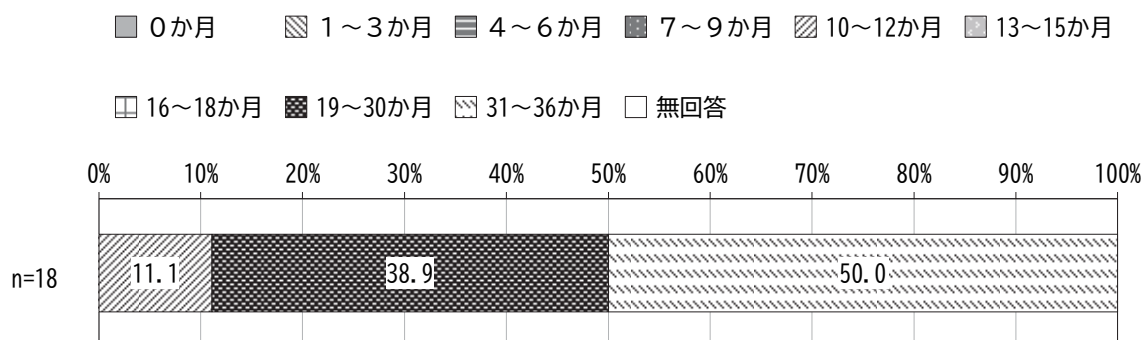
件数は少ないが、「1～3か月」という回答がみられる。



問 20-5 (1) 育児休業の希望取得期間（母親）

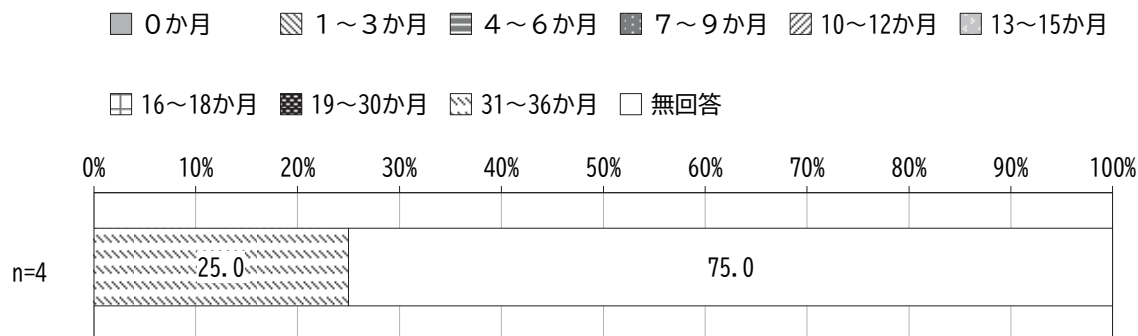
問 20-5 お勤め先に、3歳まで育児休業を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。母親、父親それぞれについて、□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「31～36 か月」が 50%と多く、次いで「19～30 か月」が 39%、「10～12 か月」が 11%となっている。



問 20-5 (2) 育児休業の希望取得期間（父親）

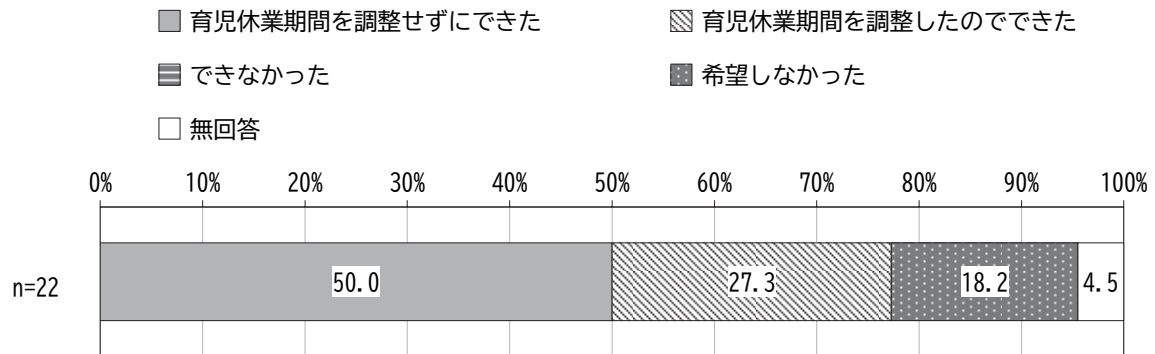
件数は少ないが、「31～36 か月」という回答がみられる。



問 20-6 希望保育サービスの利用

問 20-6 育児休業明けに、希望する保育サービスをすぐ利用できましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

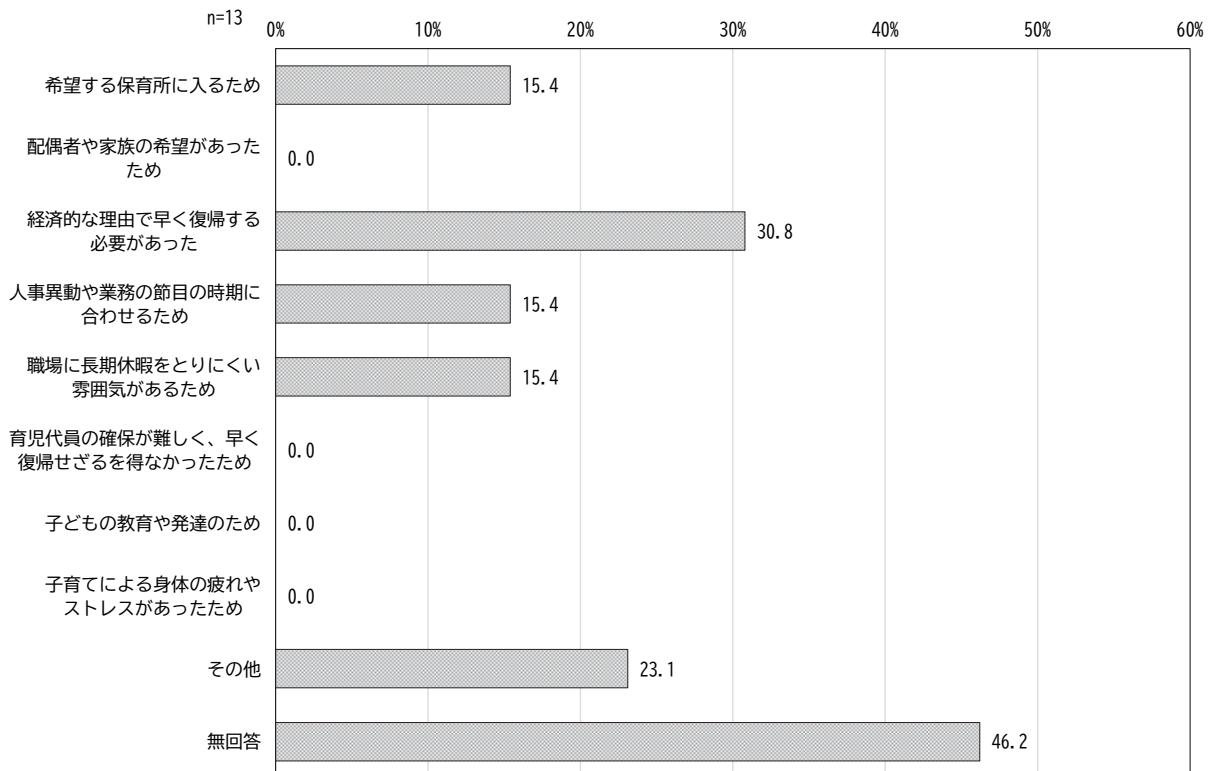
「育児休業期間を調整せずにできた」が 50%と多く、次いで「育児休業期間を調整したのでできた」が 27%、「希望しなかった」が 18%となっている。



問 20-8 (1) -① 希望より早い理由 (母親)

問 20-8 問 20-4 で実際の復帰と希望が異なった方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。(1)「希望」より早く復帰した方 ※母親、父親それぞれについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

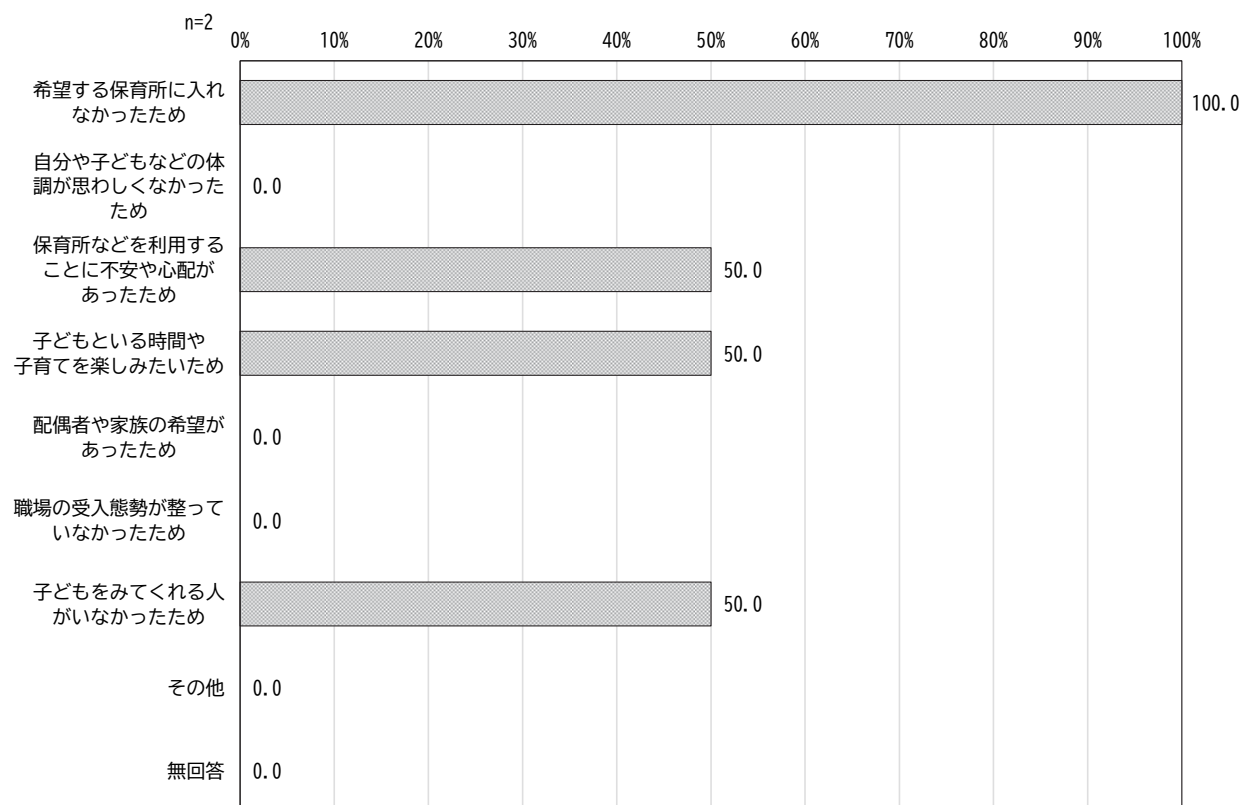
「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 31%と多く、次いで「希望する保育所に入るため」「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」「職場に長期休暇をとりにくい雰囲気があるため」がそれぞれ 15%となっている。



問 20－8（2）－① 希望より遅い理由（母親）

問 20－8 問 20－4 で実際の復帰と希望が異なった方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。（2）「希望」より遅く復帰した方 ※母親、父親それぞれについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

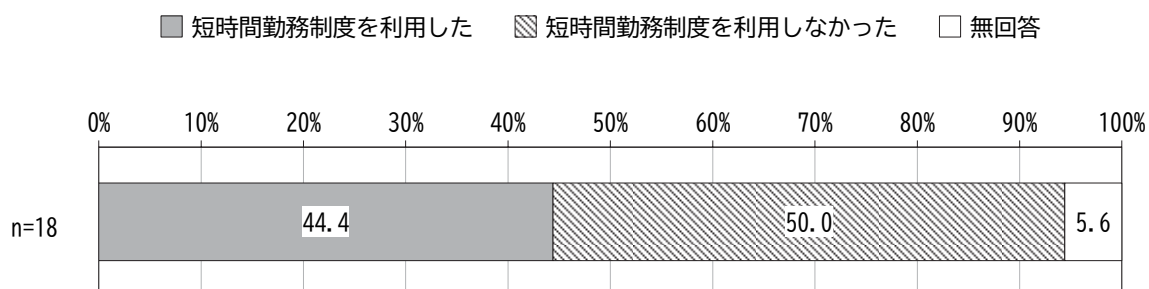
件数は少ないが、「希望する保育所に入れなかったため」がやや多くみられる。



問 20－9（1） 短時間勤務制度の利用（母親）

問 20－9 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

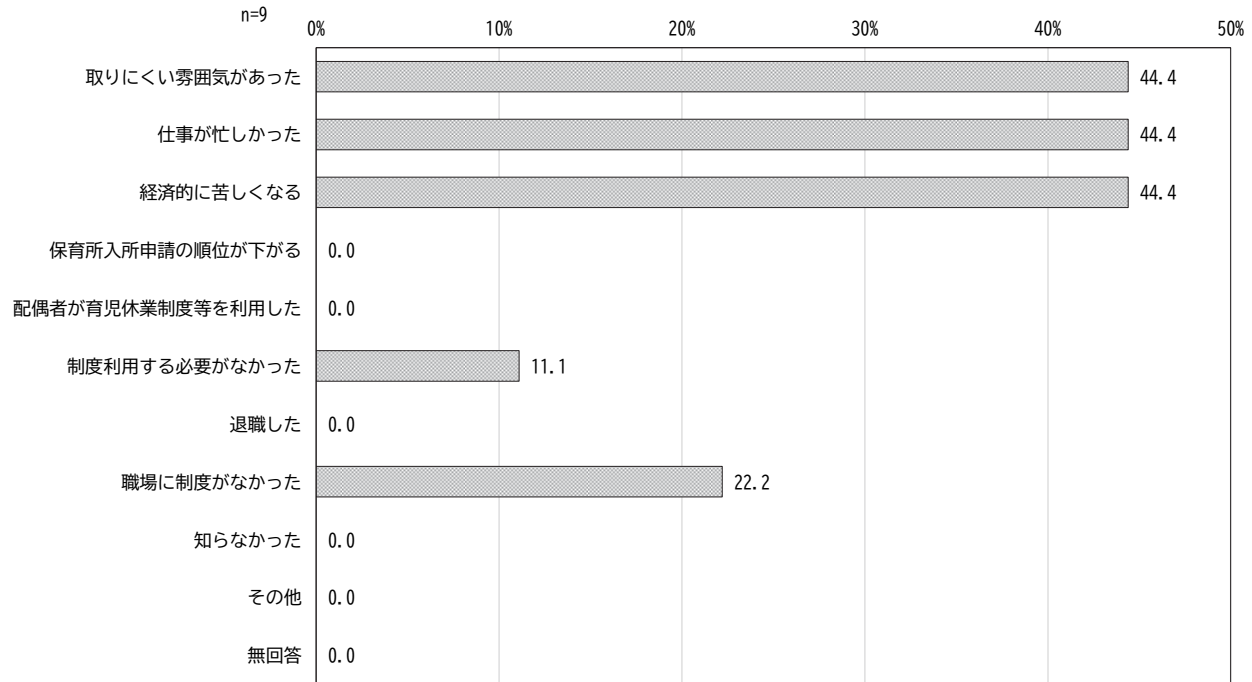
「短時間勤務制度を利用しなかった」が 50%と多く、「短時間勤務制度を利用した」が 44%となっている。



問 20-10（１） 利用しなかった理由（母親）

問 20-10 問 20-9で「2. 短時間勤務制度を利用しなかった」に○をつけた方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

件数は少ないが、「取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」「経済的に苦しくなる」という回答がみられる。

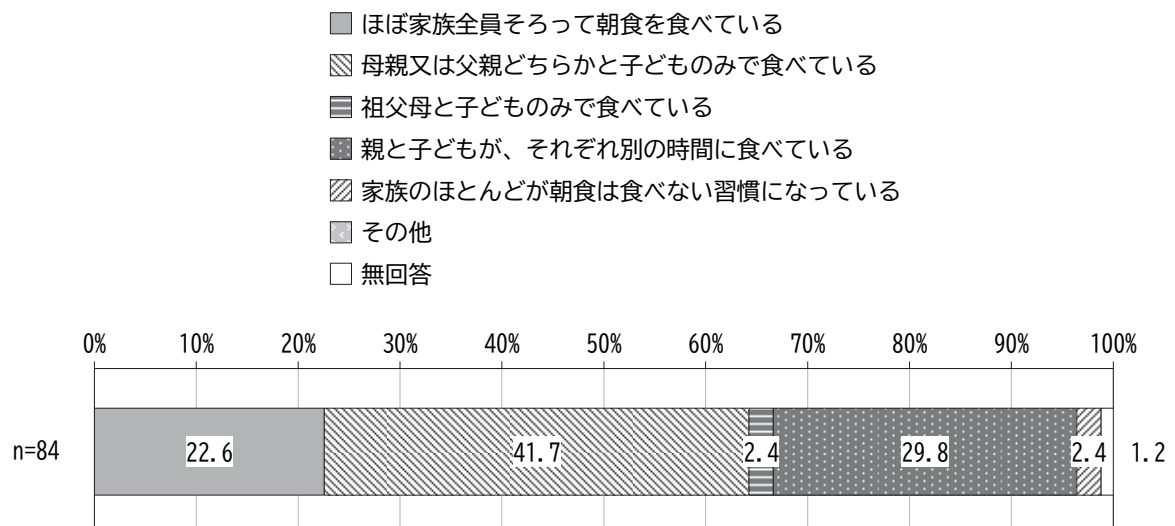


9. 日頃の子育てなどについて

問 21 朝食の状況

問 21 ご家族一緒に朝食を食べていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

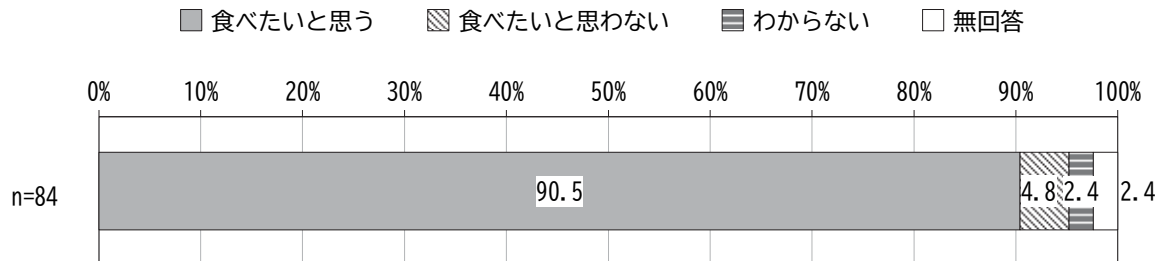
「母親又は父親どちらかと子どものみで食べている」が 42%と多く、次いで「親と子どもが、それぞれ別の時間に食べている」が 30%、「ほぼ家族全員そろって朝食を食べている」が 23%となっている。



問 22 家族がそろった朝食・夕食の希望

問 22 朝食又は夕食を家族そろって食べる習慣（状況）があれば、できる限り一緒に食べたいと思いますか。現在そろって食べている方もお答えください。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「食べたいと思う」が 91%と多く、次いで「食べたいと思わない」が5%となっている。



問 23 父親の子どもへのかかわり

問 23 お父さんは子どもの面倒をみることにについてどのようなかかわり方をしていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。※母子家庭の場合は回答不要です。

「食事を作る」では、「時々する」が 32%と多く、次いで「あまりしない」「まったくしない」がともに 29%となっている。

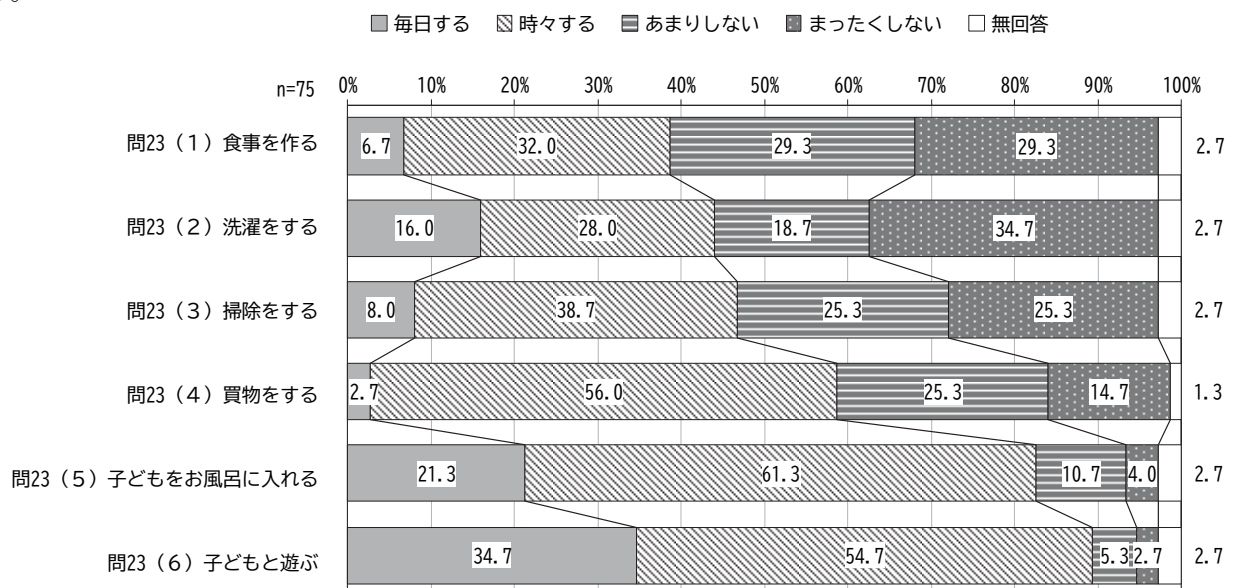
「洗濯をする」では、「まったくしない」が 35%と多く、次いで「時々する」が 28%、「あまりしない」が 19%となっている。

「掃除をする」では、「時々する」が 39%と多く、次いで「あまりしない」「まったくしない」がともに 25%となっている。

「買物をする」では、「時々する」が 56%と多く、次いで「あまりしない」が 25%、「まったくしない」が 15%となっている。

「子どもをお風呂に入れる」では、「時々する」が 61%と多く、次いで「毎日する」が 21%、「まったくしない」が 11%となっている。

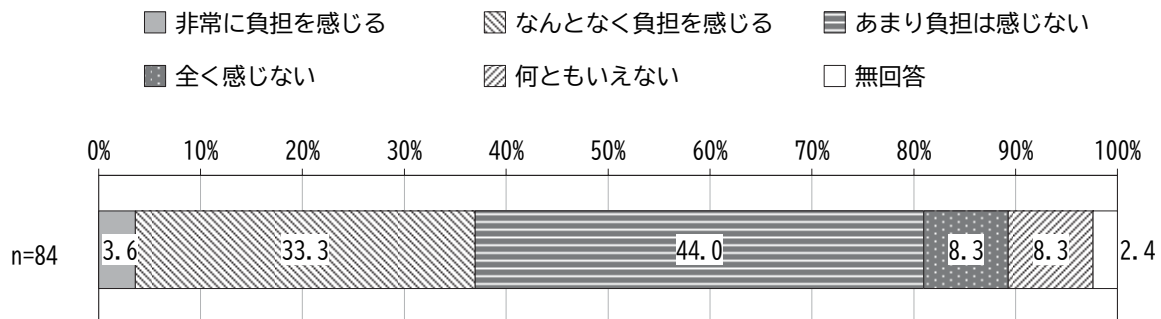
「子どもと遊ぶ」では、「時々する」が 55%と多く、次いで「毎日する」が 35%、「あまりしない」が5%となっている。



問 24 子育てに関する負担感

問 24 子育てに関して負担を感じていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

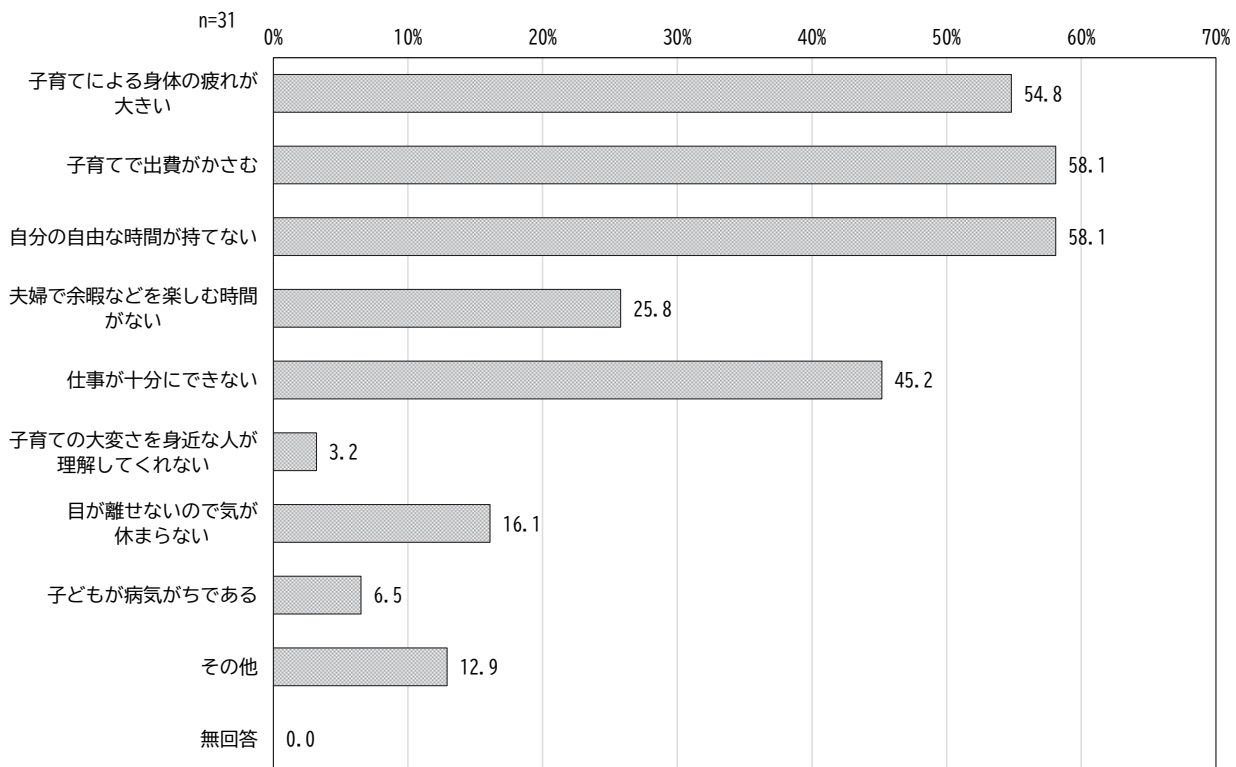
「あまり負担は感じない」が 44%と多く、次いで「なんとなく負担を感じる」が 33%、「全く感じない」「何ともいえない」が8%となっている。



問 24-1 子育てで特に負担に思うこと

問 24-1 問 24 で「1. 非常に負担を感じる」又は「2. なんとなく負担を感じる」に○をつけた方にうかがいます。子育てをする上で、特に負担に思っていることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

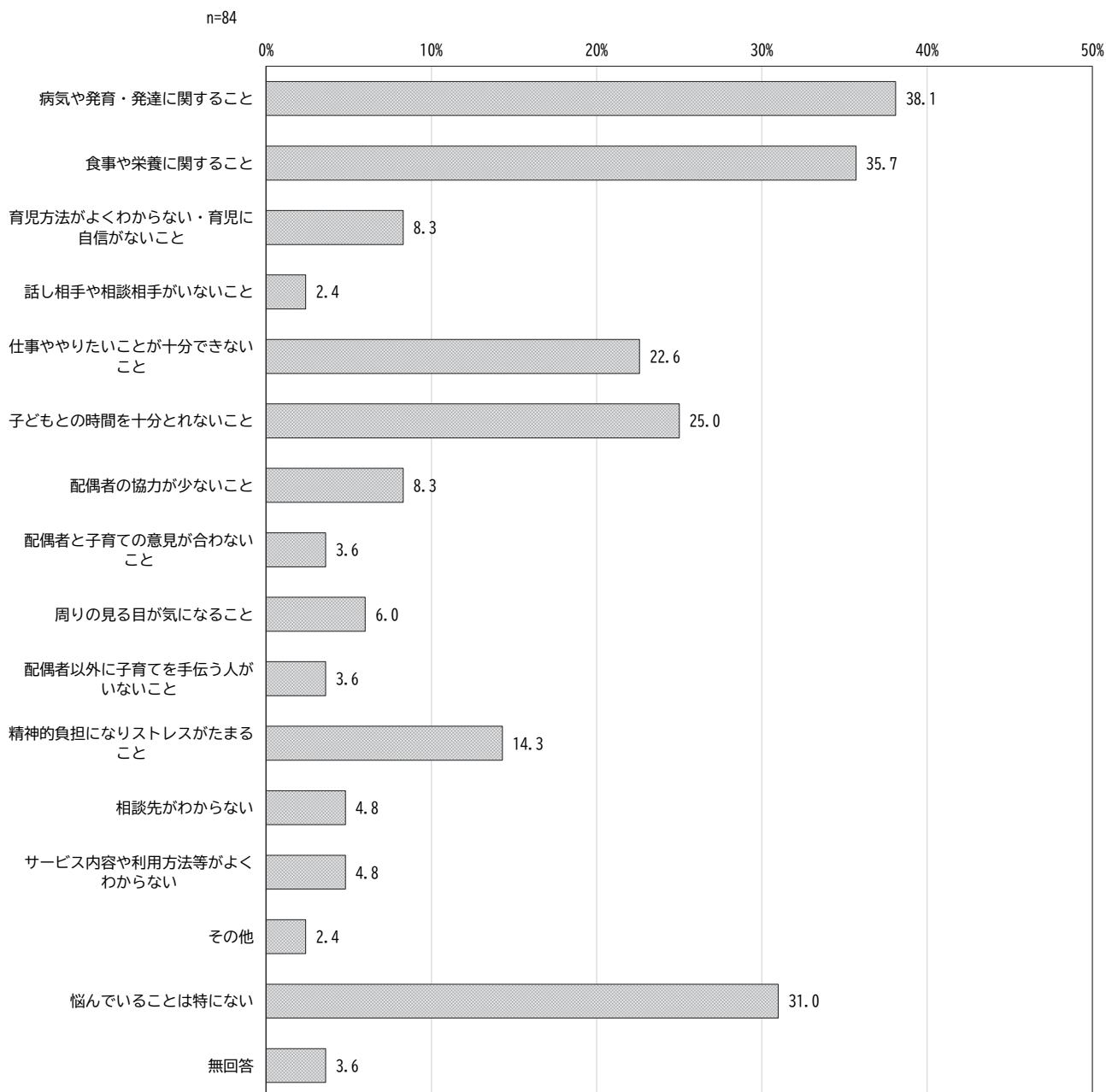
「子育てで出費がかさむ」「自分の自由な時間が持てない」がともに 58%と多く、次いで「子育てによる身体の疲れが大きい」が 55%となっている。



問 25 子育ての悩み気になること

問 25 子育てに関して、日常悩んでいること、又は気になることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

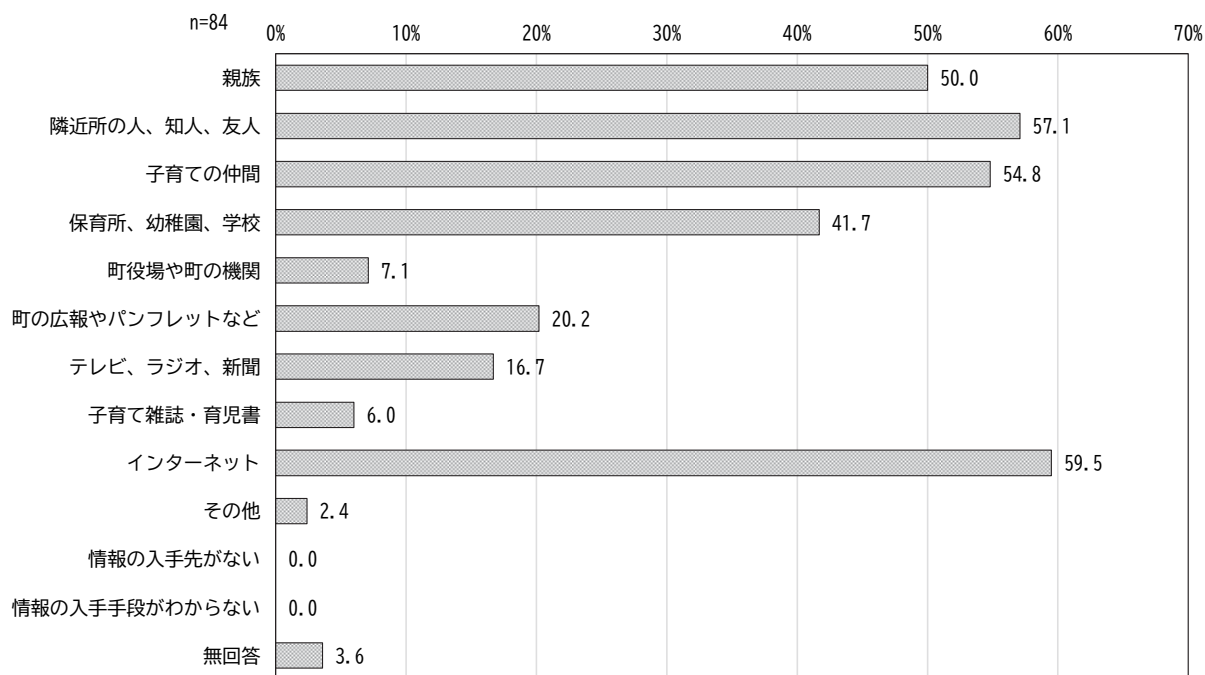
「病気や発育・発達に関すること」が 38%と多く、次いで「食事や栄養に関すること」が 36%、「子どもとの時間を十分とれないこと」が 25%となっている。



問 26 子育て情報の入手先

問 26 子育てに関する情報を、どのように入手していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

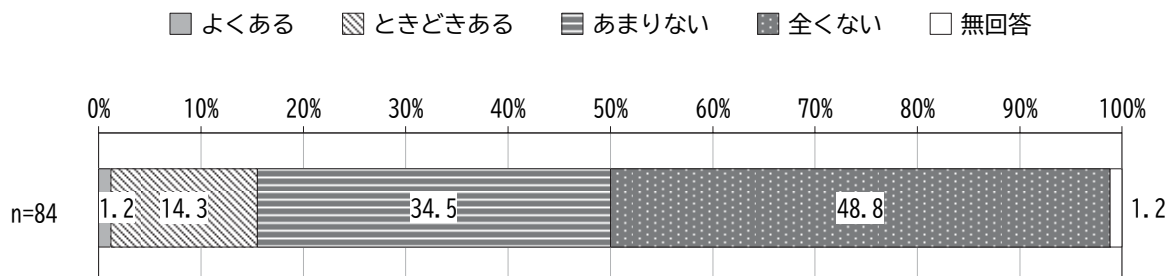
「インターネット」が 60%と多く、次いで「隣近所の人、知人、友人」が 57%、「子育ての仲間」が 55%となっている。



問 27 子どもを虐待しているのではないかと思うこと

問 27 子どもを虐待しているのではないかと思うことがありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

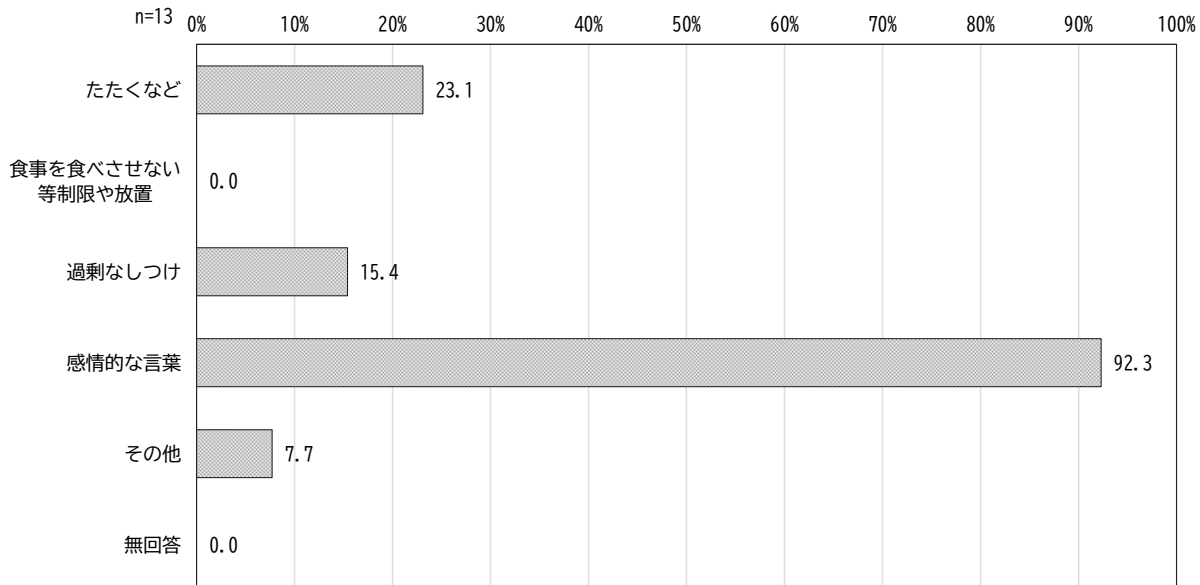
「全くない」が 49%と多く、次いで「あまりない」が 35%、「ときどきある」が 14%となっている。



問 27-1 虐待していると思う状況

問 27-1 問 27 で「1. よくある」又は「2. ときどきある」に○をつけた方にうかがいます。そのように思うのは、どのような場合ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

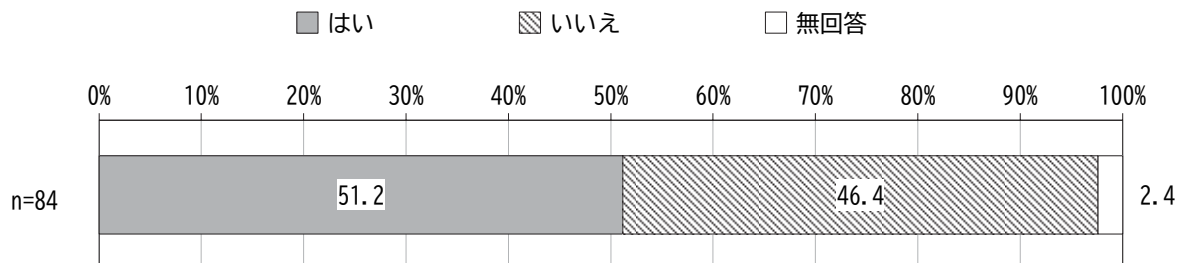
「感情的な言葉」が 92%と多く、次いで「たたくなど」が 23%、「過剰なしつけ」が 15%となっている。



問 28 児童虐待通報先を知っている

問 28 児童虐待を発見した場合の通報先をご存知ですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

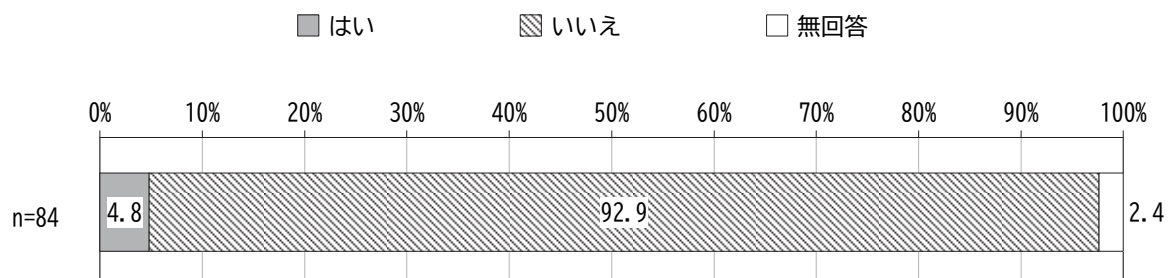
「はい」が 51%と多く、「いいえ」が 46%となっている。



問 29 身近で児童虐待と思うようなことに会ったこと

問 29 身近で、児童虐待と思われるようなことに会ったことがありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

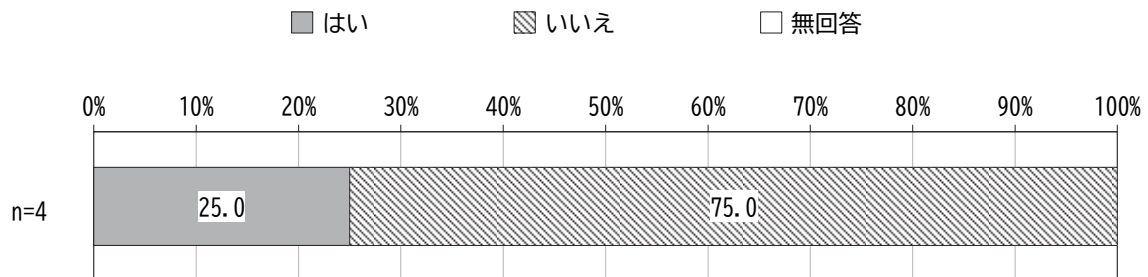
「いいえ」が 93%と多く、「はい」が 5%となっている。



問 29－ 1 虐待発見時、公的機関に通報した

問 29－ 1 問 29 で「1. はい」に○をつけた方にうかがいます。そのときに公的な機関に通報しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

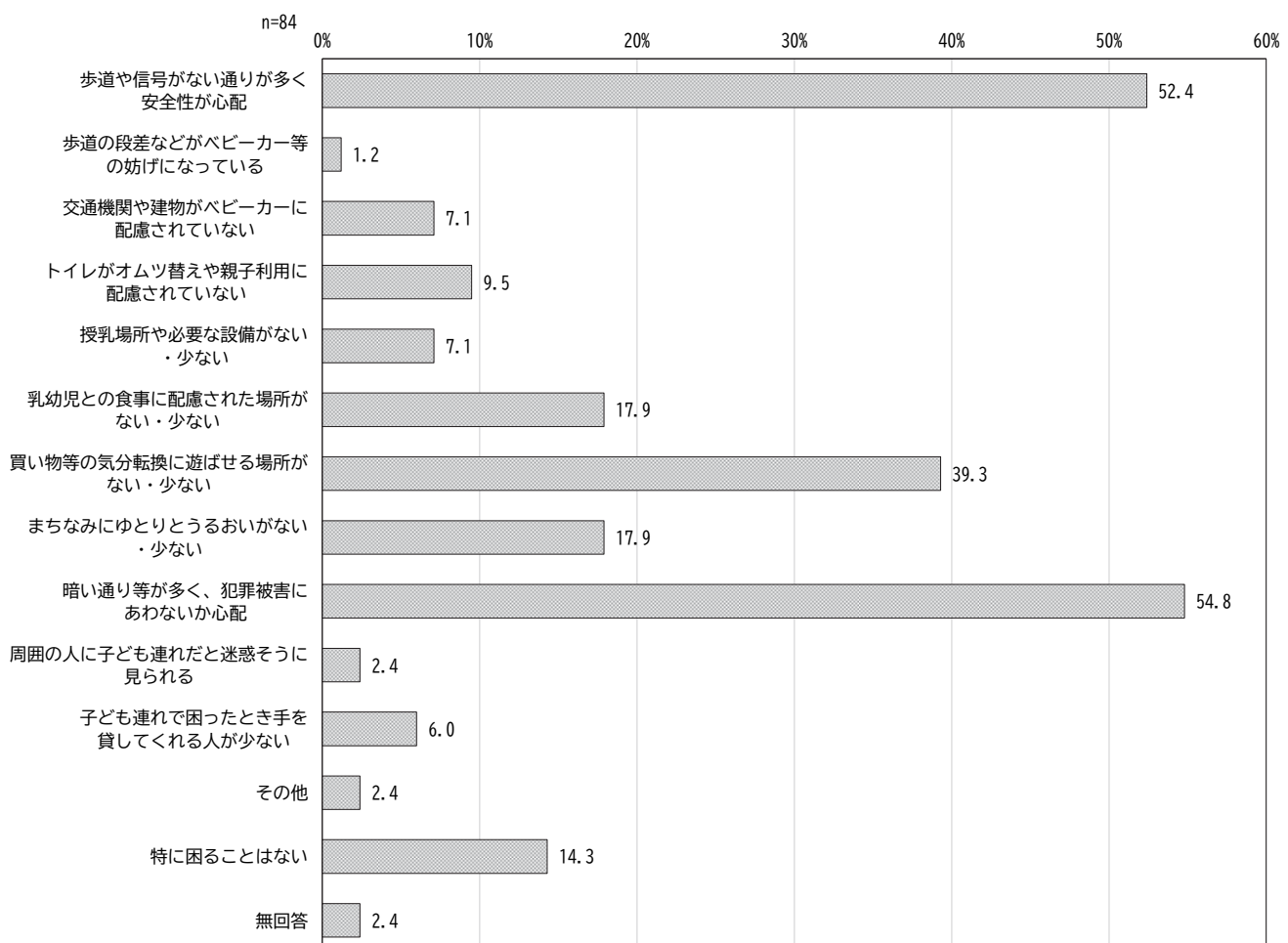
件数は少ないが、「いいえ」がやや多くみられる。



問 30 子どもとの外出の際、困ることや困ったこと

問 30 子どもとの外出の際、困ることや困ったことは何ですか。当てはまる番号 3 つまで○をつけてください。

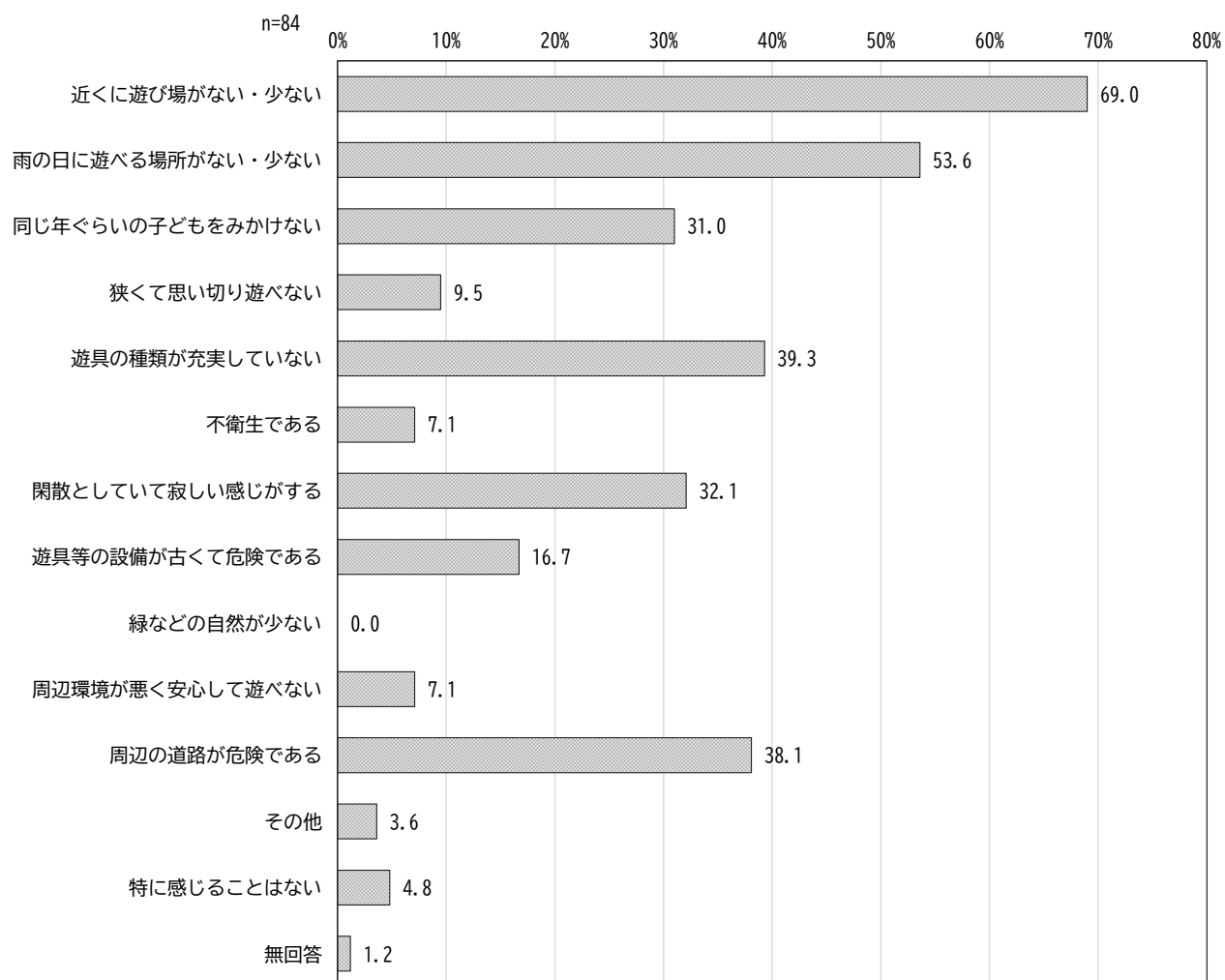
「暗い通り等が多く、犯罪被害にあわないか心配」が 55%と多く、次いで「歩道や信号がない通りが多く安全性が心配」が 52%、「買い物等の気分転換に遊ばせる場所がない・少ない」が 39%となっている。



問 31 近所の子どもの遊び場で感じていること

問 31 家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることはありますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

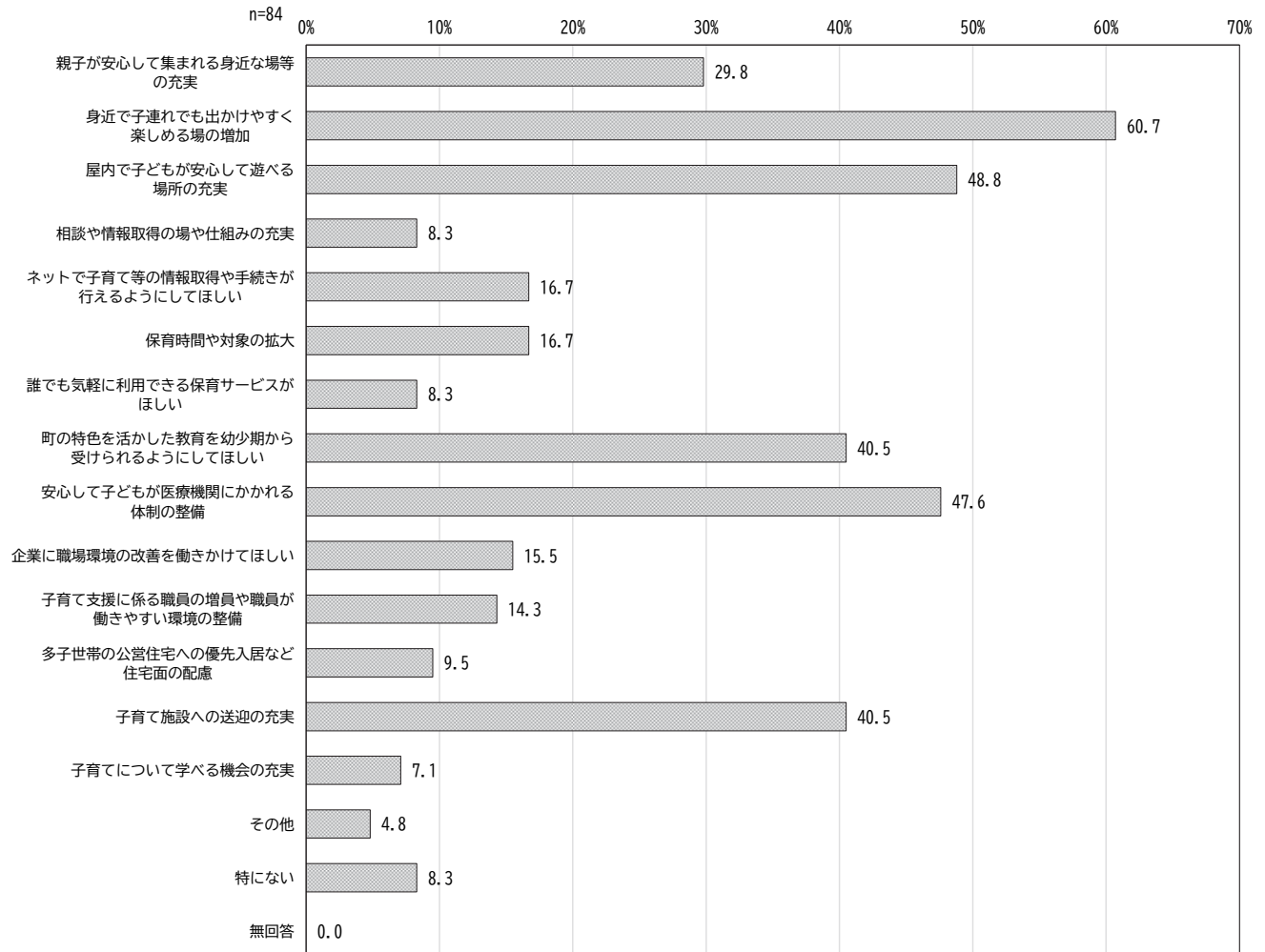
「近くに遊び場がない・少ない」が 69%と多く、次いで「雨の日に遊べる場所がない・少ない」が 54%、「遊具の種類が充実していない」が 39%となっている。



問 32 子育て支援環境充実に望ましい支援策

問 32 子育て支援環境の充実のためには、どのような支援策が望ましいと考えますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

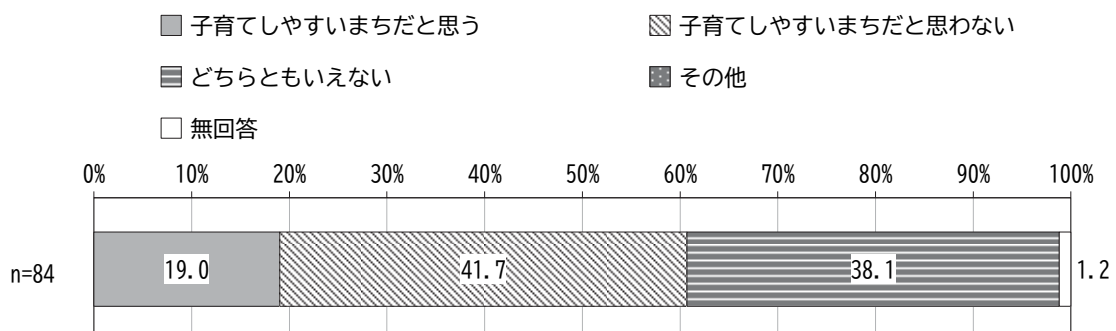
「身近で子連れでも出かけやすく楽しめる場の増加」が 61%と多く、次いで「屋内で子どもが安心して遊べる場所の充実」が 49%、「安心して子どもが医療機関にかかる体制の整備」が 48%となっている。



問 33 子育てについて芝山町の印象

問 33 芝山町は、子育てがしやすいまちだと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

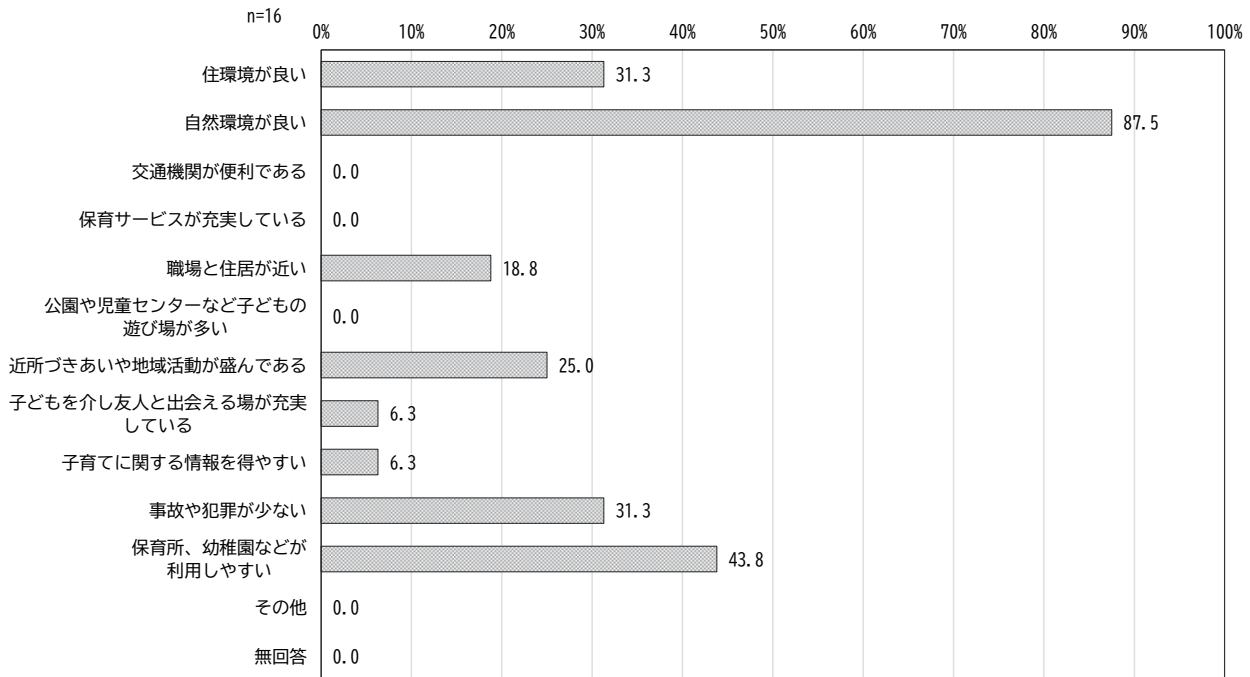
「子育てしやすいまちだと思わない」が 42%と多く、次いで「どちらともいえない」が 38%、「子育てしやすいまちだと思う」が 19%となっている。



問 33-1 子育てしやすいまちと思う理由

問 33-1 問 33 で「1. 子育てしやすいまちだと思う」に○をつけた方にうかがいます。「子育てしやすいまちだと思う」理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

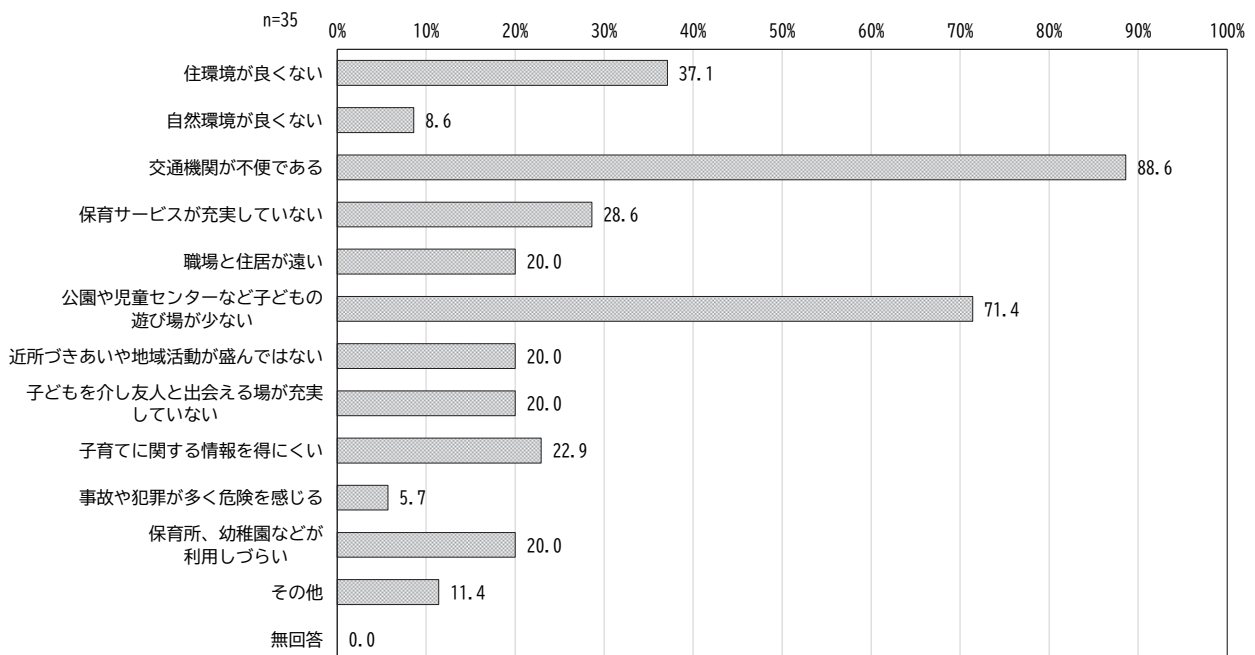
「自然環境が良い」が 88%と多く、次いで「保育所、幼稚園などが利用しやすい」が 44%、「住環境が良い」「事故や犯罪が少ない」がともに 31%となっている。



問 33-2 子育てしやすいまちと思わない理由

問 33-2 問 33 で「2. 子育てしやすいまちと思わない」に○をつけた方にうかがいます。「子育てしやすいまちと思わない」理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

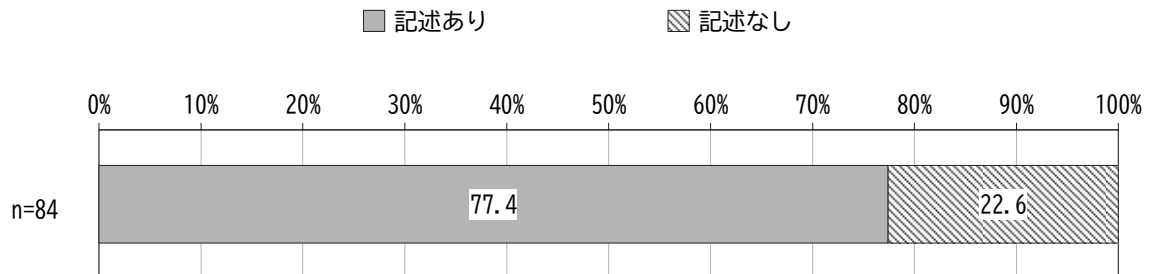
「交通機関が不便である」が 89%と多く、次いで「公園や児童センターなど子どもの遊び場が少ない」が 71%、「住環境が良くない」が 37%となっている。



問 34 自由意見

問 34 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

「記述あり」が 77%と多く、「記述なし」が 23%となっている。



※再掲

地区分け	該当居住地区
A 地区	菱田東、中郷、辺田、菱田宿、中谷津、住母家、千代田、坂志岡、加茂
B 地区	谷平野、白樹、浅川・稲葉、飯櫃、小原子、山田
C 地区	牧野東、牧野西、宝馬、岩山、川津場、あけぼの、スカイビレッジ、三和、朝倉、一本松
D 地区	小池 3、小池 4、小池 5、小池 6、小池 8、バルールド、大台西、大台南、高田東、高田西、新井田、新井田新田、はにわ台東、はにわ台南、はにわ台北 1、はにわ台北 2、ハニワ台ニュータウン、芝山台
E 地区	小池 1、小池 2、小池 7、小池 9、芝山、山中東、山中西、高谷、殿部田、境・宮崎、上吹入、下吹入、大台北、大台宿、

(1) 学童保育などのサービスについて

居住地区	主な育児者	記述内容
D 地区	主に母親	うちは学童を利用していないですが、利用している子がみんな楽しいと口をそろえて言っているらしく、うちの子も学童行きたいと熱望しています。生活のために仕方なく働く親は、子どもが楽しく通ってくれる事程うれしい事はないので、職員さん達のおかげだと思います。近々お世話になる予定です。
D 地区	主に母親	最近学童でイベントが行われる回数が増えたのは有難い。スポーツだけでなく、勉強などについても楽しく学べる機会があると助かる。
D 地区	主に母親	電話以外の連絡方法があれば良い。メールなど。

居住地区	主な育児者	記述内容
E地区	父母ともに	幼稚園（みつば）の時の延長保育の利用のように、当日の朝申し込めて1回200円で、18時までの間に迎えに行ける、気楽に利用できるシステムが欲しい。学童申し込むほどでもない。又、学童も同居する祖父母がいると申し込めない。年度ごとの申し込みも不便。突然必要になる時が来るかもしれないのに。
無回答	主に母親	小学校にあがるタイミングで正職をあきらめた。早番は6時20分に家を出て遅番では19時半過ぎまで職場にいることもあり。だからどうということはないですが、そういう人もいるという事実を知っておいてほしいです。
D地区	主に母親	土日の保育サービスが充実していない。
E地区	父母ともに	夏休み、冬休み等の長い休みの時、昼ごはんを出してくれたら、うれしいです。お弁当、軽食等、事前注文システムだったら助かります。
D地区	父母ともに	大変だとは思いますが、2～3ヶ月に1回くらいイベントをして欲しい。
A地区	主に母親	値段の値下げ。先生方の離職が多い。
A地区	父母ともに	おやつ代が高くなった。先生が一気に変わって、話しにくくなった。手続きなど、くわしい人がいない。楽しい体験がもっとあるといい。
C地区	父母ともに	学童利用料の補助があると助かる。
D地区	父母ともに	色々なイベントをしてくれて、良い。
D地区	主に母親	小学生の子どもが、放課後に安心してすごせる、児童ホームなどの場所があればよいと思います。
D地区	父母ともに	習い事などのサービスをもっと充実させてほしい。これから学校も部活が廃止になり自治体や地域移行になり町での活動が今後にかかわるので、芝山町がどこまで子育てに協力的なのかがとても不安です。近い未来なのになにも情報が入りません。
D地区	父母ともに	町内に1つの小学校で児童も多くはないが、学童を通して他学年の子どもたちとの交流や時間を共有できていることに良さを感じている。自然と上の学年と仲良くなれるのも良さの1つと思う。
D地区	主に母親	・学童でお弁当持参ではなく、1食いくらかでお弁当の注文もできるようにしてほしい。
D地区	主に母親	入所の優先順位で、農家が優先なのが理解できない。会社勤めの方が、自分達での保育が難しい。
A地区	主に母親	学童や子育て施設（はぐーん？）はすべて小池周辺につくられるので、菱田からは利用しづらい。小学校・保育所の老朽化こども園の設立など何年も前から話に出ているのに、芝山は何も進んでいないように感じている。

居住地区	主な育児者	記述内容
D地区	主に母親	今のままでとても満足しています。いつもありがとうございます。安心して仕事ができます。感謝しかありません。
D地区	父母ともに	書類の提出について非常に面倒です。(年度末の学童、保育所等) 突然の利用をお願いする時に柔軟な対応をしてほしい。こうしなきゃダメ。とかでなく。何が大事な事で、優先して大丈夫なのか。できない理由を聞けば、次のアンケートや会話の中で良い案が出てくると思います。
D地区	父母ともに	夏休み、冬休みの料金が高いので利用出来ない。
D地区	父母ともに	○学校の下校時間に合わせて仕事をしているので、始業式・終業式や短縮日課の日だけ学童保育を使いたい。○今年は学級閉鎖が多く、学童も使用不可になるので、預け先がなくてみんな大変だったと思う。

(2) 生活環境（公園、道路、交通機関など）について

居住地区	主な育児者	記述内容
D地区	主に母親	芝山公園の整備が不十分。公園が少ない。
D地区	主に母親	道路の整備がされておらず、1人で歩かせたりする事に危険を感じる。
D地区	主に母親	バルールドですが、はにわ整骨院の所だけでも信号があったらいいなと思います。(押しボタン式でいいと思います) 朝は工業団地へ行く事がかなりスピード速いので危ないです。
D地区	主に母親	土地柄、田んぼ・農道・山道が多いのは仕方ないですが歩道がないので子どもが歩きや自転車で移動するのがキケンな道が多いです。
D地区	主に母親	・公園はどの場所においても遊具が少なすぎる。5月頃から草が生えすぎていて、入りづらい。・はにわ台から出ているバスの本数を増やして欲しい。学校の送迎バスもはにわ台が一番遅く、支度が間に合わず困っている子が多い。
D地区	父母ともに	・芝山小の裏門から出て左側の山肌に切り倒した木がそのままになっていて大雨などで崩れてこないか、少し心配になります。・通勤通学の朝の時間帯、文化センター入口の交差点ではにわ道に出るのに何回も信号待ちするので改善して欲しい。
D地区	主に母親	千代田駅までのバス。
E地区	父母ともに	公園は雨上がり泥々。遊具に魅力を感じない。屋内遊具もあれば雨の日でも利用できる。野球、サッカー、バスケ、テニスなどで遊べる平らな広場がない。壁打ちやバスケのゴール(3on3くらいのでも)あれば良いのに、と思う。芝山公園、仁王尊などの道は分かりにくい。八街へ直通で行けるバスがあれば良い(通学などに)と思う。自宅からの高校や大学への通い方がほとんどないので、家を建てたい友人知人には芝山はすすめられない。年をとっても車が必要。1家に大人1人ずつ車が必要。自家用車補助金がほしい。

居住地区	主な育児者	記述内容
無回答	主に母親	公園が少なく、遊具も古い。時期によってはハチ危険という看板もあり、遊ばせられない。歩道が圧倒的になく、歩いたり自転車で出かけさせる気がおきない。
A地区	父母ともに	公園（遊具の充実した）をふやしてほしい。
D地区	主に母親	公園が少なく、子供たちが1人で行って遊べる場所に大きな公園がない。道路も狭く、歩道も狭い為、心配である。
E地区	父母ともに	公園、プール等の遊び場がほしい。
D地区	父母ともに	高校生になったらバスなど利用する時不安を感じる。仕事してるので、できたらはにわ台からバスの利用をしたい気持ちもあるが、バスがあまりない。
A地区	父母ともに	遊びやすい公園や小学以降の進学などにも必要だと思うのでバス、電車の本数を増やす事や歩道、自転車が通行しやすいほうが良いと思う。
A地区	主に母親	歩道がない。バスがない。電車が少ない・高い。
A地区	父母ともに	公園（遊具の充実した）をふやしてほしい。
E地区	父母ともに	・公園の遊具を増してほしい。・道路に出ている枝など切してほしい。 ・小学生でも楽しめる公園を作してほしい。
A地区	父母ともに	公園の遊具が古く、さびている。あそべない。歩道がない。草がすぐのびる。
A地区	父母ともに	公園の遊具が古い、さびていてあそべない。歩道がない。草が生えすぎ。もっと早い間かくで、草刈りしてほしい。
C地区	父母ともに	子どもが少ないからなのか、“通学路”が分かりづらい。歩道に草もすごい。
D地区	主に母親	歩道もなく、草や、土が道にでていて、近所の人に言ってもなにもしてくれないような人達なので町の方で道の確認くらいしてほしい。子育て中の人も少ないし、子育てしにくいし、生活しにくい。
D地区	父母ともに	周囲に街灯があるといい。大型のスーパーがもっと近場にほしい。駅もあるとさらにうれしい。
D地区	主に母親	車社会で、子どもがあそぶには危険がともなう。
無回答	父母ともに	自宅が大通りから1本奥の県道なので抜け道で通る車が多いのに、カーブのところに信号すらない歩道があり、こわくてあそびに出せない。ミラーもこどもの目じゃうまく見えない。
無回答	父母ともに	大きい道路の1本奥に家があるので横断歩道や信号がついてないところが多く、通学も徒歩にさせたいけど、あぶなくてさせれない。
E地区	父母ともに	圏央道他工事車両の往来が多く困っている。作業員の方、ゴミポイすて。早く終わってほしい。
D地区	父母ともに	公共交通機関が無さすぎる。中学校までは良いが、高校への通学が不便。どこへ行くにも山を通るので暗くあぶない。

居住地区	主な育児者	記述内容
D地区	父母ともに	子供が土日でも学校の校庭を使用できるようになるといいなと思います。みんなで集ってあそびたくても広くて安全な場所がなさすぎます。交通機関も今後を考えると送迎になる事が増え、仕事をしたくても子供の送迎におわれると思う。もう少し住みやすい芝山になってくれる事をねがいます。公園の草刈りなどももっと増してもらえると子供達も公園を利用しやすくなるのに、いつもバルの公園は草だらけでハチも多く危なくてあそばせる事にためらいます。
D地区	父母ともに	最寄りの駅が町の中心にないので、もう少し便利になればよい。
D地区	父母ともに	公園遊具の充実を希望します。
D地区	主に祖父母	住民が少ないので色々施設等充実させても利用者が少ないのでは宝の持ちぐされ、となる。現在ある保育園を新築するなどよき環境にしてほしい。安心して預けられる施設サービスであればと思う。共働き家庭にとって優しい町であってほしい。
D地区	主に父親	公園らしい、用具などしてほしい。
D地区	主に母親	・通学路を整備してほしい。
D地区	主に母親	街灯が少なく暗い。歩道も少ない。公園に遊具が少ない。バスの本数がない。なぜコミュニティバスがこないのか。
A地区	主に母親	こういうアンケートで手近な施策をやるのもいいですが、町づくりのビジョンがないと新規流入はなく、少子化が増々進んでいくだけだと思います。(←そうだとせっきくの施策も予算のムダ) 多古台のように大がかりで明確な町づくりを町政で示すことが大切だと思います。
D地区	父母ともに	歩道の整備。バスダイヤ増やしてほしい。
D地区	主に祖父母	街灯が少なくて危ない。
A地区	父母ともに	・遊ぶ場所の遊具が少ない。雨でも安心して過ごせる場所があると良い。
D地区	無回答	プライベートの守秘義務をしっかりしてほしい。かなり漏れている。
B地区	父母ともに	バスののりおりの場所が危ない。みづらくて、スピードを出している車が見えなく、必ずむかえにいく。
B地区	主に母親	・遊具が少なく広いだけで遊具の位置が遠すぎて親が移動するだけでつかれてしまう。(芝山公園)・新井田入口の信号機が変わるのが早くて矢印信号を設置してほしいです。右折する車がいるとなかなか進まず信号待ちが長い。
D地区	主に母親	街灯が少なくて暗くて危ないような気がします。
A地区	父母ともに	公園を増やしてほしい。
D地区	父母ともに	管理に費用がかかるのは理解できますが、芝山公園も危ない遊具が増えています。あずまやも。
E地区	主に母親	子供が少なく、一人で自転車や、歩きで遊びに行かせるのに特に不安があるのに、歩道が無いところも多く、もう少しどうにかして欲しい。

居住地区	主な育児者	記述内容
D地区	父母ともに	子供が体を動かしてのびのび遊べるような環境がほしい。公園が少ない。あっても送迎の必要がある距離なので利用しづらい。
D地区	父母ともに	交通機関が充実していない。道路（歩道が草だらけ）で歩く事が難しく、狭い所が多く危険。
B地区	父母ともに	遊べる遊具が少ない（公園）。
E地区	主に母親	歩道の草が生えすぎて、自転車が通りずらそうにしていたり、このままでは、通れないと思う場所がある。農村地域にもバスが乗れる所があったら、学生は便利だと思う。
D地区	父母ともに	高校生になると町外の学校へ進学すると思うが、公共交通機関の運行が少なく送迎必須かなと思っているので、もう少し改善するとよいと思う。
無回答	主に母親	公園の遊具が少ない。カーブが多い割に歩道が狭い。

（３）経済的負担について

居住地区	主な育児者	記述内容
E地区	主に父親	中学校の制服代の負担が大きい
D地区	主に母親	第二子・第三子のカウントの仕方を普通に数えてほしいです。３人目ののに上の兄弟が小学校に上がると、保育料は満額になったりするのが負担です。
E地区	父母ともに	物価高対応として、他市町村では給付金など細めにやっているが、芝山町はひじょうに少ない。人口少ないのだから、もう少しできるのでは。子育て世帯ばかり給付金など出るけど、高齢者世帯でも生活は苦しいと思う。全ての世帯で行なった方が良いと思う。
D地区	父母ともに	子供の習い事支えんなどあったらうれしい。（例えば、月に１万とか）
A地区	主に母親	多い。社会保障を下げしてほしい。
E地区	父母ともに	・低収入や非課税世帯だけでなく各家庭にもう少し支援あるといい。・特に多子世帯にもっと支援してほしい。
A地区	父母ともに	医療費負担がもう少し減るといい。もっと補助金がでるといい。
A地区	父母ともに	補助がもっとでるといい。
D地区	父母ともに	ごみ袋が高すぎる。
A地区	父母ともに	インフルエンザの予防接種の接種料を１回分でも助けて預けるとありがたい。高齢者には、毎年補助してもらっているけど、子育て世帯もあるとうれしい。小さい子は、２回接種なので、子供２人分（２回）、自分の分となると負担が大きいです。
D地区	父母ともに	子育てする中で芝山に塾が少なく、近隣の町外まで送迎など時間的負担や、経済的負担が多いので、町からのサポートがあるといいと思います。

居住地区	主な育児者	記述内容
D地区	主に祖父母	給食費の早期無料はとても助かりました。手当て等、充実するのはよいことだと思います。
D地区	父母ともに	ゴミ袋の配布はとても助かります。医療費も安心です。
E地区	主に母親	今後、子供が育つにつれ、交通費などの（高校など）負担が多くなりそうなので、補助が欲しい。
D地区	父母ともに	適切なタイミングに支援金を出してくれていると思う。給食費も中学生まで補助していただきありがたいです。

（４）情報提供について

居住地区	主な育児者	記述内容
D地区	主に母親	連絡網アプリにしてくれてありがとうございます。紙のプリントのような出し忘れも防げるし、時間や場所をえらばずチェックできてかなり助かってます。入所・入学に関する書類や手続きもネットでできるようになるとうれしいです。子どもが多いと何十枚と書類を書かされるのが大変です。
D地区	父母ともに	多古町のようにLINEを活用してはどうか
A地区	主に母親	よりわかりやすくすべき。
A地区	父母ともに	子供会などが少ない。
A地区	父母ともに	子供会が少ない。
D地区	父母ともに	・ライン（LINE）で情報提供があるとわかりやすい。
D地区	父母ともに	町のHPを見ても更新されていなかったり、新しい情報が町外とくらべても少なかったりなかったりと、ママ友からの情報の方が早い時が多いです。町の広報だけではたりない事が多いです。
D地区	父母ともに	さくら連絡網等、どんどん電子化になっていることはありがたい。電子化等は積極的に進めてもらいたいと思う。
D地区	主に母親	ホームページがわかりにくい。SNS等をもっと使って情報を得やすいといい。
A地区	父母ともに	・メールだけではなく、ラインやSNSで発信を増やしてほしい。
D地区	父母ともに	役場の職員があまりに身近でなさすぎるので、顔を出して、体を動かして町の職員がだれで、どんな人なのかわかるようにしてほしい。言葉がむずかしいので簡単な書き方での情報提供をしてほしい。とにかくわかりにくい。ネットなど。
E地区	主に母親	子供に使用できる便利なサービスをもっとわかりやすくたくさん教えて欲しい。
D地区	父母ともに	適正です。

(5) 活動・遊びの場（子ども同士の交流など）や子ども自身の相談窓口について

居住地区	主な育児者	記述内容
D地区	主に母親	英会話、ダンス、習字などの講座をつくってほしい。不定期ではなく、定期的に。
D地区	主に母親	子供が近所にいないので、遊びに行く所がなく、放課後、子供どうしの交流が出来ない。
D地区	主に母親	芝山町は習い事教室がほぼないので、他市町村への親の送迎が必須となってしまう。児童館や放課後子ども教室のような、少しでも安全にあそんだり学んだりできる場があるとうれしいです。学習室・自習室のようなものがあると、中・高生になっても利用できて良いと思います。
無回答	主に母親	・児童館のような小学生も室内で遊べる場所がほしい。
A地区	主に母親	公園がない。
A地区	父母ともに	部活動がなくなるのは、よくない。その分外部委託の部活をやってほしい。
A地区	父母ともに	部活動がなくなるので、入りやすいクラブチームを増やしてほしい。
D地区	父母ともに	雨でもあそべる場がほしい。(小学生用)
E地区	父母ともに	はにわ台に子育て世帯が多く公園もあるので交流はあるが、一歩出ると全く交流がなくなる。もっと色々な地区に子育て世帯がいればいいと思う。
D地区	父母ともに	子供達は校庭を利用したいとよく聞きます。休日など開放してもらえると親も学校であそんでいる方が安心とかんじます。もしくはもっと公園を増やす。図書館など利用しやすくしてもらいたいと思います。
D地区	主に母親	・児童館がほしい。・遊び場を増やしてほしい。
D地区	主に母親	児童館がほしい。平日だけではなく、休日利用がしたい。
A地区	父母ともに	・子どもだけで遊べる場所がほしい。(勉強するスペース) 図書館ももっと利用しやすく、新しい本の入荷をもっとしてほしい。
D地区	父母ともに	保健医の先生がとても色々相談しやすいと言っていました。「窓口」でなく、子供とふれあいのもてる大人がたくさん心の寄りどころとなってもらいたいです。自分になりたいのになれないのが残念です。
D地区	父母ともに	小学生が集まれる場所がない。
D地区	父母ともに	小学生が利用できる児童館、支援センターのようなものがあるとよいですね。“雨の日にも利用できる公園のようなもの”というフレーズが以前支援センターにあったように思います。

(6) その他

居住地区	主な育児者	記述内容
E地区	主に父親	中学校の女子制服をスカートとスラックスの選択制にしてほしい。スカートしかないことに不安になっている(子供が)。

居住地区	主な育児者	記述内容
D地区	主に母親	芝山町は子育てに優しく住みやすい町だと思いますが、住むまで知らなかった子育て支援がたくさんあるので、ぜひたくさんアピールして、芝山町がにぎやかに発展したらいいなと思います。
E地区	父母ともに	3才児健診や、健康診断などに行くと、色々なものがもらえるが、そんなに必要なものでもないので、減らすなどして良いと思う。その分、違うことに使ってほしいと思う。
無回答	主に母親	・小児科・皮フ科・眼科・耳鼻科等もほしい。いちいち30分以上かけて病院に連れていくのは本当にしんどくて厳しい。子どもの具合が悪くなると心配するより、面倒、という気持ちもわいてしまい、イライラや自己嫌悪になります。
D地区	主に母親	このアンケートが児童数の必要性がわからなかった。
D地区	主に母親	住宅地の整備や団地等、町外からの移住者を受け入れる環境が無いので、住民は増えずに、保育施設の充実をしても利用者は少ないと思う。学校、保育施設、公共交通機関の充実と合わせて、人口を増やす方へ早急に取り組んだ方が良いと思います。
E地区	父母ともに	日頃、学校、学童で大変お世話になります。ありがとうございます。芝山小学校は人数が少ないので細かく見ていただいて子供はきもち良くすごせているようです。世の中がいろいろと変って子供がのびのび自由にすごせる所が少なくなっていると思います。登下校も心配で送ってしまったりします。だれもがせわしなく生きていて、負担が大きい生活です。ぜひ、住みやすい町作り、がんばって下さい。お願いします。
A地区	主に母親	不幸な子が出ないようにしてほしい。
E地区	父母ともに	・子供の習い事が町でもできるようになるとうれしい。・多子世帯も住みやすい住居がほしい。・飲食店がほしい。テイクアウトできるようにしてほしい。
A地区	父母ともに	学校のバスルートを変えてほしい。乗車時間が長い。バス停が、あまり安全ではないと思う。
D地区	父母ともに	近場にスーパー。学童おわりですぐ行ける所があると子供と一緒に過ごす時間が少しだけでもあるし、自分も少し楽になると思う。
D地区	父母ともに	イベントなど送迎バスも一緒だと参加しやすいと思います。必ず送迎問題で参加させてあげられないなどあるので。今後地域移行して芝山でどれだけの子育て支援があるかで住む人も変わると思います。スポーツしたくても町がうごいてくれないとやりたい事がやらせてあげられる町ではないなと感じます。これから変わる事を切に願います。
D地区	父母ともに	上下水道の整備。
B地区	主に母親	色々とお世話になっています。ありがとうございます。

居住地区	主な育児者	記述内容
D地区	主に母親	このアンケートは家庭数でもよかったのではないですか。資源と税金の無駄かと。
B地区	父母ともに	子供が早く帰ってきたり、学校行事に合わせて、働く事が難しい。
E地区	父母ともに	R5～高校入学時に「タブレット（PC）を1人1台、準備して下さい」となり、町で補助があると良い。
D地区	父母ともに	WEBでアンケートできるようにしてほしい
D地区	主に母親	○芝山に母子家庭でも住めるアパートがあるのか知りたいです。
D地区	父母ともに	わからない所を先生に教えてほしいのに時間がないと言っていました。無理やり少し時間をつくってもらったりしているようですが、理解までに時間が足りないようです。30分でも1時間でも自由に教えてもらえる時間を確保してもらいたいです。
D地区	父母ともに	若い世代に向けた食事処を作してほしい。
D地区	父母ともに	地域で住人間の交流・つながりを増やしたいという意欲をもった人が、わりと多いように思います。独居老人や、小学生など地域で見守れるよう、そのような地域ごとの動き・具体的なイベントを町でも支援してほしいと思います。

芝 山 町
子ども・子育て支援事業計画基礎調査
報 告 書

発行日 : 令和 7 年 3 月
発行者 : 芝山町
編 集 : 芝山町 福祉保健課
住 所 : 千葉県山武郡芝山町小池 992
T E L : 0479 (77) 3914